2020年度

履修のてびき

京都光華女子大学短期大学部

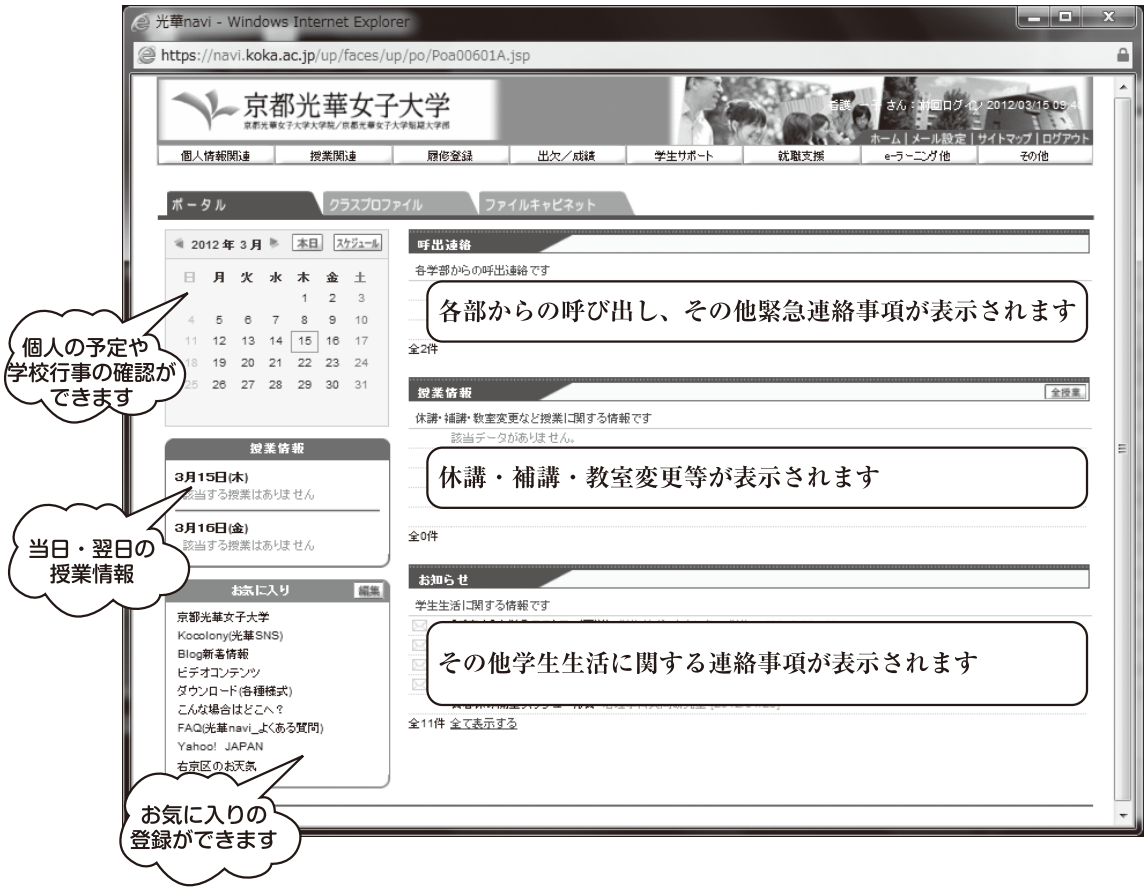
履修のてびきは、学生が卒業するために必要な教学的事項を記載したものです。毎年変更があり、改訂されますが、1 年間、大切に保管してください。

光華naviにはたくさんの情報が集まっています

★ https://navi.koka.ac.jp/ ★

大学のホームページ「在学生の方へ」からもリンクしています

- 学生呼出　・休講・補講・教室変更情報
  （※従来どおり学内の掲示板にも同じく情報を掲示します）
- 各部門からのお知らせ　•時間割紹介　•スケジュール管理
- シラバス紹介　•履修登録　•出欠状況確認　•成績照会　•面談予約
- クラスプロファイル　•就職支援情報　•アンケート回答　•e-ポートフォリオetc.
- 学内システムへのアクセス
  （e-ラーニング, 教職履修カルテ, MediaDEPO, マイライブラリ, メール）etc.



1日1回、光華naviや学内掲示板を見る習慣を！！

お問い合わせ先
学生サポートセンター　（３号館１階）
情報システム部　（徳風館４階）

2020 年 度

履 修 の て び き
シ　ラ　バ　ス

2020年度　履修のてびき

学　年　暦

（2020 年 4 月～2021 年 3 月）

4

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	㉙	30		

5

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	④	⑤	⑥	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

6

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

7

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	㉓	㉔	25
26	27	28	29	30	31	

8

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	❸	❹	❺	❻	❼	❽
9	⑩	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/❶❶	25	26	27	28	29

9

日	月	火	水	木	金	土
		❶	❷	❸	❹	❺
6	❼	❽	❾	❿	⓫	⓬
13	14	15	16	17	18	19
20	㉑	㉒	23	24	25	26
27	28	29	30			

4 月	~~1 日(水)~~	~~入学式・前期履修登録開始~~
	~~2 日(木)~~	~~オリエンテーション~~
	~~4 日(土)~~	
	~~6 日(月)~~	~~前期授業開講~~
	~~12 日(日)~~	~~前期履修登録締切~~
	~~16 日(木)~~	~~前期履修登録取消開始~~
	~~17 日(金)~~	~~前期履修登録取消締切~~
	~~17 日(金)~~	~~新入生一泊研修~~
	～	
	~~18 日(土)~~	
	~~21 日(火)~~	~~学園花まつり（2 講時）~~
		~~本山参拝（午後）~~
		~~※授業日ではありません~~
	29 日(水)	祝日授業日
5 月	29 日(金)	宗教講座（5 講時）
6 月	26 日(金)	宗教講座（5 講時）
7 月	~~3 日(金)~~	~~前期末定期試験時間割発表~~
	23 日(木)	祝日授業日~~（火曜日授業）~~
	24 日(金)	祝日授業日~~・前期授業終了~~
	~~25 日(土)~~	~~前期末定期試験~~
	～	
	~~31 日(金)~~	
8 月	3 日(月)	集中講義期間
	～	
	8 日(土)	
	~~5 日(水)~~	~~追試験~~
	～	
	~~6 日(木)~~	
	10 日(月)	夏季休暇期間開始
	~~19 日(水)~~	~~オリンピック・パラリンピックボランティアに伴う追試期間~~
	~~20 日(木)~~	
	24 日(月)	再試験（卒業学年）
	～	
	25 日(火)	
	30 日(日)	夏季休暇期間終了
	31 日(月)	集中講義期間
	～	
9 月	5 日(土)	
	7 日(月)	集中講義期間
	～	
	12 日(土)	
	11 日(金)	前期卒業式
	14 日(月)	7 月 24 日（金）の振替休日
	15 日(火)	学園創立記念日（休日）
	18 日(金)	後期履修登録開始
	21 日(月)	後期授業開講・祝日授業日
	22 日(火)	祝日授業日
	27 日(日)	後期履修登録締切
	30 日(水)	後期履修登録取消開始

□…授業日　■…調整日（補講等のある日）　■…定期試験

●…集中講義　□…休校日　○…祝日

10

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11

日	月	火	水	木	金	土
1	2	③	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	㉓	24	25	26	27	28
29	30					

12

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

1

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	⑪	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

2

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	⑪	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	㉓	24	25	26	27
28						

3

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	⑳
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

10 月	1 日㈭	後期履修登録取消締切
	30 日㈮	宗教講座（5 講時）
	31 日㈯	80 周年記念事業
11 月	6 日㈮	本山参拝（午前）　大学祭準備（午後）
	7 日㈯	大学祭
	8 日㈰	大学祭
	9 日㈪	11月8日（日）大学祭の振替休日・大学祭後片付け
	10 日㈫	9 月 21 日（月）の振替休日
	11 日㈬	9 月 22 日（火）の振替休日
	13 日㈮	人権講演会（5 講時）
	23 日㈪	祝日授業日
	27 日㈮	宗教講座（5 講時）
12 月	11 日㈮	宗教講座（5 講時）
	24 日㈭	11月23日（祝月）授業実施の振替休日
	28 日㈪	冬季休暇開始（1 月 3 日まで）
1 月	4 日㈪	後期授業再開
	5 日㈫	学年末・後期末定期試験時間割発表
	20 日㈬	調整日（補講等のある日）
	21 日㈭	調整日（補講等のある日）
	22 日㈮	後期授業終了
	23 日㈯ ～ 29 日㈮	学年末・後期末定期試験
2 月	4 日㈭ ～ 5 日㈮	追試験
	12 日㈮	卒業予定者発表（午前 10 時）
	16 日㈫ ～ 18 日㈭	再試験（卒業学年）
3 月	5 日㈮	卒業予定者追加発表（午前 10 時）
	19 日㈮	卒業証書・学位記授与式

（注）日程は都合により変更することがあります。集中講義・補講の日程については、掲示板で確認すること。
土曜授業日は１．２講時：授業　３．４．５講時：補講が実施されます。
7/23（木）は火曜日の授業が実施されるので注意すること。

目　　次

Ⅰ　履修要項

1．履修規程
（1）単　位　制 …… 1
（2）卒業の要件 …… 2
（3）履修登録単位の上限 …… 2
（4）履修登録上限単位の緩和 …… 2
2．履修登録 …… 2
3．授 業 等
（1）授　　業 …… 3
（2）授 業 期 間 …… 3
（3）授 業 時 間 …… 3
（4）休　　講 …… 3
（5）欠　　席 …… 4
（6）聴　　講 …… 4
（7）大学コンソーシアム京都単位互換制度… 4
4．試　　験
（1）受 験 資 格 …… 5
（2）定 期 試 験 …… 5
（3）追　試　験 …… 6
（4）再　試　験 …… 6
（5）不 正 行 為 …… 7
（6）卒業予定者の発表 …… 7
5．休学・復学…… 7

Ⅱ　カリキュラム

1．2019 年度入学生用
ライフデザイン学科…… 10
2．2020 年度入学生用
ライフデザイン学科…… 15
3．大学からの提供科目…… 20

Ⅲ　資格の取得

〔ライフデザイン学科〕
1．ビジネス実務士資格…… 21
2．情報処理士資格…… 23
3．上級情報処理士資格…… 25
4．プレゼンテーション実務士資格…… 27
5．観光ビジネス実務士資格…… 29
6．ピアヘルパー…… 31

Ⅳ　2020 年度開講科目表

ライフデザイン学科…… 32

Ⅴ　2020 年度シラバス

ライフデザイン学科…… 41

Ⅵ　学則

京都光華女子大学短期大学部学則……174

Ⅶ　教員

教員一覧……178

Ⅷ　施設

校舎建物・教室等配置図……180
大原野グラウンド……191

Ⅰ　履　修　要　項

1．履　修　規　程

（1）単　位　制

単位制とは、それぞれの授業科目に与えられている単位を一定の規定に従って履修、修得し、卒業の要件を充たす単位数に達することにより、卒業の資格が与えられる制度である。

単位の計算

各授業科目の単位数は、１単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じて、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算する（90 分の授業を２時間相当の学修時間とする）。

講義・演習科目

15 時間または 30 時間の授業をもって１単位とする。

実験・実習・実技科目

30 時間から 45 時間の授業をもって１単位とする。

単位の認定・ＧＰＡ制度

履修科目について、試験等の結果、合格と判定された場合に単位が認定される。成績は 100 点満点の 60 点以上を合格とし、以下の成績評価区分のとおり表示される。

また、本学では、履修計画・学習計画を立てるために、ＧＰＡ（Grade Point Average:学業平均値）制度を導入している。ＧＰＡ 制度は、一人ひとりの成績を総合的にあらわすものであり、履修登録された授業科目（対象外となる科目も有）を成績算出の対象とする。ＧＰＡ値は､4 点を最高点とし、以下 0 点までの数値で表示される。

〈成績・ＧＰ（Grade Point）の基準について〉

合格/不合格	成績評価	成績評価基準	成績内容	GP
合格	秀	90点以上	特に優れた成績	4.0
	優	80点以上90点未満	優れた成績	3.0
	良	70点以上80点未満	妥当と認められる成績	2.0
	可	60点以上70点未満	合格と認められる最低限の成績	1.0
不合格	不可	60点未満	合格と認められる最低限の成績に達していない場合	0.0
	欠	―	試験欠席	
その他	認		コンソーシアム京都の単位互換・編入・留学等による単位認定科目 科目等履修科目	GPA 対象外

＊自由科目（非要卒科目）は GPA 対象外。
＊ GPA 値については、光華 navi の成績照会画面より確認することができる。
＊ただし、納付金未納の場合、当該期間履修中の単位は認定されない。

◆ GPA（Grade Point Average）の算出方法

$$GPA=\frac{\{(4.0\times 90点以上相当の修得単位数)+(3.0\times 80点以上90点未満相当の修得単位数)+(2.0\times 70点以上80点未満相当の修得単位数)+(1.0\times 60点以上70点未満相当の修得単位数)\}}{総履修登録単位数(「不可」「欠席」の単位数を含む。)}$$

（注 1）GPA は、小数点第 4 位を四捨五入し、小数点第 3 位までの数値で、表示します。
（注 2）「非要卒科目」、履修中止された科目は、計算式に含みません。

（2）卒業の要件（卒業に要する単位数）

卒業の要件を充たすためには 2 年以上在学し、次の表に示す単位数以上を修得しなければならない。ただし、在学年限は 4 年を超えてはならない。

〈短期大学部〉　　（数字は単位数）

対象 ＼ 区分		専門教育科目			合　計
		必　修	選択必修	選　択	
ライフデザイン学科	2019・2020 年度入学生	12	10 ※1	42	64

※1　選択必修科目での過修得単位は、選択科目の単位として振替えることを認める。

（3）履修登録単位の上限

各年次にわたって、無理なく効果的に授業科目を学習するために、学期ごとに履修登録できる単位数の上限を定める。履修登録の上限単位は学期ごとに 25 単位とし、上限単位を超える履修登録は認めない。

（4）履修登録上限単位の緩和　※ 2020 年度以降入学生対象

2020 年度入学生より、学期 GPA が「3.3 以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目の中から、4 単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。

（例）2020 前期 3.3 以上→ 2020 後期に 4 単位増（2020 後期開講科目より履修）
2020 後期 3.3 以上→ 2021 前期に 4 単位増（2021 前期開講科目より履修）
※緩和された 4 単位分を、翌々学期に持ち越すことはできない。

① GPA は、履修登録期間直前の成績公表時の学期 GPA の数値を用いる。履修登録時に、成績評価が間に合わない科目の GP は含めない。

②履修単位数の緩和を希望する学生は、履修登録期間中、学生サポートセンター（修学担当）にて所定の手続きを行うこと。

2．履　修　登　録

学期始め､所定の期日までに､履修科目の登録をしなければならない。履修登録をしていない授業科目には、試験等に合格しても単位は与えられない。

① 登録の手続・方法については学期始めのオリエンテーション（履修説明）で説明する。本年度の履修登録期間は、**前期 4 月 ~~1 日(水)~~ 13日(月)～4 月 ~~12 日(日)~~ 24日(金)、後期 9 月 18 日(金)～9 月 27 日(日)とする。**

② 登録科目の追加・変更は原則として認めない。登録科目を取り消す場合は指定した期限内に必ず光華 navi により手続きすること。本年度の取消期間は、**前期 4 月 ~~15 日(水)~~～4 月 ~~16 日(木)~~ 28日(木)、後期 9 月 30 日(水)～10 月 1 日(木)とする。**

③　不合格になった必修科目は、原則として再履修しなければならない。

④　合格した授業科目の取り消し、および再履修はできない。

⑤　履修登録者数が 10 名未満の講義・演習・実習科目は、原則として開講を取り止める。ただし、必修科目、資格科目を除く。最終確定は履修登録者の状況を踏まえ、教務委員会にて審議のうえ決定するものとする。なお、不開講となったことによる追加登録は認める。

３．授　業　等

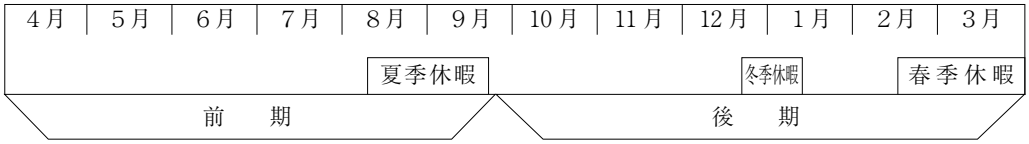
（1）授　　業

・授業の形態には、時間割表に基づいて行う通常の授業と、特定期間に集中的に行う“集中講義”とがある。なお、授業の都合により補講を行うこともある。

・集中講義の時期は、原則として夏季休暇期間中（前半または後半）を予定とする。（授業科目によっては他の時期に設定される場合もある）。

・補講及び集中講義に該当する授業科目は、掲示板・光華naviにより通知する。

（2）授 業 期 間



※　授業は前期と後期の２期に分ける。

（3）授 業 時 間

・授業時間は、次のとおりである。

講　　時	第１講時	第２講時	第３講時	第４講時	第５講時
授業時間	8：50 ～10：20	10：30 ～12：00	12：50 ～14：20	14：30 ～16：00	16：10 ～17：40

・授業時間は、講義・演習・実習など授業形態によって、90 分・180 分に分類される。

（4）休　　講

大学の行事または各授業科目の担当者のやむを得ない事由により授業を休講することがある。その場合は、掲示板・光華 navi により通知する。休講の掲示がなく始業時刻を 30 分以上経過しても授業が始まらない場合は、学生サポートセンター（修学担当）に問い合わせ、指示を受けること。

また、交通機関の不通・特別警報（種類を問わない）の発令、暴風警報の発令による臨時休講・授業の取り扱いは次のとおりとする。

＜１＞下記のいずれかの交通機関が不通の場合

①ＪＲ（米原～大阪）

②阪急電車（京都線）

③京都市バス・京都市営地下鉄のいずれかが全面不通

＜２＞特別警報（種類を問わない）または暴風警報が京都府南部に発令された場合

京都府南部

京都市	宇治市	亀岡市	城陽市	向日市	長岡京市	八幡市
京田辺市	南丹市	木津川市	大山崎町	久御山町	井手町	宇治田原町
笠置町	和束町	精華町	南山城村	京丹波町		

＜１＞＜２＞による授業開始は以下のとおりとする。

交通機関の開通時刻 および警報解除時刻	授業開始講時
午前７時までに開通・解除	１講時から平常通り
午前10時までに開通・解除	３講時から実施
午前10時以降開通・解除	終日休講

（備考）

・上記の交通機関または地域以外で、不通・気象警報発令等の影響により通学が困難な場合は、届け出により考慮する。

・上記の取り扱いにかかわらず、自然災害等の状況によって別途の措置を講ずる場合がある。

（5）欠　　席

本学においてはいかなる理由（病気、忌引等）も公欠の取り扱いはしない。

（6）聴　　講

聴講とは履修登録をしていない授業科目を受講することである。聴講を希望する者は、担当教員の許可を得たうえで学生サポートセンター（修学担当）に届け出ること。（用紙は学生サポートセンターに有ります）ただし、単位としては認められない。

（注）受講者数などの都合により許可されないことがある。また、欠席が多い場合は許可を取り消す。

（7）大学コンソーシアム京都単位互換制度

京都地域の大学・短期大学が加盟する大学コンソーシアム京都において、教育交流事業の一環として単位互換制度を実施している。単位互換制度とは、相互に協定を締結した大学・短期大学の授業を履修し、単位を修得することができる制度である。

本学学生も、この制度を利用して、それぞれの大学・短期大学が提供する単位互換科目を履修することができる。

単位互換科目を履修するには、4月1日以降新学年のオリエンテーションまでに大学コンソーシアム京都ホームページの単位互換制度特設Webサイトで、シラバス・講義日程等を確認すること。

出願する場合は、本学の履修登録を優先し、通学時間など十分考慮して履修計画をたて、大学コンソーシアム京都ホームページ（e京都ラーニング）より利用者登録および科目出願を行い、「出願

票作成」画面から出願票を印刷の上、期日までに大学提出用・本人用を学生サポートセンター（修学担当）へ提出すること。

・出願期日　前期：4 月 ~~10 日㈮~~　正午 12 時まで　　後期：9 月 18 日㈮　正午 12 時まで

修得した単位は、下記により要卒単位として認定する。成績評価は“認”（GPA対象外）。

ライフデザイン学科…要卒科目として 10 単位まで。

上記の単位を超えた場合は要卒単位として認定しない。

4．試　　験

（1）受 験 資 格

次の各項のいずれかに該当する場合は受験資格がない。

① 当該授業科目の履修登録を行っていない場合。

② 当該授業科目担当者が成績評価のために定めた要件を充たさない場合。

③ 学生証（有効であること）を携帯していない場合。

（2）定 期 試 験

定期試験は、前期および後期の各期末に行う。前期末試験は７月下旬～８月上旬、後期末試験は１月下旬～２月上旬に行う。履修した授業科目については原則として試験が行われ、筆記・口述・レポート・論文・実習・製作物などによって行われる。特に、レポート・筆記試験の場合は次の注意をよく守ること。

①レポート

定期試験期間中に提出を指示されたレポートについては、**用紙は A4 サイズを使用し、指定の表紙を付ける。**

提出に関しての注意

ア．指定の表紙に必要事項をペン（鉛筆は不可）で記入し、ホッチキスで綴じること（止め金の後ろにセロテープまたは紙を貼る）。

イ．提出時にレポート受領票を受取り、成績を確認するまで各自保管すること。

ウ．一旦提出した後の追加・訂正・差し替え等はできないので注意すること。

エ．提出日・受付時間を厳守すること。**時間に遅れた場合は受付けない**（郵送は不可）。

② 筆記試験

ア．学生証は、必ず机上の通路側に、写真が見えるように置くこと。

試験当日、学生証を忘れた者は、試験開始前に、学生サポートセンター（学生生活担当）で、「仮学生証（試験受験用）」（当日限り有効）の交付を受けること。

イ．試験時間割の見間違いによって受験できなかった場合は、追試験に該当しないため、十分注意すること。

ウ．試験開始後 20 分以上遅刻した者は、受験できないため、注意すること。また、試験開始後 30 分を経過しなければ試験場から退出できない。一旦退出した者の再入場は認めない。

エ．試験場へは許可されたもの以外は持ち込まないこと。

オ．試験場ではすべて監督者の指示に従うこと。もし従わない場合は、退場を命じられることがある。

カ．定期試験に欠席した者は、試験期間終了後３日以内に、所定の「試験欠席届・追試験願」を学生サポートセンター（修学担当）へ提出すること。

③ 定期試験時間は、授業時間と同じとする(P.3 参照)。

（3）追　試　験

やむを得ない事由で試験に欠席した者の願い出に対しては、追試験を行う。追試験を受けようとする者は、**試験期間終了後３日以内**に学生サポートセンター（修学担当）所定の「試験欠席届・追試験願」に、次のものを添付し学生サポートセンター（修学担当）へ提出しなければならない。

① 病気の場合は、医療機関による診断書（欠席した日が明記されているもの）

② 就職試験・公式試合などの場合は、学生部長の具申書

③ 忌引・出席停止の感染症および交通機関の事故など不可抗力による欠席の場合はそれを証明するもの。

忌引	両親	７日
	兄弟姉妹・祖父母	３日
	同居の親族	１日

（遠隔地の場合は往復の時間を考慮する。なお、上記日数は休日等を含む）

最終成績は 100 点を最高点とし、追試験料は１科目につき 500 円とする。ただし、③の場合の追試験料は徴収しない。

（注）無届欠席者および上記の条件を充たさない者に対しては、追試験は行わない。

（4）再　試　験

卒業判定時の不合格科目のうち、次の全ての条件を充たした場合にのみ、大学運営会議の承認を得て再試験を受験することができる。ただし、再試験に合格後卒業できる場合に限る。

① 卒業に要する科目

② 40 点以上の科目

③ 卒業判定時の学期に受講した科目（不足する場合は、卒業判定時の１つ前の学期に受講した科目）

ただし、４科目を限度とし、余分は認めない。

再試験の成績評価は可（60 点）・不可のいずれかとする。

再試験料は１科目につき 1,000 円とする。

再試験の対象となる科目が複数ある場合は、再試験の申し込み時に選択する。

（5）不正行為

不正行為をしないよう厳正な態度で受験すること。

試験における不正行為とは、次のことをいう。

① レポート・論文・実習・製作物において盗用する行為。

※盗用の疑いがあるときは、厳正に調査の上、盗用の有無を確認する。

② 筆記試験において、他の学生の答案をのぞき見て写しとったり、他の学生に写させたりする行為。

③ その他不正な手段を用いて受験すること。

不正行為をした者は、次のとおり処分する。

ア．定期試験期間開始にさかのぼって、試験期間中は停学処分とする。

イ．当該学期における一切の単位の修得を認めず、評価については０点とする。

ウ．卒業学年の再試験における不正行為については、当該科目のみ単位の修得を認めず、評価については０点とする。

（6）卒業予定者の発表〈2021年２月12日㈮〉

卒業予定者は掲示により発表を行う。各自の責任において、必ず登校して確認すること。

卒業予定者の中に学生証番号が載っていない者は、卒業の要件が充たされず現時点では卒業できないと判定された者であるため、必ず学生サポートセンター（修学担当）において事後の指示を受けること。

資格の取得については、学生サポートセンター（修学担当）において確認すること。

５．休学・復学

休学していた者が復学願によって次年度以降に復学する場合、原級留置を希望していなければ次の学年に進級するものとする。

※原級留置とは休学等により、進級学年での履修が困難とされる場合、学生本人の申し出により現学年に留まることをいう。

Ⅱ　カ リ キ ュ ラ ム

1．ライフデザイン学科
〈2019 年度入学生対象〉

群	系	分野	授業科目	1単位当たりの授業時間数	授業形態	単位数 1年	単位数 2年	必・選	備考
ライフデザインスタンダード（社会人力）	ライフデザイン	ライフデザイン	京都光華の学び	30	演習	1		必修	
			ライフデザイン総論	30	演習	1			
			ライフデザイン特論Ⅰ	30	演習		1		
			ライフデザイン特論Ⅱ	30	演習		1		
			色彩とライフデザイン	15	講義	2			
		コミュニケーション	プレゼンテーション演習	30	演習	2			
			プレゼンテーション・セオリー	15	講義	2		選択必修	
			プレゼンテーション・ベーシック	15	演習	2			
			声と表現Ⅰ	15	演習	2			
			声と表現Ⅱ	15	演習	2			
			笑いのコミュニケーション演習	15	演習	2			
		社会を学ぶ	社会を知る	15	講義	2		必修	
			時事問題	15	講義	2		選択必修	
			環境問題	15	講義	2			
			京の伝統文化を創る	30	演習	1			
			くらしに生きるものづくり	15	演習	2			
			マスメディア論	15	講義	2			
			現代消費生活論	15	講義	2			
			サブカルチャー論	15	講義	2			
			社会学	15	講義	2			
			くらしのなかの経済学	15	講義	2			
			京都学	15	講義	2			
			学生が創る「地域」	15	演習	2			
			学生が創る「学び」	15	演習	2			
			ライフ創彩	30	演習	1			
		ビジネス基礎	言葉と表現	15	講義	2			
			言葉の理解	15	講義	2			
			就職のためのベーシックスキル	15	演習	2			
			数の理解	15	講義	2			

群	系	分野	授業科目	1単位当たりの授業時間数	授業形態	単位数 1年	単位数 2年	必・選	備考
ライフデザインスタンダード（社会人力）	ライフデザイン	情報基礎	情報処理概論	15	講義	2		選択必修	
			ワープロ演習Ⅰ	15	演習	2			
			ワープロ演習Ⅱ	15	演習	2			
			表計算演習Ⅰ	15	演習	2			
			表計算演習Ⅱ	15	演習	2			
			PC活用プレゼンテーション演習	15	演習	2			
	心の世界	仏教の人間観	仏教の人間観Ⅰ	15	講義	2		必修	段階履修
			仏教の人間観Ⅱ	15	講義	2		選択必修	
		心のふれあい	カウンセリング理論	15	講義	2			選択必修科目については、10単位修得すること。ただし、10単位を超えて修得した単位は選択科目の単位として振替えることができる。
			カウンセリングスキル	30	演習	2			
			ボランティア論	15	講義	2			
			ホスピタリティ論	15	講義	2			
			臨床心理学	15	講義	2			
	女性の生き方	キャリア＆ウーマン	女性のキャリアデザイン	15	講義	2			
			ジェンダー論	15	講義	2			
			女将論	15	講義	2			
			女性の心と身体	15	講義	2			
	グローバル	国際社会	国際関係論	15	講義	2			
			世界の民族と文化	15	講義	2			
			世界のテーマパーク論	15	講義		2		
		外国語	英語Ⅰ	30	演習	1			
			英語Ⅱ	30	演習	1			
			TOEICⅠ	30	演習	2			
			TOEICⅡ	30	演習	2			
			TOEICⅢ	30	演習		2		
			中国語	30	演習	1			
			ハングル	30	演習	1			
			日本語Ⅰ	30	演習	1			外国人留学生対象段階履修
			日本語Ⅱ	30	演習	1			
			日本事情Ⅰ	30	演習	1			外国人留学生対象段階履修
			日本事情Ⅱ	30	演習	1			
		留学	外国の大学での短期研修	15	演習	2			
			外国の大学での短期留学	15	演習	4			

群	系	分野	授業科目	1単位当たりの授業時間数	授業形態	単位数 1年	単位数 2年	必・選	備考
ライフデザインプロフェッショナル（就職力）	ファッション	ファッション基礎	衣生活概論	15	講義	2		選択	
			ファッション基礎演習	15	演習	2			
			ファッション・アパレル材料	15	講義	2			
			ファッションデザイン史	15	講義		2		
			アパレルソーイング	30	実習	2			
		ファッションクリエイティブ	アクセサリー制作実習	30	実習		2		
			ファッションクリエイティブ実習	30	実習		2		
		ファッションビジネス	ファッションビジネス論	15	講義	2			
			ファッションプランニング	15	演習		2		
			ファッションビジネス演習	15	演習		2		
			ファッションコーディネート演習	15	演習	2			
	ブライダル	ブライダル基礎	ブライダル総論	15	講義	2			
			ブライダル検定ベーシック	15	講義	2			
			ブライダル演習	15	演習		2		
			ブライダル検定アドバンス	15	講義		2		
		ブライダルビジネス	ブライダル実務	15	講義	2			
			ブライダルプロデュース	15	講義		2		
	フード	食生活	食品と調理	15	講義	2			
			栄養と健康	15	講義	2			
			調理実習	30	実習	2			
			食文化演習	30	実習		2		
			製菓実習Ⅰ	30	実習	2			
			製菓実習Ⅱ	30	実習		2		
			食生活概論	15	講義	2			
		フードビジネス	フードビジネス論	15	講義		2		
			食空間コーディネートⅠ	15	演習		2		
			食空間コーディネートⅡ	15	演習		2		
	インテリア	インテリア	インテリアデザイン論	15	講義	2			
			住居・インテリア設計製図実習	30	実習	2			
			リビングデザイン演習	15	演習		2		
			インテリアパース演習	30	演習	2			
			インテリアエレメント	15	講義	2			
			インテリア計画	15	講義		2		
			インテリア設計特講	15	講義		2		

群	系	分野	授業科目	1単位当たりの授業時間数	授業形態	単位数 1年	単位数 2年	必・選	備考
ライフデザインプロフェッショナル（就職力）	インテリア	住まいとくらし	住生活概論	15	講義	2		選択	
			住居プランニング	15	講義	2			
			住居管理学	15	講義	2			
			住生活史	15	講義		2		
			居住福祉論	15	講義	2			
			ガーデニング	15	演習	2			
	デザイン企画	デザインベーシック	色彩の基礎	15	講義	2			
			造形基礎演習	15	演習	2			
			デザインベーシックスタディ	15	演習	2			
		デザインコーディネート	デザインシンキング	15	講義	2			
			ラッピングデザイン	15	講義		2		
			ブランドデザイニング	15	講義		2		
			デザインプロフェッショナルワークⅠ	15	講義	2			
			デザインプロフェッショナルワークⅡ	15	講義		2		
			ユニバーサルデザイン論	15	講義	2			
		情報デザイン	コンピュータグラフィックス論	15	講義	2			
			インターネット演習	15	演習		2		
			コンピュータグラフィックス演習Ⅰ	15	演習	2			
			コンピュータグラフィックス演習Ⅱ	15	演習		2		
			コンピュータグラフィックス演習Ⅲ	15	演習		2		
	ビジネス	ビジネス実務	ビジネス実務演習	15	演習	2			
			秘書検定特講	15	演習	2			
			ビジネス実務総論	15	講義		2		
			簿記会計学	15	講義		2		
		医療事務	メディカルクラークⅠ	15	講義	2			
			メディカルクラークⅡ	15	講義	2			
			メディカルクラーク応用	15	講義	1			
			ドクターズクラークⅠ	15	講義	2			
			ドクターズクラークⅡ	15	講義	2			
			調剤報酬請求事務	15	講義	2			
			ケアクラーク	15	講義	2			

群	系	分野	授業科目	1単位当たりの授業時間数	授業形態	単位数		必・選	備考
						1年	2年		
ライフデザインプロフェッショナル（就職力）	ビジネス	エンターテイメント	エンターテイメント論Ⅰ	15	講義	2		選択	
			エンターテイメント論Ⅱ	15	講義	2			
			女性と放送業界	15	講義	2			
			カメラ・ビデオ演習	30	演習	2			
		観光	観光概論	15	講義	2			
			京のくらし	15	講義	2			
			観光ビジネス実務総論	15	講義	2			
			ツアープランニング	15	講義	2			
			ホテル・航空ビジネス実務	15	講義	2			
			観光事業論	15	講義		2		

2．ライフデザイン学科
〈2020 年度入学生対象〉

群	分野	授業科目	1単位当たりの授業時間数	授業形態	単位数 1年	単位数 2年	必・選	備考
ライフデザインスタンダード（社会人力）	ライフデザイン	京都光華の学びⅠ	30	演習	1		必修	選択必修科目については、10 単位修得すること。ただし、10 単位を超えて修得した単位は選択科目の単位として振替えることができる。
		京都光華の学びⅡ	30	演習	1			
		ライフデザイン特論Ⅰ	30	演習		1		
		ライフデザイン特論Ⅱ	30	演習		1		
		色彩とライフデザイン	15	講義	2			
		仏教の人間観Ⅰ	15	講義	2			
		仏教の人間観Ⅱ	15	講義	2		選択必修	
	コミュニケーション	プレゼンテーション演習	30	演習	2		必修	
		プレゼンテーション・セオリー	15	講義	2		選択必修	
		プレゼンテーション・ベーシック	15	演習	2			
		声と表現Ⅰ	15	演習	2			
		声と表現Ⅱ	15	演習	2			
		笑いのコミュニケーション演習	15	演習	2			
		カウンセリング理論	15	講義	2			
		カウンセリングスキル	30	演習	2			
		ボランティア論	15	講義	2			
		ホスピタリティ論	15	講義	2			
		臨床心理学	15	講義	2			
		女性の心と身体	15	講義	2			
		ジェンダー論	15	講義	2			
		女将論	15	講義	2			
	社会を学ぶ	社会を知る	15	講義	2		必修	
		女性のキャリアデザイン	15	講義	2		選択必修	
		時事問題	15	講義	2			
		環境問題	15	講義	2			
		京の伝統文化を創る	30	演習	1			
		くらしに生きるものづくり	15	演習	2			
		マスメディア論	15	講義	2			
		現代消費生活論	15	講義	2			
		サブカルチャー論	15	講義	2			

群	分野	授業科目	1単位当たりの授業時間数	授業形態	単位数 1年	単位数 2年	必・選	備考
ライフデザインスタンダード（社会人力）	社会を学ぶ	社会学	15	講義	2		選択必修	
		くらしのなかの経済学	15	講義	2			
		学生が創る「学び」	15	演習	2			
		ライフ創彩	30	演習	1			
		京のくらし	15	講義	2			
		学生が創る「地域」	15	演習	2			
	ビジネス基礎	ビジネス実務演習	15	演習	2			
		秘書検定特講	15	演習	2			
		ビジネス実務総論	15	講義		2		
		簿記会計学	15	講義		2		
		言葉と表現	15	講義	2			
		言葉の理解	15	講義	2			
		就職のためのベーシックスキル	15	演習	2			
		数の理解	15	講義	2			
	情報基礎	コンピュータ概論	15	講義	2			
		情報社会の未来を知る	15	講義	2			
		ワープロスキルⅠ	15	演習	2			
		ワープロスキルⅡ	15	演習	2			
		表計算スキルⅠ	15	演習	2			
		表計算スキルⅡ	15	演習	2			
		PC活用プレゼンテーション演習	15	演習	2			
		コンピュータグラフィックス論	15	講義	2			
		インターネット演習	15	演習		2		
		コンピュータグラフィックス演習Ⅰ	15	演習	2			
		コンピュータグラフィックス演習Ⅱ	15	演習		2		
	グローバル	国際関係論	15	講義	2			
		世界の民族と文化	15	講義	2			
		外国の大学での短期研修	15	演習	2			
		外国の大学での短期留学	15	演習	4			
		英語Ⅰ	30	演習	1			
		英語Ⅱ	30	演習	1			
		TOEICⅠ	30	演習	2			
		TOEICⅡ	30	演習	2			
		TOEICⅢ	30	演習		2		

群	分野	授業科目	1単位当たりの授業時間数	授業形態	単位数 1年	単位数 2年	必・選	備考
ライフデザインスタンダード（社会人力）	グローバル	中国語	30	演習	1		選択必修	
		ハングル	30	演習	1			
		日本語Ⅰ	30	演習	1			外国人留学生対象段階履修
		日本語Ⅱ	30	演習	1			
		日本事情Ⅰ	30	演習	1			外国人留学生対象段階履修
		日本事情Ⅱ	30	演習	1			
ライフデザインプロフェッショナル（就職力）	ファッション	衣生活概論	15	講義	2		選択	
		世界の服飾史	15	講義		2		
		被服の材料学	15	講義	2			
		服作り演習	30	演習	2			
		クチュール制作演習	30	演習		2		
		テキスタイル演習	30	演習		2		
		アクセサリー制作演習	30	演習		2		
		ファッションビジネス論	15	講義	2			
		ファッションコーディネート演習	15	演習	2			
		ファッションビジネス演習	30	演習		2		
	ブライダル	ブライダル総論	15	講義	2			
		ブライダル検定ベーシック	15	講義	2			
		ブライダル演習	15	演習		2		
		ブライダル検定アドバンス	15	講義		2		
		ブライダル実務	15	講義	2			
		ブライダルプロデュース	15	講義		2		
	フード	食品と調理	15	講義	2			
		栄養と健康	15	講義	2			
		調理実習	30	実習	2			
		食文化演習	30	実習		2		
		製菓実習Ⅰ	30	実習	2			
		製菓実習Ⅱ	30	実習		2		
		食生活概論	15	講義	2			
		フードビジネス論	15	講義		2		
		食空間コーディネート	15	演習		2		

群	分野	授業科目	1単位当たりの授業時間数	授業形態	単位数 1年	単位数 2年	必・選	備考
ライフデザインプロフェッショナル（就職力）	インテリア	インテリアデザイン論	15	講義	2		選択	
		住居・インテリア設計製図実習	30	実習	2			
		リビングデザイン演習	15	演習		2		
		インテリアパース演習	30	演習	2			
		インテリア計画	15	講義		2		
		インテリア設計特講	15	講義		2		
		住生活概論	15	講義	2			
		住居プランニング	15	講義	2			
		住居管理学	15	講義	2			
		住生活史	15	講義		2		
		居住福祉論	15	講義	2			
	デザイン企画	色彩の基礎	15	講義	2			
		造形基礎演習	15	演習	2			
		デザイン概論	15	講義	2			
		商品企画論	15	講義	2			
		ユニバーサルデザイン	15	講義	2			
		ブランドデザイニング	15	講義		2		
		ユーザー体験価値デザインⅠ	15	講義	2			
		ユーザー体験価値デザインⅡ	15	講義		2		
		パッケージデザイン演習	30	演習		1		
	医療事務	メディカルクラークⅠ	15	講義	2			
		メディカルクラークⅡ	15	講義	2			
		メディカルクラーク応用	15	講義	1			
		ドクターズクラークⅠ	15	講義	2			
		ドクターズクラークⅡ	15	講義	2			
		調剤報酬請求事務	15	講義	2			
		ケアクラーク	15	講義	2			
	エンターテイメント	エンターテイメント論Ⅰ	15	講義	2			
		エンターテイメント論Ⅱ	15	講義	2			
		女性と放送業界	15	講義	2			
		映画を視る・映画を創る	30	演習	1			
		カメラ演習	15	演習	2			

群	分野	授業科目	1単位当たりの授業時間数	授業形態	単位数		必・選	備考
					1年	2年		
ライフデザインプロフェッショナル（就職力）	観光	観光概論	15	講義	2		選択	
		京都学	15	講義	2			
		観光ビジネス実務総論	15	講義	2			
		ツアープランニング	15	講義	2			
		ホテル・航空ビジネス実務	15	講義	2			
		観光事業論	15	講義		2		
		世界のテーマパーク論	15	講義		2		

３．大学からの提供科目

全学共通科目

リベラルアーツ教育科目（基礎教養科目）				
授業科目	単位数	配当年次	備考	区分
健康の科学	2	1・2	各クラス　10名	科目等履修
生涯スポーツ入門	2	1・2	各クラス　5名	
スポーツ実技Ⅰ	1	1	d：医療福祉・心理クラス　10名 j：キャリアクラス　10名	
スポーツ実技Ⅱ	1	1・2	各クラス　20名	
日本文化の理解	2	1・2	各クラス　5名	
現代アジア事情	2	1・2	各クラス　5名	
日本国憲法	2	1・2	各クラス　5名	
現代社会と法	2	1・2	各クラス　5名	
現代社会と政治	2	1・2	各クラス　5名	
生命の科学	2	1・2	各クラス　5名	
文化人類学	2	1・2	各クラス　5名	
心理学	2	1・2	各クラス5名	
インターンシップ	2	1・2	制限なし	

その他専門科目

学科名：心理学科				
授業科目	単位数	配当年次	備考	区分
心理学概論	2	1	各クラス　10名	科目等履修
臨床心理学入門	2	1	各クラス　10名	
社会心理学入門	2	1	各クラス　10名	
発達心理学入門（保育の心理学）	2	1	各クラス　10名	

Ⅲ　資格の取得

〔ライフデザイン学科〕

1．ビジネス実務士Ⓝ資格（2020 年度入学生）

所定の単位を充足すれば全国大学実務教育協会から「ビジネス実務士」の称号認定を受けることができる。認定を受けるには次の各号により**必修科目6単位、選択科目10単位以上、計16単位以上**を履修し、単位を修得しなければならない。

（1）ビジネス実務士Ⓝ認定に関する科目

A　必修科目（必要単位数 6 単位）

授業科目	履修方法	単位数	配当年次	備　考
ビジネス実務演習	演習	2	1	
プレゼンテーション演習	演習	2	2	
ビジネス実務総論	講義	2	2	

B　選択科目（必要単位数 10 単位、うち各科目領域より 1 科目以上、2 単位以上必要）

科目領域	授業科目	履修方法	単位数	配当年次	備　考
領域Ⅰ	コンピュータ概論	講義	2	1	
	ワープロスキルⅠ	演習	2	1	
	ワープロスキルⅡ	演習	2	1	
	表計算スキルⅠ	演習	2	1	
	表計算スキルⅡ	演習	2	1	
	PC 活用プレゼンテーション演習	演習	2	1	
	インターネット演習	演習	2	2	
領域Ⅱ	京都光華の学びⅠ	演習	1	1	
	京都光華の学びⅡ	演習	1	1	
	プレゼンテーション・セオリー	講義	2	1	
	プレゼンテーション演習	演習	2	1	
	時事問題	講義	2	1・2	
	環境問題	講義	2	1・2	
	社会を知る	講義	2	1	
	カウンセリングスキル	演習	2	1	
	ボランティア論	講義	2	1	
	ホスピタリティ論	講義	2	1	
	女性のキャリアデザイン	講義	2	1	
	女性と放送業界	講義	2	1	
	国際関係論	講義	2	1・2	
	簿記会計学	講義	2	2	
	笑いのコミュニケーション演習	演習	2	1	
	世界の民族と文化	講義	2	1・2	

（2）ビジネス実務士認定証交付について

ビジネス実務士認定証は卒業時に交付される。交付申請にあたっては 5,500 円程度を要する。

1．ビジネス実務士Ⓝ資格（2019 年度入学生）

所定の単位を充足すれば全国大学実務教育協会から「ビジネス実務士」の称号認定を受けることができる。認定を受けるには次の各号により**必修科目4単位、選択科目12単位以上、計16単位以上**を履修し、単位を修得しなければならない。

（1）ビジネス実務士Ⓝ認定に関する科目

A　必修科目（必要単位数 4 単位）

授業科目	履修方法	単位数	配当年次	備　　考
ビジネス実務演習	演習	2	1	
ビジネス実務総論	講義	2	2	

B　選択科目（必要単位数 12 単位、うち各科目群より 1 科目以上、2 単位以上必要）

科目群	授業科目	履修方法	単位数	配当年次	備　　考
Ⅰ群ビジネス実務知識・スキル分野	プレゼンテーション演習	演習	2	1	
	情報処理概論	講義	2	1	
	ワープロ演習Ⅰ	演習	2	1	
	ワープロ演習Ⅱ	演習	2	1	
	表計算演習Ⅰ	演習	2	1	
	表計算演習Ⅱ	演習	2	1	
	インターネット演習	演習	2	2	
	簿記会計学	講義	2	2	
Ⅱ群キャリア・教養分野	京都光華の学び	演習	1	1	
	ライフデザイン総論	演習	2	1	
	プレゼンテーション・セオリー	講義	2	1	
	時事問題	講義	2	1・2	
	環境問題	講義	2	1・2	
	社会を知る	講義	2	1	
	カウンセリングスキル	演習	2	1	
	ボランティア論	講義	2	1	
	ホスピタリティ論	講義	2	1	
	女性のキャリアデザイン	講義	2	1	
	女性と放送業界	講義	2	1	
	国際関係論	講義	2	1・2	
	笑いのコミュニケーション演習	演習	2	1	
	世界の民族と文化	講義	2	1・2	

（2）ビジネス実務士認定証交付について

ビジネス実務士認定証は卒業時に交付される。交付申請にあたっては 5,500 円程度を要する。

２．情報処理士Ⓝ資格（2020 年度入学生）

所定の単位を充足すれば全国大学実務教育協会から「情報処理士」の称号認定を受けることができる。認定を受けるには**必修科目6単位、選択科目10単位以上、計16単位以上**を履修し、単位を修得しなければならない。

（1）情報処理士Ⓝ認定に関する科目

A　必修科目（必要単位数６単位）

授業科目	履修方法	単位数	配当年次	備　　考
コンピュータ概論	講義	2	1	
社会を知る	講義	2	1	
プレゼンテーション演習	演習	2	1	

B　選択科目（必要単位数 10 単位、うち各科目領域より１科目以上、２単位以上必要）

科目領域	授業科目	履修方法	単位数	配当年次	備　　考
領域Ⅰ	ワープロスキルⅠ	演習	2	1	
	ワープロスキルⅡ	演習	2	1	
	表計算スキルⅠ	演習	2	1	
	表計算スキルⅡ	演習	2	1	
	PC 活用プレゼンテーション演習	演習	2	1	
	インターネット演習	演習	2	2	
	コンピュータグラフィックス論	講義	2	1	
	コンピュータグラフィックス演習Ⅰ	演習	2	1	
領域Ⅱ	コンピュータグラフィックス演習Ⅱ	演習	2	2	
	京都光華の学びⅠ	演習	1	1	
	京都光華の学びⅡ	演習	1	1	
	簿記会計学	講義	2	2	
	時事問題	講義	2	1・2	
	環境問題	講義	2	1・2	
	カウンセリングスキル	演習	2	1	
	ボランティア論	講義	2	1	
	ホスピタリティ論	講義	2	1	
	女性のキャリアデザイン	講義	2	1	
	女性と放送業界	講義	2	1	
	国際関係論	講義	2	1・2	
	笑いのコミュニケーション演習	演習	2	1	
	世界の民族と文化	講義	2	1・2	
領域Ⅲ	プレゼンテーション・セオリー	講義	2	1	

（2）情報処理士認定証交付について

情報処理士認定証は卒業時に交付される。交付申請にあたっては 5,500 円程度を要する。

２．情報処理士Ⓝ資格（2019 年度入学生）

所定の単位を充足すれば全国大学実務教育協会から「情報処理士」の称号認定を受けることができる。認定を受けるには**必修科目4単位、選択科目12単位以上、計16単位以上**を履修し、単位を修得しなければならない。

（1）情報処理士Ⓝ認定に関する科目

A　必修科目（必要単位数４単位）

授業科目	履修方法	単位数	配当年次	備　考
情報処理概論	講義	2	1	
表計算演習Ⅰ	演習	2	1	

B　選択科目（必要単位数 12 単位、うち各科目群より 1 科目以上、2 単位以上必要）

科目群	授業科目	履修方法	単位数	配当年次	備　考
Ⅰ群情報処理知識・スキル分野	ワープロ演習Ⅰ	演習	2	1	
	ワープロ演習Ⅱ	演習	2	1	
	表計算演習Ⅱ	演習	2	1	
	PC活用プレゼンテーション演習	演習	2	1	
	インターネット演習	演習	2	2	
	コンピュータグラフィックス論	講義	2	1	
	コンピュータグラフィックス演習Ⅰ	演習	2	1	
	コンピュータグラフィックス演習Ⅱ	演習	2	2	
Ⅱ群キャリア・教養分野	京都光華の学び	演習	1	1	
	ライフデザイン総論	演習	2	1	
	プレゼンテーション・セオリー	講義	2	1	
	時事問題	講義	2	1・2	
	環境問題	講義	2	1・2	
	社会を知る	講義	2	1	
	カウンセリングスキル	演習	2	1	
	ボランティア論	講義	2	1	
	ホスピタリティ論	講義	2	1	
	女性のキャリアデザイン	講義	2	1	
	女性と放送業界	講義	2	1	
	国際関係論	講義	2	1・2	
	笑いのコミュニケーション演習	演習	2	1	
	世界の民族と文化	講義	2	1・2	

（2）情報処理士認定証交付について

情報処理士認定証は卒業時に交付される。交付申請にあたっては 5,500 円程度を要する。

３．上級情報処理士Ⓝ資格（2020 年度入学生）

所定の単位を充足すれば全国大学実務教育協会から「上級情報処理士」の称号認定を受けることができる。認定を受けるには**必修科目 8 単位、選択科目 16 単位以上、計 24 単位以上**を履修し、単位を修得しなければならない。

（1）上級情報処理士Ⓝ認定に関する科目

A　必修科目（必要単位数 8 単位）

授業科目	履修方法	単位数	配当年次	備　考
コンピュータ概論	講義	2	1	
プレゼンテーション演習	演習	2	1	
表計算スキルⅡ	演習	2	1	
社会を知る	講義	2	1	

B　選択科目（必要単位数 16 単位，うちⅠ群 6 単位以上、Ⅱ群 2 単位以上必要）

科目群	授業科目	履修方法	単位数	配当年次	備　考
領域Ⅰ	ワープロスキルⅠ	演習	2	1	
	PC 活用プレゼンターション演習	演習	2	1	
	表計算スキルⅠ	演習	2	1	
	プレゼンテーション・セオリー	講義	2	1	
	コンピュータグラフィックス論	講義	2	1	
	コンピュータグラフィックス演習Ⅰ	演習	2	1	
領域Ⅱ	インターネット演習	演習	2	2	
	京都光華の学びⅠ	演習	1	1	
	ワープロスキルⅡ	演習	2	1	
	京都光華の学びⅡ	演習	1	1	
	コンピュータグラフィックス演習Ⅱ	演習	2	2	
領域Ⅲ	時事問題	講義	2	1・2	
	環境問題	講義	2	1・2	
	カウンセリングスキル	演習	2	1	
	ボランティア論	講義	2	1	
	ホスピタリティ論	講義	2	1	
	女性のキャリアデザイン	講義	2	1	
	女性と放送業界	講義	2	1	
	国際関係論	講義	2	1・2	
	笑いのコミュニケーション演習	演習	2	1	
	世界の民族と文化	講義	2	1・2	
	簿記会計学	講義	2	2	

（2）上級情報処理士認定証交付について

上級情報処理士認定証は卒業時に交付される。交付申請にあたっては 7,700 円程度を要する。

３．上級情報処理士Ⓝ資格（2019 年度入学生）

所定の単位を充足すれば全国大学実務教育協会から「上級情報処理士」の称号認定を受けることができる。認定を受けるには**必修科目 6 単位、選択科目 18 単位以上、計 24 単位以上**を履修し、単位を修得しなければならない。

（1）上級情報処理士Ⓝ認定に関する科目

A　必修科目（必要単位数 6 単位）

授業科目	履修方法	単位数	配当年次	備　考
プレゼンテーション演習	演習	2	1	
情報処理概論	講義	2	1	
表計算演習Ⅰ	演習	2	1	

B　選択科目（必要単位数 18 単位、うちⅠ群 6 単位以上、Ⅱ群 2 単位以上必要）

科目群	授業科目	履修方法	単位数	配当年次	備　考
Ⅰ群情報処理知識・スキル分野	ワープロ演習Ⅰ	演習	2	1	
	ワープロ演習Ⅱ	演習	2	1	
	表計算演習Ⅱ	演習	2	1	
	インターネット演習	演習	2	2	
	コンピュータグラフィックス論	講義	2	1	
	コンピュータグラフィックス演習Ⅰ	演習	2	1	
	コンピュータグラフィックス演習Ⅱ	演習	2	2	
Ⅱ群キャリア・教養分野	京都光華の学び	演習	1	1	
	ライフデザイン総論	演習	2	1	
	プレゼンテーション・セオリー	講義	2	1	
	時事問題	講義	2	1・2	
	環境問題	講義	2	1・2	
	社会を知る	講義	2	1	
	カウンセリングスキル	演習	2	1	
	ボランティア論	講義	2	1	
	ホスピタリティ論	講義	2	1	
	女性のキャリアデザイン	講義	2	1	
	女性と放送業界	講義	2	1	
	国際関係論	講義	2	1・2	
	笑いのコミュニケーション演習	演習	2	1	
	世界の民族と文化	講義	2	1・2	

（2）上級情報処理士認定証交付について

上級情報処理士認定証は卒業時に交付される。交付申請にあたっては 7,700 円程度を要する。

４．プレゼンテーション実務士資格（2020 年度入学生）

所定の単位を充足すれば全国大学実務教育協会から「プレゼンテーション実務士」の称号認定を受けることができる。認定を受けるには**必修科目６単位、選択必修科目４単位、選択科目 10 単位以上**の計 20 単位以上を履修し、単位を修得しなければならない。また、**必修科目および選択必修科目のうち必修科目１科目以上を含む３科目以上は 70 点以上（『良』以上）の成績評価を取得**しなければならない。

（1）プレゼンテーション実務士認定に関する科目

A　必修科目（必要単位数６単位）※１科目以上『良』以上の成績評価の修得が必要

学　科　名	授業形態	単位数	配当年次	備　考
プレゼンテーション演習	演習	2	1	1科目以上『良』以上の成績評価の修得が必要
社会を知る	講義	2	1	
ライフデザイン特論Ⅰ	演習	1	2	
ライフデザイン特論Ⅱ	演習	1	2	

B　選択必修科目（必要単位数４単位以上）
※ A 必修科目を含み、合計３科目以上『良』以上の成績評価の修得が必要

学　科　名	授業形態	単位数	配当年次	備　考
プレゼンテーション・セオリー	講義	2	1	A　必修科目を含み、合計３科目以上『良』以上の成績の修得が必要
ＰＣ活用プレゼンテーション演習	演習	2	1	
言葉と表現	講義	2	1	
笑いのコミュニケーション演習	演習	2	1	
プレゼンテーション・ベーシック	演習	2	1	

C　選択科目（必要単位数 10 単位以上）

学　科　名	授業形態	単位数	配当年次	備　考
時事問題	講義	2	1・2	
環境問題	講義	2	1・2	
ワープロスキルⅠ	演習	2	1	
ワープロスキルⅡ	演習	2	1	
表計算スキルⅠ	演習	2	1	
表計算スキルⅡ	演習	2	1	
コンピュータグラフィックス論	講義	2	1	
コンピュータグラフィックス演習Ⅰ	演習	2	1	
コンピュータグラフィックス演習Ⅱ	演習	2	2	
カメラ演習	演習	2	1	
国際関係論	講義	2	1・2	
ビジネス実務演習	演習	2	1	
ビジネス実務総論	講義	2	2	
簿記会計学	講義	2	2	
観光事業論	講義	2	2	
学生が創る「地域」	演習	2	1・2	
学生が創る「学び」	演習	2	1・2	

（2）プレゼンテーション実務士認定証交付について

プレゼンテーション実務士認定証は卒業時に交付される。交付申請にあたっては 5,500 円程度を要する。

４．プレゼンテーション実務士資格（2019 年度入学生）

所定の単位を充足すれば全国大学実務教育協会から「プレゼンテーション実務士」の称号認定を受けることができる。認定を受けるには**必修科目 4 単位、選択必修科目 6 単位、選択科目 10 単位以上**の計 20 単位以上を履修し、単位を修得しなければならない。また、**必修科目および選択必修科目のうち必修科目 1 科目以上を含む 3 科目以上は 70 点以上（『良』以上）の成績評価を取得**しなければならない。

（1）プレゼンテーション実務士認定に関する科目

A　必修科目（必要単位数 4 単位）※ 1 科目以上『良』以上の成績評価の修得が必要

授業科目	履修方法	単位数	配当年次	備　考
プレゼンテーション・セオリー	講義	2	1	
プレゼンテーション演習	演習	2	1	

B　選択必修科目（必要単位数 6 単位）※A 必修科目を含み、合計 3 科目以上『良』以上の成績の修得が必要

授業科目	履修方法	単位数	配当年次	備　考
プレゼンテーション・ベーシック	演習	2	1	
ＰＣ活用プレゼンテーション演習	演習	2	1	
言葉と表現	講義	2	1	

C　選択科目（必要単位数 10 単位以上）

授業科目	履修方法	単位数	配当年次	備　考
時事問題	講義	2	1・2	
環境問題	講義	2	1・2	
産官学連携プロジェクトⅠ	演習	1	1・2	2018 年度入学生のみ
産官学連携プロジェクトⅡ	演習	1	1・2	2018 年度入学生のみ
学生が創る「地域」	演習	2	1・2	
学生が創る「学び」	演習	2	1・2	
社会を知る	講義	2	1	
ワープロ演習Ⅰ	演習	2	1	
ワープロ演習Ⅱ	演習	2	1	
表計算演習Ⅰ	演習	2	1	10 単位以上
表計算演習Ⅱ	演習	2	1	
コンピュータグラフィックス論	講義	2	1	
コンピュータグラフィックス演習Ⅰ	演習	2	1	
コンピュータグラフィックス演習Ⅱ	演習	2	2	
カメラ・ビデオ演習	演習	2	1	
国際関係論	講義	2	1・2	
ビジネス実務演習	演習	2	1	
ビジネス実務総論	講義	2	2	
簿記会計学	講義	2	2	
笑いのコミュニケーション演習	演習	2	1	
観光事業論	講義	2	2	

（2）プレゼンテーション実務士認定証交付について

プレゼンテーション実務士認定証は卒業時に交付される。交付申請にあたっては 5,500 円程度を要する。

５．観光実務士資格（2020 年度入学生）

所定の単位を充足すれば全国大学実務教育協会から「観光ビジネス実務士」の称号認定を受けることができる。認定を受けるには**必修科目 8 単位、選択科目 16 単位以上、計 24 単位以上**を履修し、単位を修得しなければならない。

（1）観光ビジネス実務士認定に関する科目

A　必修科目（必要単位数８単位）

授業科目	履修方法	単位数	配当年次	備　考
観光概論	講義	2	1	
ライフデザイン特論Ⅰ	演習	1	2	
ライフデザイン特論Ⅱ	演習	1	2	
観光ビジネス実務総論	講義	2	1	
京都光華の学びⅠ	演習	1	1	
京都光華の学びⅡ	演習	1	1	

B　選択科目（必要単位数 16 単位以上、うち領域Ⅰより 4 単位以上、領域Ⅱより 4 単位以上必要）

科目群	授業科目	履修方法	単位数	配当年次	備　考
領域Ⅰ	プレゼンテーション・セオリー	講義	2	1	4 科目 8 単位以上
	ユニバーサルデザイン論	講義	2	1	
	京のくらし	講義	2	1	
	ホスピタリティ論	講義	2	1	
	ワープロスキルⅠ	演習	2	1	
	プレゼンテーション演習	演習	2	1	
	プレゼンテーション・ベーシック	演習	2	1	
	言葉と表現	講義	2	1	
	言葉の理解	講義	2	1	
	ワープロスキルⅡ	演習	2	1	
	表計算スキルⅠ	演習	2	1	
	表計算スキルⅡ	演習	2	1	
領域Ⅱ	観光事業論	講義	2	2	
	女将論	講義	2	1・2	
	ツアープランニング	講義	2	1	
	ホテル・航空ビジネス実務	講義	2	1	
	世界のテーマパーク論	講義	2	2	
領域Ⅲ	学生が創る「地域」	演習	2	1・2	
	学生が創る「学び」	演習	2	1・2	
	女性のキャリアデザイン	講義	2	1	
	ボランティア論	講義	2	1	

（2）観光ビジネス実務士認定証交付について

観光ビジネス実務士認定証は卒業時に交付される。交付申請にあたっては 7,700 円程度を要する。

5．観光ビジネス実務士資格（2019 年度入学生）

所定の単位を充足すれば全国大学実務教育協会から「観光ビジネス実務士」の称号認定を受けることができる。認定を受けるには**必修科目 4 単位、選択科目 20 単位以上、計 24 単位以上**を履修し、単位を修得しなければならない。

（1）観光ビジネス実務士認定に関する科目

A　必修科目（必要単位数 4 単位）

授業科目	履修方法	単位数	配当年次	備　　考
観光概論	講義	2	1	
観光ビジネス実務総論	講義	2	1	

B　選択科目（必要単位数 20 単位，うちⅠ群より 4 単位以上、Ⅱ群より 4 単位以上必要）

科目群	授業科目	履修方法	単位数	配当年次	備　　考
Ⅰ群観光学関連分野	観光事業論	講義	2	2	
	ホスピタリティ論	講義	2	1	
	世界のテーマパーク論	講義	2	1・2	
	京のくらし	講義	2	1	
Ⅱ群観光実務関連分野	女将論	講義	2	1・2	
	ツアープランニング	講義	2	1	
	ホテル・航空ビジネス実務	講義	2	1	
Ⅲ群キャリア・教養分野総合的実践実務分野	プレゼンテーション・セオリー	講義	2	1	
	言葉と表現	講義	2	1	
	言葉の理解	講義	2	1	
	ワープロ演習Ⅰ	演習	2	1	
	ワープロ演習Ⅱ	演習	2	1	
	表計算演習Ⅰ	演習	2	1	
	ユニバーサルデザイン論	講義	2	1	
	表計算演習Ⅱ	演習	2	1	
	プレゼンテーション演習	演習	2	1	
	プレゼンテーション・ベーシック	演習	2	1	
	学生が創る「地域」	演習	2	1・2	
	学生が創る「学び」	演習	2	1・2	
	京都光華の学び	演習	1	1	
	ライフデザイン総論	演習	2	1	
	女性のキャリアデザイン	講義	2	1	
	ボランティア論	講義	2	1	

（2）観光ビジネス実務士認定証交付について

観光ビジネス実務士認定証は卒業時に交付される。交付申請にあたっては 7,700 円程度を要する。

６．ピアヘルパー

ピアヘルパーの資格を取得しようとする者は、本学で開講されている以下の３科目６単位を修得し、かつ、認定試験に合格しなければならない。なお、単位修得見込みでの受験も可能である。

ピアヘルパー認定試験　受験資格に関する科目

Ａ　必修科目（必要単位数６単位）

授業科目	履修方法	単位数	配当年次	備考
臨床心理学	講義	2	1	
カウンセリング理論	講義	2	1	
カウンセリングスキル	演習	2	1	

Ⅳ　2020年度開講科目表

区分		学科目	クラス	担当者	単位	必･選	配当年次	授業期間	備考
ライフデザイン・スタンダード（社会人力）	ライフデザイン	京都光華の学びⅠ	a	小山理子	1	必修	1	前期	クラス：1-1、2019年度入学生「京都光華の学び」
				鹿島我					クラス：1-1、2019年度入学生「京都光華の学び」
			b	羽深太郎					クラス：1-2、2019年度入学生「京都光華の学び」
				鹿島我					クラス：1-2、2019年度入学生「京都光華の学び」
			c	久世奈欧					クラス：1-3、2019年度入学生「京都光華の学び」
				鹿島我					クラス：1-3、2019年度入学生「京都光華の学び」
			d	青木正明					クラス：1-4、2019年度入学生「京都光華の学び」
				鹿島我					クラス：1-4、2019年度入学生「京都光華の学び」
			e	辻野孝					クラス：1-5、2019年度入学生「京都光華の学び」
				鹿島我					クラス：1-5、2019年度入学生「京都光華の学び」
			f	郭雅雯					クラス：1-6、2019年度入学生「京都光華の学び」
				鹿島我					クラス：1-6、2019年度入学生「京都光華の学び」
		京都光華の学びⅡ		小山理子	1	必修	1	後期	2019年度入学生「ライフデザイン総論」
				久世奈欧					
		ライフデザイン特論Ⅰ	a	青木正明	1	必修	2	前期	「ライフデザイン特論Ⅱ」と同じ担当者のクラスは履習できない
			b	久世奈欧					
			c	小山理子					
			d	羽深太郎					
			e	辻野孝					
			f	濵田明美					
			g	森際孝司					
			h	郭雅雯					
		ライフデザイン特論Ⅱ	a	青木正明	1	必修	2	後期	「ライフデザイン特論Ⅰ」と同じ担当者のクラスは履習できない
			b	久世奈欧					
			c	小山理子					
			d	羽深太郎					
			e	辻野孝					
			f	濵田明美					
			g	森際孝司					
			h	郭雅雯					

区分		学科目	クラス	担当者	単位	必・選	配当年次	授業期間	備考
ライフデザイン・スタンダード（社会人力）	ライフデザイン	色彩とライフデザイン	a	青木正明	2	必修	1	前期	クラス：1～3
				辻野孝					
				濵田明美					
				羽深太郎					
				郭雅雯					
			b	青木正明					クラス：4～6
				辻野孝					
				濵田明美					
				羽深太郎					
				郭雅雯					
		仏教の人間観Ⅰ	a	金沢豊	2	必修	1	前期	クラス：1～2
			b	梶哲也					クラス：3～4
			c	梶哲也					クラス：5～6
		仏教の人間観Ⅱ	j	金沢豊	2	選択必修	1・2	後期	大学と共通開講 2019年度入学生は段階履修
			k	金沢豊					
	コミュニケーション	プレゼンテーション演習	a	相場浩和	2	必修	1	前期	クラス：1～2
				青木正明					
			b	小山理子					クラス：3～4
				郭雅雯					
			c	鹿島我					クラス：5～6
				羽深太郎					
		プレゼンテーション・セオリー		森際孝司	2	選択必修	1	後期	
		プレゼンテーション・ベーシック		鹿島我	2	選択必修	1	後期	
				相場浩和					
		声と表現Ⅰ		池和歌子	2	選択必修	1	前期	
		声と表現Ⅱ		池和歌子	2	選択必修	1	後期	
		笑いのコミュニケーション演習		鹿島我	2	選択必修	1	前期	
		カウンセリング理論		臼井卓也	2	選択必修	1	後期	
		カウンセリングスキル		森際孝司	2	選択必修	1	後期	
				猪澤歩					
				臼井卓也					
		ボランティア論		妹尾香織	2	選択必修	1	後期	
		ホスピタリティ論		石丸淑子	2	選択必修	1	前期	
		臨床心理学		猪澤歩	2	選択必修	1	前期	

区分		学科目	クラス	担当者	単位	必・選	配当年次	授業期間	備考
ライフデザイン・スタンダード（社会人力）	コミュニケーション	女性の心と身体		上英俊	2	選択必修	1	前期	
		ジェンダー論		妹尾香織	2	選択必修	1	後期	
		女将論		石丸淑子	2	選択必修	1・2	前期	
	社会を学ぶ	社会を知る	a	脇田哲志	2	必修	1	後期	aクラスは1～3組 bクラスは4～6組
			b						
		女性のキャリアデザイン		小山理子	2	選択必修	1	後期	
		時事問題		脇田哲志	2	選択必修	1・2	前期	
		環境問題		高野拓樹	2	選択必修	1・2	後期	
		京の伝統文化を創る		相場浩和 鹿島我 久世奈欧	1	選択必修	1・2	後期	
		くらしに生きるものづくり		久世奈欧 青木正明	2	選択必修	1・2	後期	
		マスメディア論		中谷聡	2	選択必修	1・2	後期	
		現代消費生活論		三室久枝	2	選択必修	1・2	前期	
		サブカルチャー論		久世奈欧	2	選択必修	1・2	前期	
		社会学a		加藤千恵	2	選択必修	1・2	後期	大学と共通開講
		くらしのなかの経済学		阿部一晴	2	選択必修	1・2	後期	大学と共通開講
		学生が創る「学び」		相場浩和 鹿島我 （未定）	2	選択必修	1・2	後期	
		ライフ創彩		相場浩和 鹿島我	1	選択必修	1・2	後期	
		京のくらし		久世奈欧	2	選択	1	前期	
		学生が創る「地域」	a	鹿島我	2	選択必修	1・2	前期集中	
			b	鹿島我 （未定）	2			後期	
			c	鹿島我 （未定）	2			後期	
	ビジネス基礎	ビジネス実務演習	a	大矢友里	2	選択	1	前期	
			b	大矢友里					
		秘書検定特講	a	大矢友里	2	選択	1	前期	
			b	大矢友里				後期	

区分		学科目	クラス	担当者	単位	必・選	配当年次	授業期間	備考
ライフデザイン・スタンダード（社会人力）	ビジネス基礎	ビジネス実務総論		大矢友里 小山理子	2	選択	2	前期	
		簿記会計学		豊岡　司	2	選択	2	後期	
		言葉と表現		久世奈欧	2	選択必修	1	後期	
		言葉の理解		久世奈欧	2	選択必修	1	前期	
		就職のためのベーシックスキル		鹿島　我	2	選択必修	1	後期	
		数の理解		辻野　孝	2	選択必修	1	後期	
	情報基礎	コンピュータ概論		相場浩和	2	選択必修	1	前期	2019年度入学生「情報処理概論」
		情報社会の未来を知る		相場浩和 辻野　孝 森際孝司	2	選択必修	1	後期	2020年度入学生対象
		ワープロスキルⅠ	a	森際孝司	2	選択必修	1	前期	2019年度入学生「ワープロ演習Ⅰ」
			b	森際孝司					
		ワープロスキルⅡ	a	森際孝司	2	選択必修	1	後期	2019年度入学生「ワープロ演習Ⅱ」
			b	森際孝司					
		表計算スキルⅠ	a	相場浩和	2	選択必修	1	前期	2019年度入学生「表計算演習Ⅰ」
			b	相場浩和					
		表計算スキルⅡ	a	相場浩和	2	選択必修	1	後期	2019年度入学生「表計算演習Ⅱ」
			b	相場浩和					
		PC活用プレゼンテーション演習		森際孝司	2	選択必修	1	前期	
		コンピュータグラフィックス論		辻野　孝	2	選択	1	後期	
		インターネット演習		辻野　孝	2	選択	2	前期	
		コンピュータグラフィックス演習Ⅰ		辻野　孝	2	選択	1	後期	
		コンピュータグラフィックス演習Ⅱ		辻野　孝	2	選択	2	前期	
		コンピュータグラフィックス演習Ⅲ		辻野　孝	2	選択	2	後期	
	グローバル	国際関係論		脇田哲志	2	選択必修	1・2	後期	
		世界の民族と文化		脇田哲志	2	選択必修	1・2	前期	
		外国の大学での短期研修		脇田哲志	2	選択必修	1・2	集中	海外研修参加者対象
		外国の大学での短期留学	a	脇田哲志	4	選択必修	1・2	前期	海外留学参加者対象
			b	脇田哲志				後期	
		英語Ⅰ		高居佐紀	1	選択必修	1	前期	
		英語Ⅱ		高居佐紀	1	選択必修	1	後期	
		TOEICⅠ		高居佐紀	2	選択必修	1	前期	
		TOEICⅡ		高居佐紀	2	選択必修	1	後期	
		TOEICⅢ		酒多康嗣	2	選択必修	2	後期	

区分		学科目 クラス	担当者	単位	必・選	配当年次	授業期間	備考
ライフデザイン・スタンダード（社会人力）	グローバル	中国語	劉梅玲	1	選択必修	1・2	前期	
		ハングル	李允昊	1	選択必修	1・2	後期	
		日本語Ⅰ	佐々木幸喜	1	選択必修	1	前期	外国人留学生対象／大学と共通開講
		日本語Ⅱ	佐々木幸喜	1	選択必修	1	後期	外国人留学生対象,「日本語Ⅱ」履修者は「日本語Ⅰ」の単位の修得が必要／大学と共通開講
		日本事情Ⅰ	佐々木幸喜	1	選択必修	1	前期	外国人留学生対象／大学と共通開講
		日本事情Ⅱ	佐々木幸喜	1	選択必修	1	後期	外国人留学生対象,「日本事情Ⅱ」履修者は「日本事情Ⅰ」の単位の修得が必要／大学と共通開講
ライフデザイン・プロフェッショナル（就職力）	ファッション	衣生活概論	青木正明	2	選択	1	前期	
		ファッションデザイン史	青木正明	2	選択	2	後期	
		被服の材料学	青木正明	2	選択	1	前期	2019年度入学生「ファッション・アパレル材料」
		服作り演習	青木正明 松浦久美子	2	選択	1	後期	2019年度入学生「アパレルソーイング」
		ファッションクリエイティブ実習	中山佳子	2	選択	2	前期	
		ファッションプランニング	（本年度不開講）	2	選択	2		
		アクセサリー制作実習	上田香	2	選択	2	前期	
		ファッションビジネス論	青木正明	2	選択	1	後期	
		ファッションコーディネート演習	三浦さやか	2	選択	1・2	後期	
		ファッションビジネス演習	青木正明	2	選択	2	前期	
	ブライダル	ブライダル総論	小山理子	2	選択	1	前期	
		ブライダル検定ベーシック	小山理子	2	選択	1	後期	
		ブライダル演習	小山理子	2	選択	2	前期	
		ブライダル検定アドバンス	小山理子	2	選択	2	後期	
		ブライダル実務	一岡里栄	2	選択	1	前期	
		ブライダルプロデュース	一岡里栄	2	選択	2	後期	
	フード	食品と調理	濵田明美	2	選択	1	前期	
		栄養と健康	両角美幸	2	選択	1	後期	
		調理実習	濵田明美	2	選択	1	前期	
		食文化演習	濵田明美 藤本喜寛	2	選択	2	後期	
		製菓実習Ⅰ	濵田明美	2	選択	1	後期	
		製菓実習Ⅱ	濵田明美	2	選択	2	前期	
		食生活概論	千田眞喜子	2	選択	1	前期	
		フードビジネス論	藤本喜寛	2	選択	2	前期	キャリア形成学科「食文化・フードビジネス」と共通開講
		食空間コーディネートⅠ	横井智恵子	2	選択	2	前期	
		食空間コーディネートⅡ	横井智恵子	2	選択	2	後期	

区分		学科目	クラス	担当者	単位	必・選	配当年次	授業期間	備考
ライフデザイン・プロフェッショナル（就職力）	インテリア	インテリアデザイン論		郭　雅　雯	2	選択	1	前期	
		住居・インテリア設計製図実習		大　髙　和　香	2	選択	1	前期	
		リビングデザイン演習	a	郭　雅　雯	2	選択	2	前期	
			b	郭　雅　雯				後期	
		インテリアパース演習		郭　雅　雯	2	選択	1	後期	
		インテリア計画		郭　雅　雯	2	選択	2	前期	
		インテリア設計特講		今　井　俊　夫	2	選択	2	前期	
		住生活概論		郭　雅　雯	2	選択	1	前期	
		住居プランニング		郭　雅　雯	2	選択	1	後期	
		住居管理学		郭　雅　雯	2	選択	1・2	後期	
		住生活史		岩　波　由　佳	2	選択	2	後期	
		居住福祉論		今　井　俊　夫	2	選択	1・2	前期	
		色彩の基礎		青　木　正　明	2	選択	1	前期	
		造形基礎演習		安　江　　勉	2	選択	1	前期	
	デザイン企画	デザイン概論		羽　深　太　郎	2	選択	1	前期	2019年度入学生「デザインベーシックスタディ」
		商品企画論		羽　深　太　郎	2	選択	1	後期	2020年度入学生対象
		ユニバーサルデザイン		羽　深　太　郎	2	選択	1	後期	2019年度入学生「ユニバーサルデザイン論」
		ユーザー体験価値デザインⅠ		羽　深　太　郎	2	選択	1	後期	2020年度入学生対象
		ブランドデザイニング		羽　深　太　郎	2	選択	2	後期	
		ラッピングデザイン		（本年度不開講）	2	選択	2	前期	
		デザインプロフェッショナルワークⅡ		（本年度不開講）	2	選択	2	前期	
	医療事務	メディカルクラークⅠ	a	田中はるみ	2	選択	1	前期	キャリア形成学科と共通開講
			b	中宮朋子				後期	
		メディカルクラークⅡ	a	田中はるみ	2	選択	1	前期	キャリア形成学科と共通開講
			b	中宮朋子				後期	
		メディカルクラーク応用	a	田中はるみ	1	選択	1	前期集中	キャリア形成学科と共通開講
			b	中宮朋子				後期集中	
		ドクターズクラークⅠ		田中はるみ	2	選択	1	後期	キャリア形成学科と共通開講
		ドクターズクラークⅡ		田中はるみ	2	選択	1	後期	キャリア形成学科と共通開講
		調剤報酬請求事務		附　育　代	2	選択	1	後期	キャリア形成学科と共通開講
		ケアクラーク		附　育　代	2	選択	1	前期	キャリア形成学科と共通開講
	エンターテイメント	エンターテイメント論Ⅰ		鹿　島　　我	2	選択	1	前期	
		エンターテイメント論Ⅱ		鹿　島　　我	2	選択	1	後期	
		女性と放送業界		鹿　島　　我	2	選択	1	前期	

区分		学科目 クラス	担当者	単位	必・選	配当年次	授業期間	備考
ライフデザイン・プロフェッショナル（就職力）	エンターテインメント	カメラ演習	森際孝司	2	選択	1	前期	2020年度入学生対象
		映画を視る・映画を創る	鹿島我	1	選択	1	前期	2020年度入学生対象
	観光	観光概論	久世奈欧	2	選択	1	前期	
		京都学	久世奈欧	2	選択必修	1・2	後期	
		観光ビジネス実務総論	石丸淑子	2	選択	1	後期	
		ツアープランニング	石丸淑子	2	選択	1	後期	
		ホテル・航空ビジネス実務	石丸淑子	2	選択	1	前期	
		観光事業論	久世奈欧	2	選択	2	後期	
		世界のテーマパーク論	石丸淑子	2	選択必修	2	後期	

Ⅴ　2020 年度　シラバス

京都光華の学びⅠ　a～f（1年）

小山　理子、鹿島　我、羽深　太郎
青木　正明、辻野　孝、郭　雅雯

授業テーマ
2年間の短大生活を順調にスタートするために必要な意識・知識を得る
授業の概要
ライフデザイン学科では、卒業後の進路を描きながら、学びたい内容に応じて各自でカリキュラムを組み立てる。そのためには、卒業後の進路とカリキュラムの関連について理解を深める必要がある。この授業は、ライフデザイン学科で2年間学ぶために必要な知識とスキルを身に付けることを目的とする。
到達目標1
チームで協力して課題を解決する中で、自らの役割を果たすことができる
その達成度を見る観点
課題の完成度
その達成度を見るために用いる手法
ポートフォリオの作成
到達目標2
光華の良さと地域とのつながりを発見することができる
その達成度を見る観点
課題の完成度
その達成度を見るために用いる手法
メールの実践
到達目標3
書くこと、読むことの楽しさを知ることができる
その達成度を見る観点
課題の完成度
その達成度を見るために用いる手法
リーディング・ライティング課題
担当形態
複数
授業計画及び授業内容
1．ガイダンス、情報（1）　光華naviの使い方
2．情報（2）　メールの使い方
3．学園史
4．自分の将来について考える（1）
5．自分の将来について考える（2）
6．日本語ライティング（1）　キャッチコピーの作成
7．日本語ライティング（2）　キャッチコピーの発表
8．日本語リーディング（1）　50文字に挑戦　解説、作成
9．日本語リーディング（2）　50文字に挑戦　発表
10．日本語リーディング（3）　選んだ本の紹介
11．ポートフォリオ（1）　ポートフォリオとは
12．ポートフォリオ（2）　ロイロノートの使い方
13．ポートフォリオ（3）　ポートフォリオの作り方
14．ポートフォリオ（4）　発表会
15．まとめ
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
講義と演習をとりまぜて実施する。
授業時間外学修（予習・復習等）について
週間ポートフォリオを毎週欠かさず書くこと。
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
授業への取り組み状況（20%）、リーディング・ライティング課題（30%）、ポートフォリオ（20%）、レポート（30%）
成績評価基準
課題・レポートは、内容の充実度で評価する。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
週間ポートフォリオを毎週欠かさず書くこと。　課題の提出締切を守ること。
オフィスアワー
時間：木曜日　12：00～12：50
場所：個人研究室（6号館2階）小山理子　研212、鹿島我　研207、羽深太郎　研202、久世奈欧　研204、青木正明　研208、辻野孝　研209、郭雅雯　研201
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

京都光華の学びⅡ（1年）

小山　理子、久世　奈欧

授業テーマ
自己のライフデザインから、1年生後期の学校生活の価値、意義を理解し、今後の学生生活をより豊かにするための行動を考え実践する
授業の概要
1年生後期の学校生活の送り方、学び方について考え、目標設定、学習計画を立て、目標達成に向けて実践する。就職活動を経験した先輩、社会で活躍する卒業生を実例としたケーススタディから、自己のライフキャリアの在りかたを考え、人生観、価値観を醸成する。
さらに、人生すごろくの作成を通じて、中期、長期で、ライフキャリアビジョンを考え、その実現や達成に向けて、大学生活の過ごし方を考え、アクションプランを作成する。
到達目標1
自分のキャリアについて考えることができる
その達成度を見る観点
卒業後の進路さらにはその先のキャリアについて、ディスカッションを通じて多様な考え方に触れた上で、自分の意見を述べているか。
その達成度を見るために用いる手法
ディスカッションとレポート
到達目標2
自分にとっての企業を選択する基準を持つ
その達成度を見る観点
人生すごろくを通じて企業や職業についての理解を深め、自分にとっての企業選びの軸を明確にできているか。
その達成度を見るために用いる手法
人生すごろくの発表
到達目標3
就職活動の流れを理解できる
その達成度を見る観点
授業で学んだことを理解し、就職活動の行動計画を具体的に述べているか。
その達成度を見るために用いる手法
レポート
担当形態
複数
授業計画及び授業内容
1．イントロダクション

2．1年生後期の学び方と目標設定、学習ポートフォリオについて
3．第3回就職ガイダンス　先輩の就職活動から学ぶ
4．卒業後のキャリアの検討とディスカッション
5．卒業生のキャリアから学ぶ（卒業生の講話）
6．人生すごろくの作成1
7．人生すごろくの作成2
8．人生すごろくの発表とリフレクションOG懇談会への参加
9．就職活動の概要とOG懇談会への準備
10．OG懇談会への参加
11．OG懇談会のリフレクション
12．第4回就職ガイダンス
13．就職活動に向けて（就活のマナー、身だしなみなど）
14．学習ポートフォリオの編集
15．学習ポートフォリオ発表会、全体のまとめ

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
講義、ディスカッション、ワークで進める。先輩や社会で活躍する卒業生からの講義とディスカッションも行う。学習ポートフォリオの編集、発表、課題の作成、提出などには、ロイロノートを使用する。

授業時間外学修（予習・復習等）について
次回の授業で取り上げる内容や、ゲストスピーカーの講話について、事前に自分自身で基礎的な情報や知識を得る努力を必ず行うこと。授業後は、その日学んだ内容について振り返り、自分の意見をまとめ、提出する。

定期試験の実施の有無
実施無し

成績評価方法
・課題（30%）
・調べ学習の取り組みと発表（30%）
・レポート（40%）

成績評価基準
・課題…与えられた課題に対しての取り組み状況と内容により評価する。
・調べ学習と発表…指定されたテーマについて、情報収集ならびに分析を行った上で、自分の意見としてまとめ、発表できているかを評価する。
・レポート…指定されたテーマについて、授業内容をよく理解し、要点をおさえてまとめられているか評価する。
※授業には出席することが前提のため、出席に対しての加点および評価はおこなわない。

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
先輩や卒業生の生き方や考え方に、関心を持ち、理解しようとすることが重要である。授業では、質問や意見の発表など、積極的な参加を求める。先輩や卒業生へは尊敬の念を持ち誠意ある態度で臨むこと。

オフィスアワー
研究室番号小山　6号館212号室久世　6号館204号室木曜日　12：00-12：50

教科書【学内販売：有】
なし

教科書【学内販売：無】
なし

参考書【学内販売：有】
なし

考書【学内販売：無】
なし

ライフデザイン特論Ⅰａ（２年）

青木　正明

授業テーマ
衣服と流行にまつわる様々な情報取得とその考察

授業の概要
「ファッション」という言葉が「流行の服飾」とほぼ同義で使われているほど、衣服と流行は切り離すことのできないプロダクトおよび概念である。本授業では、衣服と流行に関わる様々な情報を、展覧会鑑賞・企業訪問・映画鑑賞といったより実質的な手法で取り入れてもらう。そして、目と耳と肌を総動員して“体感”し得た知識から、各々が衣服と流行についての考察を行い、社会に出るにあたり衣服と流行に対して今より高次な理解を身に着けてもらうことを狙いとする。

到達目標１
テーマに従って情報収集（調査・学習）する

その達成度を見る観点
テーマごとの課題に沿った情報収集ができているか

その達成度を見るために用いる手法
テーマごとの小課題

到達目標２
テーマに従って集めた情報を基にしてデザイン（企画・計画・意匠作成）する

その達成度を見る観点
テーマごとの課題に沿って収集した情報を利用した考察ができているか

その達成度を見るために用いる手法
テーマごとの小課題及びミニレポート、最終レポート

到達目標３
テーマに従ってデザインしたものを発表する

その達成度を見る観点
考察した内容を文章化し効果的に表現できているか

その達成度を見るために用いる手法
テーマごとの小課題及びミニレポート、最終レポート

担当形態
単独

授業計画及び授業内容
01．オリエンテーション、映画鑑賞「ディオールと私」
02．映画鑑賞「ディオールと私」続き
03．映画鑑賞「プラダを着た悪魔」
04．映画鑑賞「ファッションが教えてくれること」
05．神戸ファッション美術館訪問鑑賞（曜日を変えての学外見学）
06．神戸ファッション美術館訪問鑑賞（曜日を変えての学外見学）
07．企業訪問、株式会社ワコール１（学外見学）
08．企業訪問、株式会社ワコール２（学外見学）
09．映画鑑賞「ポール・スミス」
10．映画鑑賞（内容検討中）
11．アパレル企業人による講義
12．西陣織会館訪問鑑賞（曜日を変えての学外見学）
13．西陣織会館訪問鑑賞（曜日を変えての学外見学）
14．映画鑑賞「ザ・トゥルー・コスト」
15．映画鑑賞「ザ・トゥルー・コスト」のつづき、まとめ
※学外見学の際には交通費が、神戸ファッション美術館では入館料が別途かかります

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
・鑑賞ポイントや簡単な解説を鑑賞テーマごとに配布
・鑑賞テーマごとに課題（解答問題、ミニレポートなど）を次鑑賞テーマまでに提出、教員添削のうえ返却

・全講義終了後に最終レポート提出
授業時間外学修（予習・復習等）について
鑑賞してわからなかったこと、更に興味がわいたことなどを、授業時間外を利用して積極的に調査してください
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
40%：提出課題 40%：授業への取組 20%：最終レポート
成績評価基準
提出課題：得点授業への取組：授業への取組姿勢に関する評価点最終レポート：得点
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
衣服は元来着るためのものですが、世にあふれる様々なプロダクト同様、見ることによっても、そしてそれにまつわるストーリーを聞くことによっても楽しむことができます。そして、やはりほかのプロダクトと同様、楽しむためにはある一定の知識と、楽しみやすくなる視点があります。成績評価などではいろいろ小難しいことを言っていますが、本授業の一番の狙いは、今よりも少しでも、一段でも二段でもステップアップしたところで「服っておもろい！」と思ってもらうことです。服をまじめに楽しめる鑑賞研究対象としてとらえてもらえればと思っています。
オフィスアワー
木曜日昼休み
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

ライフデザイン特論Ｉｂ（２年）

久世　奈欧

授業テーマ
京都市内の神社ご利益マップをつくろう
授業の概要
京都市内には、数多くの寺社仏閣が存在します。寺社仏閣に参ると、それぞれの祭神や本尊やご由緒によって、恋愛成就、健康長寿、出世開運、玉の輿など、さまざまな「ご利益」があるとされています。この授業では、各々の「ご利益」がどういった経緯でうまれ、広まっていったのかを探り、日本人の古くからの祈りの形や、京都市内の寺社仏閣への理解を深めます。また、どこの寺社仏閣にどんな「ご利益」があるのかを調べることによって、観光の助けとなる京都市内の寺社仏閣のご利益マップを作成します。
到達目標１
テーマに従って情報収集（調査・学習）する
その達成度を見る観点
報告資料と報告の完成度
その達成度を見るために用いる手法
授業内報告・期末報告
到達目標２
テーマに従って集めた情報を基にしてデザイン（企画・計画・意匠作成）する
その達成度を見る観点
報告資料と報告の完成度
その達成度を見るために用いる手法
授業内報告・期末報告
到達目標３
テーマに従ってデザインしたものを発表する
その達成度を見る観点
報告資料と報告の完成度
その達成度を見るために用いる手法
授業内報告・期末報告
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
１．寺社仏閣・ご利益　基礎知識
２．寺社参詣の歴史
３．ご利益とご由緒
４．身近な寺社仏閣について調べよう１
５．身近な寺社仏閣について調べよう２
６．ご利益とご由緒について調べよう１
７．ご利益とご由緒について調べよう２
８．現地調査準備
９～11．現地調査
12．ご利益マップを作ろう１
13．ご利益マップを作ろう２
14．ご利益マップを作ろう３
15．まとめ
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
講義・調査・報告・意見を言い合う回をもうけます。現地調査に交通費・拝観料等がかかる場合は自己負担です。
授業時間外学修（予習・復習等）について
授業内報告・期末報告のそれぞれに間に合うように、授業時間内で調べきれなかったことは、授業時間外に調査してください。調査の進度や中間報告を見て、担当教員が適宜アドバイスや指導を行います。
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
中間報告（20％）・期末報告（30%）・授業への取り組み（50％）を総合的に評価します。
成績評価基準
中間報告・期末報告の完成度調査への積極性
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
テーマに興味を持ち、自主的に学習することを求めます。受講中は普段の生活の中でも、寺社仏閣やご利益についての情報を収集できるように心がけてください。寺社仏閣についての知識を身につけ、京都での学生生活をより楽しいものにしてほしいと思っています。
オフィスアワー
研究室番号　6 号館 204 号室毎週木曜日　12：00 ～ 12：50
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

ライフデザイン特論Ｉｃ（２年）

小山　理子

授業テーマ
京のブライダルガイドの制作

授業の概要
京都での挙式、結婚式のニーズの掘り起こしを目的に、京都での挙式、結婚式について深く調べ、分析し、その魅力を発信する。まずは、京都の挙式、結婚式の動向、新郎新婦のニーズ、トレンドなどの必要となる情報を収集・分析、発表、情報共有を行う。その後、現地取材を踏まえ、ガイドマップに情報を加工する。
到達目標１
テーマに従って情報収集（調査・学習）する
その達成度を見る観点
中間発表と企画書で、情報収集した内容が明確に提示されている
その達成度を見るために用いる手法
テーマに関する中間発表および企画書作成
到達目標２
テーマに従って集めた情報を基にしてデザイン（企画・計画・意匠作成）する
その達成度を見る観点
収集した情報から魅力あるコンテンツを根拠をもとに分析している
その達成度を見るために用いる手法
ガイドマップの編集
到達目標３
テーマに従ってデザインしたものを発表する
その達成度を見る観点
コンセプト、背景、根拠、デザインを第三者にも理解できるようにわかりやすく説明する
その達成度を見るために用いる手法
ガイドマップの発表とレポート作成
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
１．ガイダンス
２．京都での挙式と他のエリアでの挙式について
３．現地取材のための情報収集
４．現地調査１
５．現地調査２
６．情報共有
７．ガイドマップの中間発表
８．前半振り返り、後半のガイダンス
９．ガイドマップのコンテンツの作成
10．ガイドマップのデザインの作成
11．現地取材１
12．現地取材２
13．ガイドマップの作成
14．ガイドマップの発表
15．パネル作成
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
講義およびグループワーク
授業時間外学修（予習・復習等）について
授業内容について、配布資料などで必ず復習し、疑問点は次回授業時に質問すること。ブライダル衣装や企画に関連する文献やニュースなどを日頃から確認し見聞を広めておくことが望ましい。復習時間に１時間程度かけること。ただし、課題を与えられた場合はこの限りではない。
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
授業への参加度（30%）課題（30%）レポート（40%）
成績評価基準
・授業への参加度…授業中の積極的な発言や意見、チーム活動への貢献、プレゼンテーションの技量等により評価する。
・課題、レポート…与えられたテーマについて課題、レポートを課す。
※授業には出席することが前提のため、出席に対しての加点および評価はおこなわない。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
現地調査や現地取材のための交通費は自己負担である。また、現地調査や現地取材は通常の授業時間以外（放課後や土曜日）に行うこともある。定期試験中に試験は行わないが、毎回、課題があり、提出が必須である。また、毎回の課題とは別に、中間発表、最終発表、レポートもある。それを覚悟で履修すること。
オフィスアワー
木曜日昼休み
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

ライフデザイン特論Ｉｄ（２年）

羽深　太郎

授業テーマ
デザイン企画を通じた地域貢献への提案
授業の概要
この授業はデザイン企画分野の実践編として行います。京都市が提供する様々な統計調査の分析や学外調査を通じて、身の回りの課題についてグループワークで改善提案を検討します。講義を通じて、デザイン企画分野が狙いとする「デザイン・新しい商品やサービスの提案により人々の生活を豊かにして社会に貢献する」ことを目指します。
到達目標１
テーマに従って情報収集（調査・学習）する
その達成度を見る観点
提案に情報収集した内容が明確に反映されているか。
その達成度を見るために用いる手法
テーマに関する中間発表および企画書。
到達目標２
テーマに従って集めた情報を基にしてデザイン（企画・計画・意匠作成）する
その達成度を見る観点
提案に課題の本質が反映されているか。
その達成度を見るために用いる手法
テーマに関する中間発表および企画書。
到達目標３
テーマに従ってデザインしたものを発表する
その達成度を見る観点
提案は具体的でテーマに沿った実現可能なものか。
その達成度を見るために用いる手法
テーマに関する最終発表とレポートの完成度。
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
１．ガイダンス
２．課題の情報収集　京都市ポータルデータオープンサイトの活用１
３．課題の情報分析　京都市ポータルデータオープンサイトの活用２

4．課題整理とテーマの設定
5．学外調査計画（その1）
6．学外調査（その1）調査場所は第2回～5回の論議で決定します。
7．学外調査（その1）調査場所は第2回～5回の論議で決定します。
8．調査で集めた情報の整理・分析
9．中間報告会
10. 学外調査計画（その2）
11. 学外調査（その2）調査場所は第2回～4回，第10回の論議で決定します。
12. 学外調査（その2）調査場所は第2回～4回，第10回の論議で決定します。
13. 調査で集めた情報の整理・分析
14. プレゼンテーション作成
15. 報告会・まとめ・講評

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
この授業は講義の座学に留まらず、学外調査・検討・ディカッション・レポート作成・報告と多岐に渡ります。欠席はなるべく避けてください。また学外調査の内容は教員からのアドバイスを含めて第2回～4回の講義の中で相談のうえ決定します。

授業時間外学修（予習・復習等）について
中間報告会・プレゼンテーションを実行できるように、講義内で調べきれなかったことは、時間外も活用して各自で自習を実施してください。

定期試験の実施の有無
実施無し

成績評価方法
授業への取り組み状況（20%）中間報告レポート＆プレゼンテーション（30%）最終報告レポート＆プレゼンテーション（50%）で評価する。

成績評価基準
「授業への取り組み」は授業毎に配布するリアクションペーパーにより評価します。中間報告と最終報告については、レポートの内容とプレゼンテーション対して評価します。※授業は出席することが前提のため、出席に対しての加点および評価はおこなわない。

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
学外調査（2回）は基本的に土曜日を利用して実施します。受講に際しては学外調査への参加が必須となります。他の授業とのスケジュールは考慮しますが、受講の際は事前に十分考慮のうえ受講してください。また学外調査で発生する交通費（1000円×2回程度）は学生の自己負担となります。

オフィスアワー
月曜日～金曜日の昼休み。研究室に来てください。

教科書【学内販売：有】
なし

教科書【学内販売：無】
なし

参考書【学内販売：有】
なし

参考書【学内販売：無】
なし

ライフデザイン特論Ⅰｅ（２年）

辻野　孝

授業テーマ
パソコンを使ったもの作り

授業の概要
基本的な図形を組み合わせて形を作ることを基本にして、パソコンを使った「もの作り」を学ぶ。

到達目標１
テーマに従って情報収集（調査・学習）する

その達成度を見る観点
十分に情報を集めている

その達成度を見るために用いる手法
作品ポートフォリオ・プレゼンテーション

到達目標２
テーマに従って集めた情報を基にしてデザイン（企画・計画・意匠作成）する

その達成度を見る観点
課題の完成度

その達成度を見るために用いる手法
課題、総合課題

到達目標３
テーマに従ってデザインしたものを発表する

その達成度を見る観点
課題がテーマに沿っている、内容がまとまっている

その達成度を見るために用いる手法
作品ポートフォリオ、プレゼンテーション

担当形態
単独

授業計画及び授業内容
1．ガイダンス　授業概要　PowerPointによる作図－基本－　課題「似顔絵1」
2．PowerPointによる作図　－応用1－　図形の結合　頂点の編集　課題「似顔絵2」
3．PowerPointによる作図　－応用2－　模様の作成　課題「模様」
4．総合課題1「カレンダー」 企画
5．総合課題1「カレンダー」 日付の作成
6．総合課題1「カレンダー」 イラストの作成
7．総合課題1「カレンダー」 作品ポートフォリオ作成
8．総合課題1「カレンダー」 プレゼンテーション
9．総合課題2「ミニＴシャツ」 企画
10. 総合課題2「ミニＴシャツ」 原案の作成
11. 総合課題2「ミニＴシャツ」 イラストの作成
12. 総合課題2「ミニＴシャツ」 イラストの完成
13. 総合課題2「ミニＴシャツ」 Ｔシャツの完成
14. 総合課題2「ミニＴシャツ」 作品ポートフォリオ作成
15. 総合課題2「ミニＴシャツ」 プレゼンテーション

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
必要に応じてプリント配布し、演習と講義を組み合わせて授業をおこなう。課題作成は、主にPowerPointとWordを使用する。

授業時間外学修（予習・復習等）について
毎回の授業の後、30分程度の復習が必要である。

定期試験の実施の有無
実施無し

成績評価方法
授業への取り組み状況（10%）、課題（30%）、総合課題（30%）、作品ポートフォリオ･プレゼンテーション（30%）で評価する。

成績評価基準
各課題は、次の基準で採点する。「未提出、または、何もできていない」0点、「少しはできているが、半分以下である」1点、「半分以上はできているが不十分である」2点、「条件を満たしている」3点、「条件を満たしたうえ、創意工夫が見られる」4点、作品ポートフォリオは、総合課題として提出した作品の制作過程や作品紹介のポート

フォリオとして作成する。内容の充実度で採点する。また、作品ポートフォリオを使って5分程度のプレゼンテーションをする。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
課題は期限までに提出すること。
オフィスアワー
研究室：6号館2階　研209オフィスアワー：（前期・後期）木曜日　12：00～12：50
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

ライフデザイン特論Ⅰｆ（２年）

濵田　明美

授業テーマ
食生活を設計する
授業の概要
現代の食生活の現状や問題について理解を深めるとともに、京の食文化に関する体験的授業を通して、健康で豊かな食生活を設計するための知識やスキルを身につける。後半では、食に関して興味あるテーマをとりあげて発表する。
到達目標１
テーマに従って情報収集（調査・学習）する
その達成度を見る観点
テーマにふさわしい情報収集（調査・学習）ができているか
その達成度を見るために用いる手法
発表とレポート課題
到達目標２
テーマに従って集めた情報を基にしてデザイン（企画・計画・意匠作成）する
その達成度を見る観点
発表内容や制作物がテーマに従って集めた情報を基にしているか
その達成度を見るために用いる手法
発表とレポート課題
到達目標３
テーマに従ってデザインしたものを発表する
その達成度を見る観点
テーマを伝えるために適切な内容か
その達成度を見るために用いる手法
発表とレポート課題
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
１．オリエンテーション　食生活を見直そう１　食事バランスガイド
２．食生活の現状を知ろう１　食品の表示
３．食生活の現状を知ろう２　食の安全と食生活情報
４．食生活の現状を知ろう３　食料自給率と食品ロス
５．京の食文化を知ろう１　和食の成り立ちと京野菜
６．京の食文化を知ろう２　京野菜を料理する
７．京の食文化を知ろう３「豆腐すくい」をつくる
８．京の食文化を知ろう４「豆腐すくい」の美しさの評価
９．食に関する発表１　テーマ設定と発表方法の説明
10．食に関する発表２　各自で調査など、進行確認
11．食に関する発表３　各自で調査など、進行確認
12．食に関する発表４　各自で調査など、進行確認・進捗状況確認
13．食に関する発表５　各自で調査など、進行確認
14．食に関する発表６　発表と質疑応答
15．食に関する発表７　発表と質疑応答
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
前半は資料を配布して講義形式を中心に授業を進める。また、テーマに関するＤＶＤ教材なども使用する。後半は、食生活・食文化・食育・世界の食糧事情など、興味があるテーマを設定し、調査・実験・制作などを行う。その内容を適切な方法で発表し、振り返りを行い、レポートにまとめて提出する。
授業時間外学修（予習・復習等）について
授業の前半は、講義内容について配布資料などをもとにして復習し、疑問点があれば次回授業時に質問してください。授業の後半は各自のテーマに応じて、授業時間以外にも自主的に学習・調査・制作を進めてください。
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
配点：授業への参加度40％、食に関する発表とレポート60％（設定したテーマについての一般的な知識などがまとめられている10％、その知識を実際の自分の食生活に照らし合わせて調査や実験などを行い、実証している20％、発表10％、レポート20％）
成績評価基準
授業への参加度…授業中の積極的な発言や意見、チーム活動への貢献、プレゼンテーション等により評価する。レポート…テーマについて、自ら行動することにより得られた内容をまとめられているか評価する。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
豆腐すくい制作のための材料費として2000円程度、京野菜を用いた実習材料費として500円程度が必要。京野菜を用いた調理実習は土曜日に実施する。（受講者人数によって授業内容を変更する場合がある）
オフィスアワー
木曜昼休み　　6号館211号室
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
2020オールガイド食品成分表／実教出版栄養科学シリーズ　NEXT　食生活論　／山本茂／奥田豊子編／講談社サイエンティフィク

ライフデザイン特論Ⅰ　ｇ（２年）

森際　孝司

授業テーマ
世界に通用する人材育成
授業の概要
これからの10年先、20年先はどのような社会になっているかを推測することは難しい。変動性・不確実性・複雑性・曖昧性の高いこのような時代に必要な能力は、前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力である。そこにはコミュニケーションを含めた人間関係をうまく構築する

ことが必要であり、その人間関係の第一歩として、まずは自分を知り、他者を理解することが大切である。
人間関係は、さまざまなストレスを感じることがある。しかし、潜在的には良い人間関係を構築したいと考えている人が多いのも事実である。この講義では、心理学をベースとしたさまざまな技法を用い、ゲーム感覚でグループワークを実施する。他者の良いところを発見すると同時に、自分の考え方の特徴や長所も発見できるようになる。また人前で発表することが楽しいと感じる体験ができる。
世界に通用する人材として必要なコミュニケーション能力、主体性・積極性、異文化理解の精神等を身に付けることを目標にアクティブラーニングを中心とした演習を行う。

到達目標 1
テーマに従って情報収集（調査・学習）する
その達成度を見る観点
指定されたテーマについて、指定された時間内に話題を整理し、分かりやすく説明できているか。
その達成度を見るために用いる手法
ほぼ毎回の授業で実施するディスカッションやクラスワークで評価する。
到達目標 2
テーマに従って集めた情報を基にしてデザイン（企画・計画・意匠作成）する
その達成度を見る観点
コミュニケーションの助けとなるツール（ゲーム等）を提案することができるか。
その達成度を見るために用いる手法
最終プレゼンにおいて提案されたコミュニケーションツールを評価する。
到達目標 3
テーマに従ってデザインしたものを発表する
その達成度を見る観点
コミュニケーションの助けとなるツール（ゲーム等）を開発することができるか。。
その達成度を見るために用いる手法
形になったコミュニケーションツールを評価する。
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．オリエンテーション
2．人間関係の第一歩
3．うまくコミュニケーションをとるために
4．コミュニケーションの重要性
5．他者理解・自己開示
6．他の人の良いところを発見
7．自分の良さを確認
8．コンセンサス
9．ファシリテーション
10. コミュニケーションツールの開発
11.「共に生きる」をデザインするグローバル教育
12. 海外で身につけたいもの
13. 海外のプレゼンテーション
14. 研究発表
15. まとめ
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
各時間ごとに実施するグループワークについてフィードバックを行う。
授業時間外学修（予習・復習等）について
この授業では授業時間以外に、コミュニケーションについての復習や授業での発表についての準備のために約3時間を必要とする。
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
プレゼンテーション（50%）・クラスワーク（50%）
成績評価基準
プレゼンテーション：人の心を動かし、人に行動を起こさせるプレゼンテーションができるかを評価する。クラスワーク：授業中に実施される個人ワーク・ペアワーク・グループワークでの積極性を評価する。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
1　履修上の留意点　この授業のテーマに真剣に取り組み、熱心に学びたいという意思を持って受講すること。履修に不安のある人は、履修前に授業担当者（森際）に相談すること（morigiwa@mail.koka.ac.jp）。
2　受講に必要な知識・スキル　新しいことに挑戦し、意見の異なる人とも積極的にコミュニケーションし、そこから新しいものを生み出したいという気持ちが必要となる。
オフィスアワー
前期・後期　水曜日・木曜日の昼休み
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

ライフデザイン特論Ｉｈ（２年）

郭　雅雯

授業テーマ
京都の暮らしを生きる住まい
授業の概要
住まいは、住むためのハコであるだけだはなく、人々がこれまで積み上げてきた時間や空間が織り込まれたものである。京都の伝統的な住まいには、京都の人々の暮らしぶりや考え方が色濃く反映されている。現代に続くこれらの住まいに身を置く住まい手から直接話を聞くことで、住まいと暮らしの文化的社会的側面を学ぶ。
到達目標 1
テーマに従って情報収集（調査・学習）する
その達成度を見る観点
発表内容、レポートの充実度
その達成度を見るために用いる手法
課題発表 _ レポート
到達目標 2
テーマに従って集めた情報を基にしてデザイン（企画・計画・意匠作成）する
その達成度を見る観点
発表内容、発表までの過程の充実度
その達成度を見るために用いる手法
課題発表 _ 授業態度
到達目標 3
テーマに従ってデザインしたものを発表する
その達成度を見る観点
発表のわかりやすさ
その達成度を見るために用いる手法
課題発表
担当形態
単独

授業計画及び授業内容
1　講義：ガイダンス
2　講義：京町家の暮らし　桂離宮
3　学外見学：京の和家具
4　講義：桂離宮
5　学外見学：桂離宮
6　学外見学：桂離宮
7　桂離宮まとめ
8　講義：京都迎賓館
9　学外見学：京都迎賓館
10　学外見学：京都迎賓館
11　京都迎賓館まとめ
12　講義：京町家の夏のしつらえ
13　学外見学：夏のしつらえ京町家
14　学外見学：夏のしつらえ京町家
15　夏のしつらえ京町家　まとめ

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
実物を見て、直接住まい手から話を聞くために学外見学を実施する。そのための事前学習および事後の発表を通して学びを深める。

授業時間外学修（予習・復習等）について
京都は伝統的歴史的建造物の宝庫です。適宜情報提供を行います。授業内で訪れるもの以外でも積極的に訪問し、授業内でも報告してください。

定期試験の実施の有無
実施無し

成績評価方法
授業への積極的参加　20パーセント学外見学についての課題発表とレポート全4回　80パーセント

成績評価基準
授業への積極的参加…授業中の質問などの受講態度。課題発表…内容の充実度合いレポート…内容の充実度合い

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
全4回の学外見学は基本的に週末を利用して実施します。受講に際してはこれらの学外見学への参加が前提となります。他の授業との関連に配慮しますが、受講希望者は土日に活動することが可能かどうか、十分留意して受講してください。また見学料が必要な見学先があります。

オフィスアワー
未定

教科書【学内販売：有】
なし

教科書【学内販売：無】
なし

参考書【学内販売：有】
なし

参考書【学内販売：無】
なし

ライフデザイン特論Ⅱａ（２年）

青木　正明

授業テーマ
衣服と流行にまつわる様々な情報取得とその考察

授業の概要
「ファッション」という言葉が「流行の服飾」とほぼ同義で使われているほど、衣服と流行は切り離すことのできないプロダクトおよび概念である。本授業では、衣服と流行に関わる様々な情報を、展覧会鑑賞・企業訪問・映画鑑賞といったより実質的な手法で取り入れてもらう。そして､目と耳と肌を総動員して“体感”し得た知識から、各々が衣服と流行についての考察を行い、社会に出るにあたり衣服と流行に対して今より高次な理解を身に着けてもらうことを狙いとする。

到達目標１
テーマに従って情報収集（調査・学習）する

その達成度を見る観点
テーマごとの課題に沿った情報収集ができているか

その達成度を見るために用いる手法
テーマごとの小課題

到達目標２
テーマに従って集めた情報を基にしてデザイン（企画・計画・意匠作成）する

その達成度を見る観点
テーマごとの課題に沿って収集した情報を利用した考察ができているか

その達成度を見るために用いる手法
テーマごとの小課題及びミニレポート、最終レポート

到達目標３
テーマに従ってデザインしたものを発表する

その達成度を見る観点
考察した内容を文章化し効果的に表現できているか

その達成度を見るために用いる手法
テーマごとの小課題及びミニレポート、最終レポート

担当形態
単独

授業計画及び授業内容
01. オリエンテーション、映画鑑賞「ディオールと私」
02. 映画鑑賞「ディオールと私」続き
03. 映画鑑賞「プラダを着た悪魔」
04. 映画鑑賞「ファッションが教えてくれること」
05. 神戸ファッション美術館訪問鑑賞（曜日を変えての学外見学）
06. 神戸ファッション美術館訪問鑑賞（曜日を変えての学外見学）
07. 企業訪問、株式会社ワコール１（学外見学）
08. 企業訪問、株式会社ワコール２（学外見学）
09. 映画鑑賞「ポール・スミス」
10. 映画鑑賞（内容検討中）
11. アパレル企業人による講義
12. 西陣織会館訪問鑑賞（曜日を変えての学外見学）
13. 西陣織会館訪問鑑賞（曜日を変えての学外見学）
14. 映画鑑賞「ザ・トゥルー・コスト」
15. 映画鑑賞「ザ・トゥルー・コスト」のつづき、まとめ

※学外見学の際には交通費が、神戸ファッション美術館では入館料が別途かかります

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
・鑑賞ポイントや簡単な解説を鑑賞テーマごとに配布・鑑賞テーマごとに課題（解答問題、ミニレポートなど）を次鑑賞テーマまでに提出、教員添削のうえ返却・全講義終了後に最終レポート提出

授業時間外学修（予習・復習等）について
鑑賞してわからなかったこと、更に興味がわいたことなどを、授業時間外を利用して積極的に調査してください

定期試験の実施の有無
実施無し

成績評価方法
40%：提出課題 40%：授業への取組 20%：最終レポート

成績評価基準
提出課題：得点授業への取組：授業への取組姿勢に関する評価点最終レポート：得点

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
衣服は元来着るためのものですが、世にあふれる様々なプロダクト同様、見ることによっても、そしてそれにま

つわるストーリーを聞くことによっても楽しむことができます。そして、やはりほかのプロダクトと同様、楽しむためにはある一定の知識と、楽しみやすくなる視点があります。成績評価などではいろいろ小難しいことを言っていますが、本授業の一番の狙いは、今よりも少しでも、一段でも二段でもステップアップしたところで「服っておもろい！」と思ってもらうことです。服をまじめに楽しめる鑑賞研究対象としてとらえてもらえればと思っています。

オフィスアワー
木曜日昼休み

教科書【学内販売：有】
なし

教科書【学内販売：無】
なし

参考書【学内販売：有】
なし

参考書【学内販売：無】
なし

ライフデザイン特論Ⅱｂ（２年）

久世　奈欧

授業テーマ
京都市内の神社ご利益マップをつくろう

授業の概要
京都市内には、数多くの寺社仏閣が存在します。寺社仏閣に参ると、それぞれの祭神や本尊やご由緒によって、恋愛成就、健康長寿、出世開運、玉の輿など、さまざまな「ご利益」があるとされています。この授業では、各々の「ご利益」がどういった経緯でうまれ、広まっていったのかを探り、日本人の古くからの祈りの形や、京都市内の寺社仏閣への理解を深めます。また、どこの寺社仏閣にどんな「ご利益」があるのかを調べることによって、観光の助けとなる京都市内の寺社仏閣のご利益マップを作成します。

到達目標１
テーマに従って情報収集（調査・学習）する

その達成度を見る観点
報告資料と報告の完成度

その達成度を見るために用いる手法
授業内報告・期末報告

到達目標２
テーマに従って集めた情報を基にしてデザイン（企画・計画・意匠作成）する

その達成度を見る観点
報告資料と報告の完成度

その達成度を見るために用いる手法
授業内報告・期末報告

到達目標３
テーマに従ってデザインしたものを発表する

その達成度を見る観点
報告資料と報告の完成度

その達成度を見るために用いる手法
授業内報告・期末報告

担当形態
単独

授業計画及び授業内容
１．寺社仏閣・ご利益　基礎知識
２．寺社参詣の歴史
３．ご利益とご由緒
４．身近な寺社仏閣について調べよう１
５．身近な寺社仏閣について調べよう２
６．ご利益とご由緒について調べよう１
７．ご利益とご由緒について調べよう２
８．現地調査準備
９～11．現地調査
12．ご利益マップを作ろう１
13．ご利益マップを作ろう２
14．ご利益マップを作ろう３
15．まとめ

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
講義・調査・報告・意見交換の回をもうけます。現地調査に交通費・拝観料等がかかる場合は自己負担です。

授業時間外学修（予習・復習等）について
授業内報告・期末報告のそれぞれに間に合うように、授業時間内で調べきれなかったことは、授業時間外に調査してください。調査の進度や中間報告を見て、担当教員が適宜アドバイスや指導を行います。

定期試験の実施の有無
実施無し

成績評価方法
中間報告（20％）・期末報告（30％）・授業への取り組み（50％）を総合的に評価します。

成績評価基準
中間報告・期末報告の完成度調査への積極性

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
テーマに興味を持ち、自主的に学習することを求めます。受講中は普段の生活の中でも、寺社仏閣やご利益についての情報を収集できるように心がけてください。寺社仏閣についての知識を身につけ、京都での学生生活をより楽しいものにしてほしいと思っています。

オフィスアワー
研究室番号　6号館204号室毎週木曜日　12：00～12：50

教科書【学内販売：有】
なし

教科書【学内販売：無】
なし

参考書【学内販売：有】
なし

参考書【学内販売：無】
なし

ライフデザイン特論Ⅱｃ（２年）

小山　理子

授業テーマ
京のブライダルガイドの制作

授業の概要
京都での挙式、結婚式のニーズの掘り起こしを目的に、京都での挙式、結婚式について深く調べ、分析し、その魅力を発信する。まずは、京都の挙式、結婚式の動向、新郎新婦のニーズ、トレンドなどの必要となる情報を収集・分析、発表、情報共有を行う。その後、現地取材を踏まえ、ガイドマップに情報を加工する。

到達目標１
テーマに従って情報収集（調査・学習）する

その達成度を見る観点
中間発表と企画書で、情報収集した内容が明確に提示されている

その達成度を見るために用いる手法
テーマに関する中間発表および企画書作成

到達目標２
テーマに従って集めた情報を基にしてデザイン（企画・計画・意匠作成）する
その達成度を見る観点
収集した情報から魅力あるコンテンツを根拠をもとに分析している
その達成度を見るために用いる手法
ガイドマップの編集
到達目標３
テーマに従ってデザインしたものを発表する
その達成度を見る観点
コンセプト、背景、根拠、デザインを第三者にも理解できるようにわかりやすく説明する
その達成度を見るために用いる手法
ガイドマップの発表とレポート作成
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
１．ガイダンス
２．京都での挙式と他のエリアでの挙式について
３．現地取材のための情報収集
４．現地調査１
５．現地調査２
６．情報共有
７．ガイドマップの中間発表
８．前半振り返り、後半のガイダンス
９．ガイドマップのコンテンツの作成
10．ガイドマップのデザインの作成
11．現地取材１
12．現地取材２
13．ガイドマップの作成
14．ガイドマップの発表
15．パネル作成
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
講義およびグループワーク
授業時間外学修（予習・復習等）について
授業内容について、配布資料などで必ず復習し、疑問点は次回授業時に質問すること。ブライダル衣装や企画に関連する文献やニュースなどを日頃から確認し見聞を広めておくことが望ましい。復習時間に１時間程度かけること。ただし､課題を与えられた場合はこの限りではない。
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
授業への参加度（30%）課題（30%）レポート（40%）
成績評価基準
・授業への参加度…授業中の積極的な発言や意見、チーム活動への貢献、プレゼンテーションの技量等により評価する。
・課題、レポート…与えられたテーマについて課題、レポートを課す。
※授業には出席することが前提のため、出席に対しての加点および評価はおこなわない。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
現地調査や現地取材のための交通費は自己負担である。また、現地調査や現地取材は通常の授業時間以外（放課後や土曜日）に行うこともある。定期試験中に試験は行わないが、毎回、課題があり、提出が必須である。また、毎回の課題とは別に、中間発表、最終発表、レポートもある。それを覚悟で履修すること。
オフィスアワー
木曜日昼休み
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

ライフデザイン特論Ⅱｄ（２年）

羽深　太郎

授業テーマ
デザイン企画を通じた地域貢献への提案
授業の概要
この授業はデザイン企画分野の実践編として行います。京都市が提供する様々な統計調査の分析や学外調査を通じて、身の回りの課題についてグループワークで改善提案を検討します。講義を通じて、デザイン企画分野が狙いとする「デザイン・新しい商品やサービスの提案により人々の生活を豊かにして社会に貢献する」ことを目指します。
到達目標１
テーマに従って情報収集（調査・学習）する
その達成度を見る観点
提案に情報収集した内容が明確に反映されているか。
その達成度を見るために用いる手法
テーマに関する中間発表および企画書。
到達目標２
テーマに従って集めた情報を基にしてデザイン（企画・計画・意匠作成）する
その達成度を見る観点
提案に課題の本質が反映されているか。
その達成度を見るために用いる手法
テーマに関する中間発表および企画書。
到達目標３
テーマに従ってデザインしたものを発表する
その達成度を見る観点
提案は具体的でテーマに沿った実現可能なものか。
その達成度を見るために用いる手法
テーマに関する最終発表とレポートの完成度。
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
１．ガイダンス
２．課題の情報収集　京都市ポータルデータオープンサイトの活用１
３．課題の情報分析　京都市ポータルデータオープンサイトの活用２
４．課題整理とテーマの設定
５．学外調査計画（その１）
６．学外調査（その１）調査場所は第２回～5回の論議で決定します。
７．学外調査（その１）調査場所は第２回～5回の論議で決定します。
８．調査で集めた情報の整理・分析
９．中間報告会
10．学外調査計画（その２）
11．学外調査（その２）調査場所は第２回～4回，第10回の論議で決定します。
12．学外調査（その２）調査場所は第２回～4回，第10回の論議で決定します。

13. 調査で集めた情報の整理・分析
14. プレゼンテーション作成
15. 報告会・まとめ・講評

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
この授業は講義の座学に留まらず、学外調査・検討・ディカッション・レポート作成・報告と多岐に渡ります。欠席はなるべく避けてください。また学外調査の内容は教員からのアドバイスを含めて第２回～４回の講義の中で相談のうえ決定します。

授業時間外学修（予習・復習等）について
中間報告会・プレゼンテーションを実行できるように、講義内で調べきれなかったことは、時間外も活用して各自で自習を実施してください。

定期試験の実施の有無
実施無し

成績評価方法
授業への取り組み状況（20%）中間報告レポート＆プレゼンテーション（30%）最終報告レポート＆プレゼンテーション（50%）で評価する。

成績評価基準
「授業への取り組み」は授業毎に配布するリアクションペーパーにより評価します。中間報告と最終報告については、レポートの内容とプレゼンテーション対して評価します。
※授業は出席することが前提のため、出席に対しての加点および評価はおこなわない。

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
学外調査（2回）は基本的に土曜日を利用して実施します。受講に際しては学外調査への参加が必須となります。他の授業とのスケジュールは考慮しますが、受講の際は事前に十分考慮のうえ受講してください。また学外調査で発生する交通費（1000円×２回程度）は学生の自己負担となります。

オフィスアワー
月曜日～金曜日の昼休み。研究室に来てください。

教科書【学内販売：有】
なし

教科書【学内販売：無】
なし

参考書【学内販売：有】
なし

参考書【学内販売：無】
なし

ライフデザイン特論Ⅱｅ（２年）

辻野　孝

授業テーマ
パソコンを使ったもの作り

授業の概要
基本的な図形を組み合わせて形を作ることを基本にして、パソコンを使った「もの作り」を学ぶ。

到達目標１
テーマに従って情報収集（調査・学習）する

その達成度を見る観点
十分に情報を集めている

その達成度を見るために用いる手法
作品ポートフォリオ・プレゼンテーション

到達目標２
テーマに従って集めた情報を基にしてデザイン（企画・計画・意匠作成）する

その達成度を見る観点
課題の完成度

その達成度を見るために用いる手法
課題、総合課題

到達目標３
テーマに従ってデザインしたものを発表する

その達成度を見る観点
課題がテーマに沿っている、内容がまとまっている

その達成度を見るために用いる手法
作品ポートフォリオ、プレゼンテーション

担当形態
単独

授業計画及び授業内容
1．ガイダンス　授業概要　PowerPointによる作図　－基本－　課題「似顔絵1」
2．PowerPointによる作図　－応用１－　図形の結合　頂点の編集　課題「似顔絵2」
3．PowerPointによる作図　－応用２－　模様の作成　課題「模様」
4．総合課題1「カレンダー」 企画
5．総合課題1「カレンダー」 日付の作成
6．総合課題1「カレンダー」 イラストの作成
7．総合課題1「カレンダー」 作品ポートフォリオ作成
8．総合課題1「カレンダー」 プレゼンテーション
9．総合課題2「ミニＴシャツ」 企画
10. 総合課題2「ミニＴシャツ」 原案の作成
11. 総合課題2「ミニＴシャツ」 イラストの作成
12. 総合課題2「ミニＴシャツ」 イラストの完成
13. 総合課題2「ミニＴシャツ」 Ｔシャツの完成
14. 総合課題2「ミニＴシャツ」 作品ポートフォリオ作成
15. 総合課題2「ミニＴシャツ」 プレゼンテーション

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
必要に応じてプリント配布し、演習と講義を組み合わせて授業をおこなう。課題作成は、主にPowerPointとWordを使用する。

授業時間外学修（予習・復習等）について
毎回の授業の後、30分程度の復習が必要である。

定期試験の実施の有無
実施無し

成績評価方法
授業への取り組み状況（10%）、課題（30%）、総合課題（30%）、作品ポートフォリオ･プレゼンテーション（30%）で評価する。

成績評価基準
各課題は、次の基準で採点する。「未提出、または、何もできていない」0点、「少しはできているが、半分以下である」1点、「半分以上はできているが不十分である」2点、「条件を満たしている」3点、「条件を満たしたうえ、創意工夫が見られる」4点、作品ポートフォリオは、総合課題として提出した作品の制作過程や作品紹介のポートフォリオとして作成する。内容の充実度で採点する。また、作品ポートフォリオを使って5分程度のプレゼンテーションをする。

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
課題は期限までに提出すること。

オフィスアワー
研究室：6号館2階　研209オフィスアワー：（前期・後期）木曜日　12：00～12：50

教科書【学内販売：有】
なし

教科書【学内販売：無】
なし

参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

ライフデザイン特論Ⅱ f （２年）

濵田　明美

授業テーマ
食生活を設計する
授業の概要
現代の食生活の現状や問題について理解を深めるとともに、京の食文化に関する体験的授業を通して、健康で豊かな食生活を設計するための知識やスキルを身につける。後半では、食に関して興味あるテーマをとりあげて発表する。
到達目標１
テーマに従って情報収集（調査・学習）する
その達成度を見る観点
テーマにふさわしい情報収集（調査・学習）ができているか
その達成度を見るために用いる手法
発表とレポート課題
到達目標２
テーマに従って集めた情報を基にしてデザイン（企画・計画・意匠作成）する
その達成度を見る観点
発表内容や制作物がテーマに従って集めた情報を基にしているか
その達成度を見るために用いる手法
発表とレポート課題
到達目標３
テーマに従ってデザインしたものを発表する
その達成度を見る観点
テーマを伝えるために適切な内容か
その達成度を見るために用いる手法
発表とレポート課題
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
１．オリエンテーション　食生活を見直そう　1　食事バランスガイド
２．食生活の現状を知ろう　1　食品の表示
３．食生活の現状を知ろう　2　食の安全と食生活情報
４．食生活の現状を知ろう　3　食料自給率と食品ロス
５．京の食文化を知ろう　1　和食の成り立ちと京野菜
６．京の食文化を知ろう　2　京野菜を料理する
７．京の食文化を知ろう　3「豆腐すくい」をつくる
８．京の食文化を知ろう　4「豆腐すくい」の美しさの評価
９．食に関する発表１　テーマ設定と発表方法の説明
10．食に関する発表２　各自で調査など、進行確認
11．食に関する発表３　各自で調査など、進行確認
12．食に関する発表４　各自で調査など、進行確認・進捗状況確認
13．食に関する発表５　各自で調査など、進行確認
14．食に関する発表６　発表と質疑応答
15．食に関する発表７　発表と質疑応答
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
前半は資料を配布して講義形式を中心に授業を進める。また、テーマに関するＤＶＤ教材なども使用する。後半は、食生活・食文化・食育・世界の食糧事情など、興味があるテーマを設定し、調査・実験・制作などを行う。その内容を適切な方法で発表し、振り返りを行い、レポートにまとめて提出する。
授業時間外学修（予習・復習等）について
授業の前半は、講義内容について配布資料などをもとにして復習し、疑問点があれば次回授業時に質問してください。授業の後半は各自のテーマに応じて、授業時間以外にも自主的に学習・調査・制作を進めてください。
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
配点：授業への参加度40％、食に関する発表とレポート60％（設定したテーマについての一般的な知識などがまとめられている10％、その知識を実際の自分の食生活に照らし合わせて調査や実験などを行い、実証している20％、発表10％、レポート20％）
成績評価基準
授業への参加度…授業中の積極的な発言や意見、チーム活動への貢献、プレゼンテーション等により評価する。レポート…テーマについて、自ら行動することにより得られた内容をまとめられているか評価する。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
豆腐すくい制作のための材料費として2000円程度、京野菜を用いた実習材料費として500円程度が必要。京野菜を用いた調理実習は土曜日に実施する。（受講者人数によって授業内容を変更する場合がある）
オフィスアワー
木曜昼休み　　6号館211号室
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
2020オールガイド食品成分表／実教出版栄養科学シリーズ　NEXT　食生活論　／山本茂／奥田豊子編／講談社サイエンティフィク

ライフデザイン特論Ⅱ　g（2年）

森際　孝司

授業テーマ
世界に通用する人材育成
授業の概要
これからの10年先、20年先はどのような社会になっているかを推測することは難しい。変動性･不確実性･複雑性･曖昧性の高いこのような時代に必要な能力は、前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力である。そこにはコミュニケーションを含めた人間関係をうまく構築することが必要であり、その人間関係の第一歩として、まずは自分を知り、他者を理解することが大切である。
人間関係は、さまざまなストレスを感じることがある。しかし、潜在的には良い人間関係を構築したいと考えている人が多いのも事実である。この講義では、心理学をベースとしたさまざまな技法を用い、ゲーム感覚でグループワークを実施する。他者の良いところを発見すると同時に、自分の考え方の特徴や長所も発見できるようになる。また人前で発表することが楽しいと感じる体験ができる。
世界に通用する人材として必要なコミュニケーション能力、主体性・積極性、異文化理解の精神等を身に付ける

ことを目標にアクティブラーニングを中心とした演習を行う。
到達目標 1
テーマに従って情報収集（調査・学習）する
その達成度を見る観点
指定されたテーマについて、指定された時間内に話題を整理し、分かりやすく説明できているか。
その達成度を見るために用いる手法
ほぼ毎回の授業で実施するディスカッションやクラスワークで評価する。
到達目標 2
テーマに従って集めた情報を基にしてデザイン（企画・計画・意匠作成）する
その達成度を見る観点
コミュニケーションの助けとなるツール（ゲーム等）を提案することができるか。
その達成度を見るために用いる手法
最終プレゼンにおいて提案されたコミュニケーションツールを評価する。
到達目標 3
テーマに従ってデザインしたものを発表する
その達成度を見る観点
コミュニケーションの助けとなるツール（ゲーム等）を開発することができるか。。
その達成度を見るために用いる手法
形になったコミュニケーションツールを評価する。
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．オリエンテーション
2．人間関係の第一歩
3．うまくコミュニケーションをとるために
4．コミュニケーションの重要性
5．他者理解・自己開示
6．他の人の良いところを発見
7．自分の良さを確認
8．コンセンサス
9．ファシリテーション
10. コミュニケーションツールの開発
11.「共に生きる」をデザインするグローバル教育
12. 海外で身につけたいもの
13. 海外のプレゼンテーション
14. 研究発表
15. まとめ
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
各時間ごとに実施するグループワークについてフィードバックを行う。
授業時間外学修（予習・復習等）について
この授業では授業時間以外に、コミュニケーションについての復習や授業での発表についての準備のために約3時間を必要とする。
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
プレゼンテーション（50%）・クラスワーク（50%）
成績評価基準
プレゼンテーション：人の心を動かし、人に行動を起こさせるプレゼンテーションができるかを評価する。クラスワーク：授業中に実施される個人ワーク・ペアワーク・グループワークでの積極性を評価する。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
1　履修上の留意点　この授業のテーマに真剣に取り組み、熱心に学びたいという意思を持って受講すること。履修に不安のある人は、履修前に授業担当者（森際）に相談すること（morigiwa@mail.koka.ac.jp）。
2　受講に必要な知識・スキル　新しいことに挑戦し、意見の異なる人とも積極的にコミュニケーションし、そこから新しいものを生み出したいという気持ちが必要となる。
オフィスアワー
前期・後期　水曜日・木曜日の昼休み
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

ライフデザイン特論Ⅱ　h（2 年）

郭　雅雯

授業テーマ
京都の暮らしを生きる住まい
授業の概要
住まいは、住むためのハコであるだけだはなく、人々がこれまで積み上げてきた時間や空間が織り込まれたものである。京都の伝統的な住まいには、京都の人々の暮らしぶりや考え方が色濃く反映されている。現代に続くこれらの住まいに身を置く住まい手から直接話を聞くことで、住まいと暮らしの文化的社会的側面を学ぶ。
到達目標 1
テーマに従って情報収集（調査・学習）する
その達成度を見る観点
発表内容、レポートの充実度
その達成度を見るために用いる手法
課題発表 _ レポート
到達目標 2
テーマに従って集めた情報を基にしてデザイン（企画・計画・意匠作成）する
その達成度を見る観点
発表内容、発表までの過程の充実度
その達成度を見るために用いる手法
課題発表 _ 授業態度
到達目標 3
テーマに従ってデザインしたものを発表する
その達成度を見る観点
発表のわかりやすさ
その達成度を見るために用いる手法
課題発表
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1　講義：ガイダンス
2　講義：京町家の暮らし
3　学外見学：京町家
4　講義：京町家の暮らし _ まとめ
5　講義：コーポラティブハウジング
6　学外見学：生きられる建築
7　学外見学：生きられる建築
8　講義：コーポラティブハウジング　発表
9　講義：里の暮らし　日下部家住宅　図面模写　美山・民家まとめ
10　学外見学：京都美山町／茅葺の里

11　学外見学：京都美山町／茅葺の里
12　民家発表　茅葺民家改修ビデオに学ぶ
13　講義：環境とともにある住まい：
14　学外見学：聴竹居
15　聴竹居
まとめ　発表

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
実物を見て、直接住まい手から話を聞くために学外見学を実施する。そのための事前学習および事後の発表を通して学びを深める。

授業時間外学修（予習・復習等）について
京都は伝統的歴史的建造物の宝庫です。適宜情報提供を行います。授業内で訪れるもの以外でも積極的に訪問し、授業内でも報告してください。

定期試験の実施の有無
実施無し

成績評価方法
授業への積極的参加　20%
学外見学についてのレポート全４回　80%

成績評価基準
授業への積極的参加…授業中の質問などの受講態度。
課題発表…内容の充実度合い
レポート…内容の充実度合い

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
全４回の学外見学は基本的に週末を利用して実施します。受講に際してはこれらの学外見学への参加が前提となります。他の授業との関連に配慮しますが、受講希望者は土日に活動することが可能かどうか、十分留意して受講してください。また見学料が必要な見学先があります。

オフィスアワー
未定

教科書【学内販売：有】
なし

教科書【学内販売：無】
なし

参考書【学内販売：有】
なし

参考書【学内販売：無】
なし

色彩とライフデザイン　a・b（1 年）

青木　正明、辻野　孝、濵田　明美
羽深　太郎、郭　雅雯

授業テーマ
私たちの生活に欠かせない「色彩」を学ぶ

授業の概要
「色彩」は、私たちの暮らしにおいて大きな役割を果たします。まず最初に「色彩」の基礎を理解し、その後にさまざまな分野と「色彩」との関わりについて学習します。

到達目標 1
色彩の基本知識による、配色の楽しさを説明できる

その達成度を見る観点
色彩の基礎知識を理解できているか

その達成度を見るために用いる手法
小テスト、演習、課題の評価

到達目標 2
色彩の知識や情報をもとに自分なりの工夫ができる

その達成度を見る観点
色彩の基礎知識をもとに、演習、課題ができているか

その達成度を見るために用いる手法
小テスト、演習、課題の評価

到達目標 3
くらしに役立つ色彩設計ができる

その達成度を見る観点
食文化、住居・インテリア、情報、デザイン、ファッションにおける色彩の役割が理解できているか

その達成度を見るために用いる手法
小テスト、演習、課題の評価

担当形態
オムニバス

授業計画及び授業内容
01. 導入（青木）
02. 色とはなにか？色と光の話（青木）
03. 色彩論の基礎（青木）
04. 配色の知識１（青木）
05. 配色の知識２（青木）
06. 食文化と色彩１（濵田）
07. 食文化と色彩２（濵田）
08. 住居・インテリアと色彩１（郭）
09. 住居・インテリアと色彩２（郭）
10. 情報と色彩１（辻野）
11. 情報と色彩２（辻野）
12. デザインと色彩１（羽深）
13. デザインと色彩２（羽深）
14. ファッションと色彩１（青木）
15. ファッションと色彩２（青木）

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
視覚的資料の利用などにより、色彩についてできるだけ深い知識を得られるようにします。理解度を高めるために必要に応じて演習や小テストを行います。また、授業の単元ごとに課題の提出を課します。

授業時間外学修（予習・復習等）について
授業で習ったことを復習し、必要に応じて次の授業の予習をしてください。課題制作・復習・予習時間は合わせて１時間 30 分程度を目安として下さい。

定期試験の実施の有無
実施無し

成績評価方法
30%：小テスト、演習 30%：単元ごとの課題 40%：授業への取組

成績評価基準
小テスト：得点演習：完成度（評価点に換算）課題：得点もしくは完成度（評価点に換算）授業への取組：履修態度

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
「日本色研 新配色カード 199b」を必ず購入しておいてください。小テスト、演習、課題などで使用します。色彩に関わる技術は、そのほとんどが理論的背景によって構築されているものです。簡単に言えば、いわゆる“カラーセンス”というものは勉強さえすればある程度のレベルまでは誰でも得ることができます。そのような知識、知恵が得られるような授業にします。

オフィスアワー
木曜昼休み　各教員

教科書【学内販売：有】
なし

教科書【学内販売：無】
なし

参考書【学内販売：有】
日本色研　新配色カード 199b

参考書【学内販売：無】
なし

仏教の人間観Ⅰａ（1年）

金沢　豊

授業テーマ
仏教の基本を知り、人間とは何かを考える
授業の概要
本学の建学の精神である仏教思想に基づき、様ざまな視点から人間とは何かということを考える授業です。4月の学長講話で示される校訓「真実心」から導かれる「慈悲の心」を理解するために、前期は釈尊の生涯と教えを中心に学びます。
到達目標１
テキストに書いてあることを正確に理解することができる
その達成度を見る観点
毎回配布する資料を整理保存すること。必要に応じて音読を指示し、理解を促す。
その達成度を見るために用いる手法
テキストとなる資料を配布し、適切な保存を指示する。
到達目標２
釈尊の生き方を「過去の偉人の伝記」として消化するのではなく、現代の問題や自分自身の生き方ともリンクさせて理解することができる
その達成度を見る観点
毎回提示するテーマに対して、自身の意見を表明すること。
その達成度を見るために用いる手法
毎回提示するテーマに対して、自分の意見を表明するためのリフレクションペーパーを配布する。
到達目標３
理解した内容を正確に説明することができる
その達成度を見る観点
借り物の言葉ではなく、自身が考えた過程を評価する。
その達成度を見るために用いる手法
期末レポートにおいて達成度を見る。
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
１）　オリエンテーション
２）「宗教」とは何か１　建学の精神と大学の歴史
３）「宗教」とは何か２　様々な人間観と文化
４）　釈尊の生涯から考える１－苦しみの意味
５）　釈尊の生涯から考える２－人生最大の発見
６）　釈尊の生涯から考える３－「私」について
７）　釈尊の生涯から考える４－「死」について
８）　ブッダの教え１－「しあわせ」について
９）　ブッダの教え２－「病」について
10）　ブッダの教え３－「正しさ」について
11）　ブッダの教え４－「世界」について
12）　生活と仏教１－ルールと戒律
13）　生活と仏教２－修行と努力
14）　生活と仏教３－お寺のあり方
15）　まとめ
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
毎回プリントを配布します。場合によっては、視聴覚資料も用います。授業は主にその内容を理解するための講義と、授業時間内にリアクションペーパーへの記入を求めます。リアクションペーパーは自分の考え方を形成するために、根拠を示しつつ自ら言葉を他者に伝えるトレーニングを含んでいます。
授業時間外学修（予習・復習等）について
配布するプリントをファイリングし、思考を整理する時間が必要です。生まれた疑問に対して頭と心で納得しようとする、その過程を復習時間とします。板書もしますが、口頭で言ったことや引っかかる点はメモする習慣をつけましょう。それを見直すことが、予習につながります。このような時間が授業外学修の時間となります。
定期試験の実施の有無
実施無し
試験時間
授業期間内に指示する。
試験持込み内容
レポートの提出を課す。
成績評価方法
授業への参加度：50%　レポート試験：50%
成績評価基準
授業への参加度：→　3分の2以上の出席が必要。受講態度やリアクションペーパーの内容も加味するレポート
試験：→提出時期や方法は追って案内する
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
難しいから諦めるのではなく、知らなかったことを知る喜びを感じて欲しいと思います。話題は仏教を中心に時事問題、地域情報、サブカルチャーなど様々提供します。受講生は、私語厳禁、単に在席しているだけでなく、対話の姿勢を心がけてください。
オフィスアワー
授業時間の前後
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
藤丸智雄『ボランティア僧侶』同文館、2013年

仏教の人間観Ⅰ　ｂ・ｃ（1年）

梶　哲也

授業テーマ
仏教の視点を通して人間とは何かを考える
授業の概要
本学の建学の精神である仏教思想に基づき、さまざまな視点から人間とは何かということを考える授業です。
私たちはいろいろな問題を抱えながら生きています。しかし、それらの問題に対する私たちの態度は一様ではありません。日々、それに苦しみながら生きることもあれば、問題を見過ごし気がつくことなく生活しているということもあります。また一つの問題に対しても、一人ひとりがそれぞれの考えを持っています。この授業では生きていく中で直面するさまざまな問題をとりあげて、それに対して釈尊がどのような態度をとられたのかを知り、また自分自身でも考えるという経験を通して、人間とは何かを学ぶ授業です。
到達目標１
テキストに書いてあることを正確に理解することができる
その達成度を見る観点
授業で取り上げる課題において、その課題の要点を理解しているか
その達成度を見るために用いる手法
個人ワークにおける要点把握ペアワーク、グループワークにおける他の意見の把握

到達目標２
釈尊の生き方を「過去の偉人の伝記」として消化するのではなく、現代の問題や自分自身の生き方ともリンクさせて理解することができる
その達成度を見る観点
授業で取り上げる課題と自分との関係を理解しているか課題に対して、釈尊はどのような態度を取ったのかを理解しているか
その達成度を見るために用いる手法
個人ワークにおける要点把握ペアワーク、グループワークにおける意見交換を通した、自身の考えの論述
到達目標３
理解した内容を正確に説明することができる
その達成度を見る観点
他の受講生に、課題に対する自身の意見を述べることができるか
その達成度を見るために用いる手法
ペアワーク、グループワークによる意見交換授業内での発表、発言
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
１）オリエンテーション
２)「人間」とはなにか
３)「しあわせ」とはなにか
４)「生」とはなにか
５)「死」とはなにか
６）宗教講座（5 月）の受講
７）宗教講座（5 月）の振り返り
８)「信じる」とはどういうことか
９)「正しさ」とはなにか
10)「苦しみ」とはなにか
11）宗教講座（6 月）の受講
12）宗教講座（6 月）の振り返り
13)「ブッダ」とはなにか
14)「仏教」とはなにか
15）まとめ
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
毎回プリントを配布します。授業では、主にプリントの内容を理解するための講義と、それについて自身の考えをまとめる個人ワーク、自分の考えを述べ他者と意見を交換するペアワーク、グループワークを行います。
授業時間外学修（予習・復習等）について
授業内で配布するプリントをファイリングし、自身の考えを整理する時間が必要です。授業の中で聞いた釈尊のお話、他者から聞いた意見をもう一度、自分の言葉で捉えなおし、それに対する考えをまとめる。この作業を復習時間とします。
定期試験の実施の有無
実施有り
定期試験方法
レポート
成績評価方法
授業への参加：50 点満点（3 分の 2 以上の出席が必要）
レポート試験：50 点満点合計 100 点満点
成績評価基準
単位の取得には授業への参加点とレポート試験の得点の合計で、60 点以上を獲得することが必要です。授業への参加点は、個人ワーク、ペアワークの内容と参加態度、授業内の発言を重点的に評価します。出席するだけでは十分な評価点が得られないので注意してください。レポート試験の提出時期、方法、課題は授業内で説明します。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
授業では、いまは関心が低いとしても自身の直結する問題を課題として扱います。他人事ではなく、自分事としてとしてワークに取り組んでください。授業中の私語や出欠の不正、ワークへの不参加については厳正に対応します。
オフィスアワー
オリエンテーションにおいて、授業時間外の連絡、質問方法について案内します。
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
授業内で紹介します

仏教の人間観Ⅱ　ｊ・ｋ（1・2 年）

金沢　豊

授業テーマ
仏教の基本を知り、人間とは何かを考える。
授業の概要
本学の建学の精神である仏教思想に基づき、様ざまな視点から人間とは何かということを考える授業です。後期は、自らの生き方について思索を深め、知性や感性を磨くとはどういうことか、特に大乗仏教の思想を中心に提示し、共に考えていきます。
到達目標１
仏教をはじめとする複数の人間観を学び、自分の在り方が他者との関係や社会的基盤から形成されていることを理解する
その達成度を見る観点
毎回配布する資料を整理保存すること。必要に応じて音読を指示し、理解を促す。
その達成度を見るために用いる手法
テキストとなる資料を配布し、適切な保存を指示する。
到達目標２
他者や共同体のあり方に自分がかかわっていることを自覚する
その達成度を見る観点
毎回提示するテーマに対して、自身の意見を表明すること。
その達成度を見るために用いる手法
毎回提示するテーマに対して、自分の意見を表明するためのリフレクションペーパーを配布する。
到達目標３
真実に即した心のコントロールの必要性を十分理解できる
その達成度を見る観点
借り物の言葉ではなく、自身が考えた過程を評価する。
その達成度を見るために用いる手法
期末レポートにおいて達成度を見る。
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
１）　前期の総括
２）　大乗仏教１－仏教史の観点から
３）　大乗仏教２－菩薩という生き方
４）　大乗仏教３－福祉事業との接点
５）　大乗仏教４－年中行事との接点

6） 日本における仏教の変遷１
7） 日本における仏教の変遷２
8） 日本における仏教の変遷３
9） 他者を支える理論と実践１
10） 他者を支える理論と実践２
11） 他者を支える理論と実践３
12） 現代社会の課題と仏教１
13） 現代社会の課題と仏教２
14） 現代社会の課題と仏教３
15） まとめ

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
毎回プリントを配布します。場合によっては、視聴覚資料も用います。授業は主にその内容を理解するための講義と、授業時間内にリアクションペーパーへの記入を求めます。リアクションペーパーは自分の考え方を形成するために、根拠を示しつつ自ら言葉を他者に伝えるトレーニングを含んでいます。

授業時間外学修（予習・復習等）について
配布するプリントをファイリングし、思考を整理する時間が必要です。生まれた疑問に対して頭と心で納得しようとする、その過程を復習時間とします。板書もしますが、口頭で言ったことや引っかかる点はメモする習慣をつけましょう。それを見直すことが、予習につながります。このような時間が授業外学修の時間となります。

定期試験の実施の有無
実施無し

試験時間
期末ですが、講義時間内に案内します。

試験持込み内容
レポート課題ですので、参照が必須です。

成績評価方法
授業への参加度：50％　レポート試験：50％

成績評価基準
授業への参加度：→３分の２以上の出席が必要。受講態度やリアクションペーパーの内容も加味する。
レポート試験：→提出時期や方法は追って案内する。

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
難しいから諦めるのではなく、知らなかったことを知る喜びを感じて欲しいと思います。話題は仏教を中心に時事問題、地域情報、サブカルチャーなど様々提供します。受講生は、私語厳禁、単に在席しているだけでなく、対話の姿勢を心がけてください。

オフィスアワー
授業時間の前後

教科書【学内販売：有】
なし

教科書【学内販売：無】
なし

参考書【学内販売：有】
なし

参考書【学内販売：無】
藤丸智雄『ボランティア僧侶』同文館、2013 年

プレゼンテーション演習　a（1 年）

相場　浩和、青木　正明

授業テーマ
プレゼンテーションの基本的な技法の習得

授業の概要
この授業ではプレゼンテーションの基本的な技法を修得することで、社会人として必要な「決められた時間で自分の考えや意見をわかりやす伝える能力」の習得を目指す。また、相手の発言に対して要点をしっかり理解し正しく批評・コメントできる能力の習得も求める。グループワークにおいては、自己の分析・評価を行い、グループ内での役割を見出し、グループに貢献することが必要となる。プレゼンテーション大会で取り扱う課題は学外の企業や団体、公的機関から広く募集する。テーマ決定後は課題提供者の意向を意識し課題の解決に取り組んでいく。

到達目標１
プレゼンテーションの技法を正しく理解し活用することができる

その達成度を見る観点
プレゼンテーションの技法を正しく理解し活用することができるている

その達成度を見るために用いる手法
授業内の課題への取り組み

到達目標２
制限時間内に自分の意見を述べ、他者の意見に質問することができる

その達成度を見る観点
制限時間内に自分の意見を述べ、他者の意見に質問することができている

その達成度を見るために用いる手法
授業内の課題への取り組み

到達目標３
グループの中で自分の役割を見つけ課題解決のために取り組むことができる

その達成度を見る観点
グループの中で自分の役割を見つけ課題解決のために取り組むことができる

その達成度を見るために用いる手法
「プレゼン大会」に取り組む姿勢と発表内容

担当形態
複数

授業計画及び授業内容
1．ガイダンス「プレゼンテーション能力とはどんな能力か」＜この科目で扱う授業概要、進め方について説明＞
2．プレゼンテーションの基礎１「発表」＜プレゼン発表を通してプレゼンの基礎について学ぶ＞
3．プレゼンテーションの基礎２「構成」＜プレゼン発表を通してプレゼンの構成方法について学ぶ＞
4．プレゼンテーションの基礎３「制限時間」＜プレゼン発表を通して制限時間の概念と意識につい学ぶ＞
5．プレゼンテーションの基礎４「アドリブ」＜プレゼン発表を通してアドリブの効果につい学ぶ＞
6．プレゼンテーションの基礎５「コメントと批評」＜プレゼン発表を通して他者のプレゼンに対して批評しコメントする方法を学ぶ＞
7．中間発表ミニプレゼン大会＜中間発表として個人発表のプレゼン大会を開催する＞
8．プレゼンテーションの応用１「与えられたテーマの読み解き方」＜グループ発表のプレゼン大会に向けて、テーマと概要を提供者が発表する＞
9．プレゼンテーションの応用２「現地取材」＜プレゼン発表に向けて現地取材を行い情報収集を行う＞
10. プレゼンテーションの応用３「資料作成」＜プレゼン大会に向けて現地取材した内容をグループで共有する＞
11. プレゼンテーションの応用４「発表者の役割」＜プレゼン大会に向けてグループ内で役割を決定する＞
12. クラス内プレゼン大会＆クラス代表チームの選出＜クラス内でミニプレゼン大会を開催しクラス代表を選出する＞

13. プレゼンテーションのブラッシュアップ＜プレゼン大会に向けての最終的なブラッシュアップ＞
14. プレゼンテーション大＜プレゼンテーション大会の開催＞
15. プレゼンテーション大会のフィードバック＜プレゼン大会の結果・審査結果についてのフィードバック＞

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
授業方法は課題を与え、それに取り組むことが中心となる。フィードバックは毎回の授業内容について学生の感想、疑問・質問を中心に次回冒頭でフィードバックする。

授業時間外学修（予習・復習等）について
授業で学んだ内容を復習し、次回以降の準備のために毎回 30 分から 1 時間の学修時間が必要である。

定期試験の実施の有無
実施無し

成績評価方法
課題（10%）発表（40%）クラスワーク（50%）

成績評価基準
「課題」は授業内での取り組む姿勢を評価する。「発表」は授業内で課題に即した発表ができているかを評価する。「クラスワーク」はプレゼン大会に向けた、各グループの中で自分の役割を見つけ、グループに貢献し、協力して発表するまでを総合的に評価する。

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
プレゼンテーション演習はライフデザイン学科の就職率と就職質の高さを支える重要な授業の一つである。ただ、身構える必要はない。多くのプレゼン嫌いの人が抱く「勘違い」をただすことから授業を始める。前半の授業はプレゼンとは一見、関係ないのでは？と思う内容（ワーク）かもしれない。しかし、このワークを重ねることで、多くの人が人前で話すことの苦手意識を克服していく。きっと今までは意識しなかった自分の能力に気付くはずである。授業後半はプレゼン大会に向けてのグループワークが中心となる。最後はプレゼン大会での発表が待っているので意欲を持って取り組んでほしい。15 回の授業を終える頃には自信を持って人前で堂々と自分を意見や考えを述べ、他者のプレゼンを正しく評価できるライフデザイン学科生になっているはずである。

オフィスアワー
研究室番号　相場：6 号館　210 号室　青木：6 号館　208 号室　小山：6 号館　212 号室　郭　：6 号館　201 号室　鹿島：6 号館　207 号室　羽深：6 号館　202 号室オフィスアワー前期・後期とも木曜昼休み

教科書【学内販売：有】
なし

教科書【学内販売：無】
なし

参考書【学内販売：有】
なし

参考書【学内販売：無】
なし

プレゼンテーション演習　b（1 年）

小山　理子、郭　雅雯

授業テーマ
プレゼンテーションの基本的な技法の習得

授業の概要
この授業ではプレゼンテーションの基本的な技法を修得することで、社会人として必要な「決められた時間で自分の考えや意見をわかりやす伝える能力」の習得を目指す。また、相手の発言に対して要点をしっかり理解し正しく批評・コメントできる能力の習得も求める。グループワークにおいては、自己の分析・評価を行い、グループ内での役割を見出し、グループに貢献することが必要となる。プレゼンテーション大会で取り扱う課題は学外の企業や団体、公的機関から広く募集する。テーマ決定後は課題提供者の意向を意識し課題の解決に取り組んでいく。

到達目標 1
プレゼンテーションの技法を正しく理解し活用することができる

その達成度を見る観点
プレゼンテーションの技法を正しく理解し活用することができるている

その達成度を見るために用いる手法
授業内の課題への取り組み

到達目標 2
制限時間内に自分の意見を述べ、他者の意見に質問することができる

その達成度を見る観点
制限時間内に自分の意見を述べ、他者の意見に質問することができている

その達成度を見るために用いる手法
授業内の課題への取り組み

到達目標 3
グループの中で自分の役割を見つけ課題解決のために取り組むことができる

その達成度を見る観点
グループの中で自分の役割を見つけ課題解決のために取り組むことができる

その達成度を見るために用いる手法
「プレゼン大会」に取り組む姿勢と発表内容

担当形態
複数

授業計画及び授業内容
1．ガイダンス「プレゼンテーション能力とはどんな能力か」＜この科目で扱う授業概要、進め方について説明＞
2．プレゼンテーションの基礎 1「発表」＜プレゼン発表を通してプレゼンの基礎について学ぶ＞
3．プレゼンテーションの基礎 2「構成」＜プレゼン発表を通してプレゼンの構成方法について学ぶ＞
4．プレゼンテーションの基礎 3「制限時間」＜プレゼン発表を通して制限時間の概念と意識につい学ぶ＞
5．プレゼンテーションの基礎 4「アドリブ」＜プレゼン発表を通してアドリブの効果につい学ぶ＞
6．プレゼンテーションの基礎 5「コメントと批評」＜プレゼン発表を通して他者のプレゼンに対して批評しコメントする方法を学ぶ＞
7．中間発表ミニプレゼン大会＜中間発表として個人発表のプレゼン大会を開催する＞
8．プレゼンテーションの応用 1「与えられたテーマの読み解き方」＜グループ発表のプレゼン大会に向けて、テーマと概要を提供者が発表する＞
9．プレゼンテーションの応用 2「現地取材」＜プレゼン発表に向けて現地取材を行い情報収集を行う＞
10. プレゼンテーションの応用 3「資料作成」＜プレゼン大会に向けて現地取材した内容をグループで共有する＞
11. プレゼンテーションの応用 4「発表者の役割」＜プレゼン大会に向けてグループ内で役割を決定する＞
12. クラス内プレゼン大会＆クラス代表チームの選出＜クラス内でミニプレゼン大会を開催しクラス代表を選出する＞
13. プレゼンテーションのブラッシュアップ＜プレゼン

大会に向けての最終的なブラッシュアップ＞
14. プレゼンテーション大＜プレゼンテーション大会の開催＞
15. プレゼンテーション大会のフィードバック＜プレゼン大会の結果・審査結果についてのフィードバック＞

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
授業方法は課題を与え、それに取り組むことが中心となる。フィードバックは毎回の授業内容について学生の感想、疑問・質問を中心に次回冒頭でフィードバックする。

授業時間外学修（予習・復習等）について
授業で学んだ内容を復習し、次回以降の準備のために毎回30分から1時間の学修時間が必要である。

定期試験の実施の有無
実施無し

成績評価方法
課題（10%）発表（40%）クラスワーク（50%）

成績評価基準
「課題」は授業内での取り組む姿勢を評価する。「発表」は授業内で課題に即した発表ができているかを評価する。「クラスワーク」はプレゼン大会に向けた、各グループの中で自分の役割を見つけ、グループに貢献し、協力して発表するまでを総合的に評価する。

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
プレゼンテーション演習はライフデザイン学科の就職率と就職質の高さを支える重要な授業の一つである。ただ、身構える必要はない。多くのプレゼン嫌いの人が抱く「勘違い」をただすことから授業を始める。前半の授業はプレゼンとは一見、関係ないのでは？と思う内容（ワーク）かもしれない。しかし、このワークを重ねることで、多くの人が人前で話すことの苦手意識を克服していく。きっと今までは意識しなかった自分の能力に気付くはずである。授業後半はプレゼン大会に向けてのグループワークが中心となる。最後はプレゼン大会での発表が待っているので意欲を持って取り組んでほしい。15回の授業を終える頃には自信を持って人前で堂々と自分を意見や考えを述べ、他者のプレゼンを正しく評価できるライフデザイン学科生になっているはずである。

オフィスアワー
研究室番号　相場：6号館　210号室　青木：6号館　208号室　小山：6号館　212号室　郭　：6号館　201号室　鹿島：6号館　207号室　羽深：6号館　202号室オフィスアワー前期・後期とも木曜昼休み

教科書【学内販売：有】
なし

教科書【学内販売：無】
なし

参考書【学内販売：有】
なし

参考書【学内販売：無】
なし

プレゼンテーション演習　c（1年）

鹿島　我、羽深　太郎

授業テーマ
プレゼンテーションの基本的な技法の習得

授業の概要
この授業ではプレゼンテーションの基本的な技法を修得することで、社会人として必要な「決められた時間で自分の考えや意見をわかりやすく伝える能力」の習得を目指す。また、相手の発言に対して要点をしっかり理解し正しく批評・コメントできる能力の習得も求める。グループワークにおいては、自己の分析・評価を行い、グループ内での役割を見出し、グループに貢献することが必要となる。プレゼンテーション大会で取り扱う課題は学外の企業や団体、公的機関から広く募集する。テーマ決定後は課題提供者の意向を意識し課題の解決に取り組んでいく。

到達目標1
プレゼンテーションの技法を正しく理解し活用することができる

その達成度を見る観点
プレゼンテーションの技法を正しく理解し活用することができるている

その達成度を見るために用いる手法
授業内の課題への取り組み

到達目標2
制限時間内に自分の意見を述べ、他者の意見に質問することができる

その達成度を見る観点
制限時間内に自分の意見を述べ、他者の意見に質問することができている

その達成度を見るために用いる手法
授業内の課題への取り組み

到達目標3
グループの中で自分の役割を見つけ課題解決のために取り組むことができる

その達成度を見る観点
グループの中で自分の役割を見つけ課題解決のために取り組むことができる

その達成度を見るために用いる手法
「プレゼン大会」に取り組む姿勢と発表内容

担当形態
複数

授業計画及び授業内容
1．ガイダンス「プレゼンテーション能力とはどんな能力か」＜この科目で扱う授業概要、進め方について説明＞
2．プレゼンテーションの基礎1「発表」＜プレゼン発表を通してプレゼンの基礎について学ぶ＞
3．プレゼンテーションの基礎2「構成」＜プレゼン発表を通してプレゼンの構成方法について学ぶ＞
4．プレゼンテーションの基礎3「制限時間」＜プレゼン発表を通して制限時間の概念と意識につい学ぶ＞
5．プレゼンテーションの基礎4「アドリブ」＜プレゼン発表を通してアドリブの効果につい学ぶ＞
6．プレゼンテーションの基礎5「コメントと批評」＜プレゼン発表を通して他者のプレゼンに対して批評しコメントする方法を学ぶ＞
7．中間発表ミニプレゼン大会＜中間発表として個人発表のプレゼン大会を開催する＞
8．プレゼンテーションの応用1「与えられたテーマの読み解き方」＜グループ発表のプレゼン大会に向けて、テーマと概要を提供者が発表する＞
9．プレゼンテーションの応用2「現地取材」＜プレゼン発表に向けて現地取材を行い情報収集を行う＞
10. プレゼンテーションの応用3「資料作成」＜プレゼン大会に向けて現地取材した内容をグループで共有する＞
11. プレゼンテーションの応用4「発表者の役割」＜プレゼン大会に向けてグループ内で役割を決定する＞
12. クラス内プレゼン大会＆クラス代表チームの選出＜クラス内でミニプレゼン大会を開催しクラス代表を選出する＞
13. プレゼンテーションのブラッシュアップ＜プレゼン大会に向けての最終的なブラッシュアップ＞

14. プレゼンテーション大会＜プレゼンテーション大会の開催＞
15. プレゼンテーション大会のフィードバック＜プレゼン大会の結果・審査結果についてのフィードバック＞

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
授業方法は課題を与え、それに取り組むことが中心となる。フィードバックは毎回の授業内容について学生の感想、疑問・質問を中心に次回冒頭でフィードバックする。

授業時間外学修（予習・復習等）について
授業で学んだ内容を復習し、次回以降の準備のために毎回30分から1時間の学修時間が必要である。

定期試験の実施の有無
実施無し

成績評価方法
課題（10%）発表（40%）クラスワーク（50%）

成績評価基準
「課題」は授業内での取り組む姿勢を評価する。「発表」は授業内で課題に即した発表ができているかを評価する。「クラスワーク」はプレゼン大会に向けた、各グループの中で自分の役割を見つけ、グループに貢献し、協力して発表するまでを総合的に評価する。

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
プレゼンテーション演習はライフデザイン学科の就職率と就職質の高さを支える重要な授業の一つである。ただ、身構える必要はない。多くのプレゼン嫌いの人が抱く「勘違い」をただすことから授業を始める。前半の授業はプレゼンとは一見、関係ないのでは？と思う内容（ワーク）かもしれない。しかし、このワークを重ねることで、多くの人が人前で話すことの苦手意識を克服していく。きっと今までは意識しなかった自分の能力に気付くはずである。授業後半はプレゼン大会に向けてのグループワークが中心となる。最後はプレゼン大会での発表が待っているので意欲を持って取り組んでほしい。15回の授業を終える頃には自信を持って人前で堂々と自分を意見や考えを述べ、他者のプレゼンを正しく評価できるライフデザイン学科生になっているはずである。

オフィスアワー
研究室番号　相場：6号館　210号室　青木：6号館　208号室　小山：6号館　212号室　郭　：6号館　201号室　鹿島：6号館　207号室　羽深：6号館　202号室オフィスアワー前期・後期とも木曜昼休み

教科書【学内販売：有】
なし

教科書【学内販売：無】
なし

参考書【学内販売：有】
なし

参考書【学内販売：無】
なし

プレゼンテーション・セオリー（1年）

森際　孝司

授業テーマ
プレゼンテーションに必要な知識の習得

授業の概要
ビジネスにおけるプレゼンテーションの位置づけやコミュニケーションの機能（情報伝達や説得など）、手段、理論を学ぶ。さらに、プレゼンテーションの実施に向けて、ストーリーのチェックの方法、リハーサルの実施方法、評価の方法など、プレゼンテーションの実践で必要となる知識の修得を目指す。

到達目標1
プレゼンテーション理論をビジネスの場面で有効に活用できる

その達成度を見る観点
指定された時間内に問題で指示された内容を的確に分かりやすく説明できているか。

その達成度を見るために用いる手法
定期試験期間中に実施される筆記試験の成績を用いる。

到達目標2
さまざまなコミュニケーションの方法について場面に応じた使い分けができる

その達成度を見る観点
課題に十分の時間をかけ内容を理解し、期限内に完成させられるか。

その達成度を見るために用いる手法
ほぼ毎回の授業で課される光華naviで提出する課題の成績を用いる。

到達目標3
コミュニケーション上の知識を元に、情報伝達や説得ができる

その達成度を見る観点
PowerPointを使用せず、適切な方法を用いて人の心を動かすプレゼンができているか。

その達成度を見るために用いる手法
授業中に実施されるプレゼンテーション実技試験の成績を用いる。

担当形態
単独

授業計画及び授業内容
1．ガイダンス　予習：教科書pp.1-3　課題：今回の授業を聞いて分かったこと等の考察　期限：次回の授業日の前日午後8時まで　提出：光華naviの課題提出機能を利用
2．はじめに　予習：教科書pp.2-11　課題：プレゼントの工夫について等の考察　期限：次回の授業日の前日午後8時まで　提出：光華naviの課題提出機能を利用
3．内容と伝え方　予習：教科書pp.12-15　課題：人を紹介する時に大切なこと等の考察　期限：次回の授業日の前日午後8時まで　提出：光華naviの課題提出機能を利用
4．予備知識　予習：教科書pp.16-20　課題：プレゼンテーションのマナーについての考察　期限：次回の授業日の前日午後8時まで　提出：光華naviの課題提出機能を利用
5．マナー　予習：教科書pp.21-29　課題：プレゼンテーション環境についての考察　期限：次回の授業日の前日午後8時まで　提出：光華naviの課題提出機能を利用
6．構成の考え方　予習：教科書pp.30-36　課題：スピーチの準備についての考察　期限：次回の授業日の前日午後8時まで　提出：光華naviの課題提出機能を利用
7. ストーリー　予習：教科書pp.37-41　課題：スピーチテーマについての考察　期限：次回の授業日の前日午後8時まで　提出：光華naviの課題提出機能を利用
8．ストーリーのチェック　予習：教科書pp.42-48　課題：ストーリーの組み立てについての考察　期限：次回の授業日の前日午後8時まで　提出：光華naviの課題提出機能を利用
9．本番に向けて　予習：教科書pp.49-54　課題：スピーチタイトルについての考察　期限：次回の授業日の前日午後8時まで　提出：光華naviの課題提出機能を利用
10. リハーサル　予習：教科書pp.55-63　課題：自分を

表すキャッチコピーについての考察　期限：次回の授業日の前日午後８時まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用
11. プレゼンの評価　予習：教科書 pp.64-67　課題：プレゼン本番に必要なものについての考察　期限：次回の授業日の前日午後８時まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用
12. プレゼンテーション体験　予習：前回の授業で配布したプリント　課題：心に残るスピーチで大切なものについての考察　期限：次回の授業日の前日午後８時まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用
13. プレゼン上達の秘訣　予習：教科書 pp.68-70　課題：プレゼン技術や知識で実践したものについての考察　期限：次回の授業日の前日午後８時まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用
14. プレゼンテーションの改善　予習：教科書 pp.1-72　課題：プレゼンテーションをすることで成長した部分についての考察　期限：次回の授業日の前日午後８時まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用
15. プレゼンテーションの完成　予習：各自のプレゼンテーションについて特徴を記述してくる　課題：各自のプレゼンテーションをふりかえっての考察　期限：次回の授業日の前日午後８時まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
演習形式で、毎回の授業で課題を課す。授業では例題を中心に学習し、関連の練習問題を宿題とする。また、実技試験で理解度をチェックする。なお、使用するソフトやバージョンは、本学の実習室と同じものとする。受講のルールとしては、授業に使用しないものは鞄にしまい、授業中は授業以外のことをせず授業に集中し、その上で質問がある場合は躊躇せず質問すること。自習中の質問は、担当教員に聞きに来ること。光華 navi の Q&A 機能やメールを活用しても良い。授業を欠席する場合は、事前に理由等を説明し許可を得ること。光華 navi で提出された課題のフィードバックは、原則として提出後 24 時間以内に光華 navi のコメント欄で行う。提出期限内は再提出が可能である。課題を作成するにあたっては、必ず各自で作業すること。課題はいろいろな角度から検討し、各自のやりかたで作成することに意味がある。他人のファイルをコピーしたり、答えを教えてもらって提出したとみなせるもの、また他人の ID やパソコンを使用したとみなせるものは、事情徴収の上、不正行為と見なす。不正行為を手助けすことも不正行為となる。不正行為をした者は、この授業の評価を０点とする。

授業時間外学修（予習・復習等）について
この授業では授業時間以外に、課題や授業の予習・復習のために約３時間を必要とする。予習として約１時間、課題の作成と提出、フィードバックを見ての修正と再提出など、課題を完成するまでに約２時間程度が望ましい。

定期試験の実施の有無
実施有り

定期試験方法
筆記試験

試験時間
90 分

試験持込み内容
教科書

成績評価方法
課題（30%）・発表（10%）・筆記試験（30%）・クラスワーク（30%）

成績評価基準
課題：以下の４段階で評価し、全課題を合計して得点化する。3 点：完成している 2 点：1 か所のミスがある 1 点：2 か所のミスがある 0 点：3 か所以上のミスがある、または提出のルールが守られていない発表：スピーチの完成度 0 ～ 10 点で得点化する。10 点：すべてにおいて完成している 9 ～ 0 点：改善すべき点の数によって減点される。筆記試験：授業で習得した知識とその活用方法について問う。選択式や記述式の 60 分の問題で採点し、0 ～ 100 点を付けるクラスワーク：授業中の質問や発表、グループワークでの活躍などを得点化する。3 点：自ら率先して活動するとともに、他者への配慮もできる 2 点：自ら率先して活動するが、他者への配慮がない 1 点：特に目立った活動はない 0 点：活動しない

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
1　履修上の留意点　この授業のテーマに真剣に取り組み、熱心に学びたいという意思を持って受講すること。履修に不安のある人は、履修前に授業担当者（森際）に相談すること（morigiwa@mail.koka.ac.jp）。
2　受講に必要な知識・スキル　きっちりと予習・復習し、期限とマナーを守って作業できる能力が必要となる。

オフィスアワー
前期・後期　水曜日・木曜日の昼休み

教科書【学内販売：有】
プレゼンテーション・ミニマムエッセンス／森際孝司編／ムイスリ出版／ 2014ISBN：978-4-89641-222-2

教科書【学内販売：無】
なし

参考書【学内販売：有】
なし

参考書【学内販売：無】
なし

プレゼンテーション・ベーシック（1 年）

鹿島　我、相場　浩和

授業テーマ
ベーシックなプレゼンテーション技法の習得

授業の概要
１年前期の必修授業「プレゼンテーション演習」で明確になった個人の短所･長所、学生全般のベーシックな短所･長所を補い、伸ばしていく。就職活動はもちろん、円滑な社会生活を営み、さらに向上させるために必要とされる能力をより実践的なものへと高めていく。

到達目標 1
異なる状況下において、常に技法を正しく用いてプレゼンテーションを行うことができる

その達成度を見る観点
異なる状況下において、常に技法を正しく用いてプレゼンテーションを行うことができている

その達成度を見るために用いる手法
毎回の授業において異なる状況下でさまざまなプレゼン発表の機会を設け、技法の適性から判断

到達目標 2
自身や他者のプレゼンテーションを正しく分析することができる

その達成度を見る観点
自身や他者のプレゼンテーションを正しく分析することができている

その達成度を見るために用いる手法
毎回の授業において自身や他者のプレゼンを評価する機会を設け、評価の正当性から判断

到達目標 3
他者のプレゼンテーションに対して的確に質問やコメン

トすることができる
その達成度を見る観点
他者のプレゼンテーションに対して的確に質問やコメントすることができている
その達成度を見るために用いる手法
毎回の授業において他者のプレゼンに対しコメントする機会を設けその内容から判断
担当形態
複数
授業計画及び授業内容
1．ガイダンス＜この科目で扱う授業概要、進め方について説明＞
2．プレゼンテーションの技法1「制限時間の順守」＜制限時間内で技法を正しく用いて課題に即したプレゼンテーションの実践＞
3．プレゼンテーションの技法2「アドリブ」＜アドリブを駆使して課題に即したプレゼンテーションの実践＞
4．プレゼンテーションの技法3「反対意見への対応」＜ディベートにおける反対意見に対しての対応力の実践＞
5．プレゼンテーションの技法4「拙速」＜拙速が求められるプレゼン機会でのプレゼンテーションの実践＞
6．プレゼンテーションの技法5「要約」＜要約力が求められるプレゼン機会でのプレゼンテーションの実践＞
7．プレゼンテーションの技法6「人心掌握」＜人心掌握力が求められるプレゼン機会でのプレゼンテーションの実践＞
8．学生が創るプレゼンテーション授業1「長所の認識」＜学生が認識する自分たちの長所を踏まえたプレゼンテーションの実践＞
9．学生が創るプレゼンテーション授業2「短所の認識」＜学生が認識する自分たちの短所を踏まえたプレゼンテーションの実践＞
10. 学生が創るプレゼンテーション授業3「自己理解と修正」＜学生が認識する自己理解力と修正力を踏まえたプレゼンテーションの実践＞
11. プレゼンテーション大会に向けての企画設定＜プレゼンテーション大会に向けて企画設定の実践＞
12. プレゼンテーション大会に向けての内容吟味＜プレゼンテーション大会に向けて内容吟味の実践＞
13. プレゼンテーション大会に向けてのブラッシュアップ＜プレゼンテーション大会に向けてブラッシュアップの実践＞
14. プレゼンテーション大会に向けての企画完成＜プレゼンテーション大会に向けて企画完成の実践＞
15. プレゼンテーション発表会・フィードバック＜プレゼンテーション大会の開催と内容に基づくフィードバック＞
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
演習形式で課題や発表を課す。積極的な参加態度をクラスワークとして評価する。前半は教員によるアクティブラーニング形式の授業における課題への取組とそれに基づく発表。毎回の授業終了前にフィードバックを行う。中盤は学生自身によるアクティブラーニング形式の授業における課題への取組とそれに基づく発表。毎回の授業終了前にフィードバックを行う。後半は「プレゼンテーション演習」と同様、企業や自治体からテーマ提供を受け、小規模のプレゼン大会を開催し、そのためのスライド作成と発表、質疑応答。プレゼン大会終了後にフィードバックを行う。
授業時間外学修（予習・復習等）について
授業前半・中盤は毎回の授業で学んだ内容について、次回の授業までに30分から1時間程度復習を必要とする。後半はプレゼン大会のためのスライド作成・発表の練習等を授業外に1時間を超え必要とする。
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
課題（10%）発表（40%）クラスワーク（50%）プレゼンテーション能力を身につけたい、さらに強化したいという積極性を特に評価する。また、結果としての能力だけでなく、授業開始時と終了時を比較した「習得度」も評価の対象とする。
成績評価基準
「課題」は毎回のように課せられ、取り組む態度から含めて評価する。「発表」は個人的な能力を考慮して評価する。「クラスワーク」は取り組む態度、個人的な能力を考慮して評価する。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
1年生前期の「プレゼンテーション演習」は1年生全員が履修する必修科目であった。そのため、学生個人の短所や長所よりも学生全般の短所を補い長所を伸ばすことに重点が置かれていた。「プレゼンテーション・ベーシック」ではより個人のプレゼン能力に寄り添ったベーシックな授業を目指して開講される。プレゼンテーション演習で明らかになった個人の短所を補い、長所を伸ばすことを目指して受講してほしい。受講を希望する学生が求めるものが授業内容であると考えてほしい。この授業で構築した能力は就職活動をはじめ、将来さまざまな場面で行うプレゼンテーションにきっと役立つはずである。実務家教員として…大学在学中に放送作家として活動を開始。以後、20年に渡って放送業界で活動を続ける。主な構成番組は「キスした？ SMAP」「アタック25」「たかじんnoばぁ～」「熱闘甲子園」「虎バン」等。主な連載は産経新聞夕刊「キラメキTV塾」日刊ゲンダイ「大阪発テレビ業界まんだら」等。
オフィスアワー
研究室番号　鹿島：6号館　207号室　相場：6号館　210号室オフィスアワー　鹿島：前期・後期とも火曜～金曜の昼休み（12：00～12：50）　相場：前期・後期とも木曜の昼休み（12：00～12：50）
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

声と表現Ⅰ（1年）

池　和歌子

授業テーマ
フリーアナウンサーが伝えるコミュニケーション能力の強化
授業の概要
日常生活をはじめ、学内発表や企業面接、就職先など、あらゆるシーンでコミュニケーションは必要不可欠ですですが、コミュニケーションに対して苦手意識を持っている方も少なくありませんどうすれば円滑にコミュニケーションを図ることができるのか、自分の意志や考えをより分かりやすく伝えるにはどうすればいいのか、人を惹きつける魅力的な話方とは何か等を、フリーアナウンサーが実際に現場で実践しているスキルを交えながら伝え、社会性やコミュニケーション力を習得することを

目的とする
到達目標１
自分の声や表現の癖を知り、人に伝える力を身につける
その達成度を見る観点
理解度・習得度・積極性
その達成度を見るために用いる手法
ビデオ録画や音声録音をし、自分自身を客観視する表情やしぐさ、姿勢、目線など声や話し方だけでなく、伝える為に大切な表現方法を知る
到達目標２
発声の基礎を習得することで言いたいことを伝えることができる
その達成度を見る観点
理解度・習得度・積極性
その達成度を見るために用いる手法
発声や滑舌、プロミネンスなど伝えることに必要な基礎を学ぶ
到達目標３
対話力を基礎とした言葉でのコミュニケーション力を身につける
その達成度を見る観点
理解度・習得度・積極性
その達成度を見るために用いる手法
自分が話すだけでなく、相手の話もしっかりと聴き、どうしたら会話を広げることができるか聴く力も養う
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
１．ガイダンス、自己紹介
２．第一印象と声、ビデオ撮影
３．コミュニケーションとは
４．声のトレーニングⅠ（発声・呼吸法）
５．声のトレーニングⅡ（滑舌）
６．声のトレーニングⅢ（表現力）
７．声に出して読む
８．コミュニケーションに繋がる表現Ⅰ（表情・目線）
９．コミュニケーションに繋がる表現Ⅱ（声・仕草）
10. 伝える為のトークⅠ（1 対 1）
11. 伝える為のトークⅡ（1 対複数）
12. 伝える為のトークⅢ（クロストーク）
13. 美しい姿勢
14. 発表・撮影
15. まとめ
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
課題やテストはありません。人前での発表や、マイクを使ってのトークなどもあるので、個々の性格やスキルに応じて講師が指導します。自主性や授業に取り組む姿勢を評価の基準とします。
授業時間外学修（予習・復習等）について
特にありません
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
授業に取り組む姿勢や、理解度、発表内容を総合して評価します
成績評価基準
理解度・習得度・積極性
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
公私ともに必要なスキルが「コミュニケーション能力」です。社会に出れば、益々必要になるスキルですが、苦手意識を持っている方が多いのも事実です。まずは、コミュニケーション＝苦手という意識を忘れ、声を出すこと、話すことの楽しさを一緒に学んでいきましょう。約20 年、現在もフリーアナウンサーとして活動している講師が、コミュニケーションスキルのノウハウをお伝えしていきます。受講生の習得度により、授業計画を変更することがあります授業内での学外見学（放送現場・イベント）などを取り入れることがあります
オフィスアワー
授業終了後ビジネス実務室にて
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

声と表現Ⅱ（1 年）

池　和歌子

授業テーマ
フリーアナウンサーが伝えるコミュニケーション能力の強化
授業の概要
日常生活をはじめ、学内発表や企業面接、就職先など、あらゆるシーンでコミュニケーションは必要不可欠ですですが、コミュニケーションに対して苦手意識を持っている方も少なくありませんどうすれば円滑にコミュニケーションを図ることができるのか、自分の意志や考えをより分かりやすく伝えるにはどうすればいいのか、人を惹きつける魅力的な話し方とは何か等を、フリーアナウンサーが実際に現場で実践しているスキルを交えながら伝え、社会性やコミュニケーション力を習得することを目的とする後期は前期の授業から更に踏み込んだ内容
到達目標１
場面に適した話し方を身につけることで様々な環境でコミュニケーションを取ることができる
その達成度を見る観点
理解度・習得度・積極性
その達成度を見るために用いる手法
テーマに沿った内容ででの話や、グループディスカッションなどを行う
到達目標２
話を組み立てて伝える力と聴く力を身につける
その達成度を見る観点
理解度・習得度・積極性
その達成度を見るために用いる手法
プレゼンテーションなどを行い、伝える力を。他者の発表を聴き、疑問に感じたことや更に知りたいことなど、ただ聴くだけでなく関心を持つ力をつける
到達目標３
相手の話を傾聴し、相手に配慮したコミュニケーション力を身につける
その達成度を見る観点
理解度・習得度・積極性
その達成度を見るために用いる手法
相手が伝えたいことが何かを汲み取り、引き出すための力を養う
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
１．ガイダンス、自己紹介
２．第一印象と声、撮影

3．声のトレーニング
4．表現力を豊かにする
5．伝える際に不可欠なポイント
6．共感を得る・共感する
7．話の組み立て方
8．プレゼンテーション
9．コミュニケーションにおける自分のポジション
10．敬語
11．聴く力Ⅰ（相槌）
12．聴く力Ⅱ（質問力）
13．美しい姿勢・マナー
14．発表・撮影
15．まとめ

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
課題やテストはありません人前での発表や、マイクを使ってのトークなどもあるので、個々の性格やスキルに応じて講師が指導します自主性や授業に取り組む姿勢を評価の基準とします

授業時間外学修（予習・復習等）について
特にありません

定期試験の実施の有無
実施無し

成績評価方法
授業に取り組む姿勢や、理解度、発表内容を総合して評価

成績評価基準
理解度・習得度・積極性

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
公私ともに必要なスキルが「コミュニケーション能力」です。社会に出れば、益々必要になるスキルですが、苦手意識を持っている方が多いのも事実です。まずは、コミュニケーション＝苦手という意識を忘れ、声を出すこと、話すことの楽しさを一緒に学んでいきましょう。約20年、現在もフリーアナウンサーとして活動している講師が、コミュニケーションスキルのノウハウをお伝えしていきます。受講生の習得度により、授業計画を変更することがあります授業内での学外見学（放送現場・イベント）などを取り入れることがあります

オフィスアワー
授業終了後ビジネス実務室にて

教科書【学内販売：有】
なし

教科書【学内販売：無】
なし

参考書【学内販売：有】
なし

参考書【学内販売：無】
なし

笑いのコミュニケーション演習（1年）

鹿島　我

授業テーマ
笑いをベースにした実践的なコミュニケーションスキルの習得と向上

授業の概要
若者はコミュニケーション能力が劣っていると言われて久しい。この授業では、コミュニケーションについて、笑いを通して学ぶものである。人はなぜ笑うのかを知ることで、笑わせる者と笑う者との間のコミュニケーションを理解し、笑いの演じ手を体験することで、その理解をさらに深めるものである。コミュニケーション能力の習得と向上は思っているほど難しくなく、自らが持っている資質を少し開放すればいいだけであることを理解し実践することを目標とする。

到達目標１
笑いの構成、技法を理解することで、コミュニケーション能力の習得に役立てる

その達成度を見る観点
笑いの構成、技法を理解したうえで、コミュニケーション能力を習得を目指している

その達成度を見るために用いる手法
授業ごとに行う小レポートの記述

到達目標２
笑いのパターンを模倣することで、コミュニケーション能力の向上に役立てる

その達成度を見る観点
笑いのパターンを模倣し、コミュニケーション能力の向上を目指している

その達成度を見るために用いる手法
笑いの模倣への取り組みにおける周囲とのコミュニケーション内容の教員による評価

到達目標３
笑いを創作することで、より実践的なコミュニケーション能力の習得と向上に役立てる

その達成度を見る観点
笑いを創作することで、より実践的なコミュニケーション能力の習得と向上を目指している

その達成度を見るために用いる手法
笑いの創作作品のクォリティと学生同士の相互評価と教員による評価

担当形態
単独

授業計画及び授業内容
1．ガイダンス＜この科目で扱う授業概要、進め方について説明＞
2．笑いの持つ力とコミュニケーション能力＜笑いとコミュニケーションの相関関係についての講義＞
3．バラエティ番組における笑いとコミュニケーション「アメトーーク」＜「アメトーーク」の視聴後、笑いの発生理由とコミュニケーションの関係に関するグループワーク＞
4．バラエティ番組における笑いとコミュニケーション「探偵ナイトスクープ」＜「探偵ナイトスクープ」の視聴後、笑いの発生理由とコミュニケーションの関係に関するグループワーク＞
5．バラエティ番組における笑いとコミュニケーション「ごっつうええ感じ」＜「ごっつうええ感じ」の視聴後、笑いの発生理由とコミュニケーションの関係に関するグループワーク＞
6．バラエティ番組における笑いとコミュニケーション「すべらない話」＜「すべらない話」の視聴後、受講者各自のすべらない話の披露＞
7．バラエティ番組における笑いの比較「オレたちひょうきん族」と「8時だョ全員集合」＜両番組の視聴後、両番組の笑いの発生量の比較と原因究明のグループワーク＞
8．吉本新喜劇における笑い＜吉本新喜劇の視聴後、笑いの発生理由とコミュニケーションの関係に関するグループワーク＞
9．吉本新喜劇におけるコミュニケーション能力＜吉本新喜劇的笑いの創作と披露＞
10．漫才における笑い＜M-1グランプリにおける笑いの発生理由とコミュニケーションの関係に関するペアワーク＞

11. 漫才におけるコミュニケーション＜M-1 グランプリの台本の読み合わせと模倣の発表＞
12. 笑いの創作１内容決定＜オリジナル漫才創作のためのペアワーク＞
13. 笑いの創作２台本作成＜オリジナル漫才の台本作成のためのペアワーク＞
14. 笑いの創作３練習＜オリジナル漫才のペアワークによる発表練習＞
15. 作品発表＜オリジナル漫才のペアワークによる発表＞

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
第１段階では、実際にヒットしたお笑い番組を通して笑いの基本を学ぶ。第２段階では、応用として実際に笑いを創作して発表するまでを数回行う。最終的には他の受講者とコンビを組みオリジナル漫才の創作と発表までを行う。それらの過程で積極的にコミュニケーションをとる機会を設ける。視聴作品や小レポートのフィードバックは次回授業冒頭で行う。

授業時間外学修（予習・復習等）について
前回までの講義内容について、関連する DVD の視聴、書籍を読み進める等、30 分以上１時間程度復習することが望ましい。また、後半は課題の作成・発表に向けて授業外で同等の時間の練習が必要となる。

定期試験の実施の有無
実施無し

成績評価方法
授業に対する積極性（30%）
各授業での課題（40%）
最終課題（30%）

成績評価基準
「授業に対する積極性」は授業内での積極的な発言と小レポートを総合して教員が評価する。「各授業での課題」は、課題内容に即した発表が出来ているかを教員が評価する。「最終課題」は、授業 15 回目に発表するオリジナル漫才の学生同士の相互評価と教員による評価を合わせて評価する。

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
この授業の目的はコミュニケーション能力の習得と向上であり､そのための入り口を誰もがとっつきやすい「笑い」とするものである。授業内では様々な笑いを視聴するので、楽しみながらコミュニケーションについて学んでほしい。また､授業内で様々な笑いの形式を実践することで、笑いについても深く学ぶことができる。笑いが好きな人はもちろん、せっかく関西の大学に来たのだから笑いについてもっと触れてみたいという人にもぜひ受講してほしい。笑いの絶えない授業をみんなと一緒に作り上げたい！実務家教員として…大学在学中に放送作家として活動を開始。以後、20 年に渡って放送業界で活動を続ける。主な構成番組は「キスした？ SMAP」「アタック 25」「たかじん no ばぁ～」「熱闘甲子園」「虎バン」等。主な連載は産経新聞夕刊「キラメキ TV 塾」日刊ゲンダイ「大阪発テレビ業界まんだら」等。

オフィスアワー
研究室番号　6 号館　207 号室オフィスアワー　前期・後期とも火曜～金曜昼休み（12：00 ～ 12：50）

教科書【学内販売：有】
なし

教科書【学内販売：無】
なし

参考書【学内販売：有】
なし

参考書【学内販売：無】
なし

カウンセリング理論（1 年）

臼井　卓也

授業テーマ
カウンセリングの理論と技法を学び、仲間同士支えあう「ピアヘルピング」の技能を習得する。

授業の概要
カウンセリングの基本的な理論と技法を学び、学生として友人や家族など、周囲の人たちに対してよりよい聞き手、相談相手となれることを示す「ピアヘルパー」の資格取得も目指していく。
資格取得を目指していない学生にとっても、カウンセリングの知識と理解を日常生活に役立てるためのヒントが得られる機会となる。他者をいかに理解し、支えうるかを学ぶことは、必然的に自分に向き合い、自分のこころの動きをとらえることにつながる。自分自身の理解を深め、受け入れるきっかけとなるような授業としたい。

到達目標 1
カウンセリングの基礎的知識を習得する

その達成度を見る観点
主なカウンセリング理論について理解し、説明することができるか。

その達成度を見るために用いる手法
授業中に実施するワークシート、定期試験において理論について説明する。

到達目標 2
ピアヘルピングの基本的知識と技能を習得する

その達成度を見る観点
ピアヘルピングの技法について理解し、説明することができるか。

その達成度を見るために用いる手法
授業中の演習やワークシート、定期試験で評価する。

到達目標 3
日常生活における人との対話に役立つ技能を身につける

その達成度を見る観点
授業で学んだ知識や技法を日常生活においても活かすことができているか。

その達成度を見るために用いる手法
毎回の授業後の振り返りシート、定期試験において、日常生活での活用状況や感想について記述する。

担当形態
単独

授業計画及び授業内容
1．ガイダンス：授業概要と目的、進め方などについての説明
2．構成的グループエンカウンター、カウンセリングの定義と必要性［課題：テキスト p10 － p26 の復習］
3．主なカウンセリング理論 1：精神分析理論と自己理論［課題：テキスト p25、授業資料の復習］
4．主なカウンセリング理論 2：行動理論と論理療法の理論［課題：テキスト p25、授業資料の復習］
5．カウンセリングの動向、ピアヘルパーのパーソナリティ、ピアヘルパーのプロセス［課題：テキスト p33 － p50 の復習］
6．カウンセリングの言語的技法［課題：テスト p52 － p64 の復習］
7．カウンセリングにおける質問技法、カウンセリングの非言語的技法［課題：テキスト p60 － p70 の復習］
8．問題への対処法、対話上の諸問題への対処法［課題：テキスト p71 － p84 の復習］
9．ピアヘルパーの心がまえ［課題：テキスト p71 － p89 の復習］

10. これまでの振り返り、映画に見るカウンセリング理論１［小テスト］
11. 映画に見るカウンセリング理論２：登場人物の心理を分析する
12. 直線的因果律と円環的因果律［課題:授業資料の復習］
13. 主なカウンセリング理論３：ブリーフセラピーの理論［課題：授業資料の復習］
14. 映画に見るカウンセリング理論３：リフレーミングの技法
15. 日常生活におけるカウンセリング理論の活用、全体のまとめと振り返り

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
主としてテキスト・プリント・スライドを中心とした講義形式で行うが、グループワークや映画等の視聴覚資料の利用など、体験的な理解の習得を目指す。ピアヘルパー試験の受験にも対応できるよう、復習のための小テストを実施し、理解度の確認をおこなう。また、毎回の授業後には振り返りシートを課し次回授業時にフィードバックするなど、教員と学生が積極的にコミュニケーションをとりながら進める。

授業時間外学修（予習・復習等）について
教科書に指定している「ピアヘルパーハンドブック」に沿って授業をすすめていく。授業内容を理解しやすくするために、予習として教科書の予定範囲に目を通しておく（15 分程度）。授業後には、復習として講義内容を振り返って疑問点を書きとめ（30 分程度）、次の授業で質問してもらえるとよい。資格取得を目指す者は、模擬試験問題を解くなど、さらに自習時間が必要となる（数時間程度）。

定期試験の実施の有無
実施有り

定期試験方法
筆記試験

試験時間
90 分

試験持込み内容
可（自筆ノートのみ）

成績評価方法
・授業への参加度（30%）
・演習課題・小テスト等の評価（30%）
・定期試験（40%）により評価を行う。

成績評価基準
・授業への参加度…授業中の態度、積極的な発言、グループワークへの取り組み等により評価する。
・演習課題・小テスト等の評価…授業中に実施する演習や小テストにおいて、知識や日常生活での活用状況について問うことで評価する。
・定期試験…カウンセリングやピアカウンセリングに関する基本的な知識を問う問題、論述式で理論について説明する問題を出題する予定。

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
『カウンセリング』と聞くとどのようなものを思い浮かべるだろうか。精神的な疾患や悩みを抱えた人が病院やクリニックなどで受けるものというイメージが強いかもしれないし、もちろんそれもカウンセリングのうちの１つではある。しかし、実はカウンセリングの技法はみなさんの家族や友人とのコミュニケーションといった日常生活の中にも含まれる、とても身近な存在なのである。この授業では、心理学やカウンセリングの知識に触れることで、自分の内面を見つめたり他者の心をよりよく理解できるようになることを目指す。一方的な講義形式だけでなく、教員自身も学生と積極的にコミュニケーションをとったり、映画などを用いて人の心の動きを体験する機会を提供するため、積極的に参加することが望まれる。カウンセリング理論自体に興味がある、ピアヘルパーの資格取得を目指す、という者だけでなく、自分自身の心を見つめなおしてみたい、人の気持ちを理解して良き相談相手になりたい者などは履修をしてほしい。

オフィスアワー
質問等は毎回授業時の振り返りシートを利用して受け付ける。また、光華ナビのメール（t-usui@mail.koka.ac.jp）を利用してもかまわない。

教科書【学内販売：有】
日本教育カウンセラー協会（編）「友達をヘルプするカウンセリング　ピアヘルパーハンドブック」　図書文化

教科書【学内販売：無】
なし

参考書【学内販売：有】
なし

参考書【学内販売：無】
日本教育カウンセラー協会（編） 2002 「やって身につくカウンセリング練習帳　ピアヘルパーワークブック」
図書文化平木典子　2009 「新版　カウンセリングの話」朝日選書

カウンセリングスキル（1 年）

森際　孝司、臼井　卓也、猪澤　歩

授業テーマ
カウンセリングの技術について演習を通して体験的に学ぶ。

授業の概要
対人関係がうまく保てない、もっとうまく人と接したいと考えている人が多い現代を踏まえ、仲間を支援する人（ピアヘルパー）になることを目的としたカウンセリングの具体的な技術を身につける。

到達目標 1
カウンセリング理論を理解し、説明できる

その達成度を見る観点
カウンセリング理論について、文章で説明できるか。

その達成度を見るために用いる手法
定期試験期間中の筆記試験で評価する。

到達目標 2
カウンセリング技術を身につけ、教室内で実践できる

その達成度を見る観点
カウンセリング技術をロールプレイを通して実践できるか。

その達成度を見るために用いる手法
授業中に実施する実技試験で評価する。

到達目標 3
カウンセリングを日常生活で活用できる

その達成度を見る観点
カウンセリング技術を日常生活で活用できるか。

その達成度を見るために用いる手法
ほぼ毎週課される光華 navi の課題を通じて評価する。

担当形態
複数

授業計画及び授業内容
1．ピアヘルピングの言語的技法　ピアヘルピングの言語的技法 1～あいさつと自己紹介～　予習：特に必要なし　課題：授業を受けての感想を 200 字程度でまとめること　期限：授業日の 5 日後の午後 23 時 59 分まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用
2．ピアヘルピングの非言語的技法　ピアヘルピングの言語的技法 2～関係作りのためのアプローチ～　予習：

前回の授業内容について復習をしておくこと　課題：身近な人を漢字一文字で表現し、その理由についてまとめること　期限：授業日の5日後の午後23時59分まで　提出：光華naviの課題提出機能を利用

3．対話上の諸問題への対処法　ピアヘルピングの非言語的技法1～上手な伝達の仕方～　予習：身近な人で伝え方が上手だと感じる人を意識して観察しておくこと　課題：授業で習ったポイントを意識した伝え方を実践してみた感想をまとめること　期限：授業日の5日後の午後23時59分まで　提出：光華naviの課題提出機能を利用

4．問題への対処法　ピアヘルピングの非言語的技法2～傾聴～　予習：身近な人で聴き方が上手だと感じる人を意識して観察しておくこと　課題：会話のポイントを意識して実践してこれまでとの違いについてまとめること　期限：授業日の5日後の午後23時59分まで　提出：光華naviの課題提出機能を利用

5．ピアヘルパーの心構え　グループワーク1～断片的情報からの組み立て～　予習：会話の中で使用される質問にはどのような種類があるか意識しておく　課題：授業で習った質問法を使用して、その様子をまとめること　期限：授業日の5日後の午後23時59分まで　提出：光華naviの課題提出機能を利用

6．ヘルピングスキルの上達法　ピアヘルパーの心構え　予習：ピアヘルパーになるにあたってどのような視点が必要か考えておく　課題：モノローグを2つ書くこと（物の気持ちになることで、そこに反映された自分の気持ちに気付く）　期限：授業日の5日後の午後23時59分まで　提出：光華naviの課題提出機能を利用

7．アプローチ　グループワーク2～協力体制の獲得～　予習：複数人で話し合いを行う際のポイントについて自分なりに考えておく　課題：3人以上の人と1つのテーマで話し合い、そのときの様子についてまとめること　期限：授業日の5日後の午後23時59分まで　提出：光華naviの課題提出機能を利用

8．あいさつ　グループワーク3～リーダーシップとアサーションスキル～　予習：理不尽な出来事や状況における自分の対処法について意識しておく　課題：授業で習ったポイントを使用して上手な頼み方を実践し、その様子をまとめること　期限：授業日の5日後の午後23時59分まで　提出：光華naviの課題提出機能を利用

9．傾聴　中間演習とグループワーク4～模擬カウンセリング～　予習：これまでの授業で学習した内容について復習しておく　課題：なし

10. 伝達　対話上の諸問題への対処法～ブレーンストーミング～　予習：特に必要なし　課題：自分自身の短所を長所にとらえなおす作業をすること　期限：授業日の5日後の午後23時59分まで　提出：光華naviの課題提出機能を利用

11. グループワーク（1）　断片的情報からの組み立てヘルピングスキルの上達法～様々な価値観を受け入れる～　予習：前回学習したブレーンストーミングのルールを確認しておく　課題：自分の苦手な状況や困っていること、どうなりたいかを整理してまとめること　期限：授業日の5日後の午後23時59分まで　提出：光華naviの課題提出機能を利用

12. グループワーク（2）　協力体制の獲得　問題への対処法1～マインドマップ～　予習：共感的に話を聴くことについて振り返りをしておく　課題：授業で学習したことを参考に、実際にマインドマップを作成すること　期限：授業日の5日後の午後23時59分まで　提出：光華naviの課題提出機能を利用

13. グループワーク（3）　リーダーシップ　問題への対処法2～問題解決療法の基礎～　予習：これまでの授業内容について復習しておく　課題：自分自身の解決したい問題について具体的に挙げること　期限：授業日の5日後の午後23時59分まで　提出：光華naviの課題提出機能を利用

14. グループワーク（4）　模擬カウンセリング　問題への対処法3～問題解決療法の実践～　予習：問題解決療法の進め方について復習しておく　課題：自分の挙げた課題を実践し、作成した記録表を提出すること　期限：授業日の5日後の午後23時59分まで　提出：光華naviの課題提出機能を利用

15. まとめ　まとめとヘルピングスキルの日常での実践　予習：授業全体の復習をし、疑問点や質問を整理しておくこと　課題：前回の課題を見直し、再度実践を行った記録表を提出すること　期限：授業日の5日後の午後23時59分まで　提出：光華naviの課題提出機能を利用

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック

演習形式で、毎回の授業で課題を課す。授業ではグループワークを取り入れ、各々の自主性を尊重しながらじっくりと授業内容に取り組む。受講のルールとしては、授業に使用しないものは鞄にしまい、授業中は授業以外のことをせず授業に集中し、その上で質問がある場合は躊躇せず質問すること。自習中の質問は、光華naviのQ&A機能やメールを活用しても良い。授業を欠席する場合は、事前に理由等を説明し許可を得ること。

授業時間外学修（予習・復習等）について

この授業では授業時間以外に、学んだ技術を日常生活で活かすための時間を必要とする。毎日の実践のための時間を述べ約4時間を確保する必要がある。

定期試験の実施の有無

実施有り

定期試験方法

筆記試験

試験時間

90分

試験持込み内容

全て持ち込み可

成績評価方法

課題（30%）・筆記試験（30%）・クラスワーク（40%）

成績評価基準

課題：以下の4段階で評価し、全課題を合計して得点化する。3点：完成している 2点：1か所のミスがある 1点：2か所のミスがある 0点：3か所以上のミスがある、または提出のルールが守られていない筆記試験：指定された時間内に問題で指示された内容を的確に分かりやすく説明できているかクラスワーク：授業中に実施される個人ワーク・ペアワーク・グループワークに積極的に参加できているか

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）

心理学の知識と技術を対人関係に活かすことは、大学生活での友人関係や就職活動の面接などでも有効に役立つ。授業では、少人数のグループの中で、いろいろな体験をする。少しの勇気を持って、新しいことに挑戦してみたい人に受講してもらいたい。履修に不安のある人は、履修前に科目コーディネータ（森際）に相談すること（morigiwa@mail.koka.ac.jp）。人前で話すのが苦手な人、面接で緊張する人、今の自分を少し変えてみたい人、その他誰でもこの授業に参加できる。

オフィスアワー

前期・後期　水曜日・木曜日の昼休み

教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

ボランティア論（1 年）

妹尾　香織

授業テーマ
現代社会におけるボランティア―ボランティア活動への心理学的アプローチ－
授業の概要
授業の概要　ボランティア論では、現代社会におけるボランティアの現状と課題に心理学的にアプローチし、ボランティアの問題と課題を検討する。講義では、ボランティア行動・活動に対する意識と実態に関する調査データの検討や、受講生各自のボランティアに対するイメージや動機などを心理学的な手法を用いて明らかにし、現代社会におけるボランティア活動の意義や課題を検討する。
到達目標 1
ボランティア活動について知る
その達成度を見る観点
分野や活動内容を理解している。
その達成度を見るために用いる手法
講義中にボランティアに関する語句の小テストを行う。
到達目標 2
愛他的精神を学ぶ
その達成度を見る観点
ボランティア活動で得られる心理的効果について、ボランティア体験者の体験談等から理解できるか。
その達成度を見るために用いる手法
講義中の小レポート、平常試験においてボランティア活動が及ぼす心理・社会的効果について説明する。
到達目標 3
活動の始め方を理解する
その達成度を見る観点
社会的課題を指摘し、その活動について調べることが出来るか。
その達成度を見るために用いる手法
講義期間中に一回、関心のある社会的課題とボランティア活動についてレポートを作成する。
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．講義ガイダンス
2．ボランティアとは
3．さまざまなボランティア - 分野と活動
4．ボランティアを行うには
5．事例検討 - ボランティアの社会的背景と課題をよみとる
6．ボランティアの実態 - 社会的属性による経験率の差異
7．わたしのボランティアに対するイメージ - 心理尺度をつかって検討
8．わたしのボランティアの動機 - 心理尺度を使っての検討
9．人々のボランティア意識 - ある都道府県の意識調査の検討 1
10．人々のボランティア意識 - ある都道府県の意識調査の検討 2
11．ボランティアによる効果・影響 - 援助成果
12．ボランティア活動がボランティア自身に及ぼす影響 - 高齢者編 -
13．ボランティア活動がボランティア自身に及ぼす影響 - 子ども編 -
14．今後のボランティアにむけて - ボランティアの責任を考える -
15．ボランティアの課題の検討
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
講義のノートを毎回配布し、受講生が講義ノートを完成させる形の講義形式で行う。授業計画に沿ったテーマについて毎回調べ学習の時間を取り、毎回小テストまたは小レポートを作成し、次回の講義でフィードバックする。
授業時間外学修（予習・復習等）について
ボランティア活動に関するニュースに目を通しておくこと。
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
授業での小レポート、小テスト、レポート課題の評価 50％と、平常試験 50％により評価する。
成績評価基準
小レポート、小テスト、レポート、平常試験は指定されたテーマについて、授業内容を理解し、要点を押さえてまとめられているか、自分の考えが明確に述べられているかを評価する。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
ボランティアをやったことある人もない人も、ボランティアに興味がある人もない人も学べる内容である。ただし、本講義は自分の考えをまとめたり、調べ物をしたり、課題を多く課すので、積極的な姿勢が必要である。
オフィスアワー
毎講義中に質疑応答時間を設けますので、その場で質問してください。
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

ホスピタリティ論（1 年）

石丸　淑子

授業テーマ
サービス業に不可欠な思いやりのあるおもてなしのこころ｛ホスピタリティ｝の必要性を理解し、その表現方法を学ぶ
授業の概要
観光、サービス業のビジネスには不可欠なホスピタリティの必要性を理解し、自身の中にあるホスピタリティの心つまりホスピタリティマインドを確認しそれをさらに伸ばすことを目的に、様々な演習や課題を通して実際にホスピタリティある行動をとることができるように段階的に学ぶ。又、ハンディを持つ人にも同じように接することが出来るように｛手話｝特にサービス業や観光業を意識して｛接客手話｝の基礎も学ぶ

到達目標 1
各種演習を通じてホスピタリティマインドの探求をすることによりその必要性を理解するとともに自身にある優しさにも気づくことができる
その達成度を見る観点
ホスピタリティという言葉の意味を理解している
その達成度を見るために用いる手法
各自で自己歴を振り返り確認する
到達目標 2
各種演習を通じてホスピタリティマインドに対する自身の意見を持つことができる
その達成度を見る観点
どんな場面でもホスピタリティある行動ができるようになる
その達成度を見るために用いる手法
各種演習による自己採点での成果
到達目標 3
相手の状況に応じてホスピタリティマインドを適切に表現することができる
その達成度を見る観点
具体的表現方法としての接客手話の基礎習得
その達成度を見るために用いる手法
自己紹介や会話等接客手話による発表
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．ホスピタリティの心とは
2．今、なぜホスピタリティなのか（演習課題）
3．私たちを取り巻く人間関係とホスピタリティマインド
4．まず自分自身をよく知ろう（演習課題）
5．マイナス思考とプラス思考とは
6．ホスピタリティマインドのある行動をスタートさせるには（演習課題）
7．ホスピタリティマインドと生きがい
8．ホスピタリティマインドを持った人生態度
9．相手を理解するということは（演習課題）
10．望ましい聴き方とは
11．相手を理解するための接客手話実技 1
12．全ての人を受け入れるための接客手話実技 2
13．サービス化社会に求められるホスピタリテイィマインド表現のための接客手話実技 3（授業内成果発表）
14．CS とホスピタリティマインドとの関係性、ホスピタリティあるクレーム対応（演習課題）
15．まとめ　最終筆記試験
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
主として、テキストプリント使用しての講義形式だが演習課題と表記しているように各種ホスピタリティに関する演習やその成果を確認するためのレポート提出や口頭発表なども実施する
授業時間外学修（予習・復習等）について
予習としては、テキストの読み込みだけでなく、図書館などでホスピタリティに関する書物を読み込む。関連するメディア情報（TV,新聞、雑誌等）の情報も授業内で随時確認して質問するのでそれに対応できるように準備しておく。復習に関してはテキストを読み込み、時間の関係で完成できなかった演習課題は必ず次回まで終わらせておく。いかなる理由での欠席であろうと授業内で配布したプリントなどは再配布は行わないので、授業内で人間関係を確立し、プリントの代理受領や、授業内容の確認などは各自の責任において確実に実施して次回の授業に備える
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
・授業への参加度（20%）
・演習課題や発表などの評価（40%）
・最終授業内で行う確認筆記試験（40%）
成績評価基準
・授業への参加度…授業態度、積極的発言や質問等
・演習課題の提出や完成度、発表時のパフォーマンスやアピール度
・確認筆記試験の解答内容
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
本科目は観光、サービス業における接客マナーのための科目であるので基本となる受講態度に対して厳しい指導を行うのでそのことを理解して受講すること
オフィスアワー
授業時間外の質問などは、学内メールにて対応、出講時には講師控室にて対応
教科書【学内販売：有】
ホロス人材開発研究所発行　ホスピタリティマインド養成ワークブック
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

臨床心理学（1 年）

猪澤　歩

授業テーマ
人の行動や感情をどのようにとらえ、理解し、その変化に向けてアプローチできるのか
授業の概要
臨床心理学は、社会からの強い期待に応え急激に発展しつつある。社会の進歩とともに人間の悩みは大きく強くなってきているということを多くの人が実感しているからである。臨床心理学という学問は、人の行動や適応、悩みの成り立ちを研究し、問題の解消を目指す心理学的援助方法の実践と開発に関わるものである。本科目では、臨床心理学の基礎にふれ、臨床心理学ではどのように問題を捉え（アセスメントするということ）、そしてどのように人が変化していくのかについて，主な理論と技法を学ぶ。知識を得ることを通して、自己を理解し、受け入れることを体験する。ひいては他者を理解し、受け入れることにつながるきっかけを提供することを目指す。
到達目標 1
臨床心理学の基礎的な知識を得る
その達成度を見る観点
臨床心理学の基本的な知識を身につけ概要を理解する
その達成度を見るために用いる手法
レポート，毎回授業後の振り返りシートに記述
到達目標 2
臨床心理学の主な理論の特徴を理解する
その達成度を見る観点
臨床心理学の主な理論を知り概要を説明できるか
その達成度を見るために用いる手法
レポート，授業中もしくは授業後に出す課題に記述
到達目標 3
臨床心理学の主な理論を日常生活の中でも活かすことができる

その達成度を見る観点
臨床心理学の主な理論を日常生活のエピソードにも活かすことができているか
その達成度を見るために用いる手法
レポート，定期試験の中の具体的な事例に対して記述
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．オリエンテーション：授業の進め方や目的などについての説明
2．心理学の成り立ち・臨床心理学とは
3．発達について：　青年期の心理的特徴
4．発達障害：　生まれと育ち、スペクトラム
5．アセスメント：　質問紙法，投影法
6．臨床心理学の主な理論（1）：　精神分析
7．臨床心理学の主な理論（2）：　行動主義と学習
8．臨床心理学の主な理論（3）：　来談者中心療法
9．臨床心理学の主な理論（4）：　合理情動療法
10．臨床心理学の主な理論（5）：　認知療法
11．臨床心理学の主な理論（5）：　認知行動療法
12．事例にみられる心理発達の問題（1）：　心の理論
13．事例にみられる心理発達の問題（2）：　適応と精神的健康
14．事例にみられる心理発達の問題(3)：　ストレスとコーピング
15．まとめ：授業の振り返り
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
主としてテキスト・プリントとスライドを中心とした講義形式に演習（グループディスカッションなど）を加える。体験的に臨床心理学の内容を理解し、主な理論を日常生活のエピソードと交え想像しながら，能動的に学ぶ機会となるようにする。必要に応じて授業内もしくは授業後に課題を出し，理解度の確認を行なう。課題については次回の授業時に前回の振り返りと共にフィードバックする。
授業時間外学修（予習・復習等）について
テーマに関する予習や、授業内で取り扱った課題を宿題として出す場合がある。授業後には、授業ノートの見直しや話し合われたポイントを整理し、理解できていないところを質問できるように準備して授業に臨むのが望ましい（毎回１時間程度）。
定期試験の実施の有無
実施有り
定期試験方法
筆記試験
試験時間
90 分
試験持込み内容
可（授業中配布資料のみ）
成績評価方法
授業への取り組み（30%）授業中の課題（30%）定期試験（40%）により評価を行う
成績評価基準
授業への取り組み⇒グループディスカッションなどの演習も加えるため，それへ積極的に参加できているかを評価する課題⇒授業内で取り扱った内容について課題を出す場合，その課題についてまず提出したかどうか・内容が課題にそったものかどうか・量は十分に書けているかで評価する定期試験⇒指定された時間内に，問題で指示された内容を的確に分かりやすく説明できているかを評価する
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
臨床心理学に触れることで，日々の過ごし方に自分が使えそうだと思う心理学的な視点を持ち，役立てていけるよう意識して授業に取り組むこと。授業は一方的な講義ではなく一緒に，様々な事例を通して意見を交換しながら行うので，積極的に臨床心理学の理論を学ぶこと。
オフィスアワー
質問等ある場合は，毎回授業最後に書く振り返りシートに書くこと。それ以外の質問等への対応方法については授業中に別途案内する。
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

女性の心と身体（1 年）

上　英俊

授業テーマ
女性の健康について
授業の概要
女性の身体的特徴について学び，健康的な生活を送るための方法について考える.
到達目標 1
女性のライフスタイルと、健康について説明ができる.
その達成度を見る観点
女性の健康について理解し，説明することができるか.
その達成度を見るために用いる手法
試験
到達目標 2
健康管理の実践に取り組むことができる.
その達成度を見る観点
健康の管理方を理解し，実践できるか.
その達成度を見るために用いる手法
試験
到達目標 3
ライフプランを計画できる.
その達成度を見る観点
個人に応じたライフプランを計画することができる.
その達成度を見るために用いる手法
試験
授業計画及び授業内容
1．ガイダンス
2．体重増減のメカニズム
3．肥満が及ぼす影響
4．ウエイトコントロール
5．骨粗鬆症・歯
6．ロコモティブシンドローム
7．喫煙
8．飲酒
9．食習慣
10．女性ホルモンの作用
11．女性ホルモンの影響
12．自律神経
13．ストレス
14．ライフスタイルを考える
15．まとめ
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
授業は講義形式で行い，必要に応じて資料を配布する.また，課題についてのディスカッションを行う場合があ

る.
授業時間外学修（予習・復習等）について
授業で学んだことを，日常生活で実践する.
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
出席（10%）提出物（30%）平常試験（60%）
成績評価基準
出席：出席回数により評価する.
提出物：毎回の授業後に，内容の理解度を評価する.
平常試験：授業全体の内容を理解しているかを評価する.
※平常試験（確認試験）で 60 点未満の場合，単位は認定されない.
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
出席・欠席・遅刻・早退に関しては出席管理リーダーの基準に準ずる．欠席 6 回で受験資格を失い，エスケイプ等による不正行為は単位不認定とする
オフィスアワー
事前に連絡ください
教科書【学内販売：有】
特になし
教科書【学内販売：無】
特になし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

ジェンダー論（1 年）

妹尾　香織

授業テーマ
こころの健康とジェンダー
授業の概要
ジェンダーとは、文化的・社会的に規定された心理的な性差をいう。ジェンダー論では、男女についての“思い込み”によって成り立っている性別分業や性差別、男女別の役割期待などの男女のアンバランスな関係を、社会心理学的な立場から検討する。講義では、社会を構成する個人の意識に注目して、人々が抱く男性と女性についての思い込みのメカニズムと実際をまなび、こころの健康とジェンダーについて考える。
到達目標 1
現代社会における性差について意識する
その達成度を見る観点
日常生活における男性女性に関する思い込みが問題指摘出来る。
その達成度を見るために用いる手法
講義中の小レポートにおいて、日常生活における性差の実際を説明できる。
到達目標 2
性差が生まれるプロセスを知る
その達成度を見る観点
思い込みに関する心理学の概念やジェンダー・ステレオタイプを生み出す要因や心理プロセスを理解し、説明できるか。
その達成度を見るために用いる手法
講義期間中に、中間に一度、最終日に一度の計回講義中にテストにおいて、思い込みに関する心理学の概念やジェンダー・ステレオタイプを生み出す要因や心理プロセスを理解し、説明できるか。
到達目標 3
男らしさや女らしさについての自分の意見を持つ
その達成度を見る観点
現代社会における男女の在り方について具体例を挙げ、自分の意見が述べられるか。
その達成度を見るために用いる手法
レポートにおいて、現在や将来の男女の在り方について、論じる。
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
授業計画
1．ジェンダーとは　講義概要の説明
2．生まれつきの性と社会の中で作られる性
3．男女についての思い込み　- ジェンダー・ステレオタイプとは -
4．ジェンダー・ステレオタイプの形成と維持
5．子どもとジェンダー　- ジェンダー化への歩み -
6．恋愛とジェンダー
7．結婚への態度と行動とジェンダー
8．職業選択とジェンダー
9．結婚生活とジェンダー
10. 親子の関係とジェンダー1 性別化の要因とは
11. 親子の関係とジェンダー2 しつけなどの影響に見るジェンダー
12. ジェンダー・ステレオタイプとこころの問題
13. こころの健康とジェンダー1 性犯罪とジェンダー
14. こころの健康とジェンダー2 これからのジェンダー
15. ジェンダーステレオタイプと社会生活
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
講義のノートを毎回配布し、受講生が講義ノートを完成させる形の講義形式で行う。授業計画に沿ったテーマについて小レポートを作成し、次回の講義でフィードバックする。
授業時間外学修（予習・復習等）について
復習は、講義で見知ったことを身近な人に話してみて下さい。予習は、さまざまなジェンダーに関するニュースに目を向けておいてください。
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
授業での小レポート、小テスト、レポート課題の評価 50%と、平常試験 50%により評価する。
成績評価基準
小レポート、小テスト、レポート、平常試験は指定されたテーマについて、授業内容を理解し、要点を押さえてまとめられているか、自分の考えが明確に述べられているかを評価する。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
家庭、親子、夫婦、学校、就職、社会生活など日常生活において、誰もがこれまで経験してきたこと、あるいは、おそらくこれから経験するであろう、男や女についての意識や行動、実際を心理学的な観点から解説していく。
オフィスアワー
講義中に質疑応答の時間を設けますのでその場で質問してください。
教科書【学内販売：有】
『ジェンダーの心理学』/ 青野篤子・森永康子・土肥伊都子 著 / ミネルヴァ書房 /2004/ISBN-10：4623041530
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし

参考書【学内販売：無】
なし

女将論（1・2年）

石丸　淑子

授業テーマ
日本のおもてなしの象徴として世界的に注目浴びる女将の特性と役割、立ち居振る舞いを通じて観光産業の中核をなす、日本独特の和のおもてなしを学びさらに2020年オリンピックなどの国際行事のために今後益々増えることになる訪日外国人への対応も学ぶ
授業の概要
観光産業の一つである宿泊サービスの中でも特に日本女性の持つ感性を際立たせるおもてなしの形である女将の役割を立ち居振る舞い、仕事内容を知ることにより日本女性の独特の感性を養い、そのことを通じて今後の大きな観光産業の中核をなすと予想される訪日外国人への対応方法とともに日本人として知っておくべき日本独特の和のおもてなし方法や行儀作法も同時に学ぶことにより、社会人としての一般的な最低限のルールを身に着ける事ができる日本の宿おもてなし検定初級の公式テキストを使用するので9月に実施される（おもてなし検定初級）受験にも挑戦できる
到達目標1
女将の特性を理解することで日本女性の感性を養うことができる
その達成度を見る観点
女性の特性を理解する事が出来ているのか
その達成度を見るために用いる手法
演習課題の完成度
到達目標2
女将の役割を学ぶことで具体的な立ち居振る舞いを身につけることができる
その達成度を見る観点
具体的立ち居振る舞いが身についているか
その達成度を見るために用いる手法
演習課題の完成度
到達目標3
女将の特性を理解し、役割を学ぶことで外国人旅客への対応方法を学ぶことができる
その達成度を見る観点
女将の仕事と役割のみならず和の立ち居振る舞いが身についているか
その達成度を見るために用いる手法
授業内での立ち居振る舞いや行儀作法の成果発表時の完成度
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．日本旅館とホテルの相違点を探る（各自体験談もとに）
2．日本旅館の特色（課題演習）
3．日本旅館における女将の役割（例題を列挙）
4．女将の接客マナー術（実際の例題提示）
5．訪日外国人旅行の現状（具体的数字統計をもとに）
6．異文化コミュニケーションとは（演習課題）
7．国際観光サービスにおけるノーマライゼーション対応（具体例の提示）
8．学内和室を利用しての和のおもてなし実技体験1廊下の歩き方、入り口の入退出方、襖の開け閉め、室内の歩き方
9．同上　2　座布団の扱い（出し方、置き方、座り方）、座敷でのマナー
10．同上　3　お茶の出し方、料理の出し方、酒類の注ぎ方・受け方、座礼の方法
11．同上　4　最終確認試験（各自、与えられたテーマを習得した実技体験で表現）
12．女将的外国人旅行者への対応（地域、国別の具体的対応法を具体例で）
13．外国人が戸惑う日本独特の習慣（実例を題材に）
14．アシストサービスの現状（YOKOSO JAPAN キャンペーンを参照）
15．まとめ、半年間の学びの確認のための最終筆記試験
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
テキスト、プリント使用の講義形式だが、随時関連情報や、時事ニュースである新聞記事や雑誌などのメディア情報なども取り入れ、課題演習として内容理解の成果を確認する。学内和室を使用しての実技学習ではより具体的に和の行儀作法の習得を目指し、実技最終日には少数人数で女将、若女将などの役割分担で各自の完成度を発表する
授業時間外学修（予習・復習等）について
予習としては日々の自身や家族との家庭生活において何気なく過ごしている和の生活様式を再度意識して一つ一つ確認することで日本独特の和の行儀作法やマナーを何度も体験しておく、復習としては必ず授業内容を確認し行儀作法の行動などは再度、自身で体験しておく毎日の自身の行動（歩き方や言動等も）に関しても日本女性としての感性を常に意識して行動する
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
・授業への参加度（20%）
・演習課題、実技発表（40%）
・最終授業内で実施する筆記試験（40%）
成績評価基準
・授業への積極的な参加、質問、　発言等
・演習課題や実技発表などの完成度
・確認筆記試験の解答内容
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
和の行儀作法を学ぶ授業なので受講時の服装（言動、髪型、ネイル、靴等）に関しては、随時注意するのでそのことを理解して受講すること
オフィスアワー
授業時間外の質問などは学内メールにて対応、出講時には講師控室にて随時対応
教科書【学内販売：有】
日本の宿おもてなし検定委員会／ジェイティービー能力開発発行　日本の宿おもてなし検定初級公式テキスト
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

社会を知る　a・b（1年）

脇田　哲志

授業テーマ
“世の中の成り立ち、仕組み、動きを学ぶ”
授業の概要
みずからの人生（ライフ）をデザインしていくために不可欠な「現代社会の基礎知識」をしっかり習得し、人々

がより良く生きていくための社会のあり方を、自覚を持って考えられるようになることをめざします。日々のニュースや社会の話題を題材として取り上げていくことで、社会の成り立ちや仕組みを、わかりやすく幅広く学び、理解を深めていきます。世の中のさまざまな問題、課題に触れ、ともに考えていくことで、社会への視野を広げ、市民、社会人、そして自立した女性としての自覚を深め、将来への展望を切り開いていく力を養っていきます。

到達目標 1

社会の仕組みや動きを理解する

その達成度を見る観点

社会の仕組みや動きへの理解の度合い

その達成度を見るために用いる手法

質問や発表を積極的に行うなどの授業での活動を評価。毎回の授業の最後に提出する Minute Paper から評価。期末のレポートから評価。

到達目標 2

社会の課題を見つけ、問題提起ができる

その達成度を見る観点

課題を発見し、問題提起がどの程度できるか

その達成度を見るために用いる手法

質問や発表を積極的に行うなどの授業での活動を評価。毎回の授業の最後に提出する Minute Paper から評価。期末のレポートから評価。

到達目標 3

社会の一員と自覚し、課題の解決に向けて意見表明ができる

その達成度を見る観点

課題の解決に向けて意見表明ができるか

その達成度を見るために用いる手法

質問や発表を積極的に行うなどの授業での活動を評価。毎回の授業の最後に提出する Minute Paper から評価。期末のレポートから評価。

担当形態

単独

授業計画及び授業内容

下記は、現段階の計画です。「現代社会」を、世の中の具体的な動きに敏感に対応しながら学んでいくために、内容は柔軟にどんどんアップデートしていきます。就職活動も意識した授業内容としていきます。

1．あなたにとっての「社会」とは？
2．原点としての「3・11」 大災害と私たち
3．「主権者」として、「市民」として
4．日本の将来　少子高齢化社会
5．日本の将来　高福祉高負担か、低福祉低負担か
6．環境、エネルギー、ライフスタイル
7．ローカルな社会、グローバルな社会
8．世界の中の日本
9．京都を知る
10. 女性として生きる
11. 働くということ
12. 経済とグローバリゼーション
13. 企業と社会　キャリアの選択
14. 豊かさとは何か？　生きがいとは何か？
15. まとめ

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック

基本的に講義形式です。ただしテーマによっては、全員で自由にディスカッションを行います。毎回の授業の後に時間を取って、学生のみなさんに Minute Paper を書いてもらい、授業中に理解できなかった点などを記してもらいます。そこで得られた疑問点や意見は、その次の授業のときに取り上げて解説を加え、さらに理解を深めていくといったインタラクティブな授業を目指します。社会の最新の動きを、日本や世界のテレビニュースや新聞・雑誌、インターネットによるさまざまな発信も使って、多様なものの見方や価値観を学び、自覚ある市民、社会人への成長を目指します。

授業時間外学修（予習・復習等）について

世の中の動きへの関心を高めるために、普段から、テレビや新聞・雑誌、ネットを通じてニュースに触れる努力をお願いします。社会の出来事で、よくわからなかったものは、授業の中で積極的に質問できるように準備しておきましょう。事前に配付した資料は、必ず予習をしておいてください。授業で学んだ問題については、配付資料を必ず読み返して復習し、期末のレポートに備えてください。

定期試験の実施の有無

実施無し

成績評価方法

受講態度（50％程度）Minute Paper（25％程度）期末のレポート（25％程度）を総合して評価する。

成績評価基準

受講態度（50％程度）は、質問や発表を積極的に行うなどの授業中での学習態度や活動を評価。Minute Paper（25％程度）は、毎回各授業の最後に記述のための時間を確保し、提出したものを評価。期末のレポート（25％程度）は、15 回の授業内容を反映した課題について、期末試験中の締切日までに提出を求め評価。

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）

大学のキャンパスは、そのまま社会へとつながっています。その社会であなたに求められるのは、状況や事態を正確に把握する力、公平・公正なものの見方、正しく判断する力、そして、発言し行動する力であったりするのですが、その前提として必要なものが、社会の成り立ちや仕組み、価値観などについての基礎的な知識＝社会教養なのです。この授業で、人間として、女性として、社会の一員として、力強く生きていくためのベーシックを、一緒にしっかりと学んでいきましょう。できるだけ楽しく、そしていろいろと考える機会がいっぱいある、ためになる授業をめざします。担当教官は、34 年間にわたり、NHK のニュースの現場で取材に当たってきた国際ジャーナリストです。日本と世界の「ニュース最前線」での経験を踏まえて、世の中の動きを、できるだけわかりやすく解説していこうと考えています。最新のテレビニュースやドキュメンタリーなど映像資料も、できるだけふんだんに紹介し、さらに学生のみなさんから出されるさまざまな疑問もどんどん取り上げて、親しみやすい授業をみなさんとともに作り上げていきたいと思います。参考：実務家教員としての経歴：NHK に記者として入局し、34 年間在籍。その間、ロサンゼルス支局長・ニューヨーク特派員・中国総局長・国際部長・アメリカ総局長・国際放送局長など歴任。

オフィスアワー

研究室は、6 号館の 2 階の一番奥、206 号室です。メールは、t-wakita@mail.koka.ac.jp オフィスアワーは、一応、水曜 2 講時としておきますが、なにかあればいつでもメールでお気軽にご連絡下さい。時間を調整します。

教科書【学内販売：有】

なし

教科書【学内販売：無】

なし

参考書【学内販売：有】

なし

参考書【学内販売：無】

なし

女性のキャリアデザイン（1年）

小山　理子

授業テーマ
女性としての生き方を探る。特に、キャリアをどのように構築していくか、社会で活躍する女性の事例を参考にしながら考える。
授業の概要
近年、女性の意識やライフスタイルの変化は著しく、個性や能力を発揮して自分らしい生き方をしたいと考える女性が多くなっている。そのためには「自分の仕事」を持つことなど経済的な自立が必須の条件となる。この授業は、自らのキャリアデザインを描くにあたって、時代の方向性を踏まえた将来の職業生活のシナリオを描くために現実をしっかり把握することや、自分は何を目指すか、どう生きていこうとするか、何をしたいのか、など「自分自身を知る」ことにの必要性について、認識を深めていくことを目的とする。社会人を中心に、学内外で活躍している各界各層の女性を講師として招いたり、女性の活躍する姿を探求することによりその実践例から学ぶ。
到達目標 1
自分は何が出来るのかについて考え、分析できるようになる
その達成度を見る観点
外部講師の講話から感じたこと、学んだことをメンバーと共有し、多様な考え方に触れた上で、自分の意見を述べているか。
その達成度を見るために用いる手法
ディスカッションとレポート
到達目標 2
自分は何に価値を置くのかを考えられるようになる
その達成度を見る観点
自己のキャリアデザインシートの発表において、キャリアにおける自分の価値感を明確にできているか。
その達成度を見るために用いる手法
自己のキャリアデザインシートの作成と発表
到達目標 3
自分が本当にやりたいことは何かについて考え、実践する
その達成度を見る観点
外部講師の講話から感じたこと、学んだことをメンバーと共有し、多様な考え方に触れた上で、自分の意見と、これからの行動計画を具体的に述べているか。
その達成度を見るために用いる手法
ディスカッションとレポート
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．イントロダクション
2．女性が働くということ
3．キャリアとは？
4．女性とキャリア　身近な社会人から学ぶ
5．女性とキャリア　就職とキャリアについて学ぶ
6．女性の仕事の職種を学ぶ
7．女性とキャリア　30歳以降のキャリアについて学ぶ
8．女性とキャリア　結婚とキャリアについて学ぶ
9．女性の仕事の現状を学ぶ
10. キャリアドリフトという考え方から学ぶキャリア構築
11. 働き方改革から学ぶキャリア構築
12. 理想のキャリアについて考える
13. 理想のキャリアについて議論と発表
14. 自己のキャリアデザインシートの作成
15. 自己のキャリアデザインシートの発表
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
講義とディスカッションで進める。社会で活躍する外部講師を招いて講義とディスカッションを行う機会も設定する。
授業時間外学修（予習・復習等）について
次回の授業で取り上げる内容や、ゲストスピーカーの講話について、事前に自分自身で基礎的な情報や知識を得る努力を必ず行うこと。授業後は、その日学んだ内容を復習し、自分の意見をまとめておくこと。それらが、最終レポート作成時の最も大事な情報となるため、復習は時間をかけ、忘れずに行うこと。
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
・授業への参加度（30%）
・自己のキャリアデザインシートの作成と発表（30%）
・レポート（40%）
成績評価基準
・授業への参加度…授業中の積極的な参加、発表内容により評価する。自己のキャリアデザインシート、レポート…指定されたテーマについて、授業内容をよく理解し、要点をおさえてまとめられているか評価する。
※授業には出席することが前提のため、出席に対しての加点および評価はおこなわない。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
身近にいる女性の生き方や考え方に、関心を持ち、理解しようとすることが重要である。授業では、質問や意見の発表、ゲストスピーカとの交流など、積極的な参加を求める。ゲストスピーカーへは尊敬の念を持ち誠意ある態度で臨むこと。
オフィスアワー
木曜日　12：00-12：50
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

時事問題（1・2年）

脇田　哲志

授業テーマ
世界のいま、日本のいま、そして私たちの未来
授業の概要
日々、世の中で起きている出来事＝時事問題から、その意味するものと背景を学ぶ。社会への幅広い関心を養い、人間として社会人としてしっかりと生きていくための力となる社会教養を身につけていくことをめざす。これからのグローバル社会を主体的に担う市民として、批判的思考力を養い、考えるべき問題や取り組むべき課題は何かを探って行く。日本と世界の最新ニュースを幅広い分野から取り上げ、わかりやすく解説することで、就職活動にも大いに役立つ内容にしたい。
到達目標 1
世界と日本で、いま何がなぜ起きているのかを理解する
その達成度を見る観点
世の中の動きへの敏感さと、問題意識

その達成度を見るために用いる手法
質問や発表を積極的に行うなどの授業での活動を評価。毎回の授業の最後に提出する Minute Paper から評価。期末のレポートから評価。
到達目標 2
世の中のできごとを、自分の問題として考えることができる
その達成度を見る観点
できごとへの理解度と、受け止め方
その達成度を見るために用いる手法
質問や発表を積極的に行うなどの授業での活動を評価。毎回の授業の最後に提出する Minute Paper から評価。期末のレポートから評価。
到達目標 3
社会の一員と自覚し、課題の解決に向けて意見表明ができる
その達成度を見る観点
社会人としての自覚の度合い、意見表明の内容
その達成度を見るために用いる手法
質問や発表を積極的に行うなどの授業での活動を評価。毎回の授業の最後に提出する Minute Paper から評価。期末のレポートから評価。
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
以下は現段階の計画です。「時事問題」を扱うので、世の中の最新の動きに応じて、内容を柔軟にどんどん差し替えていきます。また、各回とも、そのときの大事なニュースを必ず取り上げることにします。
1．イントロダクション
2．世の中の動きを知る方法
3．時事問題の基礎知識（東日本大震災）＋その時のホット・イシュー
4．時事問題の基礎知識（日本の論点その 1・政治）＋その時のホット・イシュー
5．時事問題の基礎知識（日本の論点その 2・社会）＋その時のホット・イシュー
6．時事問題の基礎知識（　日本の論点その 3・経済）＋その時のホット・イシュー
7．時事問題の基礎知識（中国・朝鮮半島と日本）＋その時のホット・イシュー
8．時事問題の基礎知識（アジアと日本）＋その時のホット・イシュー
9．時事問題の基礎知識（　アメリカと日本）＋その時のホット・イシュー
10．時事問題の基礎知識（グローバルイシュー）＋その時のホット・イシュー
11．時事問題の基礎知識(文化と社会)＋その時のホット・イシュー
12．時事問題の基礎知識（AI と変わりゆく社会）＋その時のホット・イシュー
13．時事問題の基礎知識（主権者であることとは）＋その時のホット・イシュー
14．時事問題の基礎知識（ニュースのリテラシー）＋その時のホット・イシュー
15．まとめ
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
基本的に講義形式です。ただしテーマによっては、全員で自由にディスカッションを行います。毎回の授業の後に時間を取って、学生のみなさんに Minute Paper を書いてもらい、授業中に理解できなかった点などを記してもらいます。そこで得られた疑問点や意見は、その次の授業のときに取り上げて解説を加え、さらに理解を深めていくといったインタラクティブな授業を目指します。日本と世界の最新の動きを、日本のテレビや新聞・雑誌だけでなく、世界各地のテレビのニュースや、インターネットによるさまざまな発信も使って、多様なものの見方や価値観、そして価値のある情報を得る方法を学び、時事問題への理解を深めることを目指します。
授業時間外学修（予習・復習等）について
時事問題の知識は、社会人として自立するために必要とされる「社会教養」「一般常識」の大きな部分を占めていますが、それはまず「世の中に関心を持つこと」から、はじまります。「関心を持つこと」は、「自分が社会の一員であること」に気づくことから始まります。なので、まずは、自分の身の回りを広く見渡してみましょう。きっと何か気にかかることを発見できます。それが大切な予習のスタートです。毎日、テレビや新聞、ネットに目を通して、何がいま大きく取り上げられているのか、ニュースの流れをフォローしたうえで、授業に臨んでください。でも、大きく取り上げられているからといって、本当に大切な問題なのかどうかは、しっかりと考えてみないとわかりません。授業で得られた「社会を見る目」を大切にして、授業で取り上げた課題については、その後の展開を継続的に追いかけ、新しい社会の課題を見つけていくことが、大切な復習です。
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
受講態度（40％程度）Minute Paper（20％程度）期末のレポート（40％程度）を総合して評価する。
成績評価基準
受講態度（40％程度）は、質問や発表を積極的に行うなどの授業中での学習態度や活動を評価。Minute Paper（20％程度）は、毎回各授業の最後に記述のための時間を確保し、提出したものを評価。期末のレポート（40％程度）は、15 回の授業内容を反映した課題について、期末試験中の締切日までに提出を求め評価。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
担当教官は、34 年間にわたり、NHK のニュースの現場で取材に当たってきた国際ジャーナリストです。日本と世界の「ニュース最前線」での経験を踏まえて、世の中の動きを、できるだけわかりやすく解説していこうと考えています。最新のテレビニュースやドキュメンタリーなど映像資料も、できるだけふんだんに紹介し、さらに学生のみなさんから出されるさまざまな疑問もどんどん取り上げて、親しみやすい授業をみなさんとともに作り上げていきたいと思います。実務家教員としての経歴：NHK に記者として入局し、34 年間在籍。その間、ロサンゼルス支局長・ニューヨーク特派員・中国総局長・国際部長・アメリカ総局長・国際放送局長など歴任。
オフィスアワー
研究室は、6 号館の 2 階の一番奥、206 号室です。メールは、t-wakita@mail.koka.ac.jp オフィスアワーは、一応、水曜 2 講時としておきますが、なにかあればいつでもメールでお気軽にご連絡下さい。時間を調整します。
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

環境問題（1・2年）

高野　拓樹

授業テーマ
環境破壊に至った経緯と，現在の状況を正しく理解し，持続可能な社会の在り方を提案できる。
授業の概要
自然界と人類の営みの矛盾から生じた環境問題を学ぶために、この授業ではまず、世界に衝撃を与えた事例（温暖化、砂漠化、生物多様性の崩壊など）を写真や映像等を使いながら提示する。次に、このような環境問題が起こった歴史的経緯を学ぶと同時に、このままの状況が続くことによる未来の環境影響を考察する。さらに、地域、特に国土全域がホットスポットに指定されている日本の環境問題（森林崩壊、ごみ問題、固有種の絶滅など）に焦点を当て、その環境の歴史と現状を理解する。環境問題を「わがこと」として捉え、未来の自分と私たちの子孫のために、地球環境に対して正しい行動をとるための基本となる知識と考え方を習得することを目的とする。
到達目標 1
地球環境問題の現状について理解している
その達成度を見る観点
IPCC が発表しているような基礎的な地球環境の概要を理解しているか。
その達成度を見るために用いる手法
理解度確認テスト
到達目標 2
地球環境問題が起こった経緯を理解している
その達成度を見る観点
公害問題から発展し地球環境問題に至った経緯を当時の人間活動に準えて理解しているか。
その達成度を見るために用いる手法
理解度確認テストと環境問題に関する作文
到達目標 3
人類がめざすべき循環型社会について、正しい知識をもとに論じることができる
その達成度を見る観点
環境問題解決のための技術や法律、教育についての知識があり、そこから自らの意見の述べられるか。
その達成度を見るために用いる手法
環境問題に関する作文や授業中における質問や意見
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．ガイダンス－この授業の進め方や評価方法など－
2．すべての生き物のための地球
3．地球温暖化は起こっているのか？
4．平均気温の上昇を 2℃以下に抑える意味
5．環境問題の被害者は弱い生き物
6．絶滅の連鎖
7．島が沈んでゆく
8．砂漠化－黄砂と PM2.5 －
9．有害物質－人工毒と自然毒－
10. 俳句と作文を通じて環境問題を考える
11. 環境ホルモンがあなたの命を脅かす
12. リサイクルは誰の責任なのか？
13. 環境マネジメントシステム（EMS）
14. 生物多様性ホットスポット
15. 総まとめ（これまでの学びの振り返り）
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
毎回、授業資料を配布し、その資料を使って授業を進める。なお、授業の進行にはスライドの他、DVD などの映像も使用する。次の回には、指定教科書を使って前回の授業内容の振り返りを行う。また、期末の試験以外に、授業期間に 1 回のレポート（環境問題に関する俳句と作文）を提出してもらう。なお､時折､クリッカーなどを使った意識調査を実施する場合がある。
授業時間外学修（予習・復習等）について
環境問題は日々変化している。そのため、新聞やニュースなどの最新情報に注意していただきたい。授業期間内で実施するレポート（環境問題に関する俳句と作文）にも関係する内容であるため、入手した情報は適宜、配布資料やノートなどにまとめておくことが望ましい。また、環境問題に関する緊急性の高い事件や事故が発生した場合には、内容を変更して授業を実施する場合がある。
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
・理解度確認テスト（50%）
・環境問題に関する俳句と作文（各 10%）
・授業への取組姿勢（30%）
成績評価基準
・理解度確認テスト：授業内容の理解度を後半に確認する（指定教科書、配布プリント、自筆ノートのみ持ち込み可能）。
・環境問題に関する俳句と作文：授業中盤で実施。提出期間を設けて光華 navi で提出。
・授業への取組姿勢：授業中への積極的な参加（質問や意見などを含む）を評価する。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
環境問題は必ずしも自分に起きている問題ではないので、リアリティをもって感じることが難しいかもしれない。しかし、すでに世界中で環境問題が原因で生活ができなくなったり、自国に住めなくなったりと問題は確実に深刻化している。そして、近い将来、これらの問題が私たちの生活にも大きく影響することはほぼ間違いない。是非、環境問題を「わがこと」として理解し、今の自分のライフスタイルを見直していただきたい。
オフィスアワー
研究室番号：賢風館 2F-205 オフィスアワー：（前期）火曜日 12：10~12：40　金曜日 12：10~12：40（後期）火曜日 12：10~12：40　金曜日 12：10~12：40
教科書【学内販売：有】
高野拓樹 著 / 地球環境クライシス－未来へつなぐ命のバトン－ / ムイスリ出版 /2016
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

京の伝統文化を創る（1・2年）

相場　浩和、久世　奈欧、鹿島　我

授業テーマ
京都に関係の深い伝統文化を体験し、人間性を育む
授業の概要
伝統文化といえば、難しいという印象を持つ者が多いと思うが、その多くは「食わず嫌い」である。伝統文化の根底には「笑い」「恋愛」「庶民の暮らし」があり、そのいくつかには京都の町が、人が、暮らしが描かれている。食わず嫌いの原因は正しい触れ方をしてこなかったからである。この授業で取り上げる伝統文化のうち、落語と

狂言は講師を「落語家」「狂言師」がそれぞれ務める。単純で、おもしろくない、時代遅れの授業にはけしてならない。芸道に裏付けられた「魅せる授業」「聴かせる授業」「体験する授業」を展開する。百人一首を担当するのは外国人の女性研究家である。日本と全く違う異文化で育った女性に、平安時代の「恋愛」はどう映っているのか。現代の若者が抱く恋愛観と比較し、最終的には競技会を開催する。また、「町歩き」も授業の中で取り上げ京都の成り立ちや特徴について解説し、京都の町中に隠れた歴史の跡を見て回る。教員と学生で「新しい京の伝統文化」を創ることを目指していく。

到達目標 1

取り上げる伝統文化を鑑賞し、その内容を理解することができる

その達成度を見る観点

それぞれの伝統文化の形式について説明でき、鑑賞した所作、セリフ等の意味を説明できるかどうか

その達成度を見るために用いる手法

伝統文化を鑑賞し、それに基づき必要事項を記入するワークシートを作成

到達目標 2

取り上げる伝統文化の入門的水準のパフォーマンスを演じることができる

その達成度を見る観点

あらかじめ授業で説明するポイントに基づきパフォーマンスを演じることができるかどうか

その達成度を見るために用いる手法

各伝統文化で演じた内容のパフォーマンス評価

到達目標 3

取り上げる伝統文化の体験を通して得たことを教訓とすることができる

その達成度を見る観点

体験を通して得たことと教訓を具体的に明文化できるかどうか

その達成度を見るために用いる手法

レポート作成

担当形態

複数

授業計画及び授業内容

1．オリエンテーション
2．狂言その1：観劇
3．落語その1：落語の生い立ち
4．落語その2：小噺を作ろう
5．狂言その2：2人1組で1場面を演じる
6．狂言その3：発表会
7．落語その3：落語ゆかりの通り散策
8．落語その4：地名ネタ
9．町めぐりその1：京都の成り立ちと特徴
10．11．町めぐりその2・3:京都の歴史と不思議散策（土曜日に実施予定）
12．百人一首その1：句の鑑賞
13.百人一首その2:ゆかりの地の散策(土曜日に実施予定)
14．百人一首その3：競技かるた体験
15．まとめ・最終レポート

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック

取り上げる伝統文化ごとに、1成り立ちや基礎についての講義、2鑑賞、3体験からなる。3体験で行うパフォーマンスが学生への課題ともなる。毎回、ふりかえりシートを記入する。

授業時間外学修（予習・復習等）について

伝統文化ごとに、要求される水準のパフォーマンスを演じるためには、それ相当の授業時間外学修が必要になる。特に、百人一首については競技かるたの成績で評価するので、好成績をあげるためにはかなりの準備が必要となる。

定期試験の実施の有無

実施無し

成績評価方法

担当教員が、各伝統文化の招聘講師の意見を参考にして、実践の出来、ワークシートの内容、最終レポートの内容を総合的に評価する。具体的な配分は、・実践の出来（落語、百人一首に関して）40%・ワークシートの内容（狂言、町めぐりに関して）40%・最終レポートの内容（全体）20%である。

成績評価基準

・実践の出来：あらかじめ授業で説明するいくつかのポイントの出来具合によって評価する。
・ワークシートの内容：伝統文化の成り立ちや鑑賞した内容について、設問に従って具体的にまとめられているかどうかで評価する
・最終レポートの内容：各伝統文化の体験を通して得られたことをよく理解し具体的にまとめられているか、さらに学んだ伝統文化を今後の学生生活に活かしていく意欲が見られるかを評価する。

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）

この科目の目的は「教員と学生が一緒になって授業を創る」ことであり、その題材とするのが「伝統文化」である。伝統文化の体験を通してアクティブ・ラーニングを拡大していこうという意欲的な試みから始まった。したがって、伝統文化の体験を自己の人間形成に生かしていきたいという主体的意欲を持った学生を歓迎する。逆に、受動的に伝統文化を鑑賞できればそれでよいという学生には向かないので注意してほしい。

オフィスアワー

研究室番号相場　6号館210号室鹿島　6号館207号室久世　6号館204号室オフィスアワー：木曜日昼休み

教科書【学内販売：有】

なし

教科書【学内販売：無】

なし

参考書【学内販売：有】

なし

参考書【学内販売：無】

なし

くらしに生きるものづくり（1・2年）

久世　奈欧、青木　正明

授業テーマ

伝統が受け継がれるものづくりにフォーカスし、ものづくりを通して私たちのくらしを考える。

授業の概要

京都には日本が誇る伝統文化の数々、くらしに係わるものづくりが多くあり、現在も私達の生活の中に根付いている。この授業では伝統を継承しつつも新しい価値の創出や現代の生活スタイルにフィットする新しいものづくりへの挑戦を続ける職人や工房、企業の協力を得て、いろいろなものづくりについて体験学習をまじえて学習する。ものづくりにおける作り手の思いや人の智慧、人と人、人とモノとのつながりについて自ら考え、人の手によるものづくりや各産業への興味と理解を深める。社会が目まぐるしく変化する中で、伝統が受け継がれ今なお生き続けているのはなぜなのか。それを可能にする要素とは何か。そこで人々が大切にしてきたもの、受け継いできたものに目を向けてみる。また、それらを担う職人・工房・

企業に触れることで、自分自身のキャリアについても考えを深める機会とする。
到達目標１
ものづくりを通して社会の動きや変化を捉えることができる
その達成度を見る観点
自らの体験を通した具体的な理解
その達成度を見るために用いる手法
授業内発表、課題レポート
到達目標２
ものづくりを通して何が問われているのか、何が大切なことなのかを見極める力を身につける
その達成度を見る観点
自らの体験を通した具体的な理解
その達成度を見るために用いる手法
授業内発表、課題レポート
到達目標３
社会の一員として他者と係わり主体的に行動することができる
その達成度を見る観点
特別講師への質問
その達成度を見るために用いる手法
授業内発表、体験先での振る舞い
担当形態
複数
授業計画及び授業内容
１．イントロダクション　古きを知り、受け継ぐということ　樂焼の場合
２～３．現地見学（樂美術館）
４．見学振り返り
５．京のものづくり　－靴作りの職人－
６．京のものづくり　－友禅型染の職人－
７．京のものづくり　－染色と染料－
８．京のものづくり　－お香と香木－
９．振り返り・体験学習のガイダンス
10. 体験学習（曜日時間を変更して実施）
11. 体験学習（曜日時間を変更して実施）
12. 体験学習（曜日時間を変更して実施）
13. 体験学習（曜日時間を変更して実施）
14. 体験学習のふり返り
15. まとめ
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
アクティブラーニングを導入した演習形式で進める。特別講師による授業と、現場での体験学習（学外学習）を実施する。
授業時間外学修（予習・復習等）について
各時間のテーマについて十分にリサーチしておくこと。体験学習ではふり返りが非常に大切である。復習についても十分な時間を当てること。
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
受講態度（特別講師招聘時の傾聴力、質問力を含む）、授業への取り組み姿勢を含む平常点30％、授業内発表20％、課題レポート50％で総合的に評価する。課題レポートは体裁と構成内容について評価する。
成績評価基準
到達目標１～３に挙げた目標に到達しているかどうか
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
現場での見学・体験学習は、入場料および体験実費費用がかかります（おおよそ合計3000円程度）。また、見学・体験学習にかかる交通費は自己負担になります。体験学習は通常の開講曜日・時間を変更して行います。
オフィスアワー
木曜日　12：00-12：50n-kuze@mail.koka.ac.jp（久世）および m-aoki@mail.koka.ac.jp（青木）まで連絡のこと
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

マスメディア論（1・2年）

中谷　聡

授業テーマ
マスメディアとは何か？　その成り立ちと現状、問題点と将来について学ぶ
授業の概要
日常的に接しているテレビや雑誌、新聞、インターネットなどの「メディア」。これには過去の歴史、現代の展開、将来への発展などがある。また、知らないところで、あるいは気づかないところでいろいろな問題が発生してきた。世界にはいろいろな出来事が起きているが、そのことを知るのは「メディア」を通じてである。様々な情報を媒介する「メディア」について理解を深めることを目的とする。
到達目標１
マスメディアの成り立ちと仕組みを理解する
その達成度を見る観点
筆記試験・小レポートの評価
その達成度を見るために用いる手法
授業資料であるプリントや映像資料による閲覧・解説
到達目標２
マスメディアの変遷を見抜く
その達成度を見る観点
筆記試験・小レポートの評価
その達成度を見るために用いる手法
授業資料であるプリントや映像資料による閲覧・解説
到達目標３
情報を相対化して受け取る
その達成度を見る観点
筆記試験・小レポートの評価
その達成度を見るために用いる手法
自分のメディア環境についての小レポート
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
１．ガイダンス（授業の進め方や評価方法について）
２．マス・メディアの役割と機能
３．近現代史の復習（社会・政治）
４．出版Ⅰ
５．出版Ⅱ
６．新聞Ⅰ
７．新聞Ⅱ
８．映画
９．放送（テレビ・ラジオ）Ⅰ
10. 放送（テレビ・ラジオ）Ⅱ
11. 広告
12. インターネット
13. 現代社会とマスメディア
14. 現代社会のジャーナリズム

15. まとめ（定期試験についてなど）

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック

講義形式を採用する。授業はプリントを配布する。受講状況と小レポート、定期試験を成績評価の対象とする。小レポートの提出は光華 navi を使用する。光華 navi での提出方法を学習しておくこと。

授業時間外学修（予習・復習等）について

日常的に、テレビ、インターネット、新聞、雑誌など、マスメディアに触れる機会を持つことを求める。ニュースの視聴や現在の話題などを 1 日 10 分は意識的に見ること。

定期試験の実施の有無

実施有り

定期試験方法

筆記試験

試験時間

90 分

試験持込み内容

紙媒体であれば可

成績評価方法

受講態度：20％、小レポート：30％、定期試験：50％で評価する。

成績評価基準

小レポート：自身のメディア接触状況について、論理的に述べているか。自身の経験と関連して述べているか。定期試験：マスメディアの歴史について、現代のマスメディアに関する知識を整理して理解しているか。

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）

単に「ニュース」を視聴するだけでなく、マスメディアに関する「ニュース」を意識的に摂取してください。

オフィスアワー

光華 navi の Q&A 機能を中心に利用する。個別の連絡については、電子メールも可とする。

教科書【学内販売：有】

なし（授業でレジュメを配布）

教科書【学内販売：無】

なし（授業でレジュメを配布）

参考書【学内販売：有】

なし

参考書【学内販売：無】

「メディア用語基本事典」改訂版 , 世界思想社 ,2019 年

現代消費生活論（1・2 年）

三室　久枝

授業テーマ

消費者トラブルに巻き込まれないための基礎知識を学ぶとともに、消費者の権利や果たすべき役割を理解し、自立した消費者のあり方を考察する。

授業の概要

情報化、国際化等、消費生活を取り巻く環境はめまぐるしく変化している。その中で発生する、多様な消費者問題の実態を知り、未然防止、早期解決のための基礎知識を身につける。また、日常生活に伴う様々な商品や新しい形のサービスの活用や多発する自然災害への対処などを消費者の視点から考察する。そして、消費行動が社会に影響を及ぼすことを理解し、自立した消費者として、持続可能な社会のために、人々や世界的な自然環境や社会環境にも配慮した行動がとれることを目的とする。

到達目標 1

契約の基礎知識や消費者の権利を理解し、消費者トラブルに遭ったときの対処法を身につける

その達成度を見る観点

契約や消費者保護の基本的知識、活用法を理解しているか。

その達成度を見るために用いる手法

定期試験、授業内の確認小テスト・振返りレポートにおいて、知識を確認する。

到達目標 2

日常生活に伴う様々な商品を安全に利活用するための知識を身につける

その達成度を見る観点

商品の表示や規約を読み取る重要性を理解し、ポイントを説明できるか。

その達成度を見るために用いる手法

グループワーク、定期試験、振返りレポートで知識や留意点を説明する。

到達目標 3

私たちの消費行動が世界に影響を与えていることを理解し、持続可能な社会発展のため、積極的に行動することの重要性を理解する

その達成度を見る観点

消費行動と社会の関わりを理解し、自分の行動に結びつけられるか。

その達成度を見るために用いる手法

定期試験、振返りレポートで具体的な消費行動について記述する。

担当形態

単独

授業計画及び授業内容

1．オリエンテーション：現代の消費とは　授業について、大学生の消費トラブル、消費者の権利と責任

2．ライフサイクルと消費生活(p.7)　ライフサイクルゲームを使って、年代による消費生活トラブルとライフイベントを知ろう。

3．契約の基本と「見えないお金」(p.8-11,74-85)　契約・解約、未成年者契約と、電子マネー、クレジットカード利用時のポイント等を考える。

4．若い世代のトラブルと消費者を守る法律 1（p.13,18-23,26,86-97）　若い世代に多いトラブル事例、消費者を守る法律を知ろう。

5．若い世代のトラブルと消費者を守る法律 2（p.14-17,108-109）　若い世代に多いトラブル事例、消費者を守る法律を知ろう。

6．ねらわれるシニア世代と啓発の工夫（p.60-61,98-101,104-105,110-111,114-115）　高齢化社会とシニア世代に多い消費者トラブル、だまされる心理、啓発の工夫を考える。

7．「食」に関する情報の活用を考えよう　実際の商品観察等を通して、食品の表示、安全な扱い方、健康食品の注意点を身につける。

8．インターネットトラブルと新しい形の消費（p.48-59,104-107）　ネット通販等のトラブルと、ネットを活用した新しい消費の形とルールを調べる。

9．広告をチェックしよう（p.102-103,152-153）　景品表示法、独占禁止法について学び、問題広告に振り回されない力をつける。

10. 製品事故のリスクと安全に使うための知識（p.62-73,163）　製品事故の映像とともに、ＰＬ法、安全のためのマーク、取扱説明書の活用方法を身につける。

11. 自然災害と消費者（p.27～41,46-47,116-117）　近年の自然災害の現状を知り、消費者としての備え、災害時の消費トラブルについて考える。

12. ライフ＆マネープランを考えよう（p.24-25,134-141）　ライフイベントにかかる費用を調べ、自分のライフ

プランニングを考えよう。
13. 社会保障と保険・貯蓄（p.12,42-45,118-133,142-147,154-155） 社会保障のしくみを学んだうえで、保険や貯蓄の特徴を知り、個人の備えを考えよう。
14.「ＳＤＧｓ」と「消費者志向経営」「エシカル（倫理的）消費」「ＳＤＧｓ」「消費者志向経営」の意味と期待を知り、「エジカル消費」の実践につなげよう。
15. 消費者市民社会へ向けて（p.160-161） 消費行動の社会への影響や消費者の責任について改めて考え、本講座のまとめとする。【毎回、確認小テスト（記述含む）、または、振返りレポートを実施。】

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
スライド・教科書・プリントを中心とした講義と合わせて、グループワーク（ペアワーク含む）やディスカッション、反転授業、ショートロールプレイングなどの形式も混ぜながら行い、事例などを具体的にイメージできるようビデオ等の視聴覚教材や、実際の商品パッケージ、広告等も資料として利用する。また、公正取引委員会、京都府農林水産部､大阪ガスとのコラボ（ＴＴ）授業を予定。消費生活センター、警察、事業者団体などが作成したパンフレット等の資料も活用する。授業後に実施する確認小テストや振返りレポートについては、次回の授業時に前回の復習と共にフィードバックする。

授業時間外学修（予習・復習等）について
日頃から、新聞やテレビニュース、インターネットなどで取り上げられる消費生活に関連する話題や店頭の商品などに関心をもち、（必要であれば、メモをしておき､）授業のグループワークなどで活かせるようにしておくこと。授業に関する疑問等があれば、授業内あるいは授業の前後に、直接、質問してください。

定期試験の実施の有無
実施有り

定期試験方法
筆記試験

試験時間
60 分

試験持込み内容
教科書、授業中配布プリントのみ可（ただし、コピーしたものは不可）

成績評価方法
定期試験　50％　授業内の確認テスト・振返りレポート　30％グループワーク等、授業への参加度　20％

成績評価基準
・定期試験　授業で学んだ知識や理解度を問う問題を選択式、記述式で出題予定。
・授業内の確認テスト・振返りレポート　授業で取り上げた内容について理解しているかを評価する。
・グループワーク等、授業への参加度　授業に積極的に参加し、かつ、グループワークなどを実施した際の自ら考えようとする態度やプリントへの記入状況などにより評価する。

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
社会の変化に伴い、消費者を取り巻く状況も刻々と変わっています。大学生になり、社会との関わりが大きくなるにつれ、様々な契約トラブルに巻き込まれる可能性が高くなり､特に､成年年齢の引き下げが決まり､大学生をターゲットとする悪質商法の増加も心配されます。また、消費者が社会環境、自然環境を意識した行動をとることも期待されています。この講座では、視聴覚資料や最新のリーフレットなどを利用して、日常生活の中で起こりうる様々なトラブル事例や対処法を具体的に紹介し、消費者トラブルに巻き込まれない知識を身につけてもらうとともに、実生活の中で触れる広告や商品包装などを活用して、生活用品やサービスの安全な利用のしかたや消費者の権利と責任について学んでいきます。そして、社会の一員として、どのような消費行動をとることが大切か、一緒に考えていきたいと思います。企業就職に際しても、最近では消費者志向経営が注目されるため、消費者の視点を考慮した提案や対応ができることは大切なことと考えます。

オフィスアワー
質問等がある場合は、基本的に授業内、授業の前後に質問するようにしてください。それ以外の質問等への対応方法については授業中に別途指示します。

教科書【学内販売：有】
くらしの豆知識　2020 年版　/ 独立行政法人　国民生活センター 2019 年 8 月発行　ISBN　978-4-906051-94-6 C0077

教科書【学内販売：無】
なし

参考書【学内販売：有】
なし

参考書【学内販売：無】
なし

サブカルチャー論（1・2 年）

久世　奈欧

授業テーマ
見えない世界と日本人

授業の概要
文芸や演劇、漫画やアニメなどのなかで、現代に至るまで姿を変え、語られる「妖怪」や「怪異」。それを学問的に読み解くと、どのような姿が見えてくるのか。特に日本の「妖怪」や「怪異」に注目し、それを生み出した日本人の感性への理解を深めます。

到達目標 1
「妖怪」や「怪異」をうみだした背景を理解する

その達成度を見る観点
授業の理解度

その達成度を見るために用いる手法
小テスト・レポート

到達目標 2
「妖怪」や「怪異」の歴史的な変化について理解する

その達成度を見る観点
授業の理解度

その達成度を見るために用いる手法
小テスト・レポート

到達目標 3
学問への興味を深める

その達成度を見る観点
自分なりの疑問・論点を持てるか

その達成度を見るために用いる手法
授業態度・小テスト・レポート

担当形態
単独

授業計画及び授業内容
1．イントロダクション
2．身近な「妖怪」
3．「妖怪」のルーツをたどる　1 民話・説話
4．「妖怪」のルーツをたどる　2 絵巻物・物語
5．「妖怪」のルーツをたどる　3 江戸時代の書物･記録(1)
6．「妖怪」のルーツをたどる　4 江戸時代の書物･記録(2)
7．「妖怪」のルーツをたどる　5 絵画・伝承
8．前半まとめ・小テスト

9．諸外国の「妖怪」（地誌を中心に）
10. 京都と「妖怪」
11～12. 京都の「妖怪」伝承地見学
13. 現代の「妖怪」事情
14. 日本における「妖怪」とは何か
15. まとめ

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
主に講義形式です。授業ごとのワークシートや小テストで、授業への理解を深めます。授業ではノートをとり、授業前に読み返しておくこと（約 30 分）。疑問点は次回に担当者に質問してください。適宜課題や予習を指示することがあります。伝承地見学は主に京都市内に出向く予定なので、交通費の自己負担があります。おおむね千円以内の予定です。

授業時間外学修（予習・復習等）について
前回までの授業内容について、ノート・レジュメを再読の上、確認しておくこと（30 分程度）。不明点・疑問点については次回授業時に質問してください。

定期試験の実施の有無
実施無し

成績評価方法
小テスト（20％）・平常レポート（40%）・授業への取り組み（20％）を総合的に評価します。

成績評価基準
授業の理解度、授業への積極的な参加姿勢、自分なりの疑問・論点を持てるか

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
「妖怪」や「怪異」を読み解き、それらがうみだされた背景を探るなかで、文学・民俗学・歴史学等、様々な学問領域に触れて欲しいと思います。多面的な視点や、探究を楽しむ姿勢を獲得することを目指します。

オフィスアワー
研究室番号　6 号館 204 号室毎週木曜　12：00 ～ 12：50

教科書【学内販売：有】
なし

教科書【学内販売：無】
なし

参考書【学内販売：有】
なし

参考書【学内販売：無】
なし

社会学　a（1・2 年）

加藤　千恵

授業テーマ
社会学的なものの見方を理解する

授業の概要
社会学は私たちが生きている社会に何が潜んでいるのかをあぶり出す学問といえます。基本的な社会学理論を理解するとともに、多様な個別領域における社会学の研究成果について具体的なトピックスを取り上げながら学びます。

到達目標 1
1．社会学の基礎概念を理解する

その達成度を見る観点
授業で取り上げた社会学のキーワードを理解しているか

その達成度を見るために用いる手法
第 1 回レポート（事例分析）において社会学のキーワードを適切に使用する

到達目標 2
2．社会学が対象とする多様な領域について理解する

その達成度を見る観点
多様な観点から社会問題を分析できているか

その達成度を見るために用いる手法
毎回の授業で作成するコメントシートで自分の考えを述べる

到達目標 3
3．社会学を現代社会の諸問題と結びつけて考えることができる

その達成度を見る観点
社会学の視点で社会問題を捉えることができるか

その達成度を見るために用いる手法
第 2 回レポート（最終レポート）において自分の考えを具体的に記述する

担当形態
単独

授業計画及び授業内容
1．イントロダクション　――「社会学」とは何か（pp.1-9）
2．社会を観察する方法（pp.13-22）　社会で生きる「私」（pp.25-34）
3．変容する家族のかたち　――家族社会学（pp.36-47）
4．性の多様なあり方を考える　――ジェンダーとセクシュアリティの社会学（pp.48-57）
5．事例の分析 1
6．事例の分析 2
7．「現実」を生きるための社会学　――労働社会学・産業社会学（pp.60-70）
8．日本で進展する環境・災害社会学 1　――環境社会学（pp.73-84）
9．日本で進展する環境・災害社会学 2　――災害社会学（pp.73-84）
10. 社会学から医療を見つめる　――医療社会学（pp.87-96）
11. 社会学は教育とどう向き合うのか　――教育社会学（pp.98-108）
12. 逸脱行動と社会問題（pp.110-119）　格差の社会学（pp.122-132）
13. 生活空間としての地域社会　――地域社会学とエスニシティ（pp.135-162）
14. 宗教から社会を捉える　――宗教社会学（pp.163-173）
15. 社会の中のメディア・メディアが動かす社会（pp.177-186）　国家と社会運動（pp.190-199）

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
1　授業は教科書を中心に、配付資料（レジュメ）を使用しながら進めます。講義中心ですが、双方向授業にするため、毎回コメントシートを作成してもらいます。その際、他者の意見を聞くためにペアワークを行うことがあります。
2　事例分析では映画「そして父になる」を使用します。課題の作成・提出方法は授業で指示します。
3　最終レポートはテキストに掲載されている「課題」から選択します。

授業時間外学修（予習・復習等）について
1　予習内容は授業で指示します。教科書の各章「予習」と「課題」を使用しますので、事前に教科書に目を通しておくことが必要です。予習・復習時間は 30 分程度を確保してください。
2　社会学はあらゆるものが研究対象となります。十分にアンテナを張って、ニュース、ドラマ、ドキュメンタリー等から現代社会の動きをキャッチしてください。

定期試験の実施の有無
実施無し

成績評価方法
授業で作成するコメントシート（65%），事例分析（15%），最終レポート（20%）
成績評価基準
「授業で作成するコメントシート」については授業内容を理解した上で自分の意見を述べているか、「事例分析」については社会学のキーワードを的確に使用して分析しているか、「最終レポート」については課題文に対して適切に回答しているかを重視します。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
社会学のテーマはあらゆる場面に存在しています。予習・復習・ディスカッションに積極的に取り組み、社会学的なものの見方を身につけてください。
オフィスアワー
研究室：賢風館 304 号室オフィスアワー：金曜日　12：00-14：00　E-mail：c-kato@mail.koka.ac.jp
教科書【学内販売：有】
大学生のための社会学入門／篠原清夫・栗田真樹編著／晃洋書房／ 2016 年／ 9784771027176
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
そして父になる／是枝裕和・佐野晶／宝島社／ 2013 年

くらしのなかの経済学（1・2 年）

阿部　一晴

授業テーマ
現実社会における実際の経済現象や時事問題を経済学という視点で、より身近なものとして捉えるための基本を身につける
授業の概要
私たちの周囲には様々な経済現象が存在する．「景気が良い」とか「景気が悪い」,「円高･円安」「インフレ･デフレ」,「物価」といったことを日常でも耳にすることが多い．これらは経済現象を具体的に表したものである．また, 政府･企業や国際的なレベルから生活に密接に関係する身近なものまで様々な経済問題もある．経済学は，現実社会における経済現象を対象とするもので, その分析対象によって，経済理論はミクロ経済学とマクロ経済学に分けられる．本科目では，これらミクロ経済学・マクロ経済学の具体的な理論には踏み込まず，その概要にとどめる．経済学的な視点を学ぶことにより，実際の経済現象や時事問題を身近なものとして捉え，より複雑化する現代社会における経済問題についての視野を拡大するための知識を幅広く修得することを目指す.
到達目標 1
経済学全般の基礎概念と基本的な分析枠組みの概要を理解できる
その達成度を見る観点
経済学のカバーする範囲や基本的な考え方，取り扱う具体的な項目がどういったものか理解できているか．経済モデルというものがどういうものか具体的にイメージ出来ているか.
その達成度を見るために用いる手法
レポート・演習課題設問の中にこれらに関する項目を盛り込み，その解答内容で評価する．コミュニケーションペーパの記述内容で評価する.
到達目標 2
家計・企業・政府といった経済主体、国内総生産・失業率等の経済指標、企業と市場との関係、景気や物価など経済現象の現状と背景について理解できる
その達成度を見る観点
該当する項目を対象とした授業において取り上げるテーマ各々が具体的に理解できているか.
その達成度を見るために用いる手法
レポート・演習課題設問の中にこれらに関する項目を盛り込み，その解答内容で評価する．コミュニケーションペーパの記述内容で評価する.
到達目標 3
くらしの中にある身の回りの出来事と経済学の関係を具体的に理解できる
その達成度を見る観点
社会で現実に起こっている現象を経済学的な考え方で捉えることができているか．経済学で取り上げられる具体的なテーマが身近なものと感じられているか.
その達成度を見るために用いる手法
レポート・演習課題設問の中にこれらに関する項目を盛り込み，その解答内容で評価する．コミュニケーションペーパの記述内容で評価する．期末レポートの記述全般を通じて，自分自身と経済学との関係をどのように捉えているかを評価する.
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．ガイダンス／この科目で扱う内容等についての説明［課題：受講動機・抱負等］
2．景気の話（pp.12-22）景気のいい悪いはどうやって決まるのか？［課題：授業で取り上げたテーマに関するレポート］
3．為替の話（pp.23-39）［課題：授業で取り上げたテーマに関するレポート］
4．景気と需要の話（pp.40-54）［課題：授業で取り上げたテーマに関するレポート］
5．金融政策の話（pp.56-67）景気対策とは何をするのか？［課題：授業で取り上げたテーマに関するレポート］
6．日銀と政策の話（pp.68-92）［課題：授業で取り上げたテーマに関するレポート］
7．財政政策の話（pp.94-106）景気対策に税金をどう使うのか？［課題：授業で取り上げたテーマに関するレポート］
8．日本経済と最近の政策の話（pp.108-132）今，どんな政策が行われているのか？［課題：授業で取り上げたテーマに関するレポート］
9．為替と貿易の話（pp.134-152）円高と円安はどっちが得なのか？［課題：授業で取り上げたテーマに関するレポート］
10. 物価の話（pp.154-172）インフレとデフレとは何か？［課題：授業で取り上げたテーマに関するレポート］
11. 国債の話（pp.174-199）日本は借金大国であるというのは本当か？［課題：授業で取り上げたテーマに関するレポート］
12. 税金と社会保障の話（pp.200-210）［課題：授業で取り上げたテーマに関するレポート］
13. 格差と投資の話（pp.212-234）これから必要なお金の知識とは何か？［課題：授業で取り上げたテーマに関するレポート］
14. 株式投資の話（pp.235-266）・外貨投資の話（pp.267-280）［課題：授業で取り上げたテーマに関するレポート］
15. 全体のまとめ・補足本科目全体のふり返りと共有最近の経済学全般に関する話題と補足事項の解説
※（　）内は教科書の該当ページ
※基本的には上記授業計画に基づき進めるが，最新の話

題等をできるだけタイムリーに取り上げるため，授業計画および内容等は変更する可能性がある．（詳細は授業内で指示する）

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック

主としてテキスト・プリントとスライドを中心とした講義形式でおこなうが，ビデオ等の視聴覚資料も利用する．ほぼ毎回コミュニケーションペーパで，授業内容に対する質問やコメントを求める．質問等については原則次回授業で全体にフィードバックする．宿題としてほぼ毎回レポート等の課題を課す．（教科書全体を授業内では取り扱えないため，授業外での自主学習・課題としての取り組みを指示する）また，必要に応じて授業内で小テスト等による理解度確認をおこなう．

授業資料・連絡事項，レポートの提出等は必要に応じて光華 navi を使用して提供する．

授業時間外学修（予習・復習等）について

前回までの授業内容について，必ず復習を行うこと．また，ほぼ毎回出されるレポート課題に取り組むこと．新聞やテレビニュース等で取り上げられる「経済･ビジネス」に関連するものに関心を持ち，特に気になったものはレポートに書き留めておくこと．疑問等があれば，コミュニケーションペーパ，メールまたは次回授業冒頭時に担当教員に質問すること．（疑問点はクラスで共有することが望ましいのでできるだけ授業で質問すること）（予復習を含めこの科目の学習には，毎週3時間程度をかけること）

定期試験の実施の有無

実施無し

成績評価方法

授業への参加度（20％）レポート・演習課題・小テスト等の評価（40％）期末レポート（40％）により評価をおこなう．期末に学習内容全体を網羅した総合的なレポート課題を課す．（詳細は授業内で指示する）

成績評価基準

授業への参加度：コミュニケーションペーパの記述内容で授業への参加度，積極性等を評価する（授業内容への興味関心，授業参加の積極度等をコミュニケーションペーパへの記述で評価します．）レポート・演習課題・小テスト等：授業内で取り上げるいくつかの重要テーマについて，理解度および考察の視点を中心に評価する（授業で取り上げた内容に加え，各自が関連項目を自習するなどして，いかに理解を深めたかを評価します．）期末レポート：本授業で学んだことの応用について，総合的な理解度および考察の視点を中心に評価する（授業で学んだことを網羅して，総合的・応用的な視点で課題に深く取り組めているかを評価します．）授業には出席することが前提のため，出席に対しての加点および評価はおこなわない．ただし，欠席が5回を超える者は期末レポートの提出を認めない．

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）

本科目はさまざまな社会現象を正確に把握・理解する上で重要な内容を取り扱う．幅広いリベラルアーツの学びの領域の一つであると同時に，就職対策としての一般常識補強にも役立つ内容を提供する．苦手意識を持たず，社会人としての必須知識の一つとして積極的に取り組んでもらいたい．新聞やテレビ等を通じて社会の最新の動きに興味を持つこと．授業には受け身ではなく，積極的に参加すること．授業は真面目に受講すること．授業中に不適切な態度（私語に終始，飲食，居眠り，スマートフォン･音楽プレーヤ等の使用，帽子･サングラスの着用　等）の者には退室を命ずる．17年間SE（システムエンジニア）として官公庁・民間企業のシステム開発・コンサルティング等を担当してきました。この間、様々な業種に属する組織・企業の実際の業務システム構築を経験しました。本科目の主題となる経済（経済学）というものには､家計･企業・政府それぞれの活動・関係を捉えるという観点があります。実際にはその中心は企業の経済活動ということになります。自らが企業の構成員として長年勤務した経験、上記業務システム開発の経験を通じて得た知識をベースに、経済の中で重要な役割を担っている企業の本質や様々な活動をできるだけ分かりやすく取り上げていきます。これらを通じて、経済というものをより臨場感を持って身近な存在として捉えてもらうことを目指します。1984年 NECソフトウェア関西（現：NECソリューションイノベータ（株））入社 NEC海外向け量販製品の販売促進、PC・OSV・小型汎用機用業務パッケージ（財務・給与）開発、流通・サービス業向け個別システム開発等を担当 1997年～1998年 NEC Systems Laboratory、Inc.（米国カリフォルニア州）駐在以後インターネット関連ビジネスの拡販･コンサルティング担当のマネージャーを経て 2001年退職 2016年～JR西日本不動産開発（株）非常勤顧問（経営企画室担当）

オフィスアワー

研究室：賢風館2F　209オフィスアワー：火曜日　16：00～17：00・金曜日16：00～17：00

教科書【学内販売：有】

「今までで一番やさしい経済の教科書　最新版」 著者：木暮太一　ダイヤモンド社 /2015年 ISBN：978-4-478-06494-8

教科書【学内販売：無】

なし

参考書【学内販売：有】

なし

参考書【学内販売：無】

「経済学・入門　第3版」 著者：塩澤修平　有斐閣 /2013年　ISBN：978-4-6412-2004-1

「はじめての経済学〈上〉」 著者：伊藤元重　日本経済新聞出版社 /2004年 ISBN：978-4-5321-1014-7

「はじめての経済学〈下〉」 著者：伊藤元重　日本経済新聞出版社 /2004年 ISBN：978-4-5321-1015-4

その他，授業中に必要に応じて紹介する

学生が創る「学び」（1・2年）

相場　浩和、鹿島　我

授業テーマ

社会人として身に付けておくべきマナーの認識と習得

授業の概要

この授業は、ライフデザイン学科の学生自身が「自分たちが受けてみたい授業」として提案する学生提案型授業である。短期大学での2年間の学びを終え、社会人としての生活をスタートさせるにあたり、身に付けておくべきマナーはたくさんある。それらのマナーを学生が自分たちで調査・研究して、自らが講師となり受講者に発表していくという形式をとる。また、単にマナーを身に付けるだけなく、何故そのようなマナーが生まれたのか、マナーは歴史の中でどのような変化を遂げてきたのかについても合わせて学んでいく。もちろん、その内容については、担当教員がチェックするが、授業のベースになるのは学生自身の「知りたい」「学びたい」「伝えたい」という探求心である。

到達目標1

社会人として身につけておくべきマナーについて、自分で調べて整理し、講義することができる

その達成度を見る観点

グループでの事前準備に参加し、役割をしっかり果たし

ているかどうか、また、当日の授業もグループの一員として積極的に行っているかどうか。

その達成度を見るために用いる手法

学生自身がグループで授業内容を作り、実際の授業を行う。

到達目標 2

社会人として身につけておくべきマナーについて、その本質、起源を理解し、思いやりの心との関連を説明できる

その達成度を見る観点

各テーマのマナーについて、1 その本質、2 その起源、3 思いやりの心との関連について理解できているかどうかどうか。

その達成度を見るために用いる手法

担当した授業の内容、毎回のふりかえりシート、最終レポートを見て判断する。

到達目標 3

授業で学んだマナーを実際に実行できる

その達成度を見る観点

食事のマナー実践の回において、それまでの授業内容から作成された 10 項目のチェックリストをクリアできているか。

その達成度を見るために用いる手法

「食事のマナー実践」の回において学外で実際の食事を行う。

担当形態

複数

授業計画及び授業内容

1．ガイダンス
2．葬式のマナー
3．恋愛のマナー
4．職場のマナー
5．公共のマナー
6．お金・贈り物のマナー
7．お酒のマナー
8．日本と外国のマナーの違い
9．言葉遣いのマナー
10. 結婚式のマナー
11. 服装のマナー
12. 観光（神社参拝等含む）のマナー
13. 旅館（和食含む）・ホテルのマナー
14. 食事のマナー実践
15. 最終レポート・まとめ

＊なお、ここに示されている授業計画は 2019 年度の内容であり、2019 年度に取り上げる小テーマは学期の冒頭に受講者の希望に基づいて決定する。

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック

学生は、毎回、グループごとに教える側と教えられる側に分かれる。教える側になった学生はテーマについてしっかりと事前学習を行い、テーマに合った形式で授業を進めていく。毎回授業の感想レポートを提出するが、その際、質問があった場合、翌週、授業担当だったグループが質問に回答する。また、身に付けたマナーの実践として、食事会を予定している（実費）。

授業時間外学修（予習・復習等）について

教える側になった場合は、90 分授業を作るという作業のためにある程度の事前学修が必要となる。教える側に回るのは全体で 3 回程度である。事前学修の目安は、1 時間程度のグループでの集まりが 2 回、2 時間ほどの個人調べが 1 回程度である。

定期試験の実施の有無

実施無し

成績評価方法

担当教員が授業への積極性と授業態度を総合的に評価する。具体的な配分は、・授業を作る側に回った時の貢献度 4 割・授業を受ける側に回った時の参加度 2 割・食事のマナー実践でのマナー実施ポイント 1 割・最終レポート 3 割である。

成績評価基準

・授業を作る側に回った時の貢献度…グループワークへの貢献、下調べの深さ、発表の工夫・技量により評価する。
・授業を受ける側に回った時の参加度…授業中の積極的な発言、グループワークへの貢献により評価する。
・食事のマナー実践でのマナー実施ポイント…食事のマナー実践でいくつかのマナー実践ポイントについて実際に実施したかどうかで評価する。
・最終レポート…自グループが授業を行ったテーマや他グループが授業を行ったテーマについてそれぞれよく理解しまとめられているか、さらに学んだマナーを今後の実生活に活かしていく意欲が見られるかを評価する。

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）

この授業は学生が「自分たちが本当に学びたい内容」から生まれた「学生提案型授業」である。教員は見守り役であり、明らかな間違いを発見した場合の訂正役であり学びについての相談役であると理解してもらいたい。ライフデザイン学科ではアクティブラーニングを重視しているが、学生が自ら決めたテーマで自ら授業を設計し、自らに学生参加型授業を展開するという試みはその究極の形の 1 つであろう。学びに対してアクティブな気持ちを持った多くの学生が受講し、新しい形の授業を作っていってほしい！

オフィスアワー

研究室番号　相場：6 号館　研 210　鹿島：6 号館　研 207　オフィスアワー　2 名とも前期、後期とも木曜日昼休み（12：00-12：50）

教科書【学内販売：有】

なし

教科書【学内販売：無】

なし

参考書【学内販売：有】

なし

参考書【学内販売：無】

なし

ライフ創彩（1・2 年）

相場　浩和、鹿島　我

授業テーマ

グループワーク実践

授業の概要

社会における活動は、すべて何らかの意味でグループワークであり、グループワークの中で力を発揮できることが大切である。採用人事でもグループワーク、グループ面談を取り入れる企業が多くなってきており、「グループワーク力」は就活で成果をあげるうえでも重要な力となっている。そこで、今年度の「ライフ創彩」では徹底したグループワークを行い、グループでのコミュニケーションの取り方、グループでの役割の発揮の仕方、グループとして個人の力以上の力を発揮する方法を学ぶ。具体的には、まずは、ゲーム形式で楽しく行えるグループワークをたくさん行う。また、比較的時間のかかる本格的なグループワークも行う。就活時に必要となるグループディ

スカッションについても取り上げる。グループワーク後に、全体として、また個人として、成果、問題点、課題を振り返ることで、各自のグループワークに対する理解度を増し、さらに「グループワーク力」を引き上げる。

到達目標 1

与えられたグループで積極的にコミュニケーションをとることができる

その達成度を見る観点

グループの中で積極的に発言しているか、また、相手が話しやすいような聞く態度をとっているか

その達成度を見るために用いる手法

グループワークを観察する

到達目標 2

グループの中での自分の役割を自覚し、その役割を積極的に果たすことができる

その達成度を見る観点

グループの中での自らの役割を自覚できているか、それに沿った役割を果たせているか

その達成度を見るために用いる手法

ふりかえりシートに記入された「その日のグループワークでの貢献度」をチェックする

到達目標 3

グループの力に依拠し、グループとして、自分個人以上の問題発見力・解決力を発揮することができる

その達成度を見る観点

グループとして、高いパフォーマンスを示せるかどうか

その達成度を見るために用いる手法

各グループワークに対する各グループの成果を見る

担当形態

複数

授業計画及び授業内容

1．ガイダンス
2，3．アイスブレーク（ペア探し、水平思考、推理ゲーム、人間知恵の輪、その他）
4，5．貿易ゲーム
6，7．コンセンサスゲーム
8，9．地図作成
10，11．これまでのグループワークについてのプレゼン
12，13．就活グループディスカッション
14，15．まとめ

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック

毎回、グループワークを行う。グループワーク終了後には、グループワークで得た成果、改善点、今後の課題等をふりかえる。さらに、各授業の最後には、グループワークで学んだことを、各自、ふりかえりシートに記入する。最終回には最終レポートを課す。

授業時間外学修（予習・復習等）について

授業後、毎回、次回までに「グループワークで学んだ3つのポイント」をまとめる。また、プレゼンを行う場合、事前に通告するので、プレゼンの内容をしっかり準備しておく必要がある。

定期試験の実施の有無

実施無し

成績評価方法

担当教員が、各自のグループワークでの貢献度、グループとしてのパフォーマンス、各自のグループワークの理解度を総合的に評価する。

具体的な配分は、

・グループワークでの貢献度　40%
・グループとしてのパフォーマンス　40%
・最終レポート　20%

成績評価基準

・グループワークでの貢献度：グループワークに積極的に参加しているか、役割を果たしているかを評価する
・グループとしてのパフォーマンス：それぞれのグループワークでのグループとしての成果で評価する
・最終レポート：レポートテーマに対する内容の適切性、および、レポートの中で、グループワークの重要性を適切に表現できているかどうかを評価する

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）

ライフデザイン学科ではアクティブ・ラーニングを通した学生の主体的学びを重視している。この「ライフ創彩」はその取組の中から生まれたもので、公募制の「学生提案型授業」である。授業のテーマや内容を学生に公募し、学生から応募された提案の中から適切なものが選ばれ、「ライフ創彩」の授業として採択されるというものである。今年度はそのような過程を経て、この「グループワーク実践」がライフ創彩の授業として選定された。この重要性を理解し、積極的にグループワークに貢献したいという意欲的な学生の履修を期待したい。

オフィスアワー

研究室番号　相場：6号館　研210　鹿島：6号館　研207オフィスアワー　2名とも前期、後期とも木曜日昼休み（12：00-12：50）

教科書【学内販売：有】

なし

教科書【学内販売：無】

なし

参考書【学内販売：有】

なし

参考書【学内販売：無】

なし

京のくらし（1年）

久世　奈欧

授業テーマ

京都を支えるさまざまな文化に触れ、知識を深めよう。

授業の概要

京都に息づく様々な文化の概要を理解し、実際に触れることで、京都に対する理解を深めます。京都での大学生活をより楽しむため、伝統的な文化や京都ならではの場所や祭礼について学びます。

到達目標 1

京都に関するさまざまな分野の感性を磨く

その達成度を見る観点

授業内容の理解度

その達成度を見るために用いる手法

授業中のワークシート期末試験

到達目標 2

名所・旧跡・文化への関心を高める

その達成度を見る観点

授業への積極的な参加

その達成度を見るために用いる手法

授業態度期末試験

到達目標 3

京都について自分なりの視点でまとめることができる

その達成度を見る観点

授業内容をまとめ、調査をし、京都の文化について説明することができる。

その達成度を見るために用いる手法

まとめレポート

担当形態

単独

授業計画及び授業内容
1　イントロダクション
2　京都のなりたち
3　京都の寺社仏閣と祭礼　冬・春
4　現地見学１の事前調査
5　現地見学１（曜日・時間を変更する可能性がある）
6　京料理について
7　京菓子について
8　京都の文化財
9　茶道・香道などについて
10　能・狂言などについて
11　現地見学２
12　京都の寺社仏閣と祭礼　夏・秋
13　現地見学３事前調査
14　現地見学３（曜日・時間を変更する可能性がある）
15　まとめ

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
基本的に講義形式で行いますが、現地見学（京都市内を予定、交通費・拝観料等は自己負担）などを行い、実際に対象を見る機会をもうけます。毎回、配布するワークシートを完成させ、ノートをとること。

授業時間外学修（予習・復習等）について
前回までの授業内容について、ノート・ワークシート等を再読の上、確認しておくこと（30分程度）。不明点・疑問点については次回授業時に質問してください。

定期試験の実施の有無
実施無し

成績評価方法
小テスト（20％）・期末試験（60％）・授業への取り組み（20％）を総合的に評価します。

成績評価基準
授業の理解度積極的な授業への参加

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
京都には様々な伝統文化が息づいています。この授業ではそれらを広く紹介しますが、これを入り口に、学生の皆さんが興味を持って学びを深めていってもらえればと思います。現地見学は、京都市内を予定しています。見学にかかる交通費・拝観料等は自己負担です。

オフィスアワー
研究室番号　6号館204号室毎週木曜　12:00～12:50メールアドレス　n-kuze@mail.koka.ac.jp

教科書【学内販売：有】
なし

教科書【学内販売：無】
なし

参考書【学内販売：有】
なし

参考書【学内販売：無】
なし

学生が創る「地域」 a（1・2年）

鹿島　我

授業テーマ
地域でのインターンシップを通した就業意識の構築と地域が抱える問題の理解

授業の概要
この授業は前期授業終了後に3泊4日の日程で開講する。人口流出による過疎化等に悩む広島県神石高原町で農林業等を生活基盤とする一般家庭に2泊のショートステイで農林業体験を行う。3日目には体験施設に宿泊し地元の食材で作った食を囲みながら地元の方々と意見を交換する。4日目には地元の家庭料理の研修を行う。これらの体験の中から社会人として就業する意味や目的を意識し、地域の抱える問題解決について提案する基盤を構築していく。

到達目標１
地域でのインターンシップを通して就業意識を身につける

その達成度を見る観点
地域でのインターンシップを通して就業意識を身につけている

その達成度を見るために用いる手法
教員による現地での活動の視察と民泊家庭からの報告

到達目標２
地域でのインターンシップを通して地域の住民と交流する

その達成度を見る観点
地域でのインターンシップを通して就業意識を身につけている

その達成度を見るために用いる手法
最終レポートの内容

到達目標３
地域でのインターンシップを通して地域の抱える問題を理解する

その達成度を見る観点
地域でのインターンシップを通して地域の抱える問題を理解している

その達成度を見るために用いる手法
現地での毎日の活動報告書の内容

担当形態
単独

授業計画及び授業内容
1．ガイダンス
2．3．現地でのインターンシップ1日目（3時間）＜それぞれの民泊家庭で1日目午後にインターンシップを行い、仕事の概要を知る＞
4．5．現地でのインターンシップ2日目午前（3時間）＜それぞれの民泊家庭で2日目午前にインターンシップを行い、仕事を手伝う＞
6．7．8．現地でのインターンシップ2日目午後（4時間半）＜それぞれの民泊家庭で2日目午後にインターンシップを行い、仕事について深く学ぶ＞
9．10．現地でのインターンシップ3日目午前（3時間）＜それぞれの民泊家庭で3日目午前のインターンシップを行い、仕事についてのまとめを行う＞
11．12．13．現地でのインターンシップ3日目午後（4時間半）＜宿泊体験施設でインターンシップについてまとめを行う＞
14．15．現地でのインターンシップ4日目午前（3時間）＜宿泊施設で現地の女性から郷土料理の講習を受ける＞

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
（授業方法）夏期に行う集中講義である実施期日：9月上旬実施日程：3泊4日実施場所：広島県神石高原町宿泊地：2泊（一般家庭）　1日（宿泊施設）予算概要：実習費として実費を徴収する　2万円程度1日の終わりに宿泊家庭において学生同士でフィードバックを行う

授業時間外学修（予習・復習等）について
目的意識を持った授業該当時間外での民泊先、近隣家庭との交流を1時間以上必要とする

定期試験の実施の有無
実施無し

成績評価方法
積極的な取り組み（40％）
就業に対する問題点の発見と改善（40％）

レポート（20%）
成績評価基準
「積極的な取り組み」は現地での活動を教員で民泊家庭の評価を総合して評価する。「就業に対する問題点の発見と改善」は１日の体験終了後に作成する報告書の内容で評価する。「レポート」は現地でのインターシップ体験後の課題に対する内容で評価する。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
この授業は学生提案型の授業である。2014 年度に高知県嶺北地域の活性化を目的に開講した科目が 2019 年度は広島県神石高原町で開講される。この授業の開講にあたって、学生が自ら広島県神石高原町に足を運び、地元の方と体験を通して触れ合うことから誕生した。受講者には地域の生活や地域の方々と触れ合うことで多くのことを学んでほしい。それを地域について考える礎とし、自らの就労意識を高めることに役立ててほしい。
オフィスアワー
研修室番号　6 号館　207 号室オフィスアワー　前期・後期とも火曜～金曜昼休み（12：00 ～ 12：50）
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

学生が創る「地域」 b（1・2 年）

鹿島　我

授業テーマ
地域でのフィールドワークをベースにした企画の作成と提案
授業の概要
地方・地域の活性化は現代日本が抱える大きなテーマである。この授業では人口減・税収減等の悩みを抱える自治体に対し、その打開策となる企画の提案を行う。関連企業の協力を仰ぎ、現地でのフィールドワークを実践し、その上で企画を立案する。最終的には、実現可能な企画として行い、地方・地域、企業に対してプレゼンテーションを行う。
到達目標 1
地域活性化の正しい手法を学び、企画することができる。
その達成度を見る観点
地域活性化の正しい手法を学び、企画することができている。
その達成度を見るために用いる手法
企画した地域活性化に対する企業の評価
到達目標 2
地域の抱える問題や地域の特性を理解し、企画に反映することができる
その達成度を見る観点
地域の抱える問題や地域の特性を理解し、企画に反映することができている
その達成度を見るために用いる手法
企画した地域活性化に対する自治体の評価
到達目標 3
地域活性化の企画を企業や自治体に正確にプレゼンテーションすることができる
その達成度を見る観点
地域活性化の企画を企業や自治体に正確にプレゼンテーションすることができている
その達成度を見るために用いる手法
企業、自治体に対して行うプレゼンテーションの企業、地方・地域、教員による評価
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．ガイダンス＜この授業で扱う授業概要、進め方について説明＞
2．地域活性化の企画 1～企画の手法～＜地域活性化を企画する際の基礎を学ぶ企業による講義＞
3．地域活性化の企画 2～地方自治体～＜地域活性化を企画する対象地域について学ぶ自治体による講義＞
4．地域活性化の企画 3～地域活性化のポイント～＜現地でフィールドワークを行う際に注目するポイントについて学ぶ企業よる講義＞
5．6．現地フィールドワーク１日目～地域の資源～＜自治体においてのフィールドワークで地域の資源を調査する＞
7．8．9．現地フィールドワーク２日目～人的資源～＜自治体においてのフィールドワークで人的資源を調査する＞
10. 地域活性化企画の作成１企画への落とし込み～＜現地での取材内容の企画への落とし込み＞
11. 地域活性化企画の作成２企画の方向性の決定～＜ターゲット、内容等、企画の方向性を決定する＞
12. 地域活性化企画の作成 3～スライド完成～＜プレゼン用スライドを完成させる＞
13. 地域活性化企画の作成 4～発表練習～＜プレゼン内容の発表練習＞
14. 地域活性化企画のプレゼン・審査＜企業・自治体の担当者へ企画のプレゼンテーション＞
15. まとめ＜企業・自治体の担当者からの総評とレポート作成＞
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
前半は地域活性化の企画、フィールドワークに関する講義、中盤はフィールドワーク、後半はプレゼンテーションが中心となる。毎回の授業で作成する小レポートについて次回冒頭でフィードバックを行う。
授業時間外学修（予習・復習等）について
前半・中盤は授業内容に関して、後半はプレゼンテーションの資料作成・発表練習に関して１時間から１時間半を必要する。
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
授業への積極性（30%）
プラニング（30%）
プレゼンテーション（30%）
レポート（10%）
成績評価基準
「授業への積極性」は授業態度とフィールドワークに対する取り組みを合わせて教員が評価する。「プラニング」は企業と自治体の担当者の学生が企画したツアーに対する評価から教員が判断する。「プレゼンテーション」は企業、自治体、教員による評価を合わせて判断する。レポート」は最終授業で作成するレポートの内容を評価する。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
この授業は、企業の指導の元、自治体でのフィールドワークを通して地域活性化対策を企画する文字通りの産官学連携授業である。企画した地域活性化対策はその可能性によっては企業によって正式に具体化される可能性もある。就職活動に生かすことも可能であり、将来の夢を考

える上での指針にしてもらえれば幸いである。
オフィスアワー
研究室番号　6号館　207号室オフィスアワー　前期・後期とも火曜～金曜昼休み（12：00～12：50）
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

学生が創る「地域」 c（1・2年）

鹿島　我

授業テーマ
ペット問題を通した地域が抱える問題の理解と解決策の実践
授業の概要
大きな社会問題ともいえるペット問題を理解することで、その背景にある地域が抱えるさまざまな問題点を認識し、学生として、地域の住人として、その解決策を模索する。
到達目標 1
ペット問題について、現状を理解する
その達成度を見る観点
ペット問題について、現状が理解できている
その達成度を見るために用いる手法
毎回の授業レポートの内容
到達目標 2
ペット問題について、地域ごとの取り組みを理解する
その達成度を見る観点
ペット問題について、地域ごとの取り組みが理解できている。
その達成度を見るために用いる手法
課題レポートの内容
到達目標 3
ペット問題について、解決策を議論することができる
その達成度を見る観点
ペット問題について、解決策を議論することができている
その達成度を見るために用いる手法
提案するプレゼンテーションの内容
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．ガイダンス＜この科目で扱う授業概要、進め方について説明＞
2．ペット問題の推移＜昨今のペット問題に関する講義とグループワーク＞
3．日本のペット事情～犬～＜日本のペット事情のうち「犬」に関する講義とグループワーク＞
4．日本のペット事情～猫～＜日本のペット事情のうち「猫」に関する講義とグループワーク＞
5．京都のペット事情＜京都のペット事情に関する講義とグループワーク＞
6．京都以外の自治体の取り組み1＜京都以外の自治体担当者による特別講義＞
7．京都以外の自治体の取り組み2＜京都以外の自治体担当者による特別講義＞
8．ペット問題の現状1保護カフェ＜学外授業「保護カフェ」訪問＞
9．ペット問題の現状2その他＜学外授業「保健所」訪問＞
10. 企画立案1～学生の立場の明確化～＜グループワークを通して学生の立場を明確化し企画に落とし込む＞
11. 企画立案2～実現可能性の判断～＜グループワークを通して立案した企画の実現可能性を探る＞
12. 企画立案3～ブラッシュアップ～＜グループワークを通して立案した企画のブラッシュアップ＞
13. 企画発表1＜グループワークで立案した企画の発表準備＞
14. 企画発表2最終プレゼン＜グループワークで立案した企画の発表＞
15. まとめ＜発表された企画に関しての相互評価＞
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
前半は地域活性化の企画、フィールドワークに関する講義、中盤はフィールドワーク、後半はプレゼンテーションが中心となる。毎回の授業で作成する小レポートについて次回冒頭でフィードバックを行う。
授業時間外学修（予習・復習等）について
前半・中盤は授業内容に関して、後半はプレゼンテーションの資料作成・発表練習に関して1時間から1時間半を必要する。
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
授業への積極性（30%）
プラニング（30%）
プレゼンテーション（30%）
レポート（10%）
成績評価基準
「授業への積極性」は授業態度とフィールドワークに対する取り組みを合わせて教員が評価する。「プラニング」は企業と自治体の担当者の学生が企画したツアーに対する評価から教員が判断する。
「プレゼンテーション」は企業、自治体、教員による評価を合わせて判断する。レポート」は最終授業で作成するレポートの内容を評価する。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
この授業は、地域が抱える「ペット問題」を発端に、自治体でのフィールドワークを通して地域活性化対策を企画する。ペット問題に関する地域活性化対策はその可能性によっては正式に具体化される可能性もある。就職活動に生かすことも可能であり、将来の夢を考える上での指針にしてもらえれば幸いである。
オフィスアワー
研究室番号　6号館　207号室オフィスアワー　前期・後期とも火曜～金曜昼休み（12：00～12：50）
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

ビジネス実務演習　a.b（1年）

大矢　友里

授業テーマ
ビジネス・リテラシーの基本を学ぶ

授業の概要
ビジネスとは、個人または組織がその目標を実現するための行為である。すなわち、企業経営だけではなく、行政や病院などの公共機関、ボランティア活動などのＮＰＯにおいてもかかわってくるものである。ビジネス社会で働くには、企業のしくみや活動についての知識を身につけることはもちろんのこと、実践的な能力を磨くことが必要となる。多様化が進む社会の中で、質の高い豊かな生活を送るために、ビジネス実務の基本を学び、執務者として求められる実務能力を養う。
到達目標１
キャリア・デザインを描く
その達成度を見る観点
将来のビジョンを考えることができるか。
その達成度を見るために用いる手法
ライフ・キャリア・チャートを作成する。
到達目標２
基本的な社内・社外文書を、体裁よく作成できる
その達成度を見る観点
ビジネス文書の基礎知識を持っているか。
その達成度を見るために用いる手法
ビジネス文書を作成する。
到達目標３
情報の収集・活用・整理が的確にできる
その達成度を見る観点
情報収集、資料管理ができるか。
その達成度を見るために用いる手法
収集データをまとめ、考察する。
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
１．企画とプレゼンテーション
２．日程計画
３．出張業務
４．会議と会合
５．仕事と交渉
６．ことばづかい
７．文書実務：基礎
８．文書実務：社内文書
９．文書実務：社外文書
10．通信業務
11．情報の収集と活用
12．慶弔業務：慶事
13．慶弔業務：弔事
14．ファイリング
15．ビジネス活動に必要な知識と技能
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
ビジネス実務演習室において、シュミレーションを取り入れた演習形式で進める。ほぼ毎回与える課題について、各自で熟慮し答えを導き出すことができるように努める。
授業時間外学修（予習・復習等）について
授業内容について、教科書や配布資料などで必ず復習し、疑問点は次回授業時に質問すること。復習時間は、30 分から１時間程度が望ましいが、宿題を与えられた場合は、この限りではない。
定期試験の実施の有無
実施有り
定期試験方法
筆記試験
試験時間
60 分
試験持込み内容
不可
成績評価方法
定期試験（70%）, 受講態度（20%）, 提出物（10%）の総合評価
成績評価基準
定期試験…「ビジネス実務」について授業で学んだ知識を記述式で出題する予定。
授業態度…真面目に授業を受けること。
提出物…授業で配布する秘書検定２級対策プリントを提出すること。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
遅刻厳禁、授業中の私語、飲食、化粧、携帯電話やスマートフォンの使用は慎むこと。また、受講時の言葉遣い、服装もふさわしいように心掛けること。「文部科学省認定秘書技能検定試験」受験希望者には受講をすすめる。また、ビジネス実務における答え（対処の仕方）は多様である。単に答えを覚えるのではなく、まず自分の頭で考え、納得できる答えを導き出せるようになってほしい。
オフィスアワー
授業中、授業前、授業終了後に教室で質問を受け付ける。それ以外は、光華ナビのメールで受け付ける。
教科書【学内販売：有】
実践ビジネス実務　第二版 / 河田美恵子著 / 学文社 /2011 年 /9784762021527
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
ビジネスとオフィスワーク / 水原 道子　編著 / 樹村房 / 2012 年 / 978-4-88367-219-6 図解　マナー以前の社会人常識 / 岩下宣子著 / 講談社 / 2005 年 / 978-4062569637

秘書検定特講　a.b（1 年）

大矢　友里

授業テーマ
秘書技能検定試験への受験対策
授業の概要
「文部科学省・厚生労働省認定秘書技能検定試験」の２級および準１級の合格を目標とする。「秘書技能検定試験」の秘書技能とは、オフィス執務者の職能を秘書技能という名称に集約したものである。秘書技能は企業だけでなく、行政や病院などの公共機関、ボランティア活動などの NPO における業務の執務に必要な基本的な素養である。したがって、本講座では、秘書にならなくても必要とされる知識と技能について検定試験問題を通して学ぶ。
到達目標１
秘書検定試験２級～準１級取得の実力を身につけることができる
その達成度を見る観点
秘書検定試験合格の実力があるか。
その達成度を見るために用いる手法
秘書検定試験を受験する。
到達目標２
様々な事例に対し、的確な状況対応ができる
その達成度を見る観点
基本的な社会実務が理解できるか。
その達成度を見るために用いる手法
秘書検定レベルの実務を身につけ実践できる。
到達目標３
自分中心ではなく、他者への配慮ができる

その達成度を見る観点
ビジネス社会において、協働ができるか。
その達成度を見るために用いる手法
秘書検定の事例についての問題を解く。
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．2級・準1級試験の出題範囲と傾向
2．必要とされる資質（秘書の立場）
3．必要とされる資質（秘書に求められる能力）
4．技能（会議、日程・オフィス管理）
5．技能（文書実務）
6．技能（通信業務）
7．マナー・接遇（話し方・聞き方、言葉づかい）
8．マナー・接遇（電話・来客応対）
9．マナー・接遇（慶弔業務）
10．職務知識（仕事の進め方）
11．職務知識（秘書の仕事）
12．一般知識
13．準1級筆記試験対策
14．準1級面接試験対策
15．受験直前対策
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
検定試験問題を用いて受験指導する。自主的に受験準備を進められるよう、毎回宿題を課す。
授業時間外学修（予習・復習等）について
授業内容について、教科書や配布資料などで必ず復習し、疑問点は次回授業時に質問することにより、正しく理解すること。復習時間は、1時間から1時間30分程度が望ましいが、予習・復習にかかわらず、検定問題を解く場合は、さらに少なくとも30分間が必要となる。
定期試験の実施の有無
実施有り
定期試験方法
筆記試験
試験時間
60分
試験持込み内容
不可
成績評価方法
期末試験（70%）、受講態度（20%）、提出物（10%）の総合評価
成績評価基準
期末試験…「秘書検定2級」レベルの問題を、検定試験形式で出題する予定。
受講態度…真面目に授業を受けること。
提出物…宿題・課題等を、指定された期限までに提出すること。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
第1目標を6月または11月の2級検定試験に合格することとする。遅刻厳禁、授業中の私語、飲食、化粧、携帯電話やスマートフォンの使用は慎むこと。「ビジネス実務演習」では、秘書的業務の演習を行うので、合わせて履修することが望ましい。自主的に計画を立てて、コツコツと問題に取り組み続けることにより、解き方（考え方）も分かり目標達成が可能となる。参考書購入については、第1回目の授業で説明する。
オフィスアワー
授業中、授業前、授業終了後に教室で質問を受け付ける。それ以外は、光華ナビのメールで受け付ける。
教科書【学内販売：有】
文部科学省認定　秘書検定試2級実問題集 2020年度版 / 実務技能検定協会（編）/ 早稲田教育出版 / 2020年3月
秘書検定2級　よく出る問題！集中レッスン / 山田敏世監修 / 新星出版社 / 2011年 / 978-4405032088
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
文部科学省認定　秘書検定試験準1級実問題集／実務技能検定協会（編）／早稲田教育出版

ビジネス実務総論（2年）

大矢　友里、小山　理子

授業テーマ
情報化、国際化と多様化する社会に対応できる基本的素養を身につける
授業の概要
21世紀社会においては、夫々すべての成人が社会活動に参加することを通して自己実現を図ることが求められている。経済の高度成長期においては、秀才型で協調できる人材が求められたが、これから求められる人材は特技があって個性的な人材が求められる。男女雇用機会均等法によって性区別することも排除され、女性も男性に伍して活躍する条件は整ってきた。ビジネス社会は「国際化」、「情報化」、「雇用の多様化」、「資源・エネルギー問題」など過去に例を見ないほど大きく変容し、更に変革を続けている。このように変化する社会に対応するために、自分の能力の可能性を開拓し、果たすべき役割の自覚が大切である。本講義では、今日の社会動向を踏まえて、「ビジネス社会」特に「労働環境」の基本的な理解、変化に対応できる基本的な教養など、ビジネス社会で必要とされる基本的知識を習得し、自分のキャリア・デザインを描くことを目標とする。
到達目標1
ビジネス社会の組織における、変化に対応できる基礎的な教養、ビジネス実務を身につける
その達成度を見る観点
実務演習によって学んだ知識を確かなものにすることができるか。
その達成度を見るために用いる手法
定期試験においてビジネス実務の全体像を記述する。
到達目標2
ビジネス社会の組織で必要とされる基本的知識、ビジネス実務を習得する
その達成度を見る観点
多岐にわたるビジネス現場での対応ができるか。
その達成度を見るために用いる手法
ビジネスの動向について理解でき説明する。
到達目標3
キャリア・デザインを描く
その達成度を見る観点
キャリア形成を考えることができるか。
その達成度を見るために用いる手法
フィードバックしながら、キャリアを考える。
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．ビジネス実務の定義
2．ビジネスワーカーと能力開発
3．個人業務とマネジメント
4．業務推進とコミュニケーション
5．協働による課題達成とマネジメントサイクル

6．協働の成果と総合評価
7．ワークプレイスでの話し方と接客マナー
8．ビジネス文書の取り扱い方
9．業務における PC 活用
10．組織のしくみや活動と業務マネジメント
11．サービス実務
12．実務に必要な情報収集
13．働き方の多様化
14．現代社会とキャリアデザイン
15．キャリアの考え方とキャリアチェック

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
講義形式の授業であるが、各自が授業に積極的に参加するように工夫する。

授業時間外学修（予習・復習等）について
授業内容について、教科書や配布資料などで必ず復習し、疑問点は次回授業時に質問すること。新聞、ニュース番組などで、見聞を広めておくことも、望ましい。復習時間に 30 分から 1 時間程度かけること。ただし、宿題を与えられた場合は、この限りではない。

定期試験の実施の有無
実施有り

定期試験方法
筆記試験

試験時間
60 分

試験持込み内容
可（教科書、自筆ノート、配布プリントのみ）

成績評価方法
期末試験（70%）、受講態度（20%）、提出物（10%）の総合評価

成績評価基準
定期試験…「ビジネス実務」について授業で学んだ知識を記述式で出題する予定。
授業態度…真面目に授業を受けること。
提出物…授業内で指示された課題を提出すること。

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
社会人の基本的マナーとして、遅刻厳禁、授業中の私語、飲食、化粧、携帯電話やスマートフォンの使用は慎むこと。また、受講時の言葉遣い、服装もふさわしいように心掛けること。授業内容について、教科書や配布資料などで必ず復習し、疑問点は次回授業時に質問すること。新聞、ニュース番組などで、見聞を広めておくことも、望ましい。復習時間に 30 分から 1 時間程度かけること。ただし、宿題を与えられた場合は、この限りではない。

オフィスアワー
授業中、授業前、授業終了後に教室で質問を受け付ける。それ以外は、光華ナビのメールで受け付ける。

教科書【学内販売：有】
ビジネスシリーズ　ビジネス実務総論　改訂版 / 森脇道子著 / 実教出版株式会社 /2011 年 /9784407322620

教科書【学内販売：無】
なし

参考書【学内販売：有】
なし

参考書【学内販売：無】
オフィス・スタディーズ　～クリエイティブなオフィスワーカーを目指して～ / 編集顧問　森貞俊二・森脇道子 / 紀伊国屋書店　/2015 年 2020 年版　ビジネス能力検定ジョブパス 2 級公式テキスト / 一般財団法人職業教育・キャリア教育財団監修　/　日本能率協会マネジメントセンター /9784820727576

簿記会計学（2 年）

豊岡　司

授業テーマ
簿記会計の入門・基礎

授業の概要
記とは「帳簿記入」を略した言葉であり、「会社の家計簿の書き方・ルール」を学習する。
1．会社では日々、どのような取引が発生するのか。また、それらをどのように記録しているのか。
2．会社の財政状態（どれくらい財産または借金があるのか）
3．会社の経営成績（一年間でどれくらいの利益または損失が発生したのか）業界・業種に関係なく、簿記を使わない会社は存在しない。ビジネス上の共通言語である。簿記を理解すれば、会社の状態が見えるようになる。自分の知りたい情報を家計簿から探せるようになる。その会社を「何となく」ではなく、「数字で」判断できるようになる。授業では、簿記の初歩である日本商工会議所簿記検定 3 級程度の知識の習得を目指す。

到達目標 1
収入と支出のバランス感覚を身につける

その達成度を見る観点
簿記の基本的な知識を身に付け、自らの日常生活に活用できる。

その達成度を見るために用いる手法
問題演習、総合テスト

到達目標 2
企業の日常の取引の記帳技術を身につける

その達成度を見る観点
企業経営において、日常どのような取引が行われているのかを学び、その記帳技術を身につけている。

その達成度を見るために用いる手法
問題演習、総合テスト

到達目標 3
各種補助簿の記入及び、財務諸表の作成ができる

その達成度を見る観点
財務諸表の構成を理解し、与えられた資料をもとに作成ができる。

その達成度を見るために用いる手法
問題演習、総合テスト

担当形態
単独

授業計画及び授業内容
1．簿記の基礎、仕訳と転記
2．商品売買の処理
3．現金と預金
4．債権と債務（手形、電子債権、貸付金・借入金）
5．一時的な処理（仮払金・仮受金、立替金・預り金）
6．その他の処理（商品券、未収入金・未払金、保証金、改良と修繕）、誤処理の訂正
7．試算表の作成
8．決算手続き（現金過不足、当座借越）
9．決算手続き（貯蔵品、売上原価の算定）
10．決算手続き（貸倒れの処理、減価償却）
11．決算手続き（費用の前払い・未払い、収益の前受け、未収）
12．精算表、財務諸表の作成
13．株式会社の処理
14．伝票会計
15．全体のまとめと総合テスト

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
テキスト中心とした講義形式で行う。資格試験で問われやすい部分については、特に詳しく解説する。毎回の授業の最後には、理解度を確認するための問題演習（小テスト）を行い、授業内で解説・フィードバックを行う。前回までの内容を復習している前提で授業を行う。
授業時間外学修（予習・復習等）について
毎回の授業で学習した内容は確実に理解しておく必要がある。覚えることが多いため、復習を怠ると授業についていけなくなる。資格取得を目指す場合は、復習に加え、授業時間外に問題演習を行う必要がある。（復習には毎週1時間程度かけること。資格取得を目指す者については別途問題集等を使用して、最低でも毎週2時間程度の学習が必要である）
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
小テスト（30%）、総合テスト（70%）
成績評価基準
・小テスト…毎回の授業で学習した内容を理解できているかを問う。
・総合テスト…授業内で行った小テストを中心に出題する予定。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
「会社の家計簿」の書き方を学びます。書き方がわかれば、見て意味が理解できるようになります。はじめは覚えることばかりで大変ですが、必ず役に立つ知識です。社会に出て会社を見るときに、「何となくのイメージ」ではなく、「根拠ある数字」で判断できるようになりましょう。
オフィスアワー
質問等ある場合は、基本的に授業内に行うようにしてください。（授業開始・終了後も可）
教科書【学内販売：有】
サクッとうかる日商3級　テキスト　/ネットスクール
/　2018年　/　978-4-7810-1323-7
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

言葉と表現（1年）

久世　奈欧

授業テーマ
日本語の表現を正しく理解し、実践する。
授業の概要
日本語を適切に表現し、理解する能力を育成し、伝えあう力を高めるとともに、思考力や想像力を養い、社会人に必要な言語感覚を獲得することを目指します。
到達目標1
場面に応じて、ふさわしい表現方法を撰ぶことができる
その達成度を見る観点
授業内容の理解度
その達成度を見るために用いる手法
授業内課題・提出課題中間テスト・レポート課題
到達目標2
必要な情報を効果的に相手に示すことができる
その達成度を見る観点
積極的に授業に取り組めているか授業内容の理解度
その達成度を見るために用いる手法
授業内課題・提出課題中間テスト・レポート課題
到達目標3
自分自身についての事柄を、客観的にわかりやすく人に伝えることができる
その達成度を見る観点
自分の考えを持ち、表現しようとしているか
その達成度を見るために用いる手法
授業内課題・提出課題中間テスト・レポート課題
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．イントロダクション
2．アカデミックな文章を読む（1）
3．アカデミックな文章を読む（2）
4．読んだ文章をまとめる（1）
5．読んだ文章をまとめる（2）
6．文章を添削する
7．中間テスト
8．自分のＰＲポイントを探す
9．自分を表現する―自己PRの初歩―
10. 履歴書類の書き方
11. 自己ＰＲ（基礎編1）
12. 自己ＰＲ（基礎編2）
13. 自己ＰＲ（発展編1）
14. 自己ＰＲ（発展編2）
15. まとめ
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
テキスト・プリントを用いて、主にグループワークで授業をすすめます。中間テストと提出課題等で、理解度を確認します。
授業時間外学修（予習・復習等）について
次回範囲として提示された部分のテキストを読んで講義に出席しましょう。または、配布されたプリント問題や課題に取り組んでくること。疑問点や理解できなかった部分については、担当者に質問をするなどして解決しましょう。
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
中間テスト（20%）・課題（50%）・レポート課題（30%）を総合的に評価します。
成績評価基準
授業内容の理解度、課題の提出状況、授業態度
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
社会人には、場面に応じた正しい日本語を使えることが求められます。この授業では、小さなグループに分かれ、意見を出し合うことを通して、級友とともに日本語力を上げることを目指します。さらに、就職活動に役立つ書式の作成も練習しましょう。
オフィスアワー
毎週木曜日　12：00～12：50　5号館204個人研究室
教科書【学内販売：有】
『グループワークで日本語表現力アップ』　野田春美他著　ひつじ書房
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

言葉の理解（1 年）

久世　奈欧

授業テーマ
日本語の表現を正しく理解し、実践する。
授業の概要
日本語を適切に表現し、理解する能力を育成し、伝えあう力を高めるとともに、思考力や想像力を養い、社会人に必要な言語感覚を獲得することを目指します。
到達目標 1
日本語を表記する文字を適切に使うことができる
その達成度を見る観点
授業内容の理解度
その達成度を見るために用いる手法
授業内課題・提出課題中間テスト・レポート課題
到達目標 2
場面に応じた日本語の表現ができる
その達成度を見る観点
授業内容の理解度
その達成度を見るために用いる手法
授業内課題・提出課題中間テスト・レポート課題
到達目標 3
レポートの形式を理解し、書くことができる
その達成度を見る観点
授業内容の理解度
その達成度を見るために用いる手法
授業内課題・提出課題中間テスト・レポート課題
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．イントロダクション・効果的な自己紹介を考えよう
2．敬語を使った連絡・メールの書き方
3．表現の基礎（1）表記と言葉遣い・同音異義語
4．情報の整理（メモや伝達）
5．情報を正確に伝える（注意書き・連絡・案内）
6．表現の基礎（2）文章の構造・助詞の正しい使い方
7．敬語の種類と使い方
8．表現の基礎（3）わかりやすい文章の書き方
9．中間テスト
10. レポートとは何か
11. レポートの書き方（1）テーマ設定・資料探し
12. レポートの書き方（2）論拠を示す
13. レポートの書き方（3）引用する
13. レポートの書き方（4）アンケート調査
14. レポートの書き方（5）図表を利用する
15. まとめ
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
テキスト・プリントを用いて、主にグループワークで授業をすすめますので、積極的な参加姿勢を求めます。中間テストと授業内課題等で、理解度を確認します。
授業時間外学修（予習・復習等）について
次回範囲として提示された部分のテキストを読んで講義に出席しましょう。または、配布されたプリント問題や課題に取り組んでくること。疑問点や理解できなかった部分については、担当者に質問をするなどして解決しましょう。
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
中間テスト（20％）・レポート（50%）・授業への参加態度（30%）を総合的に評価します。
成績評価基準
授業内容が正しく理解できているか、課題の提出状況、授業への積極的な取り組み
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
社会人には、場面に応じた正しい日本語を使えることが求められます。この授業では、小さなグループに分かれ、意見を出し合うことを通して、級友とともに日本語力を上げることを目指します。さらに、レポートの書き方についても学びます。後期「言葉と表現」を続けて履修することが望ましい。
オフィスアワー
研究室番号　　6 号館　204 号室毎週木曜日　　12：00 ～ 12：50
教科書【学内販売：有】
『グループワークで日本語表現力アップ』 野田春美他著　ひつじ書房
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

就職のためのベーシックスキル（1 年）

鹿島　我

授業テーマ
就職に必要なベーシックスキルの修得
授業の概要
１年後期に本格化する就職活動に向けて、就職活動ならびに就職後の社会人生活において活用できる実践的なスキルを「リーディング」「ライティング」「プレゼンテーション」のカテゴリーにおいて修得することを目標にする。
到達目標 1
就職に必要なリーディングスキルを修得する
その達成度を見る観点
就職に必要なリーディングスキルを修得できている
その達成度を見るために用いる手法
毎回の小レポートの内容
到達目標 2
就職に必要なライティングスキルを修得する
その達成度を見る観点
就職に必要なライティングスキルの修得する
その達成度を見るために用いる手法
毎回の小レポートの内容
到達目標 3
就職に必要なプレゼンテーションスキルを修得する
その達成度を見る観点
就職に必要なプレゼンテーションスキルを修得できている
その達成度を見るために用いる手法
毎回の小レポートの内容
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．ガイダンス＜この科目で扱う授業概要、進め方について説明＞
2．就職活動と社会人生活に求められるスキル＜企業が求める資質と人材についての講義＞
3．就職活動に必要なリーディングスキル１＜読解力を育成する短編コンテンツの読解演習＞
4．就職活動に必要なリーディングスキル２＜読解力を

育成する中編コンテンツの読解演習＞
5．就職活動に必要なリーディングスキル３＜読解力を育成する長編コンテンツの読解演習＞
6．就職活動に必要なライティングスキル１＜文章作を育成する短い文章の作成演習＞
7．就職活動に必要なライティングスキル２＜文章作を育成するメール文章の作成演習＞
8．就職活動に必要なライティングスキル３＜文章作を育成する長い文章の作成演習＞
9．就職活動に必要なプレゼンテーションスキル１＜面接で生かせるプレゼンテーション演習～マンツーマン面接～＞
10. 就職活動に必要なプレゼンテーションスキル２＜面接で生かせるプレゼンテーション演習～グル―プ面接～＞
11. 就職活動に必要なプレゼンテーションスキル３＜面接で生かせるプレゼンテーション演習～圧迫面接～＞
12. 就職後に生かせるリーディング＜社会人に必要なリーディングスキルを育成する演習＞
13. 就職後に生かせるライティング＜社会人に必要なライティングスキルを育成する演習＞
14. 就職後に生かせるプレゼンテーション＜社会人に必要なプレゼンテーションスキルを育成する演習＞
15. まとめ＜授業で育成されたスキルと社会で活躍する人材についての講義＞

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
講義と演習を１対９の割合で授業を行う毎回授業冒頭で添削した前回の課題を返却しフィードバックを行う

授業時間外学修（予習・復習等）について
授業で課された課題の作成に毎回１時間～１時間半程度を必要とする

定期試験の実施の有無
実施無し

成績評価方法
リーディング（30%）
ライティング（30%）
プレゼンテーション（30%）
レポート（10%）

成績評価基準
「リーディング」は毎回の小レポートと課題の内容を総合的に評価する。「ライティング」は毎回の小レポートと課題の内容を総合的に評価する。「プレゼンテーション」は毎回の小レポートと課題の内容を総合的に評価する。「レポート」は最終課題としてのレポートの内容を評価する。

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
この授業は１年後期から本格化していく就職活動に対応させて行うものである。１年前期の「京都光華の学び」内で取り組む『リーディングスキル』と『ライティングスキル』、「プレゼンテーション演習」の続編と捉えてもらいたい。就職活動に取り組む不安を取り除き、自分の苦手を得意に変えるために開講する。自分の夢を探したい、自分の夢を叶えたいと真剣に思う学生に受講してほしい。

オフィスアワー
研究室番号６号館　207 号室オフィスアワー　前期・後期とも火曜～金曜昼休み（12：00 ～ 12：50）

教科書【学内販売：有】
なし

教科書【学内販売：無】
なし

参考書【学内販売：有】
なし

参考書【学内販売：無】
なし

数の理解（1 年）

辻野　孝

授業テーマ
就職活動に必要な数学の知識と社会人として必要な数学的思考を身に付ける。

授業の概要
「数学」と聞くと、苦手意識のある学生が多いだろう。しかし、これを自由に使いこなすことができれば、将来の就職活動はもちろん、社会生活を送る上で便利なことが多々ある。この授業では、より豊かな社会生活を送るために必要な数学の知識を身に付けることを目的とする。

到達目標１
手順を追って論理的に考える習慣をつけることができる

その達成度を見る観点
課題の進度

その達成度を見るために用いる手法
授業への取り組み状況、復習テスト、定期試験

到達目標２
就職試験レベルの数学問題を解くことができる

その達成度を見る観点
定期試験の解答

その達成度を見るために用いる手法
定期試験

到達目標３
数学の問題の解き方を他者に説明できる

その達成度を見る観点
相手が分かるように解き方を説明する

その達成度を見るために用いる手法
授業への取り組み状況

担当形態
単独

授業計画及び授業内容
1．ガイダンス、確認テスト、整数の計算
2．①整数と小数、②整数の性質、③倍数と約数
3．④小数の掛け算、⑤小数の割り算、⑥分数と小数
4．⑦分数の大小、⑧分数の足し算・引き算、⑨分数の掛け算
5．⑩分数の割り算、⑪公倍数・公約数の利用、⑫分数の掛け算・割り算の応用
6．⑬単位量当たりの大きさ、⑭平均と単位量あたりの大きさ、⑮平均の利用
7．⑯割合、⑰割合の利用、⑱速さ
8．復習テスト（1）
9．⑲比の表し方、⑳等しい比、㉑比例
10. ㉒反比例、㉓合同な形、㉔三角形と四角形の面積
11. ㉕見取り図と展開図、㉖角柱と円柱、㉗立方体・直方体の体積
12. ㉘体積と単位の関係、㉙組み合わせた図形の体積、㉚拡大図と縮図
13. ㉛概数で計算、㉜積や商の見積もり、㉝数・量の単位・記号
14. ㉞単位の置き換え、㉟グラフの見方、㊱暗算
15. 復習テスト（2）

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
教科書を使って講義と演習を行う。また、必要に応じてプリントを配布する。

授業時間外学修（予習・復習等）について
毎回の授業で課する宿題を次の授業までに必ず済ませること。また、毎回の授業後に復習すること。

定期試験の実施の有無
実施有り

定期試験方法
筆記試験
試験時間
60 分
試験持込み内容
なし
成績評価方法
授業への取り組み状況（30%）、復習テスト（20%）、定期試験（50%）で評価する。
成績評価基準
筆記試験は、授業で取り扱う内容の理解を問う問題を出題する。筆記用具以外の持ち込みは一切不可である。試験は定期試験期間に実施する。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
算数や数学が苦手な学生もこれを機会に克服してほしい。
オフィスアワー
研究室：6 号館 2 階　研 209 オフィスアワー：木曜日
12：00 ～ 12：50
教科書【学内販売：有】
1 日 10 分！おさらい計算ドリル / 財団法人 日本数学検定協会 監修 / 日本能率協会マネジメントセンター /2012 年 /ISBN：978-4-8207-4801-4
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
小学校 6 年分の算数が教えられるほどよくわかる問題集 / 小杉拓也 / ベレ出版 /2019 年 /ISBN:978-4-86064-577-9【改訂版】
小学校 6 年間の算数が 1 冊でしっかりわかる本 / 小杉拓也 / かんき出版 /2020 年 /ISBN：978-4-76127-465-8
中学校 3 年間の数学が 1 冊でしっかりわかる本 / 小杉拓也 / かんき出版 /2016 年 /ISBN：978-4-7612-7203-6

コンピュータ概論（1 年）

相場　浩和

授業テーマ
コンピュータの基礎
授業の概要
情報とは何か、情報の表現、扱い方、コンピュータの仕組みなどを学ぶ。数年のうちに様変わりするインタフェースなどよりも、何年たとうと変わらない普遍的なコンピュータの基礎について理解することを目指す。特に、すべての情報を統一的に取り扱うことを可能にした「情報のデジタル化」、また、複雑な問題も簡単な問題に分解して解決するという「プログラミング的思考」について理解することを目指す。
到達目標 1
ICT 社会において情報倫理をもとに適切なふるまいについて判断できる
その達成度を見る観点
現代社会に必須の情報倫理（「情報倫理ハンドブック、noa 出版」の内容に相当）について理解しているかどうか。
その達成度を見るために用いる手法
中間テスト、定期試験の問題として出題。
到達目標 2
数値や文字のデジタル化のしくみについて説明できる
その達成度を見る観点
数や文字や画像や音声を 2 つの記号のみによって表す仕組みを理解し、それによって全情報の表現を統一することが可能になったことを理解しているかどうか。
その達成度を見るために用いる手法
中間テスト、定期試験の問題として出題。
到達目標 3
簡単な命令を組み合わせることによって複雑な命令を実行しているパソコンの仕組みについて説明できる
その達成度を見る観点
授業で取り上げる 2 つの命令のみを持った簡単な架空のコンピュータに対して、複雑な命令を実現するための「プログラム」を書くことができるかどうか。
その達成度を見るために用いる手法
中間テスト、定期試験の問題として出題。
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．はじめに
2．コンピュータシステムとは
3．情報の扱い方：数値
4．情報の扱い方：文字
5．コンピュータのしくみ
6．CPU とメモリの役割
7．中間テスト
8．中間テスト解説
9．OS の役割
10. OS とアプリケーションソフト
11. ソフトウェア開発とプログラミング言語
12. 簡易テキストエディタ（カナ 7）のしくみ
13. ファイルの基礎
14. 情報セキュリティ
15. コンピュータの未来
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
講義形式で行う。また、学生参加型授業を実現するためクリッカーを用いる（「担当者からのメッセージ」欄参照）。毎回授業の最後には小テストを行う。そのとき、授業に関連する質問も必ず書く。小テストの解説、質問への回答は翌週の授業冒頭で行う。
授業時間外学修（予習・復習等）について
前回までの講義内容、特に授業の最後の小問題についてわからなかったことがあれば、配布資料をもとに必ず復習すること。毎週 2 時間程度の復習が必要である。
定期試験の実施の有無
実施有り
定期試験方法
筆記試験
試験時間
60 分
試験持込み内容
持ち込み不可
成績評価方法
試験期間中の筆記試験を中心に、中間テスト、平常試験、授業への取り組み姿勢などを総合評価する。配分は、・定期試験 7 割・中間テスト 2 割・小テスト 1 割である。
成績評価基準
・定期試験…授業で学んだ内容の理解度を問う問題を、選択式、○×式、短答式で出題する予定。
・中間テスト…中間テストまでに学んだ内容の理解度を問う問題を選択式、○×式、短答式で出題する予定。
・小テスト…毎回、授業終了時に、その回の授業で学んだ内容の理解度を数問出題する。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
この授業では、学生の積極的な参加を促すためにクリッカー（リモコンボタンで出された問題に答え、その場で結果を集計するシステム）を用いる。新しい内容に入る

際の導入クイズ、学んだ内容の理解度を確認するための問題をクリッカーで出し、その場で結果を集計しその場で授業に反映させる。クリッカーでは匿名性が保証されるため、他人に知られる恐れなく気軽にクイズや問題にチャレンジできる。クリッカーによる双方向性授業の醍醐味を味わってほしい。また、この授業は暗記だけでは克服できない。この授業を通して、自分で考え理解してマスターする喜びを味わいたいという意欲的な学生の履修を望む。

オフィスアワー

研究室番号　6号館　研210オフィスアワー　前期、後期とも木曜日昼休み（12：00-12：50）

教科書【学内販売：有】

なし

教科書【学内販売：無】

なし

参考書【学内販売：有】

なし

参考書【学内販売：無】

なし

情報社会の未来を知る（1年）

相場　浩和、森際　孝司、辻野　孝

授業テーマ

未来を生き抜くための情報社会の必須キーワード

授業の概要

これから社会はVUCA（ブーカ：Volatility（変動性・不安定さ）、Uncertainty（不確実性・不確定さ）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性・不明確さ））な時代を迎えると言われている。その根底には、AI（人工知能）などのICT（情報コミュニケーション技術）の急速な進展がある。そこで、本授業では、情報社会を特徴づけるAIや5GやIoTなどのさまざまなキーワードを取り上げ解説する。さらにディスカッションを通して知識を深め、各自が今後の情報社会の中でいかに行動すべきか的確で論理的な判断ができるように実践的学習を行う。そのため、授業ではアクティブラーニングを積極的に活用していく。

到達目標1

これからの情報社会を特徴づける事項やキーワードについて説明できる

その達成度を見る観点

キーワードや関連する事項を正しく理解しているかどうか

その達成度を見るために用いる手法

定期試験等での設問

到達目標2

情報社会の未来について自らの考えを表明することができる

その達成度を見る観点

授業で学んだ知識をもとに情報社会の未来を適切に特徴づけ、どう行動すべきかについて論理的に説明できているか

その達成度を見るために用いる手法

授業のグループワークや最終レポートの内容

到達目標3

グループワークにおいて、自らの役割を自覚し積極的に貢献できる

その達成度を見る観点

グループワークでの自らの役割を説明でき、それをもとにグループの活動に貢献できているかどうか

その達成度を見るために用いる手法

グループワーク後のふりかえりシート

担当形態

オムニバス

授業計画及び授業内容

1．ガイダンス（相場、森際、辻野）
2．AIの基礎知識（森際）
3．AIの活用例（森際）
4．AIで何ができると良いか（グループワーク）（相場、森際、辻野）
5．IoT（5Getc含む）（森際）
6．クラウドコンピューティング（辻野）
7．モバイル・ウェアラブル（辻野）
8．SNS：光と影（辻野）
9．ブロックチェーン・仮想通貨（相場）
10．中間まとめ：学んだことをポンチ絵にまとめよう（グループワーク）（相場、森際、辻野）
11．Society５．０・SDG s・21世紀型人材（相場）
12．ネット産業（相場）
13．IoT・AI・ロボット等が「当たり前」の時代に求められるICTスキル（グループワーク）（相場、森際、辻野）
14．情報社会の未来に備えて、何をすべきか（グループワーク）（相場、森際、辻野）
15．まとめ（相場、森際、辻野）

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック

取り上げたキーワードに関して、まずは解説を行う。その後、さらにグループワークによって理解を深める。また、最終回は最終レポートを課す。

授業時間外学修（予習・復習等）について

授業外学修については、その都度指示を出す。およそ各週2時間の授業外学修が必要となる。

定期試験の実施の有無

実施有り

定期試験方法

筆記試験

試験時間

60分

試験持込み内容

持ち込みなし

成績評価方法

グループでの貢献度、グループワークのグループとしてのパフォーマンス、定期試験、最終レポートを総合的に評価する。

具体的な配分は、

・グループでの貢献度：15%
・グループワークのグループとしてのパフォーマンス：15%
・定期試験：40%
・最終レポート：30%

成績評価基準

・グループワークでの貢献度：グループワークに積極的に参加しているか、役割を果たしているかを評価する
・グループとしてのパフォーマンス：それぞれのグループワークでのグループとしての成果で評価する
・定期試験：キーワードに関する理解度を評価する
・最終レポート：レポートテーマに対する内容の適切性、および、レポートの中で、情報化社会の未来に対する自分の考えを適切に表現できているかどうかを評価する

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）

AI、IoT、クラウド、モバイル、仮装通貨、Society５．０等、取り上げるキーワードは現代社会を特徴づける上での必須キーワードともいえる。したがって、これらのキーワー

ドを正しく理解し、それをもとに自らの未来観を語れることは、就活でも大いにアドバンテージをもつことになるだろう。また、将来、AI に仕事を奪われるのではないかという不安を持っている人もいるだろう。しかし、ただ漠然とした不安を前にとどまっているのではなく、AI とは何かを正しく理解し、それを踏まえたうえで自らなすべきことを考えることが大切である。未来について積極的に考えたい人を歓迎する。

オフィスアワー

研究室番号　相場：6 号館　研 210　森際：6 号館　研 205　辻野:6 号館　研 209 オフィスアワー　3 名とも前期、後期とも木曜日昼休み（12：00-12：50）

教科書【学内販売：有】

【図解】コレ 1 枚でわかる最新 IT トレンド【新装改訂 3 版】、斎藤昌義著、技術評論社

教科書【学内販売：無】

なし

参考書【学内販売：有】

なし

参考書【学内販売：無】

なし

ワープロスキルⅠ　a・b（1 年）

森際　孝司

授業テーマ

日本語ワープロ演習

授業の概要

事務処理等の文書を効率よく作成する。パソコンのワードプロセッサ（以下ワープロ）機能は、現在ではオフィスワークに欠かせないものとなっており、その操作を習得することが現代人として必要な要素となってきている。本演習では、ワープロによる文書処理に関する初歩的な実務知識および技能を修得することを目的とする。

到達目標 1

タッチタイピングのローマ字入力で 5 分間に 600 キー以上を正確に入力できる

その達成度を見る観点

ホームポジションをマスターし、5 分間に 600 キー以上を正確に入力できるか。

その達成度を見るために用いる手法

授業中に実施する実技試験（入力）の成績を用いる。

到達目標 2

日本語ワープロで基本編集（書式設定など）を用いて、文章を作成できる

その達成度を見る観点

課題に十分の時間をかけ内容を理解し、期限内に完成させられるか。

その達成度を見るために用いる手法

ほぼ毎回の授業で課される光華 navi で提出する課題の成績を用いる。

到達目標 3

日本語ワープロで、表や地図を含むビジネス文書を作成できる

その達成度を見る観点

設定された時間内に、指示された作業内容を理解し、正確に実行できるか。

その達成度を見るために用いる手法

授業中に実施する 2 回の実技試験（ビジネス文書･チラシ）の成績を用いる。

担当形態

単独

授業計画及び授業内容

1．ガイダンス　予習：教科書 pp.1-3　課題：タイピングの自主練習（ホームポジション）　期限：次回の授業まで　提出：なし
2．タイピング（e-ラーニングを利用）と Word の基本知識　予習：教科書 pp.4-13　課題：教科書 p.13 の Seminar1.1　期限：次回の授業日の前日午後 8 時まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用
3．文字入力と置換　予習：教科書 pp.14-29　課題：教科書 p.29 の Seminar1.2　期限：次回の授業日の前日午後 8 時まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用
4．文書の編集 1（文字の配置や装飾）　予習：教科書 pp.32-39　課題：教科書 p.39 の Seminar1.3　期限：次回の授業日の前日午後 8 時まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用
5．文書の編集 2（置換やインデント）　予習：教科書 pp.39-46　課題：教科書 p.46 の Seminar1.4　期限：次回の授業日の前日午後 8 時まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用
6．印刷　予習：教科書 pp.47-53　課題：教科書 p.53 の Seminar1.5　期限：次回の授業日の前日午後 8 時まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用
7．図の挿入（クリップアートや図形）　予習：教科書 pp.54-63　課題：教科書 p.63 の Seminar1.6　期限：次回の授業日の前日午後 8 時まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用
8．実技試験 1 と解説　予習：教科書 pp.1-63　課題：文書作成の自主練習　期限：次回の授業まで　提出：なし
9．表の作成と編集　予習：教科書 pp.64-72　課題：教科書 p.72 の Seminar1.7　期限：次回の授業日の前日午後 8 時まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用
10. ビジネス文書 1（ビジネスレター）　予習：教科書 pp.32-53　課題：配布されたプリントの練習問題 1 と 2　期限：次回の授業日の前日午後 8 時まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用
11. ビジネス文書 2（チラシ）　予習：教科書 pp.54-72　課題：配布されたプリントの練習問題 3 と 4　期限：次回の授業日の前日午後 8 時まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用
12. 総合演習（チラシ）　予習：前回の授業で配布したプリント　課題：文書編集の自主練習　期限：次回の授業まで　提出：なし
13. 総合演習の解説　予習：前回の授業で配布したプリント　課題：文書作成編集の自主練習　期限：次回の授業まで　提出：なし
14. 実技試験 2 と解説　予習：教科書 pp.1-72　課題：Word 操作に関する自主練習　期限：次回の授業まで　提出：なし
15. まとめ　予習:前回の授業で配布したプリント　課題:Word 操作の総復習　期限：1 週間　提出：なし

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック

演習形式で、毎回の授業で課題を課す。授業では例題を中心に学習し、関連の練習問題を宿題とする。また、実技試験で理解度をチェックする。なお、使用するソフトやバージョンは、本学の実習室と同じものとする。受講のルールとしては、授業に使用しないものは鞄にしまい、授業中は授業以外のことをせず授業に集中し、その上で質問がある場合は躊躇せず質問すること。自習中の質問は、担当教員に聞きに来ること。光華 navi の Q&A 機能やメールを活用しても良い。授業を欠席する場合は、事前に理由等を説明し許可を得ること。光華 navi で提出された課題のフィードバックは、原則として提出後 24 時

間以内に光華 navi のコメント欄で行う。提出期限内は再提出が可能である。課題を作成するにあたっては、必ず各自で作業すること。課題はいろいろな角度から検討し、各自のやりかたで作成することに意味がある。他人のファイルをコピーしたり、答えを教えてもらって提出したとみなせるもの、また他人の ID やパソコンを使用したとみなせるものは、事情徴収の上、不正行為と見なす。不正行為を手助けすことも不正行為となる。不正行為をした者は、この授業の評価を 0 点とする。

授業時間外学修（予習・復習等）について

この授業では授業時間以外に、課題や授業の予習・復習のために約 3 時間を必要とする。予習として約 1 時間、課題の作成と提出、フィードバックを見ての修正と再提出など、課題を完成するまでに約 2 時間程度が望ましい。

定期試験の実施の有無

実施無し

成績評価方法

課題（40%）・実技試験（60%）

成績評価基準

課題：以下の 4 段階で評価し、全課題を合計して得点化する。3 点：完成している 2 点：1 か所のミスがある 1 点：2 か所のミスがある 0 点：3 か所以上のミスがある、または提出のルールが守られていない実技：以下の実技試験で評価し、得点化する。入力試験：入力速度や正確性を 5 分間に 600 字以上を満点編集・文書作成試験：問題の指示がすべて正確に実施できている場合を満点

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）

1　履修上の留意点　この授業のテーマに真剣に取り組み、熱心に学びたいという意思を持って受講すること。履修に不安のある人は、履修前に授業担当者（森際）に相談すること（morigiwa@mail.koka.ac.jp）。

2　受講に必要な知識・スキル　高校までの「情報」の授業で習得される知識と技術はもちろん、きっちりと予習・復習し、期限とマナーを守って作業できる能力が必要となる。

オフィスアワー

前期・後期　水曜日・木曜日の昼休み

教科書【学内販売：有】

Word & Excel ミニマムエッセンス 考え抜く力を育む Word 2013 & Excel 2013／森際孝司他／ムイスリ出版／2014 年 ISBN： s 978-4-89641-219-2

教科書【学内販売：無】

なし

参考書【学内販売：有】

なし

参考書【学内販売：無】

なし

ワープロスキルⅡ　a・b（1 年）

森際　孝司

授業テーマ

日本語ワープロ応用演習

授業の概要

ワープロによる文書処置に関する基本的な知識を基に、Word のさまざまな機能と、グラフや表、図などを載せたレポートを作成するのに必要とされる応用技術を学習する。

到達目標 1

日本語ワープロのさまざまな機能を必要に応じて利用できる

その達成度を見る観点

設定された時間内に、指示された作業内容を理解し、正確に実行できるか。

その達成度を見るために用いる手法

授業中に実施する実技試験の成績を用いる。

到達目標 2

日本語ワープロを使って、表や地図を含んだチラシを自らデザインし作成できる

その達成度を見る観点

課題に十分の時間をかけ内容を理解し、期限内に完成させられるか。

その達成度を見るために用いる手法

ほぼ毎回の授業で課される光華 navi で提出する課題の成績を用いる。

到達目標 3

日本語ワープロを使って、画像や SmartArt を含んだチラシを自らデザインし作成できる

その達成度を見る観点

設定された時間内に、指示された作業内容を理解し、正確に実行できるか。

その達成度を見るために用いる手法

授業中に実施する実技試験の成績を用いる。

担当形態

単独

授業計画及び授業内容

1．ガイダンス　予習：教科書 pp.1-3　課題：タイピングの自主練習（ホームポジション）　期限：次回の授業まで　提出：なし

2．Word の基本操作のの確認　予習：教科書 pp.4-29　課題：教科書 p.29 の図 1-26 と同程度の各自オリジナル版の作成　期限：次回の授業日の前日午後 8 時まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用

3．実技試験 1 と解説　予習：タイピング練習（ホームポジション）　期限：次回の授業まで　提出：なし

4．文書の編集と印刷の応用　予習：教科書 pp.32-53　課題：各自オリジナル版のチラシを、p.53 の図 1-49 レベルまで作成　期限：次回の授業日の前日午後 8 時まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用

5．図の挿入の応用　予習：教科書 pp.54-63　課題：各自オリジナル版のチラシを、p.63 の図 1-61 と p.89 の図 1-87 レベルまで作成　期限：次回の授業日の前日午後 8 時まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用

6．表の作成と編集の応用　予習：教科書 pp.64-72　課題：各自オリジナル版のチラシを、p.72 の図 1-70 レベルまで作成　期限：次回の授業日の前日午後 8 時まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用

7．実技試験 2 と解説　予習：教科書 pp.1-72、タイピング練習（日本語入力）　課題：実技試験のふりかえり　期限：次回の授業まで　提出：なし

8．便利な編集機能の活用　予習：教科書 pp.73-76　課題：各自オリジナル版のチラシにふさわしい名刺の作成　期限：次回の授業まで　提出：なし

9．高度な編集機能の活用　予習：教科書 pp.77-81　課題：教科書 p.93 の課題 1.11. 2-1　期限：次回の授業日の前日午後 8 時まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用

10. 図の高度な操作　予習：教科書 pp.82-83　課題：教科書 p.93 の課題 1.11. 2-2　期限：次回の授業日の前日午後 8 時まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用

11. 高度な編集機能の応用　予習：教科書 pp.77-83　課題：各自オリジナル版のチラシの完成　期限：次回の授業日の前日午後 8 時まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用

12. 図の高度な操作の応用　予習：これまで習った技術を定着させるために様々な文書作成に取り組む　課題：授業中に配布したプリント　期限：14 回目の授業の前日午後 8 時まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用
13. 実技試験 2 と解説　予習：教科書全範囲　課題：文書作成編集の自主練習　期限：次回の授業まで　提出：なし
14. ワープロの応用的な活用　予習:教科書全範囲　課題:Word 操作に関する自主練習　期限：次回の授業まで　提出：なし
15. まとめ　予習：作成した文書をさらに良くするための作業　課題：Word 操作の総復習　期限：1 週間　提出：なし

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
演習形式で、毎回の授業で課題を課す。授業では例題を中心に学習し、関連の練習問題を宿題とする。また、実技試験で理解度をチェックする。なお、使用するソフトやバージョンは、本学の実習室と同じものとする。受講のルールとしては、授業に使用しないものは鞄にしまい、授業中は授業以外のことをせず授業に集中し、その上で質問がある場合は躊躇せず質問すること。自習中の質問は、担当教員に聞きに来ること。光華 navi の Q&A 機能やメールを活用しても良い。授業を欠席する場合は、事前に理由等を説明し許可を得ること。光華 navi で提出された課題のフィードバックは、原則として提出後 24 時間以内に光華 navi のコメント欄で行う。提出期限内は再提出が可能である。課題を作成するにあたっては、必ず各自で作業すること。課題はいろいろな角度から検討し、各自のやりかたで作成することに意味がある。他人のファイルをコピーしたり、答えを教えてもらって提出したとみなせるもの、また他人の ID やパソコンを使用したとみなせるものは、事情徴収の上、不正行為と見なす。不正行為を手助けすことも不正行為となる。不正行為をした者は、この授業の評価を 0 点とする。

授業時間外学修（予習・復習等）について
この授業では授業時間以外に、課題や授業の予習・復習のために約 3 時間を必要とする。予習として約 1 時間、課題の作成と提出、フィードバックを見ての修正と再提出など、課題を完成するまでに約 2 時間程度が望ましい。

定期試験の実施の有無
実施無し

成績評価方法
課題（40%）・実技試験（60%）

成績評価基準
課題：以下の 4 段階で評価し、全課題を合計して得点化する。3 点：完成している 2 点：1 か所のミスがある 1 点：2 か所のミスがある 0 点：3 か所以上のミスがある、または提出のルールが守られていない実技：以下の実技試験で評価し、得点化する。入力試験：入力速度や正確性を 5 分間に 600 字以上を満点編集・文書作成試験：問題の指示がすべて正確に実施できている場合を満点

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
1　履修上の留意点　この授業のテーマに真剣に取り組み、熱心に学びたいという意思を持って受講すること。履修に不安のある人は、履修前に授業担当者（森際）に相談すること（morigiwa@mail.koka.ac.jp）。
2　受講に必要な知識・スキル　高校までの「情報」の授業で習得される知識と技術はもちろん、きっちりと予習・復習し、期限とマナーを守って作業できる能力が必要となる。

オフィスアワー
前期・後期　水曜日・木曜日の昼休み

教科書【学内販売：有】
Word & Excel ミニマムエッセンス 考え抜く力を育む Word 2013 & Excel 2013／森際孝司他／ムイスリ出版／2014 年 ISBN：978-4-89641-219-2

教科書【学内販売：無】
なし

参考書【学内販売：有】
なし

参考書【学内販売：無】
なし

表計算スキルⅠ　a・b（1 年）

相場　浩和

授業テーマ
表計算ソフト Excel の基礎的な操作の習得

授業の概要
表計算ソフトの使用についての基礎演習を行う。表計算ソフト Excel の利用を通じて、情報処理システムについての理解を深めることを目的とする。

到達目標 1
表計算ソフトの基本的な操作（数式入力、書式設定）を用いて表を作成できる

その達成度を見る観点
要求通りの機能を持った基本的な数式を使って表を作成でき、また、要求通りの書式を設定できるかどうか。

その達成度を見るために用いる手法
宿題、実技テスト、筆記テストで、該当する問題を出題。

到達目標 2
表計算を用いてグラフ（棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフ）を作成できる

その達成度を見る観点
表から適切にグラフを作成できるか、また、グラフの部品を指示通り追加・削除・修正ができるかどうか。

その達成度を見るために用いる手法
宿題、実技テスト、筆記テストで、該当する問題を出題。

到達目標 3
絶対参照や簡単な関数を利用して、効率的な数式を作成できる

その達成度を見る観点
数式のコピーとセル参照との関係を理解し、相対参照、絶対参照、複合参照から適切なセル参照を選択することができるかどうか。関数の役割を理解し、必要に応じて適切な基本関数を使うことができるかどうか。

その達成度を見るために用いる手法
宿題、実技テスト、筆記テストで、該当する問題を出題。

担当形態
単独

授業計画及び授業内容
1．ガイダンス　予習：教科書 pp.96-98　課題：Excel 操作の復習　期限：次回の授業まで　提出：なし
2．Excel の基本知識　予習：教科書 pp.69-107　課題：教科書 p.107 の Seminar2.1　期限：次回の授業日まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用
3．表の作成　予習：教科書 pp.107-111　課題：教科書 p.111 の Seminar2.2　期限：次回の授業まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用
4．数式とセル書式　予習：教科書 pp.112-114　課題：教科書 p.114 の Seminar2.3　期限：次回の授業まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用
5．列幅と行高の変更と行や列の非表示　予習：教科書 pp.114-117　課題：教科書 p.117 の Seminar2.4　期限：

次回の授業まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用
6．フォントと文字の配置の変更　予習：教科書 pp.117-123　課題：教科書 p.123 の Seminar2.5　期限：次回の授業まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用
7．罫線とセルの塗りつぶし　予習：教科書 pp.123-128　課題：教科書 p.128 の Seminar2.6　期限：次回の授業まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用
8．実技試験 1 と解説　予習：教科書 pp.96-128　課題：Excel の自主練習　期限：次回の授業まで　提出：なし
9．基礎的な Excel 操作の獲得　予習：教科書 pp.96-128　課題：Excel の自主練習　期限：次回の授業まで　提出：なし
10. 関数の基本　予習：教科書 pp.129-134　課題：教科書 p.134 の Seminar2.7　期限：次回の授業まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用
11. 絶対参照　予習：教科書 pp.135-138　課題：教科書 p.138 の Seminar2.8　期限：次回の授業まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用
12. グラフ　予習：教科書 pp.139-145　課題：教科書 p.145 の Seminar2.9　期限：次回の授業まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用
13. 印刷　予習：教科書 pp.146-151　課題：教科書 p.151 の Seminar2.10　期限：次回の授業まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用
14. 総合演習　予習：教科書 pp.199-201　課題：教科書 p.199 の総合演習　期限：次回の授業まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用
15. 実技試験 2 と解説　予習：教科書 pp.96-151　課題：Excel 操作の総復習　期限：1 週間　提出：なし

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
演習形式で、毎回の授業で課題を課す。授業では例題を中心に学習し、関連の練習問題を宿題とする。また、実技試験で理解度をチェックする。光華 navi で提出された課題の採点、フィードバックは、原則として締め切り後数日のうちに navi で行う。提出期限内は再提出が可能である。

授業時間外学修（予習・復習等）について
この授業では授業時間以外に、課題や授業の予習・復習のために約 3 時間を必要とする。予習として約 1 時間、課題の作成と提出、フィードバックを見ての修正など、課題を完成するまでに約 2 時間程度が望ましい。

定期試験の実施の有無
実施有り

定期試験方法
筆記試験

試験時間
90 分

試験持込み内容
教科書・配布プリント

成績評価方法
課題（30%）・実技試験（30%）・筆記試験（40%）

成績評価基準
課題：以下の 4 段階で評価し、全課題を合計して得点化する。3 点:完成している 2 点:1 か所のミスがある 1 点:2 か所のミスがある 0 点：3 か所以上のミスがある、または提出のルールが守られていない実技試験：以下の 2 回の実技試験で評価し、得点化する。
中間試験：Excel の基本的な操作を、一定時間に正確に実行できたら満点
期末実技試験：Excel をビジネスに使用するための基本的な問題の指示がすべて正確に実施できている場合を満点
筆記試験：指定された時間内に問題で指示された内容を的確に分かりやすく説明できているか、正しい答えを導きだせているか

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
高校までに Excel を学習していなくても心配ない。初めてExcelに取り組むことを前提として授業を進める。逆に、高校時代に Excel をやったことがあるからといって安心してはいけない。すぐに新しい内容に突入していく。

オフィスアワー
研究室番号　6 号館　研 210 オフィスアワー　前期、後期とも木曜日昼休み（12：00-12：50）

教科書【学内販売：有】
Word & Excel ミニマムエッセンス　考え抜く力を育む Word 2013 & Excel 2013 ／森際孝司他／ムイスリ出版／2014 年 ISBN：978-4-89641-219-2

教科書【学内販売：無】
なし

参考書【学内販売：有】
なし

参考書【学内販売：無】
なし

表計算スキルⅡ　a・b（1 年）

相場　浩和

授業テーマ
表計算ソフト Excel の応用的な操作の習得と活用

授業の概要
表計算ソフト Excel を用いたシステムの作成を通して、情報技術の創造的な活用方法を学ぶことを目的とする。前期の「表計算演習Ⅰ」の内容を前提として進めていくため、履修者は、「表計算演習Ⅰ」を履修しているか、「表計算演習Ⅰ」と同程度の知識を有している必要がある。

到達目標 1
日付 / 時刻、文字列操作関数を用いて効率的に表を作成できる

その達成度を見る観点
指示されたセルの役割に応じて適切な関数を選択し入力することができるかどうか。

その達成度を見るために用いる手法
宿題、実技テスト、筆記テストで、該当する問題を出題。

到達目標 2
検索 / 行列、論理、統計、数学関数を用いてより便利な表を作成できる

その達成度を見る観点
指示されたセルの役割に応じて適切な関数を選択し入力することができるかどうか、また適切なセル参照を選択することができるかどうか。

その達成度を見るために用いる手法
宿題、実技テスト、筆記テストで、該当する問題を出題。

到達目標 3
習得した関数を組み合わせて用いることにより、ビジネス現場の実践的な表を作成できる

その達成度を見る観点
あるセルの機能が 1 つの関数だけでは実現できない場合、複数の関数を組み合わせることによりその機能を実現させることができるかどうか。

その達成度を見るために用いる手法
宿題、実技テスト、筆記テストで、該当する問題を出題。

担当形態
単独

授業計画及び授業内容
1．ガイダンス
2．実技テスト 1
3．日付 / 時刻関数
4．文字列操作関数
5．検索関数
6．行列関数
7．論理関数
8．統計関数
9．乱数関数
10．関数の総合練習問題
11．関数の総合練習問題の解説
12．MOS について
13．データベース機能
14．まとめ
15．実技テスト 2

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
「表計算演習Ⅰ」とほぼ同様の方法で進める。演習形式で、ほぼ毎回の授業で課題を課す。授業では例題を中心に学習し、関連の練習問題を宿題とする。また、実技試験で理解度をチェックする。なお、使用するソフトやバージョンは、本学の実習室と同じものとする。

授業時間外学修（予習・復習等）について
この授業では、授業時間以外に、課題や授業の予習・復習のための時間を必要とする。およその目安として予習に 1 時間、課題や復習に 2 時間が必要である。

定期試験の実施の有無
実施有り

定期試験方法
筆記試験

試験時間
60 分

試験持込み内容
可（教科書、自筆ノート、配布プリントのみ）

成績評価方法
宿題（30%）・実技テスト（40%）・筆記テスト（30%）筆記試験・実技試験で十分な点数を得られない場合や宿題の提出期限に遅れた場合でも、それに代わる措置は一切行わない。定期試験は筆記試験で、定期試験期間中に実施する。

成績評価基準
宿題…その日の授業で学んだ関数を使って Excel で表を作っていく問題を課す。
実技テスト…Excel を用い、指示に従い表を作成する問題を出題する。授業中に学んだ関数を用い、各セルに適切な数式を入力する問題が中心である。
筆記テスト…ビジネスで用いる表の一部のセルに入る計算式を選択肢の中から選ぶ問題や表計算ソフトの基礎知識を問う問題を出題する。

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
本科目の履修には、前期の「表計算 演習Ⅰ」の履修、あるいはそれに準ずる知識・技術があることが必要である。

オフィスアワー
研究室番号　6 号館　研 210 オフィスアワー　前期、後期とも木曜日昼休み（12：00-12：50）

教科書【学内販売：有】
Word & Excel ミニマムエッセンス　考え抜く力を育む Word 2013 & Excel 2013 ／森際孝司他／ムイスリ出版／2014 年

教科書【学内販売：無】
なし

参考書【学内販売：有】
なし

参考書【学内販売：無】
なし

PC 活用プレゼンテーション演習（1 年）

森際　孝司

授業テーマ
PowerPoint を利用したスライド作成と発表技術の習得

授業の概要
コンピュータその他のさまざまな情報機器が持つ特性を利用しながら、いかに効果的なプレゼンテーションを行うか、その考え方や技法を主に Microsoft 社製プレゼンテーションソフト「PowerPoint」を使った演習を通して学ぶ。

到達目標 1
PowerPoint を利用して、自らの考えを的確に表現する資料が作成できる

その達成度を見る観点
PowerPoint を使用し、オリジナルで的確な資料を作成できるか。

その達成度を見るために用いる手法
授業中に実施する実技試験（自己紹介）の成績を用いる。

到達目標 2
プレゼンテーションに用いる機器が持つ特性を利用しながら、効果的なプレゼンを構成できる

その達成度を見る観点
課題に十分の時間をかけ内容を理解し、期限内に完成させられるか。

その達成度を見るために用いる手法
ほぼ毎回の授業で課される光華 navi で提出する課題の成績を用いる。

到達目標 3
PowerPoint を利用した効果的なプレゼンテーションの実践ができる

その達成度を見る観点
PowerPoint を効果的に利用し、人前でプレゼンテーションを実行できるか。

その達成度を見るために用いる手法
授業中に実施する実技試験（自由テーマ）の成績を用いる。

担当形態
単独

授業計画及び授業内容
1．ガイダンス　予習：教科書 p.72　課題：PowerPoint の使い方について予習しておく　期限：次回の授業まで　提出：なし
2．プレゼンのコツ　予習：教科書 p.73　課題：プレゼンのコツについて調べる　期限：次回の授業まで　提出：なし
3．PowerPoint の基礎知識　予習：教科書 pp.74-78　課題：教科書 p.131 の課題 2.9．1-1　期限：次回の授業日の前日午後 8 時まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用
4．プレゼンテーションの構成　予習：教科書 pp.79-87　課題：教科書 p.39 の Seminar1.3　期限：次回の授業日の前日午後 8 時まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用
5．スライドの書式設定　予習：教科書 pp.88-93　課題：教科書 p.46 の Seminar1.4　期限：次回の授業日の前日午後 8 時まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用
6．オブジェクトの挿入　予習：教科書 pp.94-99　課題：教科書 p.53 の Seminar1.5　期限：次回の授業日の前日午後 8 時まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用

7．図形の挿入　予習：教科書 pp.99-104　課題：教科書 p.63 の Seminar1.6　期限：次回の授業日の前日午後 8 時まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用
8．海外で学んだ人たちのプレゼンに学ぶ　予習：教科書 pp.1-63　課題：文書作成の自主練習　期限：次回の授業まで　提出：なし
9．プレゼンの秘訣を TED から学ぶ　予習：TED のホームページから視聴　課題：教科書 p.72 の Seminar1.7　期限：次回の授業日の前日午後 8 時まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用
10. アニメーションの動作設定　予習：教科書 pp.105-111　課題：配布されたプリントの練習問題 1 と 2　期限：次回の授業日の前日午後 8 時まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用
11. 表の作成と編集　予習：教科書 pp.112-115　課題：配布されたプリントの練習問題 3 と 4　期限：次回の授業日の前日午後 8 時まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用
12. グラフの作成と編集　予習：教科書 pp.116-120　課題：配布されたプリントの練習問題 3 と 4　期限：次回の授業日の前日午後 8 時まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用
13. プレゼンテーション前の準備　予習：教科書 pp.121-130　課題：配布されたプリントの練習問題 3 と 4　期限：次回の授業日の前日午後 8 時まで　提出：光華 navi の課題提出機能を利用
14. プレゼン発表会準備　予習：教科書 pp.1-72　課題：Word 操作に関する自主練習　期限：次回の授業まで　提出：なし
15. プレゼン発表会　予習：プレゼンの練習（動画撮影・見直し・修正・練習）　課題：レポート「良いプレゼンをするためにやるべきこと」　期限：1 週間　提出：光華 navi の課題提出機能を利用

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
演習形式で、毎回の授業で課題を課す。授業では例題を中心に学習し、関連の練習問題を宿題とする。また、実技試験で理解度をチェックする。なお、使用するソフトやバージョンは、本学の実習室と同じものとする。受講のルールとしては、授業に使用しないものは鞄にしまい、授業中は授業以外のことをせず授業に集中し、その上で質問がある場合は躊躇せず質問すること。自習中の質問は、担当教員に聞きに来ること。光華 navi の Q&A 機能やメールを活用しても良い。授業を欠席する場合は、事前に理由等を説明し許可を得ること。光華 navi で提出された課題のフィードバックは、原則として提出後 24 時間以内に光華 navi のコメント欄で行う。提出期限内は再提出が可能である。課題を作成するにあたっては、必ず各自で作業すること。課題はいろいろな角度から検討し、各自のやりかたで作成することに意味がある。他人のファイルをコピーしたり、答えを教えてもらって提出したとみなせるもの、また他人の ID やパソコンを使用したとみなせるものは、事情徴収の上、不正行為と見なす。不正行為を手助けすることも不正行為となる。不正行為をした者は、この授業の評価を 0 点とする。

授業時間外学修（予習・復習等）について
この授業では授業時間以外に、課題や授業の予習・復習のために約 3 時間を必要とする。予習として約 1 時間、課題の作成と提出、フィードバックを見ての修正と再提出など、課題を完成するまでに約 2 時間程度が望ましい。

定期試験の実施の有無
実施無し

成績評価方法
課題（60%）・実技試験（10%）・クラスワーク（30%）

成績評価基準
課題：以下の 4 段階で評価し、全課題を合計して得点化する。3 点:完成している 2 点:1 か所のミスがある 1 点:2 か所のミスがある 0 点：3 か所以上のミスがある、または提出のルールが守られていない実技試験：以下の実技試験で評価し、得点化する。
自己紹介プレゼン：指示された項目を含み、適切な PowerPoint を作成し、人前でプレゼンができたら満点
自由テーマプレゼン：適切なテーマを用い、適切な PowerPoint を作成し、人の心を動かすことのできるプレゼンが実施できている場合を満点
クラスワーク：授業中に実施される個人ワーク・ペアワーク・グループワークに毎回積極的に参加できていれば満点

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
1　履修上の留意点　この授業のテーマに真剣に取り組み、熱心に学びたいという意思を持って受講すること。履修に不安のある人は、履修前に授業担当者（森際）に相談すること（morigiwa@mail.koka.ac.jp）。
2　受講に必要な知識・スキル　高校までの「情報」の授業で習得される知識と技術はもちろん、きっちりと予習・復習し、期限とマナーを守って作業できる能力が必要となる。

オフィスアワー
前期・後期　水曜日・木曜日の昼休み

教科書【学内販売：有】
プレゼンテーション・ミニマムエッセンス／森際孝司編／ムイスリ出版／ 2014ISBN：978-4-89641-222-2

教科書【学内販売：無】
なし

参考書【学内販売：有】
なし

参考書【学内販売：無】
なし

コンピュータグラフィックス論（1 年）

辻野　孝

授業テーマ
コンピュータグラフィックスの仕組み

授業の概要
コンピュータグラフィックスの基礎知識の習得を目指す。実際のソフトウェアについての知識に加えて、コンピュータグラフィックスに関する最新の動向についても学ぶ。

到達目標 1
コンピュータにおける色や画像の仕組みを説明できる

その達成度を見る観点
基本的な仕組みを的確に説明する

その達成度を見るために用いる手法
中間テスト、レポート、定期試験

到達目標 2
コンピュータグラフィックスで使う一般的な用語を説明できる

その達成度を見る観点
一般的な用語を的確に説明する

その達成度を見るために用いる手法
中間テスト、レポート、定期試験

到達目標 3
実例を使ってコンピュータグラフィックスの 2 つの応用分野について説明できる

その達成度を見る観点
応用分野における、コンピュータグラフィックスの一般

的な使い方の概要を説明できていること
その達成度を見るために用いる手法
中間テスト、定期試験
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．ガイダンス、身の回りで使われているのコンピュータグラフィックス
2．コンピュータグラフィックス画像の仕組みと色
3．アニメーションにおける CG の使い方
4．実写映画におけるコンピュータグラフィックスの使い方
5．プロジェクションマッピング
6．写真と加工
7．コンピュータグラフィックスの実例
8．中間テスト
9．コンピュータグラフィックスで使うハードウェア
10．インフォグラフィックス
11．3D コンピュータグラフィックス・アニメーションの作り方
12．コンピュータグラフィックス作品鑑賞（1）
13．コンピュータグラフィックス作品鑑賞（2）
14．最新コンピュータグラフィックス動向
15．まとめ
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
コンピュータグラフィックスの実例を提示しながら、講義形式で授業を進める。また、必要に応じてプリントを配布する。
授業時間外学修（予習・復習等）について
毎回の授業後に、授業中に配布したプリント等と使って毎回復習すること。
定期試験の実施の有無
実施有り
定期試験方法
筆記試験
試験時間
60 分
試験持込み内容
ノート（自筆に限る）、授業中に配布したプリント
成績評価方法
授業への参加状況　10%、、レポート 20%、中間テスト・定期試験　70% で評価する。
成績評価基準
筆記試験は、授業で取り扱う内容から、知識や理解を問う問題を出題します。定期試験期間に実施する。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
受講前に、「色彩とライフデザイン」の内容を復習しておくこと。
オフィスアワー
研究室：6 号館 2 階　研 209 オフィスアワー：木曜日
12：00 ～ 12：50
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
CG& 映像しくみ事典　第 2 版　―完全カラー図解　映像クリエイターのためのグラフィックバイブル / 永田　豊志、CGWORLD/ ワークスコーポレーション /2009 年 / ISBN978-4862670441

インターネット演習（2 年）

辻野　孝

授業テーマ
ウェブページ作成
授業の概要
ウェブでの基礎的情報発信能力（ホームページ作成）の修得を目標とする。HTML と CSS の知識をもとに、ウェブ・ページを作成する方法を実習し、「Web クリエイター能力認定試験　スタンダード」の合格を目指す。
到達目標 1
基本的なタグによって、文書の論理構造（見出し、段落、箇条書き）を設定できる
その達成度を見る観点
指示どおり設定できている
その達成度を見るために用いる手法
宿題、中間試験、実技試験
到達目標 2
スタイルシートによって、見た目のデザイン（写真のレイアウト、文字の色・大きさ）を設定できる
その達成度を見る観点
指示どおり設定できている
その達成度を見るために用いる手法
宿題、中間試験、実技試験
到達目標 3
与えられた条件のホームページを所定の時間内に作成できる
その達成度を見る観点
Web クリエイター能力認定試験スタンダードの採点基準を使って評価する
その達成度を見るために用いる手法
実技試験
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．ガイダンス
・授業の目的
・Web サイトの基礎知識
2．HTML の基礎知識
3．トップページの HTML の作成
4．CSS の基礎知識
5．トップページの CSS の作成
6．中間試験
7．中間試験の解説
8．各ページ共通部分の作成
9．「施設のご案内」ページの作成
10．テーブルとそのスタイル
11．「料金プラン」ページの作成
12．フォーム、「ご意見・ご要望」ページの作成
13．模擬試験
14．模擬試験の解説
15．まとめ、実技試験
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
コンピュータを用いた演習。簡単な例題を実習しながらウェブ作成について習得する。ウェブページ作成ソフトは、Microsoft Expression Web 4 を使用する。ほぼ毎回課す宿題は光華 navi で提出し、その評価は光華 navi で伝える。
授業時間外学修（予習・復習等）について
毎回の授業のために、教科書やプリントで予習をすること。また、宿題は教科書やプリントで 30 分程度復習をしてから取りかかること。Microsoft Expression Web 4

は、次のリンク先からダウンロードできる。｛Microsoft Expression Web 4 ダウンロード ,https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=7764｝

定期試験の実施の有無

実施無し

成績評価方法

宿題など授業への取り組み状況（20%）、中間試験（20%）、定期試験期間中に実施する実技試験（60%）で評価する。

成績評価基準

各々の宿題は、次の基準で採点する。「未提出、または、何もできていない」0 点、「少しはできているが、半分以下である」1 点、「半分以上はできているが不十分である」2 点、「条件を満たしている」3 点、「条件を満たしたうえで、創意工夫が見られる」4 点。中間試験と実技試験は、Web クリエイター能力認定試験と同様の基準で評価する。

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）

授業に毎回出席し、宿題を期限までに提出することが大切である。欠席した場合は、各自で授業内容を補って宿題を提出すること。

オフィスアワー

研究室：6 号館 2 階　研 209 オフィスアワー：木曜日 12：00 ～ 12：50

教科書【学内販売：有】

Web クリエイター　能力認定試験（HTML5 対応）スタンダード　公式テキスト / 狩野　祐東 /FOM 出版 /2015 年 /ISBN978-4-86510-191-1

教科書【学内販売：無】

なし

参考書【学内販売：有】

なし

参考書【学内販売：無】

なし

コンピュータグラフィックス演習Ⅰ（1 年）

辻野　孝

授業テーマ

写真の編集・加工技術の習得

授業の概要

写真の加工・編集、およびイラストの作成について学び、総合課題を作成する。ソフトウェアは Adobe 社の Photoshop を使用する。

到達目標 1

写真の色調・明るさ・コントラストの補正ができる

その達成度を見る観点

写真を適切に補正する

その達成度を見るために用いる手法

課題

到達目標 2

写真に文字や図形を合成できる

その達成度を見る観点

写真に適切に合成する

その達成度を見るために用いる手法

課題、総合課題

到達目標 3

目的に応じたグリーティングカードやポスターを作成できる

その達成度を見る観点

目的に応じた作品を作成する

その達成度を見るために用いる手法

課題、総合課題

担当形態

単独

授業計画及び授業内容

1．ガイダンス、Photoshop について（教科書 Lesson 01）［課題 lesson 01 練習問題］
2．選択範囲（教科書 Lesson 02）［課題 lesson 02 練習問題］
3．色の設定と描画の操作（教科書 Lesson 03）［課題 lesson 03 練習問題］
4．レイヤーの操作（教科書 Lesson 04）［課題 lesson 04 練習問題］
5．文字、パス、シェイプ（教科書 Lesson 05）［課題 lesson 05 練習問題］
6．グラデーション、パターンを使った塗りつぶし（教科書 Lesson 06）［課題 lesson 06 練習問題］
7．良く使う作画の技法（教科書 Lesson 09）［課題 lesson 09 練習問題］
8．ロゴの作成（教科書 Lesson 13）
9．総合課題 1「自分のロゴ」の作成
10．フィルター機能（教科書 Lesson 08）［課題 lesson 08 練習問題］
11．写真の色を補正する（教科書 Lesson 10）［課題 lesson 10 練習問題］
12．写真の修整と加工（教科書 Lesson 11）［課題 lesson 11 練習問題］
13．画像の合成（教科書 Lesson 12）［課題 lesson 12 練習問題］
14．総合課題 2「グリーティングカード」の作成（1）構想を練る
15．総合課題 2「グリーティングカード」の作成（2）作成する

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック

コンピュータを使った演習を中心に授業を実施する。

授業時間外学修（予習・復習等）について

授業前に教科書に目をとおして予習すること。授業後に、教科書などで授業内容を復習すること。

定期試験の実施の有無

実施無し

成績評価方法

授業への取り組み姿勢（20%）、課題（20%）、総合課題（60%）により評価する。

成績評価基準

課題は次の基準で採点する。「未提出、または、何もできていない」0 点、「少しはできているが、半分以下である」1 点、「半分以上はできているが不十分である」2 点、「条件を満たしている」3 点、「条件を満たしたうえで、創意工夫が見られる」4 点 . 総合課題は、次の基準で評価する。（50 点）「授業で学んだことを生かしている」10 点、「画像はすべて自作である」10 点、「レイヤーを 2 つ以上使う」10 点、「フィルター機能を使う」10 点、「努力や工夫が見られる」10 点

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）

総合課題を作成するためには、それまでのすべての授業で学んだ内容が必要である。欠席した場合は、その回の授業内容を自習したうえで、課題の提出が必要である。

オフィスアワー

研究室：6 号館 2 階　研 209 オフィスアワー：木曜日 12：00 ～ 12：50

教科書【学内販売：有】

世界一わかりやすい Photoshop 操作とデザインの教科書 CC/CS6 対応版 / 柘植ヒロポン，上原ゼンジ，吉田浩章，大西すみこ，坂本可南子 / 技術評論社 /2014 年 /ISBN：978-4-7741-8630-6

教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

コンピュータグラフィックス演習Ⅱ（2年）

辻野　孝

授業テーマ
コンピュータアニメーション入門
授業の概要
Flash を用いたアニメーション作成の実習を行う。Flash は特にホームページの素材としてのアニメーション作成の代表的ソフトである。本演習では、Flash を用いたアニメーション作成のための基本的技法をマスターすることをめざす。
到達目標 1
Flash の基本ツール（線、矩形、楕円、多角形）を使って絵を描くことができる
その達成度を見る観点
基本ツールを使って絵を描く
その達成度を見るために用いる手法
宿題、総合課題
到達目標 2
アニメーションのしくみを理解し、パラパラマンガ、モーショントゥイーン（位置の変化の自動生成）、シェイプトゥイーン（形の変化の自動生成）を用いて絵を動かすことができる
その達成度を見る観点
アニメーションを設定できる
その達成度を見るために用いる手法
宿題、総合課題
到達目標 3
与えられた課題に沿ったアニメーションを作成できる
その達成度を見る観点
基準を満たしたアニメーションを作成する
その達成度を見るために用いる手法
総合課題
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．Flash の基礎
2．描画 1
3．シンボルとインスタンス
4．描画 2
5．モーショントゥイーン
6．変形・回転アニメーション
7．フィルタ
8．まとめと中間テスト
9．キャラクタアニメ
10．シェイプトゥイーン
11．シーン
12．総合課題制作（1）：構想
13．総合課題制作（2）：キャラクターの作成
14．総合課題制作（3）：シーン・トゥイーン等の設定
15．総合課題制作（4）：最後の仕上げ
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
コンピュータを用いた実習。簡単な例題を実習しながら一通り技術を習得する。ほぼ毎回宿題を課す。最終的には，習得した技術を応用した作品制作に取り組む。プリントは必要に応じて授業時に配布し、宿題用ファイルは光華 navi で配布する。課題は、指定の期限までに光華 navi で提出すること。
授業時間外学修（予習・復習等）について
授業前に教科書に目をとおして予習すること。また、教科書で授業内容を 30 分程度復習してから、宿題に取り組むこと。
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
宿題提出を含む授業への取り組み姿勢（30%）、総合課題（70%）で評価する。
成績評価基準
各々の宿題は、次の基準で採点する。「未提出、または、何もできていない」0 点、「少しはできているが、半分以下である」1 点、「半分以上はできているが不十分である」2 点、「条件を満たしている」3 点、「条件を満たしたうえで、創意工夫が見られる」4 点。総合課題は、次の基準で評価する。(70 点)「授業で学んだことを生かしている」20 点、「画像はすべて Flash を使って自分で作成する」10 点、「シーンを 2 つ以上使う」10 点、「モーショントゥイーンを 1 つ以上使う」10 点、「努力や工夫が見られる」10 点、「独自性のある内容である」10 点。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
授業に毎回出席し、宿題を期限までに提出することが大切である。欠席した場合は、各自で授業内容を補って宿題を提出すること。
オフィスアワー
研究室：6 号館 2 階　研 209 オフィスアワー：木曜日 12：00 ～ 12：50
教科書【学内販売：有】
速習デザイン　Flash CS5/ 境祐司 / 技術評論社 /2009 年 /ISBN：978-4-7741-4566-2
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

コンピュータグラフィックス演習Ⅲ（2年）

辻野　孝

授業テーマ
コンピュータでイラスト作成を学ぶ
授業の概要
Adobe Illustrator の基本操作とイラスト作成を学ぶ
到達目標 1
描画ソフトの基本的な描画機能（図形描画、ペン・ブラシ機能）を使って作画できる
その達成度を見る観点
指示どおり機能を使って作画する
その達成度を見るために用いる手法
課題、総合課題
到達目標 2
描画ソフトの基本的な編集機能（位置揃え、コピー等）を使って作画できる
その達成度を見る観点
指示どおり機能を使って作画する
その達成度を見るために用いる手法
課題、総合課題

到達目標 3
与えられた課題に沿ったイラストを作成できる
その達成度を見る観点
課題の条件を満たしている
その達成度を見るために用いる手法
総合課題
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．ガイダンス、Illustrator について（教科書 Lesson 01）［課題 lesson 01 練習問題］
2．図形を描く（教科書 Lesson 02）［課題 lesson 02 練習問題］
3．線を描く（教科書 Lesson 03）［課題 lesson 03 練習問題］
4．フリーハンドで描く（教科書 Lesson 04）［課題 lesson 04 練習問題］
5．オブジェクトの変形（教科書 Lesson 05）［課題 lesson 05 練習問題］
6．オブジェクトの編集（教科書 Lesson 06）［課題 lesson 06 練習問題］
7．オブジェクトの合成（教科書 Lesson 07）［課題 lesson 07 練習問題］
8．色の設定（教科書 Lesson 08）［課題 lesson 08 練習問題］
9．線の設定（教科書 Lesson 09）［課題 lesson 09 練習問題］
10．文字を扱う（教科書 Lesson 10）［課題 lesson 10 練習問題］
11．総合課題 1「はがきサイズ」の課題作成（1）―企画―
12．総合課題 1「はがきサイズ」の課題作成（2）―作成―
13．総合課題 2「A4 サイズ」の課題作成（1）―企画―
14．総合課題 2「A4 サイズ」の課題作成（2）―作成―
15．総合課題 2「A4 サイズ」の課題作成（3）―完成―
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
コンピュータを使った演習形式で授業をするため、授業への積極的な参加が必要である。毎回出る課題は、期限までに提出すること。
授業時間外学修（予習・復習等）について
毎回の授業後に、授業中に配布したプリント等を使って毎回復習すること。
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
課題提出を含む授業への取り組み状況 30%、総合課題 70% で評価する。
成績評価基準
各々の宿題は、次の基準で採点する。「未提出、または、何もできていない」0 点、「少しはできているが、半分以下である」1 点、「半分以上はできているが不十分である」2 点、「条件を満たしている」3 点、「条件を満たしたうえで、創意工夫が見られる」4 点。総合課題は、次の基準で評価する。(70 点)「授業で学んだことを生かしている」20 点、「画像はすべて自作である」10 点、「レイヤーを 2 つ以上使う」10 点、「テキストを使う」10 点、「努力や工夫が見られる」10 点、「独自性のある内容である」10 点。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
履修上の留意点：授業に毎回出席し、宿題を期限までに提出することが大切である。欠席した場合は、各自で授業内容を補って宿題を提出すること。
オフィスアワー
研究室：6 号館 2 階　研 209 オフィスアワー：木曜日 12：00 ～ 12：50
教科書【学内販売：有】
世界一わかりやすい Illustrator 操作とデザインの教科書 CC/CS6 対応版 / ピクセルハウス著 / 技術評論社 /2014 年 /ISBN：978-4-7741-8629-0
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

国際関係論（1・2 年）

脇田　哲志

授業テーマ
世界がどのように動いているのかを把握し、グローバル社会への理解を深める
授業の概要
身の回りに外国製品があふれ、京都の街には外国人が目立つ。情報は、世界中から、あなたのスマホにひっきりなしに飛び込んで来る。世界の動きと無縁に生きていくことができない時代だから、世界の動きをしっかりとつかむ力が、自立した人間、責任ある市民として生きていくために、そして、人生を豊かにするためにも必要なのです。この授業では、世界の動き、すなわち、国際社会がどのようにして成り立ち、どのように動いているのかを、わかりやすく解きほぐしていきます。現在の国際情勢に大きな影響を及ぼしているアメリカと中国、不安定な朝鮮半島情勢など日本を含むアジアをはじめ、ヨーロッパや中東、アフリカの動向、そして国境を超えて人々の生活を揺さぶるグローバリゼーションに注目しながら、現代世界の動きをしっかりと的確にとらえ、理解する力を養っていきます。
到達目標 1
国際社会で、いま何がなぜ起きているのかを理解する
その達成度を見る観点
国際社会の動きへの理解の度合い
その達成度を見るために用いる手法
質問や発表を積極的に行うなどの授業での活動を評価。毎回の授業の最後に提出する Minute Paper から評価。期末のレポートから評価。
到達目標 2
世界のできごとを、自分の問題として考えることができる
その達成度を見る観点
自分も国際社会の当事者のひとりという自覚がどこまでできているか
その達成度を見るために用いる手法
質問や発表を積極的に行うなどの授業での活動を評価。毎回の授業の最後に提出する Minute Paper から評価。期末のレポートから評価。
到達目標 3
国際社会のさまざまな課題について、意見表明ができる
その達成度を見る観点
課題発見力と、解決への道筋について意見表明ができるか
その達成度を見るために用いる手法
質問や発表を積極的に行うなどの授業での活動を評価。毎回の授業の最後に提出する Minute Paper から評価。期

末のレポートから評価。

担当形態

単独

授業計画及び授業内容

日々、激しく揺れ動く国際情勢にあわせて、授業内容を臨機応変にアップデートしていきながら、受講者のみなさんの関心を高めていきたいと考えています。以下は、現段階で予定している授業の骨格となる内容です。世界のテレビニュースやドキュメンタリー、ハリウッド映画など、国際性豊かな映像素材をできるだけ駆使しながら、現代世界の動きを、みなさんと一緒に楽しく学べるように工夫していきます。

1．イントロダクション　グローバル社会に生きるとは？
2．世界は、こうして動いている～国家・民族・ナショナリズム
3．世界は、こうして動いている～グローバル経済と市民
4．「トランプのアメリカ」がもたらしたもの
5．アメリカ社会の分裂と世界
6．膨張する習近平の中国
7．緊迫の東アジア　朝鮮半島情勢
8．東アジア平和構築と日本
9．米中の狭間に揺れるアジア・アフリカ
10．混迷の中東
11．揺れるヨーロッパ
12．グローバルイシュー～貧困・気候変動・災害
13．グローバルイシュー～テロリズム・戦争・難民
14．米中対立？　これからの世界は？
15．まとめ　グローバル社会に生きるとは？

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック

基本的に講義形式です。ただしテーマによっては、全員で自由にディスカッションを行います。毎回の授業の後に時間を取って、学生のみなさんに Minute Paper を書いてもらい、授業中に理解できなかった点などを記してもらいます。そこで得られた疑問点や意見は、その次の授業のときに取り上げて解説を加え、さらに理解を深めていくといったインタラクティブな授業を目指します。世界の最新の動きを、世界各地のテレビのニュースや、インターネットによるさまざまな発信も使って、わかりやすく説明するとともに、名作映画やドキュメントなども使って、多様なものの見方や価値観を会得できるようにしながら、グローバル社会への理解を深めていきます。

授業時間外学修（予習・復習等）について

自分の関心のある事柄でいいので、日常的に、テレビや新聞・雑誌、ネットを通じて国際ニュースに触れ、世界の出来事やトレンドに慣れ親しむ努力をお願いします。それが予習の始まりです。ニュースを見て、よくわからなかったものは、どんどん質問してください。授業で学んだ国際問題については、授業のあと、配付資料を必ず読み返すとともに、関連する世界の動きをその後もフォローして、期末レポートに備えてください。

定期試験の実施の有無

実施無し

成績評価方法

受講態度（40％程度）Minute Paper（20％程度）期末のレポート（40％程度）を総合して評価する。

成績評価基準

受講態度（40％程度）は、質問や発表を積極的に行うなどの授業中での学習態度や活動を評価。Minute Paper（20％程度）は、毎回各授業の最後に記述のための時間を確保し、提出したものを評価。期末のレポート（40％程度）は、15 回の授業内容を反映した課題について、期末試験中の締切日までに提出を求め評価。

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）

みなさんは、グローバル社会の一員として生きていくことになるのだから、グローバルなことがらは、生きていくための基礎知識のひとつとして、正しくしっかりと学んでおかなければなりません。むずかしそうに見えても、同じ人間が作り出している世界ですから、解きほぐせば、きっと分かります。ぐっと視野が広がる科目です。担当教官は、34 年間にわたり、NHK のニュースの現場で取材に当たってきた国際ジャーナリストです。日本と世界の「ニュース最前線」での経験を踏まえて、世の中の動きを、できるだけわかりやすく解説していこうと考えています。最新のテレビニュースやドキュメンタリーなど映像資料も、できるだけふんだんに紹介し、さらに学生のみなさんから出されるさまざまな疑問もどんどん取り上げて、親しみやすい授業をみなさんとともに作り上げていきたいと思います。参考：実務家教員としての経歴：NHK に記者として入局し、34 年間在籍。その間、ロサンゼルス支局長・ニューヨーク特派員・中国総局長・国際部長・アメリカ総局長・国際放送局長など歴任。

オフィスアワー

研究室は、6 号館の 2 階の一番奥、206 号室です。メールは、t-wakita@mail.koka.ac.jp オフィスアワーは、一応、水曜 2 講時としておきますが、なにかあればいつでもメールでお気軽にご連絡下さい。時間を調整します。

教科書【学内販売：有】

なし

教科書【学内販売：無】

なし

参考書【学内販売：有】

なし

参考書【学内販売：無】

なし

世界の民族と文化（1・2 年）

脇田　哲志

授業テーマ

民族、文化と、グローバル社会

授業の概要

さまざまな顔をした人々が、いろんな言語を使い、それぞれの文化を持ちながら交錯し形成していく現代のグローバル社会。多様さは新しい価値を生み出すとともに、時には妥協を許さない衝突ももたらしてきました。世界で最も多民族化が進んでいるアメリカを題材に、「民族と文化の交錯」が歴史的に何をもたらしてきたか、これから何をもたらしていくのか、を学びます。そして、グローバル社会での人々の「共存」と「共生」のあり方、そして「違い」が「豊かさ」を生み出すためには何が大切か、どのようにすればいいのか、を考えていきます。

到達目標 1

民族、文化、グローバル社会について理解する

その達成度を見る観点

知識の蓄積の度合い、理解の度合い

その達成度を見るために用いる手法

質問や発表を積極的に行うなどの授業での活動を評価。毎回の授業の最後に提出する Minute Paper から評価。期末のレポートから評価。

到達目標 2

グローバル社会の可能性と課題を明らかにできる

その達成度を見る観点

社会認識と問題意識の深まりの度合い

その達成度を見るために用いる手法
質問や発表を積極的に行うなどの授業での活動を評価。毎回の授業の最後に提出する Minute Paper から評価。期末のレポートから評価。
到達目標 3
グローバル社会の一員として、どう関わっていくか意見表明ができる
その達成度を見る観点
課題解決への構想力と当事者性の深まりの度合い
その達成度を見るために用いる手法
質問や発表を積極的に行うなどの授業での活動を評価。毎回の授業の最後に提出する Minute Paper から評価。期末のレポートから評価。
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
以下は現段階の計画です。世界の最新の動きに応じて、内容を柔軟にアップデートしていくことにします。
1．イントロダクション 「美の世界標準は、あるか？」
2．21 世紀　エスニック・アメリカの姿 「ニューヨークで世界を食べる」
3．アメリカ大陸は、3 つの人種の出会いからはじまる
4．ヨーロッパとアメリカ　アングロアメリカの形成
5．ヨーロッパとアメリカ　新しい移民たち　1　イタリア系
6．新しい移民たち　2　アイルランド系
7．新しい移民たち　3　ユダヤ系
8．アフリカとアメリカ　黒人の苦難 1
9．黒人の苦難 2　人種差別との戦い
10. 忘れられた先住民
11. 中南米とアメリカ　現代アメリカに影響力を増すヒスパニック
12. アジアとアメリカ　存在感を増すアジア系アメリカ人
13. 日系人のたたかい
14.「トランプのアメリカ」の行方
15. まとめ　グローバル社会の行方
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
基本的に講義形式です。ただしテーマによっては、全員で自由にディスカッションを行います。毎回の授業の後に時間を取って、学生のみなさんに Minute Paper を書いてもらい、授業中に理解できなかった点などを記してもらいます。そこで得られた疑問点や意見は、その次の授業のときに取り上げて解説を加え、さらに理解を深めていくといったインタラクティブな授業を目指します。世界の映画や、ドラマ、ドキュメンタリー、世界各地の最新のテレビニュースなど、映像資料をふんだんに盛り込んで、視聴覚を通したわかりやすい楽しい学びを目指したいと考えています。
授業時間外学修（予習・復習等）について
世界の動きに関心を持つために、国際ニュースを普段からフォローしてください。それが一番大切な「予習」です。授業で配布する英語を含む資料を読み返したり、授業の中で紹介する映画を授業後に全編視聴することなど、授業内容への理解を深める「復習」に時間を割くようにしてください。
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
受講態度（40％程度）Minute Paper（20％程度）期末のレポート（40％程度）を総合して評価する。
成績評価基準
受講態度（40％程度）は、質問や発表を積極的に行うなどの授業中での学習態度や活動を評価。Minute Paper（20％程度）は、毎回各授業の最後に記述のための時間を確保し、提出したものを評価。期末のレポート（40％程度）は、15 回の授業内容を反映した課題について、期末試験中の締切日までに提出を求め評価。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
担当教官は、34 年間にわたり、NHK のニュースの現場で取材に当たってきた国際ジャーナリストです。世界の「ニュース最前線」での経験を踏まえて、グローバル社会の成り立ち、動き、変化を、できるだけわかりやすく解説していこうと考えています。最新のテレビニュースやドキュメンタリーなど映像資料も、できるだけふんだんに紹介し、さらに学生のみなさんから出されるさまざまな疑問もどんどん取り上げて、親しみやすい授業をみなさんとともに作り上げていきたいと思います。参考：実務家教員としての経歴：NHK に記者として入局し、34 年間在籍。その間、ロサンゼルス支局長・ニューヨーク特派員・中国総局長・国際部長・アメリカ総局長・国際放送局長など歴任。
オフィスアワー
研究室は、6 号館の 2 階の一番奥、206 号室です。メールは、t-wakita@mail.koka.ac.jp オフィスアワーは、一応、水曜 2 講時としておきますが、なにかあればいつでもメールでお気軽にご連絡下さい。時間を調整します。
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

外国の大学での短期研修　1・2 年

脇田　哲志

授業テーマ
海外で学ぶ経験を通じて、グローバル社会で生きていく基本的な素養を身につける
授業の概要
全世界の大学が、研修先の対象となる。受入機関が発行する研修修了認定の内容（期間、プログラム内容、授業時間数、成績など）をもとに、帰国後、担当教員によって単位が認定される。海外研修先を選ぶにあたっては、クラスアドバイザーや国際交流センターと、必ず相談するようにしてください。
到達目標 1
研修先の言語を、日常生活に支障ないレベルまで習得する
その達成度を見る観点
現地受け入れ機関の観点に従う
その達成度を見るために用いる手法
現地受け入れ機関の手法に従う
到達目標 2
大いに見聞を広め、さまざまな人々との交流を通じて、グローバル社会で生きていくために必要な異文化への理解、多様な価値観を身につける
その達成度を見る観点
現地受け入れ機関の観点に従う
その達成度を見るために用いる手法
現地受け入れ機関の手法に従う

到達目標３
海外での生活体験を通じて、自立心や生活力、コミュニケーション能力を高める
その達成度を見る観点
現地受け入れ機関の観点に従う
その達成度を見るために用いる手法
現地受け入れ機関の手法に従う
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
現地の大学など、受け入れ機関の授業計画に従う。
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
現地受け入れ機関の授業方法に従う。
授業時間外学修（予習・復習等）について
現地受け入れ機関の指示に従い、十分な予習･復習を行う。
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
受入機関が発行する研修修了認定の内容（期間、プログラム内容、授業時間数、成績など）をもとに、帰国後、担当教員によって単位が認定される。
成績評価基準
現地受け入れ機関の評価基準をもとにして行う
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
海外研修先を選ぶにあたっては、クラスアドバイザーや国際交流センターと、必ず相談するようにしてください。研修中は、充実した研修生活を送れるように、クラスアドバイザーと定期的に連絡を取るようにしてください。
オフィスアワー
クラスアドバイザーや担当教員の設定したオフィスアワーにしたがってください。
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

外国の大学での短期留学ａ・ｂ　１・２年

脇田　哲志

授業テーマ
語学力を実用的なレベルまで高めるとともに、海外で学ぶ経験を通じて、グローバル社会で生きていく基本的な能力を身につける
授業の概要
本学の留学制度によって、海外の大学･教育機関に留学し、実践的な外国語能力を習得するとともに、豊かな国際性を身につける。全世界の大学・教育機関が、留学先の対象となる。受入機関が発行する留学修了認定の内容(期間、プログラム内容、授業時間数、成績など）などをもとに、帰国後、担当教員によって単位が認定される。海外留学先を選ぶにあたっては、クラスアドバイザーや国際交流センターと、必ず相談するようにしてください。
到達目標１
英語を、実用的なレベルまで習得する
その達成度を見る観点
現地の大学など、受け入れ機関の観点に従う。
その達成度を見るために用いる手法
現地の大学など、受け入れ機関の手法に従う。
到達目標２
大いに見聞を広め、さまざまな人々との交流を通じて、グローバル社会で生きていくために必要な異文化への理解、多様な価値観を身につける
その達成度を見る観点
現地の大学など、受け入れ機関の観点に従う。
その達成度を見るために用いる手法
現地の大学など、受け入れ機関の手法に従う。
到達目標３
海外での生活体験を通じて、自立心や生活力、コミュニケーション能力を高める
その達成度を見る観点
現地の大学など、受け入れ機関の観点に従う。
その達成度を見るために用いる手法
現地の大学など、受け入れ機関の手法に従う。
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
現地の大学など、受け入れ機関の授業計画に従う。
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
現地の大学など、受け入れ機関の手法に従う。
授業時間外学修（予習・復習等）について
現地の大学など、受け入れ機関の指示に従い、予習・復習をしっかりと行うこと。
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
受け入れ機関が発行する留学プログラム修了認定の内容（期間、学習内容、授業時間数、成績など）などをもとに、帰国後、担当教員によって単位が認定される。
成績評価基準
現地受け入れ機関の評価基準をもとにして行う
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
海外留学先を選ぶにあたっては、クラスアドバイザーや国際交流センターと、必ず相談するようにしてください。留学中は、充実した留学生活を送れるように、クラスアドバイザーや担当教員と定期的に連絡を取るようにしてください。
オフィスアワー
クラスアドバイザーや担当教員の設定したオフィスアワーにしたがってください。
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

英語Ⅰ（1年）

高居　佐紀

授業テーマ
総合的な英語基礎力
授業の概要
主にライティングとリーディングの技能向上を中心課題とする。英語を「読み」、「聞き」、「話し」、「聞く」という４技能の総合運用力を向上させて、自分の考えを英語で発信することができる基礎力を養う。
到達目標１
基礎的な文法を理解できる

その達成度を見る観点
正しい語を選ぶことができるか
その達成度を見るために用いる手法
定期試験
到達目標 2
短い簡単な文章を理解できる
その達成度を見る観点
英語から日本語に口頭で訳せるか
その達成度を見るために用いる手法
授業内で問題を解く
到達目標 3
単語や表現を結び付けて、短いメッセージを書くことができる
その達成度を見る観点
日本文を元に学習した表現を英文で書けるか
その達成度を見るために用いる手法
授業内で問題を解く
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
第 1 回：オリエンテーション（講義方針・成績評価などの説明）
第 2 回：Unit1 1 Welcome to Vancouver
第 3 回：Unit1 2 be 動詞
第 4 回：Unit2 1 Ryo Loves San Francisco
第 5 回：Unit2 2 一般動詞の現在形
第 6 回：Unit3 1 A British City in Canada?
第 7 回：Unit3 2 代名詞
第 8 回：Unit4 1 L.A. Style
第 9 回：Unit4 2 現在進行形・過去進行形
第 10 回：Unit5 1 The Canadian Rockies
第 11 回：Unit5 2 時と場所を表す前置詞
第 12 回：Unit6 1 The Grand Canyon
第 13 回：Unit6 2 可算名詞・不可算名詞
第 14 回：復習
第 15 回：前期のフィードバック
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
第 15 回の授業内に全体に向けて口頭でフィードバックを行う。
授業時間外学修（予習・復習等）について
毎回単語小テストを実施する。授業内で学習した単語や熟語を翌週までに、ノートにまとめて覚えてくること。
定期試験の実施の有無
実施有り
定期試験方法
筆記試験
試験時間
60 分
試験持込み内容
なし
成績評価方法
(1) 参加度　40%
(2) 小テスト 20%
(3) 定期試験　40%
成績評価基準
参加度、小テスト、課題、定期試験の結果にて評価します。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
学生参加型授業です。発音、発話の機会も多くありますので、積極的な参加が必要です。
オフィスアワー
授業内で質問を受け付けます。
教科書【学内販売：有】
English Missions! Starter（金星堂） ISBN：978-4-7647-4070-9
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

英語Ⅱ（1 年）

高居　佐紀

授業テーマ
総合的な英語基礎力
授業の概要
主にライティングとリーディングの技能向上を中心課題とする。英語を「読み」、「聞き」、「話し」、「聞く」という 4 技能の総合運用力を向上させて、自分の考えを英語で発信することができる基礎力を養う。
到達目標 1
基礎的な文法を理解できる。
その達成度を見る観点
正しい語を選ぶことができるか
その達成度を見るために用いる手法
定期試験
到達目標 2
簡単な説明文を理解できる。
その達成度を見る観点
英語から日本語に口頭で訳せるか
その達成度を見るために用いる手法
授業内で問題を解く
到達目標 3
簡単な語や表現を使いながら、自分や周りに関する短い文章を書くことができる。
その達成度を見る観点
日本文を元に学習した表現を英文で書けるか
その達成度を見るために用いる手法
授業内で問題を解く
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
第 1 回：Unit7 1 T.O.— Toronto, Ontario
第 2 回：Unit7 2 一般動詞の過去形
第 3 回：Unit8 1 Big Texas
第 4 回：Unit8 2 疑問詞
第 5 回：Unit9 1 Ottawa — The Capital
第 6 回：Unit9 2 接続詞（and / or / but / so）
第 7 回：Unit10 1 Funky New Orleans
第 8 回：Unit10 2 動名詞・不定詞
第 9 回：Unit11 1 Charming Quebec City
第 10 回：Unit11 2 未来形
第 11 回：Unit12 1 Florida Sunshine
第 12 回：Unit12 2 現在完了形
第 13 回：Unit13 1 A Taste of P.E.I.
第 14 回：Unit13 2 比較級・最上級
第 15 回：復習・後期の学習に対するフィードバック
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
第 15 回の授業内に全体に向けて口頭でフィードバックを行う。
授業時間外学修（予習・復習等）について
毎回単語小テストを実施する。授業内で学習した単語や熟語を翌週までに、ノートにまとめて覚えてくること。

定期試験の実施の有無
実施有り
定期試験方法
筆記試験
試験時間
60 分
試験持込み内容
なし
成績評価方法
(1) 参加度　40%
(2) 小テスト　20%
(3) 定期試験　40%
成績評価基準
参加度、小テスト、課題、定期試験の結果にて評価します。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
学生参加型授業です。発音、発話の機会も多くありますので、積極的な参加が必要です。
オフィスアワー
授業内で質問を受け付けます。
教科書【学内販売：有】
English Missions! Starter（金星堂） ISBN：978-4-7647-4070-9
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

TOEIC Ⅰ（1 年）

高居　佐紀

授業テーマ
TOEIC 入門
授業の概要
4 技能の総合運用力を養う。ビジネスシーンで使用する基礎的な語彙や文法を身に付け、TOEIC でスコアアップを目指す前段階としての基礎力を養う。
到達目標 1
辞書を活用しながら英単語の語彙力を高める
その達成度を見る観点
単語テストや定期試験の語彙問題での正答率が 7 割以上であるか
その達成度を見るために用いる手法
単語テスト、定期試験
到達目標 2
英文を聴きながら、それを書き取れるようになる
その達成度を見る観点
キーワードを聞き取ることができているか
その達成度を見るために用いる手法
授業内のリスニングパートで確認
到達目標 3
英文を日本語に、日本文を英語に置きかえ、コミュニケーション能力を高める
その達成度を見る観点
質問に対してスピーディーに応答できているか
その達成度を見るために用いる手法
授業全体で確認
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
第 1 回：オリエンテーション（講義方針・成績評価などの説明）
第 2 回：Unit 1 1 Welcome to the "Big Apple"
第 3 回：Unit 1 2 現在形
第 4 回：Unit 2 1 What's the Boss Like?
第 5 回：Unit 2 2 代名詞
第 6 回：Unit 3 1 Masa's First Day on the Job
第 7 回：Unit 3 2 前置詞
第 8 回：Unit 4 1 Summer Fun
第 9 回：Unit 4 2 過去形
第 10 回：Unit 5 1 Hotel Guest Satisfaction
第 11 回：Unit 5 2 可算名詞・不可算名
第 12 回：Unit 6 1 Brainstorming
第 13 回：Unit 6 2 進行形
第 14 回：Unit 7 1 Glad to Be of Service
第 15 回：Unit 7 2 WH 疑問文
第 16 回：Unit 8 1 Socializing with Co-Workers
第 17 回：Unit 8 2 動名詞・不定詞
第 18 回：Unit 9 1 Vacation Spots
第 19 回：Unit 9 2 未来形
第 20 回：Unit 10 1 Sports Talk
第 21 回：Unit 10 2 比較級・最上級
第 22 回：Unit 11 1 Tour Day
第 23 回：Unit 11 2 助動詞
第 24 回：Unit 12 1 Party Time!
第 25 回：Unit 12 2 現在完了形
第 26 回：Unit 13 1 Office Meeting
第 27 回：Unit 13 2 関係詞
第 28 回：Unit 14 1 A Bit of History
第 29 回：Unit 14 2 受動態
第 30 回：前期の学習に対するフィードバック
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
第 30 回の授業内に全体に向けて口頭でフィードバックを行う。
授業時間外学修（予習・復習等）について
毎回単語小テストを実施する。授業内で学習した単語や熟語を翌週までに、ノートにまとめて覚えてくること。
定期試験の実施の有無
実施有り
定期試験方法
筆記試験
試験時間
60 分
試験持込み内容
なし
成績評価方法
(1) 参加度　40%
(2) 小テスト　20%
(3) 定期試験　40%
成績評価基準
参加度、小テスト、課題、定期試験の結果にて評価します。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
学生参加型授業です。発音、発話の機会も多くありますので、積極的な参加が必要です。
オフィスアワー
授業内で質問を受け付けます。
教科書【学内販売：有】
English Missions! Basic（金星堂）ISBN：9784764740716
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

TOEIC Ⅱ（1 年）

高居　佐紀

授業テーマ
TOEIC 基礎
授業の概要
TOEIC Ⅰで身に着けた文法の知識を元に、Listening と Reading の基礎力の定着を図る。TOEIC 問題に慣れ、スコアアップを目指す前段階としての基礎力を養う。
到達目標 1
名詞と動詞の区別と動詞の種類が判断できる
その達成度を見る観点
単語の名詞と動詞の形が分かるかどうか、動詞が自動詞・他動詞どちらであるか分かるかどうか
その達成度を見るために用いる手法
単語テストで確認
到達目標 2
ビジネスシーンのベーシックな会話が聞き取れる
その達成度を見る観点
キーワードを繋げて会話の全体像が掴めるかどうか
その達成度を見るために用いる手法
リスニングパートで確認
到達目標 3
ビジネスシーンのベーシックな文章の大意を把握できる
その達成度を見る観点
文章内のキーワードをから全体の流れが掴めるかどうか
その達成度を見るために用いる手法
リスニングパートで確認
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
第１回：Unit1 オリエンテーション、Reading対策：英文の読み方Unit 1 1 Glad to Be of Service
第２回：Unit 2 Listening 対策；母音（1）/ Reading対策：文のエッセンス（1）
第３回：Unit 3 Listening対策：子音（1）/ Reading対策：単語の意味を推測（1）
第４回：復習
第５回：Unit 4 Listening対策：リンキング / Reading対策：チャンク・リーディング（1）
第６回：Unit 5 Listening対策：t/dの弱音化 / Reading対策：スキャニング（1）
第７回：Unit 6 Reading 対策：スキミング（1）
第８回：復習
第９回：Unit 7 Listening対策：Listening対策：母音（2）/ Reading対策：テーマの把握
第10回：Unit 8 Listening対策：子音（2）/ Reading対策：予測（1）
第11回：Unit 9 Listening対策：短縮形（1）/ Reading対策：単語の位置と成り立ち
第12回：復習
第13回：Unit 10 Listening対策：音の脱落 / Reading対策：まとまり毎の意味を捉える
第14回：Unit11 Reading 対策：スキャニング（2）
第15回：Unit12 Listening対策：短縮形（2）/ Reading対策：スキミング（2）
第16回：復習
第17回：Unit 13 Listening対策：ストレス・イントネーション / Reading対策：文のエッセンス（2）
第18回：Unit 14 Listening対策：単語の音声変化（1）/ Reading対策：単語の意味を推測（2）
第19回：Unit 15 Listening対策：単語の音声変化（2）/ Reading対策：チャンクリーディング（2）
第20回：復習
第21回：Unit 16 Listening対策：復習（3）/ Reading対策：予測（2）
第22回：Unit 17 Listening対策：Part1・2総合問題（1）/ Reading対策：複雑な文章
第23回：Unit 18 Listening対策：Part1・2総合問題（2）/ Reading対策：主題文を見つける
第24回：復習
第25回：模試　Listening
第26回：模試　Reading
第27回：模試解説
第28回：模試解説
第29回：模試解説
第30回：後期の学習に対するフィードバック
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
第 30 回の授業内に全体に向けて口頭でフィードバックを行う。
授業時間外学修（予習・復習等）について
毎回単語小テストを実施する。授業内で学習した単語や熟語を翌週までに、ノートにまとめて覚えてくること。
定期試験の実施の有無
実施有り
定期試験方法
筆記試験
試験時間
60 分
試験持込み内容
なし
成績評価方法
（1）参加度　40%
（2）小テスト　20%
（3）定期試験　40%
成績評価基準
参加度、小テスト、課題、定期試験の結果にて評価します。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
学生参加型授業です。発音、発話の機会も多くありますので、積極的な参加が必要です。
オフィスアワー
授業内で質問を受け付けます。
教科書【学内販売：有】
ECC TOEIC TEST CLINIC Ruby/ 新形式問題対応 TOEIC テスト直前対策模試（200 問 × 1 回分） ISBN：978-4-87615-312-1
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

TOEIC Ⅲ（2 年）

酒多　康嗣

授業テーマ
TOEIC 実践
授業の概要
TOEIC の各パートの練習問題に取り組み、問題の形式を理解し、TOEIC に必要な英語力を学習する。また、TOEIC の各パートにおける頻出の英語表現を確認し、語彙力を高める。

到達目標 1
TOEIC の出題形式を理解する
その達成度を見る観点
各パートの特徴と留意点を理解しているかどうか
その達成度を見るために用いる手法
各パートで確認
到達目標 2
TOEIC に頻出の語彙や表現を理解する
その達成度を見る観点
単語テストや定期試験の語彙問題での正答率が 7 割以上であるか
その達成度を見るために用いる手法
単語テスト、定期試験
到達目標 3
授業で使用するテキストの問題が解ける
その達成度を見る観点
テキストの問題の正答率が 7 割以上であるか
その達成度を見るために用いる手法
テキスト内の設問を解く際に確認
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
第 1 回：オリエンテーション（講義方針・成績評価などの説明）
第 2 回：Unit 1 Daily Life
第 3 回：Unit 2 Places
第 4 回：復習
第 5 回：Unit 3 People
第 6 回：Unit 4 Travel
第 7 回：復習
第 8 回：Unit 5 Business
第 9 回：Unit 6 Office
第10回：復習
第11回：Unit 7 Technology
第12回：Unit 8 Personnel
第13回：復習
第14回：Unit 9 Management
第15回：Unit 10 Purchasing
第16回：復習
第17回：Unit 11 Finances
第18回：Unit 12 Media
第19回：復習
第20回：Unit13　Environment
第21回：Unit14　Health
第22回：Unit15　Restaurants
第23回：復習
第24回：模試　Listening
第25回：模試　Reading
第26回：模試解説
第27回：模試解説
第28回：模試解説
第29回：総復習
第30回：後期の学習に対するフィードバック
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
第 30 回の授業内に全体に向けて口頭でフィードバックを行う。
授業時間外学修（予習・復習等）について
毎回単語小テストを実施する。授業内で学習した単語や熟語を翌週までに、ノートにまとめて覚えてくること。
定期試験の実施の有無
実施有り
定期試験方法
筆記試験
試験時間
60 分
試験持込み内容
なし
成績評価方法
(1) 参加度　40%
(2) 小テスト　20%
(3) 定期試験　40%
成績評価基準
参加度、小テスト、課題、定期試験の結果にて評価します。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
学生参加型授業です。発音、発話の機会も多くありますので、積極的な参加が必要です。
オフィスアワー
授業内で質問を受け付けます。
教科書【学内販売：有】
SUCCESSFUL KEYS TO THE TOEIC? LISTENING AND READING TEST INTRO GOAL400［2nd Edition］（桐原書店）　ISBN：9784342552618/TOEIC L&R テスト本番模試　ISBN：9784010944509
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

中国語（1・2 年）

劉　梅玲

授業テーマ
中国語を話す
授業の概要
外国語の学習は、話す・聞く・読む・書くの 4 つの方面から進められるが、まず話すことが基本である。話すことができて聞き取れるようになる。読み書きも話し言葉が基本である。「話す」学習に基本を置き、日常会話の簡単な言い回しを多く覚えていく。
到達目標 1
中国語の基本的な発音ができる
その達成度を見る観点
口頭の発音
その達成度を見るために用いる手法
発音指導
到達目標 2
初歩的な会話を学ぶ
その達成度を見る観点
会話実践
その達成度を見るために用いる手法
会話指導
到達目標 3
語学の学習を通して異文化を知る
その達成度を見る観点
中国に関する基礎知識
その達成度を見るために用いる手法
期末テスト
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．オリエンテーション
2．発音母音とアクセント
3．発音子音

4．発音複雑な子音と母音
5．発音のまとめ
6．名詞を述語にする用法
7．姓名の言い方
8．数字の言い方
9．動詞「いる・ある」の用法
10．曜日と日付の言い方
11．時刻の言い方
12．お金の言い方
13．2つの動詞を使う用法
14．自己紹介の仕方
15．自己紹介を実践
16．期末テスト（試験期間中）

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
テキストはプリント使用。プリントは授業中に配布する。繰り返し発音練習を行う。受講者は授業中しっかり声を出して発音すること。

授業時間外学修（予習・復習等）について
予習に45分、復習に45分程度を要する。

定期試験の実施の有無
実施無し

成績評価方法
授業への取り組み、小テスト、学期末テストによって評価する。

成績評価基準
授業への取組30％、小テスト3回30％、学期末テスト40％。

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
少しでも中国語を話せるようになろう。辞書等は授業中指示する。

オフィスアワー
質問等ある場合は、基本的に授業内に質問等行うようにしてください（授業開始前、授業終了後も可）。それ以外の質問等への対応方法については授業中に別途指示します。

教科書【学内販売：有】
なし

教科書【学内販売：無】
なし

参考書【学内販売：有】
なし

参考書【学内販売：無】
なし

ハングル（1・2年）

李　允昊

授業テーマ
韓国・朝鮮民族の文化・歴史の理解、およびコミュニケーションのツールとしての韓国語の基礎を学ぶ。

授業の概要
韓国語の文字（ハングル）と発音を習得することを第一の目標とする。韓国語と日本語は、文法はよく似ていると言われるが、文字と発音は大きく異なる。日本語との違いを念頭に置きながら繰り返し練習し、文字と発音を習得する。文字と発音の学習と並行して、あいさつ表現・基本的な表現を学ぶ。教室で実際に使ってみることを通して、会話への導入とする。

到達目標１
韓国語で挨拶ができる

その達成度を見る観点
状況に応じて、適切なあいさつ言葉を使うことができるか。

その達成度を見るために用いる手法
毎回の授業時、および定期試験で問う。

到達目標２
韓国語の短いフレーズを自力で読むことができ、簡単な単語を聞いて理解できる

その達成度を見る観点
基本単語、基本文の習得ができているか。

その達成度を見るために用いる手法
小テスト、および定期試験で問う。

到達目標３
韓国語の発音及び文法の基礎が理解できる

その達成度を見る観点
韓国語においての文字と発音の関係を体系的に理解し、基本単語、基本文の習得に生かしているか。

その達成度を見るために用いる手法
毎回の授業、小テスト、および定期試験で問う。

担当形態
単独

授業計画及び授業内容
配布する授業資料に沿って進める。授業の予定はおおよそ以下の通りである。受講者数・参加態度・理解度などによって、多少の進度変更はありうる。小テストの日程は進捗状況を見て授業中に教えます。

1回目：導入、文字と発音1韓国語について、母音字1（基本母音）、あいさつ1、単語1
2回目：文字と発音2子音1（平音1、濃音、激音）、あいさつ2、単語2
3回目：文字と発音3子音2（平音2）、あいさつ3、単語3
4回目：文字と発音4母音2（複合母音）、子音3（パッチム1）、ミニ会話1、単語4、発音の変化1（有声音化）
5回目：文字と発音5子音4（パッチム2）、ミニ会話2、発音の変化2（連音化）
6回目：文字と発音6子音5（パッチム3）、ミニ会話3、発音の変化3（濃音化）
7回目：第1課（あいさつ／紹介）　簡単なあいさつ表現を活用できる。名前・国籍・職業を質問して答える。発音の変化4（鼻音化）
8回目：第1課（あいさつ／紹介）　自分の名前、職業が言える。友だちの名前・国籍・職業を紹介する。発音の変化5（激音化）
9回目：第2課（家族／紹介）家族関連語彙を使うことができる。家族のことを質問して答える。発音の変化6（ㅎの弱化）
10回目：第2課（家族／紹介）　数詞を活用して家族紹介ができる。写真を見て自分の家族を紹介する。発音の変化7（流音化）
11回目：第3課（位置／報告）建物や場所の名前を言える。絵を見て場所の位置を話す。発音の変化8（ㄹのㄴ化）
12回目：第3課（位置／報告）建物や場所の位置を言える。絵を見て品物の位置を話す
13回目：第4課（誕生日／提案）日にち、曜日の語彙を適切に使える。誕生日を質問して答える。
14回目：第4課（誕生日／提案）相手に何かを提案できる。計画表を見ながら日にちや曜日を質問して答える。
15回目：まとめ　復習と定期試験についてのお知らせ

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
配布資料を中心とした講義形式で行うが、ペアワーク（グループワーク）も交ぜながら行い、ビデオなどの視聴覚資料も利用する。授業時は、ポイントとなる事柄をその都度板書するので、本授業専用のノートやルーズリーフを必ず用意し、毎回持参すること。その他、事前に配布資料の指定された個所を読んでいることを前提に授業を

進める。課題として配布資料の練習問題、プリントによる課題などを適宜課す（授業中に指示する）。必要に応じて授業の始めに、小テスト（筆記または口頭）などによる理解度の確認を行なう。課題･小テストなどについては、次回の授業時に前回を振返りとともにフィードバックする。

授業時間外学修（予習・復習等）について

1 回 90 分の授業にあたり、最低限 90 分の予習、90 分の復習をすること。特に復習に多めの時間をかけ、毎回の授業をきちんと理解すること。

定期試験の実施の有無

実施有り

定期試験方法

筆記試験

試験時間

60 分

試験持込み内容

筆記用具以外の持ち込みは一切不可

成績評価方法

「授業への積極的な取り組み」10%、「課題提出」と「小テスト」合わせて 30%、「定期試験」60%の予定

成績評価基準

・授業への積極的な取り組み：授業中の積極的な発言・声を出して読む練習への参加度・ペアやグループ活動への参加度などにより評価する。
・課題提出：配布資料の練習問題を通して、授業の内容をよく理解しているのか評価する。
・小テスト：（最小限 2 回以上実施予定で形式は筆記試験または口頭試験）授業の内容をよく理解しているのか評価する。
・定期試験：授業で並んだ知識・理解度を筆記試験と口頭試験の形式で問う。

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）

第 1 回目の授業で、本授業内での約束ごとを確認する。受講希望者は第 1 回目の授業に必ず出席すること。欠席 5 回からは単位付与できません。遅刻 2 回は欠席 1 回に相当する。授業開始から 30 分を過ぎた場合欠席とみなす。

オフィスアワー

授業の前後で対応します。

教科書【学内販売：有】

授業中にプリントを配布します。

教科書【学内販売：無】

なし

参考書【学内販売：有】

なし

参考書【学内販売：無】

なし

日本語Ⅰ（1 年）

佐々木　幸喜

光華 Navi 参照

日本語Ⅱ（1 年）

佐々木　幸喜

光華 Navi 参照

日本事情Ⅰ（1 年）

佐々木　幸喜

光華 Navi 参照

日本事情Ⅱ（1 年）

佐々木　幸喜

光華 Navi 参照

衣生活概論（1 年）

青木　正明

授業テーマ

衣生活に関わる様々な事柄を、主に消費、流通、環境の視点から学ぶ

授業の概要

現代の私たちを取り巻く衣生活は、流通業態及び消費行動と非常に密接なかかわりを持っている。本授業では、主に消費、流通、環境の 3 視点から衣生活に関わる諸現象を掘り下げ、現在の衣生活と社会のかかわりに関する理解を深める。また､本授業は繊維製品品質管理士（TES）の認定試験科目のひとつ「家庭用繊維製品の流通、消費と消費者問題に関する知識」の出題分野にも対応し

到達目標 1

衣料品に関わる消費者行動の調査法とその実際を理解する

その達成度を見る観点

衣料品に関わる消費者行動について理解できているか

その達成度を見るために用いる手法

授業内小テスト、提出課題、最終レポート

到達目標 2

衣料品に関わる生産流通の構造を理解する

その達成度を見る観点

衣料品に関わる生産流通の構造について理解できているか

その達成度を見るために用いる手法

授業内小テスト、提出課題、最終レポート

到達目標 3

衣料品に関わる消費者苦情と環境問題を理解する

その達成度を見る観点

衣料品に関わる消費者苦情と環境問題について理解できているか

その達成度を見るために用いる手法

授業内小テスト、提出課題、最終レポート

担当形態

単独

授業計画及び授業内容

01. はじめに　～繊維製品品質管理士（TES）についての解説も含む
02. 消費者行動とその調査方法について 1
03. 消費者行動とその調査方法について 2
04. 消費者に関わる諸問題と消費者政策について 1
05. 消費者に関わる諸問題と消費者政策について 2
06. 消費者に関わる諸問題と消費者政策について 3
07. 経済の変化と衣料の流通について 1
08. 経済の変化と衣料の流通について 2
09. 経済の変化と衣料の流通について 3
10. 衣料に関わる消費者苦情について 1
11. 衣料に関わる消費者苦情について 2

12. 衣生活に関わる環境問題について１
13. 衣生活に関わる環境問題について２
14. ふりかえり１
15. ふりかえり２
※「経済の変化と衣料の流通について」では学外見学として京都市内の大型衣料品店を訪問し調査を行います。詳細は授業スタート後に適宜説明します。

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
視覚に訴えやすい講義を主体とし、履修者が能動的に調査・学習できるような講義スタイルを適宜採用します。理解の確度を高めるために、授業内小テストや課題提出を課します。テスト、提出物は評価確認後フィードバックします。

授業時間外学修（予習・復習等）について
授業内小テストの結果ふりかえり、提出課題の作業などを丁寧に行ってください。復習を確実に行うことが、授業時間で得られた理解を深めることにつながります。

定期試験の実施の有無
実施無し

成績評価方法
40%：提出課題、授業内小テスト
40%：授業への取組
20%：最終レポート

成績評価基準
提出課題、授業内小テスト：得点または完成度授業への取組：授業への取組姿勢に関する評価点最終レポート：得点

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
この授業では衣料に関わる様々な事柄を学びますが、どちらかというと、“作る”よりも“使う”、即ち“消費する”立場の視点から衣生活に関わる理解を深める授業です。上記「授業内容」では少々堅い言葉が並んでいますが、実際に学ぶ内容は私たちの身近で起こる事柄ばかりです。それら衣生活に関わる事を履修前より高い目線から考察し理解できるような講義を目指しています。また、本授業では、繊維製品品質管理士の資格試験の対策（「家庭用繊維製品の流通、消費と消費者問題に関する知識」分野）も兼ねています。繊維製品品質管理士取得に興味がある学生は前期「被服の材料学」、後期「ファッションビジネス論」と併せての履修を強く勧めます。

オフィスアワー
水曜日昼休み

教科書【学内販売：有】
「新訂　繊維製品の基礎知識シリーズ」第３部「家庭用繊維製品の流通、消費と消費者問題」 日本衣料管理協会発行

教科書【学内販売：無】
なし

参考書【学内販売：有】
なし

参考書【学内販売：無】
なし

ファッションデザイン史（２年）

青木　正明

授業テーマ
西洋を中心とした服飾文化の変遷について学ぶ

授業の概要
西洋を中心にした18世紀以降の服飾史を文化や産業の変遷とともに解説し、現代の服飾文化にどのようにつながってきたかを学ぶ。

到達目標１
時代の変遷と服飾文化の変化が、互いに影響をしあっていることを理解する

その達成度を見る観点
時代の変遷と服飾文化の変化の関わりが理解できているか

その達成度を見るために用いる手法
提出課題、研究テーマ発表

到達目標２
地域への文明及び文化の伝播と、服飾文化の伝播が非常に高い相関であることを理解する

その達成度を見る観点
文明・文化の伝播と服飾文化の伝播のの関わりが理解できているか

その達成度を見るために用いる手法
提出課題、研究テーマ発表

到達目標３
現代の社会生活においてファッションが非常に重要な役割を担っていることを理解する

その達成度を見る観点
現代社会においてファッションが担っている重要な役割について理解できているか

その達成度を見るために用いる手法
提出課題、研究テーマ発表

担当形態
単独

授業計画及び授業内容
01. はじめに　～人はなぜ服を着るのか？
02. 18世紀の服飾文化　貴族の絶頂期ロココの時代から革命と新古典主義
03. 19世紀の服飾文化　貴族身分制度崩壊とブルジョワジー台頭、産業革命の恩恵
04. 20世紀前半の服飾文化　新時代と身体の解放、大戦
05. 20世紀後半の服飾文化　大戦後と科学技術、プレタポルテの発明と多様性の時代へ
06. 21世紀の服飾文化　情報革命とファッション
07. 日本の服飾史１　貴族文化の時代
08. 日本の服飾史２　武家文化の時代～明治維新
09. 外部講師（京都服飾文化研究財団学芸員）による服飾史講義
10. 学外見学１
11. 学外見学２
12. 研究テーマの調査１
13. 研究テーマの調査２
14. 研究テーマの発表
15. まとめ
※学外見学では京都服飾文化研究財団を予定しています（バス代などが発生します）。詳細は授業スタート後に適宜説明します。

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
視覚に訴えやすい講義を主体とし、履修者が歴史的知識を能動的に調査・学習できるような講義スタイルを適宜採用します。期内後半では研究テーマを複数与え、チームごとに調査・考察を行い研究発表をする場を設けます。理解の確度を高めるために、授業後の課題提出を課します。また、提出物は評価確認後フィードバックします。

授業時間外学修（予習・復習等）について
授業内で理解したことを毎回ふりかえり、提出課題の作業などを丁寧に行ってください。復習を確実に行うことが、授業時間で得られた理解を深めることにつながります。

定期試験の実施の有無
実施無し

成績評価方法
40%：提出課題
40%：授業への取組
20%：研究テーマ発表
成績評価基準
提出課題：評価点授業への取組：授業への取組姿勢に関する評価点研究テーマ発表：評価点
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
授業計画を見て頂ければわかる通り、服飾史は社会一般の歴史と非常に密接な関係にあります。歴史的知識無くして服飾史の理解はあり得ない、と言ってもよいでしょう。ですが、小難しい歴史的知識を覚えてほしい、と思っているわけではありません。歴史上の大きなトピック、更にはファッションと切っても切り離せない美術・芸術・工芸の話を織り交ぜながら、服飾史の華麗かつ変わり身の激しい変遷を楽しく解説できればと思っています。本来は様々なことの“流行り”という意味であるfashionが、服飾に特化した流行という意味に使われるようになったその原因を改めて理解できるような、社会と服飾との密接な関係についての深い学びができる授業を目指します。卒業後にアパレル産業へ進む学生はぜひ履修してほしいと思っています。
オフィスアワー
水曜日昼休み
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
増補新装カラー版　世界服飾史　深井晃子監修　美術出版社

被服の材料学（1年）

青木　正明

授業テーマ
被服の制作に利用される材料、主に繊維材料についての知識を広く学ぶ
授業の概要
身の回りの衣類は全て、主に布を材料としている。本授業ではこの、「布とはどのようなものか？」を広く理解することを目的とする。布、糸、繊維といった構造毎の理解および染色やその準備工程など各種加工方法の理解を体系的に学習する。また、本授業は繊維製品品質管理士（TES）の認定試験科目のひとつ「繊維に関する一般知識」の出題分野にも対応している。
到達目標1
繊維の種類と性質を理解する
その達成度を見る観点
繊維について理解ができているか
その達成度を見るために用いる手法
授業内演習、提出課題、期末定期試験
到達目標2
糸及び布の種類と性質と製造に関する知識を得る
その達成度を見る観点
糸及び布について理解ができているか
その達成度を見るために用いる手法
授業内演習、提出課題、期末定期試験
到達目標3
糸及び布の染色加工に関する知識を得る
その達成度を見る観点
染色加工について理解ができているか
その達成度を見るために用いる手法
授業内演習、提出課題、期末定期試験
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
01. はじめに　～布、糸、繊維、材料学とはなにか？
02. 繊維の話1　天然繊維
03. 繊維の話2　化学繊維
04. 糸の話　歴史と種類と性質
05. 布の話1　織物について
06. 布の話2　編物について
07. 布の話3　その他の布について
08. 染色の話1　染料・顔料の違いと染色メカニズム
09. 染色の話2　無地染めとプリント
10. 染色の話3　その他の加工について
11. 学外見学1　染色工場訪問
12. 学外見学2　織物工場訪問
13. 学外見学3　編物工場訪問
14. ふりかえり1
15. ふりかえり2
※学外見学では授業時間内に京都市内の各工場を訪問し見学学習を行います（バス代など発生します）。詳細は授業スタート後に適宜説明します。
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
視覚に訴えやすい講義を主体とし、履修者が材料に関わる事柄を能動的に調査・学習できるような講義スタイルを適宜採用します。理解の確度を高めるために、授業内演習（小テスト、製作）トや課題提出を課します。演習、提出物は評価確認後フィードバックします。
授業時間外学修（予習・復習等）について
授業内で解説された内容を毎時間ふりかえり、提出課題の作業などを丁寧に行ってください。復習を確実に行うことが、授業時間で得られた理解を深めることにつながります。また、被服の材料は身の回りにごまんとあり、最も身近に復習・応用が可能です。常日頃から、本授業で得た知識を駆使して布のことを考える癖をつけてみてください。服を見る目が少し変わると思います。
定期試験の実施の有無
実施有り
定期試験方法
筆記試験
試験時間
60分
試験持込み内容
持ち込み無
成績評価方法
40%：提出課題、授業内演習
40%：授業への取組
20%：期末定期試験
成績評価基準
提出課題、授業内演習：得点または完成度授業への取組：授業への取組姿勢に関する評価点期末定期試験：得点
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
被服の材料学は、ファッションに関わる知識の中で最も科学的解説が多用されるため、一般的には敬遠されがちな授業ですが、ファッション産業が科学と密接な関りがあることを最も実践的に把握することができる分野でもあります。できるだけやさしい科学の話を織り交ぜ、そして実際に手を使い材料が出来上がるまでを体感できる機会を作りながら、「ファッション材料をカガクする」講義を目指します。また、本授業では、繊維製品品質管理

士の資格試験の対策（「繊維に関する一般知識」分野）も兼ねています。繊維製品品質管理士取得に興味がある学生は前期「衣生活概論」、後期「ファッションビジネス論」と併せての履修を強く勧めます。
オフィスアワー
木曜日昼休み
教科書【学内販売：有】
「新訂　繊維製品の基礎知識シリーズ」第１部「繊維に関する一般知識」 日本衣料管理協会発行
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

服作り演習（1 年）

青木　正明、松浦　久美子

授業テーマ
洋裁基礎
授業の概要
ベーシックなデザインのスカートとブラウスを製作する。被服製作を通して、洋裁の基礎的な知識や構成方法・縫製技術を学ぶ。原型の製図、パターンメーキングを行い、自分の体型に合ったものを製作する。制作過程を通して、自分で選択した生地で実際に着用できるものを作ることの楽しさ、達成感を感じることで、今後自力で衣服制作ができるという自信を身につける。
到達目標 1
家庭洋裁に必要な縫製テクニック及びパターン知識を習得する
その達成度を見る観点
スカート、ブラウスの課題製作において、必要な知識が利用されているか
その達成度を見るために用いる手法
課題製作における細部の仕様到達度
到達目標 2
一般衣料（スカート、ブラウス）の構造を理解し、制作完成できる
その達成度を見る観点
スカート、ブラウスの課題製作において、適切なパターンメイキングがなされているか
その達成度を見るために用いる手法
課題製作におけるパターンの完成度
到達目標 3
工業製品である被服も本来は人の手による一作品であることを理解する
その達成度を見る観点
スカート、ブラウスの課題製作において、各種知識と自分のイメージを融合しながら適切に作り上げられているか
その達成度を見るために用いる手法
課題製作における作品の総合完成度
担当形態
オムニバス
授業計画及び授業内容
01. 被服製作（洋裁）のための基礎知識
02. スカート：原型作成
03. スカート:原型からのパターンメイキング(表､裏とも)
04. スカート：表地、裏地の裁断、縫製準備
05. スカート：本体の縫製１
06. スカート：本体の縫製２
07. スカート：付属、ベルトの縫製
08. スカート：仕上げ
09. ブラウス：原型からのパターンメイキング
10. ブラウス：生地の裁断、縫製準備
11. ブラウス：本体の縫製１
12. ブラウス：本体の縫製２
13. ブラウス：本体の縫製３
14. ブラウス：袖、付属の縫製
15. ブラウス：仕上げ
※スカート、ブラウスとも表地、裏地、副資材などは各自購入のこと。種類は授業内で指定します。
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
製作計画に基づき、スカートおよびブラウスの課題製作実習を進める。個別にディスカッションを行い、パターンメイク、縫製など服作り全般の理解を促す。課題については、次回授業時に前回の振り返りとともにフィードバックする。
授業時間外学修（予習・復習等）について
製作の段取りを毎時間授業の始めに説明して実習を進めるため、遅刻欠席をしないこと。
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
60%：課題作品 40%：受講態度
成績評価基準
課題作品：提出時のみならず、製作過程における各所のポイント、進度についても評価の対象とする。受講態度：説明を聞き作業を進められているか、課題を終えているか等により評価する。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
服は、様々な人の手が関わって仕上がる総合作品です。スカートやブラウスなど基本アイテムを自作することで、衣類の製作工程を一通り学ぶとともに、この授業を通して服作りの楽しさを知っていただければと思います。
※２年次前期でファッションクリエイティブ演習の受講を考えている学生は必ず本授業を履修してください。
オフィスアワー
毎回の授業前後に質問してください。
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

ファッションクリエイティブ実習（2 年）

中山　佳子

授業テーマ
基礎的な洋裁の技術を応用発展させる
授業の概要
基礎的な洋裁の知識や技術を基に、各自デザインしたウェアを製作する。製作する作品は、原則各自で着装可能なものとし、そのために必要な身体計測、パターン製図も含めて実習する。
到達目標 1
想定したモデルに合った被服のデザインを考えることができる

その達成度を見る観点
想定通りのデザインを考案できたか
その達成度を見るために用いる手法
デザイン提案資料の完成度
到達目標 2
自分でデザインした企画を製品にするための素材選び・パターン設計・縫製ができる
その達成度を見る観点
素材選び・パターン設計・縫製が適正になされているか
その達成度を見るために用いる手法
課題作品の完成度
到達目標 3
完成した被服がデザイン通りであるかどうかの評価や考察ができる
その達成度を見る観点
考案したデザインと完成した課題作品を適切に説明できるかどうか
その達成度を見るために用いる手法
作品のイメージについてのテキストの評価
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．コンセプトとデザインの決定
2．トワル裁断、印付け、仮縫い
3．トワル仮縫い試着補正
4．パターン修正
5．実物布裁断、印付け
6．構成（表地身頃の縫製）1
7．構成（表地身頃の縫製）2
8．構成（表地スカートの縫製）
9．構成（裏地の縫製）
10. 構成（見返し、裏地縫い合わせ）
11. 構成（ファスナー付け）
12. 構成（試着し、スカート丈決定、細部始末）
13. 構成（装飾）
14. 仕上げ
15. 作品の発表
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
各自の製作計画に基づき、作品製作を進めます。必要に応じて、資料を配布します。
授業時間外学修（予習・復習等）について
授業時間内に計画した工程を終えられなかった場合は、各々が授業時間外を利用し、次の授業までに計画したところまで到達しておいて下さい。
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
70%：課題作品
20%：授業への取組
10%：作品のイメージテキスト
成績評価基準
課題作品：完成品の完成度授業への取組：授業への取組姿勢に関する評価点作品のイメージテキスト：テキストの完成度
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
本授業で完成した作品は、夏に開催する「光華コレクション」で作品発表をします。必要な材料は各自で準備すること。製作の進度を把握し、スケジュールを管理すること。アパレルソーイングを履修していることが望ましい。
オフィスアワー
質問等がある場合は、基本的に授業内にしてください。その他の対応方法については、授業中に別途指示します。
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

アクセサリー制作実習（2 年）

上田　香

授業テーマ
暮らしを彩るハンドメイドアクセサリーの制作
授業の概要
くらしを彩るアクセサリーを考え作品を制作する。身近で手に入れられる素材や、ちょっとしたアイデアでオリジナリティあふれるアクセサリーを制作することができる。ここでいうアクセサリーとはイヤリングやブローチなどの身に付けるアクセサリーのほか、インテリアオブジェ、手袋などのファッションアクセサリーなども含んでいる。　また、ハンドメイドの各種技法を習得することで、今後のものづくりへの視点を広げることができる。
到達目標 1
手作りの楽しさを知る
その達成度を見る観点
基本を学んだ上で、オリジナリティーのある作品を作れるか
その達成度を見るために用いる手法
授業意欲、提出作品のオリジナリティーを示す
到達目標 2
各種素材の取り扱い方を理解し、技法を習得する
その達成度を見る観点
各種素材の取り扱い方、各種技法を習得できているか
その達成度を見るために用いる手法
提出作品の完成度を高める
到達目標 3
制作を計画的に進め、作品ポートフォリオを作成することができる
その達成度を見る観点
パワーポイントでのプレゼンテーションを効果的に行えるか
その達成度を見るために用いる手法
わかりやすいプレゼンテーションとなるように心がける
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．イントロダクション
2．刺繍の基本テクニック
3．刺繍の応用テクニックとビーズ刺繍
4．アクセサリー制作 1-1
5．アクセサリー制作 1-2
6．アクセサリー制作 1-3
7．アクセサリー制作 1-4
8．編み物の基本テクニック（かぎ針）
9．編み物の基本テクニック（棒針）
10. アクセサリー制作 2-1
11. アクセサリー制作 2-2
12. アクセサリー制作 2-3
13. アクセサリー制作 2-4
14. プレゼンテーションボード、ポートフォリオの作り方

15. 作品発表とまとめ
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
実習形式で行う。各課題作品のポートフォリオ提出時は講評会を行い、講評会はプレゼンテーション形式で行う。
授業時間外学修（予習・復習等）について
各回授業の冒頭に手順や注意点など説明を行う。これを十分理解し、計画的に作業を進めること。各回の技法等についてはあらかじめリサーチしておくこと。これはスムーズな進行にも役立つ。
定期試験の実施の有無
実施無し
定期試験方法
実技
成績評価方法
平常点（出席状況と授業への取り組みの姿勢）40%、課題作品の評価50%で評価する。
成績評価基準
課題作品については技術面、表現の完成度、オリジナリティを評価する。作品とポートフォリオは分けて評価する。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
技法練習の際の材料は提供しますが、個人制作に必要な各種材料の準備が各自必要となります。
オフィスアワー
質問等ある場合は、基本的に授業内に質問等行うようにしてください（授業開始、授業終了後も可）。それ以外の質問等への対応方法については授業中に別途指示します。
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

ファッションビジネス論（1年）

青木　正明

授業テーマ
衣料品の企画、製造、品質について学ぶ
授業の概要
現代の重要な工業製品のひとつである衣料品のことを産業界では広く“アパレル”と呼んでいる。本授業ではアパレルの企画・製造工程と、その品質に関する様々な事柄に関しての理解を深める。また、本授業は1．繊維製品品質管理士（TES）の認定試験科目のひとつ「家庭用繊維製品の製造と品質に関する知識」での出題分野2．ファッションビジネス能力検定3級試験のふたつに対応している。
到達目標1
アパレル商品の企画、設計、製造に関する知識を得る
その達成度を見る観点
アパレル商品の企画、設計、製造について理解できているか
その達成度を見るために用いる手法
授業内小テスト、提出課題、最終レポート
到達目標2
アパレル商品の品質要求内容と、消費性能及びその試験法を理解する
その達成度を見る観点
アパレル商品の品質要求内容と、消費性能及びその試験法について理解できているか
その達成度を見るために用いる手法
授業内小テスト、提出課題、最終レポート
到達目標3
アパレル商品の品質管理と品質保証に関する知識を得る
その達成度を見る観点
アパレル商品の品質管理と品質保証について理解できているか
その達成度を見るために用いる手法
授業内小テスト、提出課題、最終レポート
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
01. ファッションビジネスについて
02. アパレルに関わる産業とマーケッティングについて
03. アパレルに関わるマーチャンダイジングについて
04. アパレル商品の流通とアパレルに関わる企業の計数管理について
05. アパレル商品企画の際のデザインについて
06. アパレル商品のアイテム、コーディネート、サイズなどについて
07. ファッションビジネスについてのふりかえり1
08. ファッションビジネスについてのふりかえり2
09. 人体と衣服寸法、パターン、グレーディングについて
10. アパレル商品の縫製について
11. アパレル商品の品質要求と消費性能について
12. アパレル商品に関わる様々な試験方法について1
13. アパレル商品に関わる様々な試験方法について2
14. アパレル商品の品質管理について1
15. アパレル商品の品質管理について2
※「アパレル商品の品質管理について」では学外見学として企業訪問をします。詳細は授業スタート後に適宜説明します。
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
視覚に訴えやすい講義を主体とし、身近なアパレル商品を履修者が能動的に調査・学習できるような講義スタイルを適宜採用します。理解の確度を高めるために、授業内小テストや課題提出を課します。テスト、提出物は評価確認後フィードバックします。
授業時間外学修（予習・復習等）について
授業内小テストの結果ふりかえり、提出課題の作業などを丁寧に行ってください。復習を確実に行うことが、授業時間で得られた理解を深めることにつながります。
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
40%：提出課題、授業内小テスト
40%：授業への取組
20%：最終レポート
成績評価基準
提出課題、授業内小テスト：得点または完成度授業への取組：授業への取組姿勢に関する評価点最終レポート：得点
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
この授業ではアパレル商品を“作る”、そして“販売する”ことに関わる理解を深める授業です。期間の前半では11月に開催されるファッションビジネス能力検定3級試験を念頭に置いた授業内容ですすめます。期間の後半では、繊維製品品質管理士の資格試験の対策（「家庭用繊維製品の製造と品質に関する知識」分野）を主体にした授業内容とします。繊維製品品質管理士取得に興味がある学生は前期「衣生活概論」、「被服の材料学」と併せての履修

を強く勧めます。
オフィスアワー
月曜日昼休み
教科書【学内販売：有】
「新訂　繊維製品の基礎知識シリーズ」第２部「家庭用繊維製品の製造と品質」 日本衣料管理協会発行
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
ファッションビジネス［Ｉ］改訂版　日本ファッション教育振興協会発行（ファッションビジネス検定３級受験予定の学生は購入すること）
参考書【学内販売：無】
なし

ファッションコーディネート演習（1・2年）

三浦　さやか

授業テーマ
ファッションの知識とセンスを磨く
授業の概要
本授業では、ファッションに関する基礎知識（アイテム名や素材・カラー・シルエットなど）について学ぶと同時に、それらを組み合わせたり、イメージに合わせて使う方法について学ぶ。また、流行のしくみや現在のトレンドについて分析し、トレンドを表現するファッションコーディネートを作る。加えて、実践的なコーディネートテクニックを知り、体型をカバーする・よりよく見せるなど個々に寄り添うファッションの方法や、スタイリストを想定して、その仕事で必要となる知識やテクニックを学ぶ。さらに、トータルファッションの観点からメイクやポージングなどについても学ぶ。
到達目標１
毎日の服選びが楽しくなるような、自分自身の豊かさにつながるおしゃれができるようになる
その達成度を見る観点
自分自身の個性を理解し、それを活かすファッションは何かを知ること
その達成度を見るために用いる手法
個性の判断指標について学び、ワークシートを行う
到達目標２
デザイン要素（色、素材、かたち）の各要点をふまえ、基本的なコーディネートが提案できる
その達成度を見る観点
色やアイテムの名前、シルエットなど基本的なファッションの知識を深める
その達成度を見るために用いる手法
アイテムシートを使い、ファッションアイテムについての知識を深める
到達目標３
ファッションやメイクなどトータルでイメージを表現できるようになること
その達成度を見る観点
メイク、動き、ポージングなどが一体となってファッションを表現できるか
その達成度を見るために用いる手法
自分自身をモデルにファッションコーディネートを行い、メイクとポーズも工夫をして作品を作り上げ、撮影を行う。
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．ガイダンス／ファッションの役割と自身のファッション分析
2．ファッショントレンド・世界４大コレクションについて
3．ファッションアイテムの商品知識
4．ファッションカラー・素材について
5．シルエット／体系カバーのコーディネート［課題：レポート提出］
6．小物の扱い・取り入れ方
7．テーマごとのコーディネート（イメージ編）［課題：作品提出］
8．テーマごとのコーディネート（白シャツ編）［課題：作品提出］
9．テーマごとのコーディネート（1週間の着回し編）［課題：作品提出］
10．ファッションとヘアメイクのコーディネート
11．ファッションのTPO／メディアの中でのファッションコーディネート
12．ファッション表現（ウォーキング）
13．ファッション表現（ポージング）
14．ファッションコーディネート撮影企画
15．ファッションコーディネート撮影［課題：作品提出］
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
主として講義形式で授業を行うが、グループワークや演習など体を動かし学ぶ内容も含まれる。時折視聴覚資料を利用し、理解を深める。課題として、授業内でレポートおよび作品を制作し提出する。
授業時間外学修（予習・復習等）について
ファッションやコーディネート、また流行などについて関心を持ち、雑誌やネットなどで情報を収集しておくこと。授業内で使用する課題の資料を順次準備すること。
定期試験の実施の有無
実施有り
定期試験方法
レポート
成績評価方法
・授業への参加度（60％）
・レポート・作品の評価（40％）
成績評価基準
・授業への参加度…授業態度及び積極性
・レポート…内容を理解し、要点を伝えられているか
・作品…事前準備（資料集め等）をしっかり行い、表現したいことがよくまとめられているか
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
この授業では、毎日の服選びが楽しくなること、自分の個性をうまく表現できる服選びができるようになることを目標としています。ファッション業界に就職したい人も、そうでない人も自らのために必ず役に立つ知識なので、積極的に授業に参加してほしいと願います。
オフィスアワー
質問等がある場合は、基本的に授業内に質問等をしてください（授業前後も可）。それ以外の質問方法については、授業内で別途指示します。
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

ファッションビジネス演習（2 年）

青木　正明

授業テーマ
商品企画から小売販売まで、製造販売に関わる一連の実務を学ぶ
授業の概要
商品（原則として服飾関連商品）を企画し、製作、販売（主に creema などのハンドメイド販売サイト）までの作業を実際に行うことで、本学で学ぶ様々な諸知識がどのようにして実践的に活用できるかを理解し、社会人基礎力の向上を図る。
到達目標 1
“売れる商品”を選択もしくは企画制作するための素案を立案できる
その達成度を見る観点
販売商品に関する素案立案が適切にできたか
その達成度を見るために用いる手法
販売商品の素案提案
到達目標 2
アパレル商品に関わる原価及び販売価格及び在庫に関わる知識を習得する
その達成度を見る観点
原価、販売価格、在庫などの計数管理について理解できているか
その達成度を見るために用いる手法
担当商品の計数管理
到達目標 3
アパレル商品を選択もしくは企画制作し販売するまでのスケジュールを管理できる
その達成度を見る観点
自分の担当業務についてスケジュール管理が適切に出来ているか
その達成度を見るために用いる手法
担当業務ごとのスケジュール管理実行
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
01. はじめに　モノを作って売る、ということ
02. 商品の素案立案
03. 商品の素案提案、企画の決定、製作スケジュール立案
04. 商品製作作業 1
05. 商品製作作業 2
06. 商品製作作業 3
07. 商品製作作業 4
08. 商品製作作業 5
09. 原価計算および希望小売価格設定検討
10. 商品紹介案内検討、写真撮影
11. ハンドメイド販売サイトにて販売ページ作成 1
12. 販売ページ作成 2
13. 販売ページ作成 3、販売スタート
14. 販売管理 1
15. 販売管理 2
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
授業は全て実践的内容です。課題、小テストなどはありませんが、授業内で終了しなかった製作作業を次週までに完成する必要があれば課題作業を課します。
授業時間外学修（予習・復習等）について
ふだんから、ファッション、ハンドメイド関連の情報に興味を持っておいてください。
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
20%：商品素案提案
30%：担当製作物
20%：スケジュール管理
30%：授業への取組
成績評価基準
商品素案提案：提案内容の完成度担当製作物：製作物の完成度スケジュール管理：管理の達成度授業への取組：授業への取組姿勢に関する評価点
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
本授業では、“売れる商品”を企画し、作り、そして売るまでの一連の作業を履修者が行う実践的内容です。商品の企画内容にもよりますが、活動の全体像としてはハンドメイド作家的なアプローチになると思います。モノづくりで商売をすることの楽しさと難しさを体感することで、社会人基礎力の向上を狙います。
オフィスアワー
金曜日昼休み
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

ブライダル総論（1 年）

小山　理子

授業テーマ
ブライダル業界の概要およびブライダル全般の基礎知識について理解する
授業の概要
ブライダルマーケットやブライダルに関連する職業、ブライダルやブライダルアイテム関する基礎知識などを学ぶ。そして、ブライダル業界で求められる人材について考え、必要となる知識や態度を習得する。さらに、今後の結婚・挙式・披露宴について自分の意見を述べることができるようになることを目指す。
到達目標 1
授業で紹介するブライダルの基本的な用語を理解する
その達成度を見る観点
ブライダル用語の意味を正しく理解し、適切な使用ができる
その達成度を見るために用いる手法
小テストおよび定期試験での用語を意味を説明する
到達目標 2
ブライダル業界の職業について理解する
その達成度を見る観点
ブライダル業界にかかわる職業と求められる能力について説明できる
その達成度を見るために用いる手法
リフレクションシートおよびレポートでブライダル業界の職業についての概要を説明する
到達目標 3
結婚・挙式・披露宴について自分の意見を述べることができる
その達成度を見る観点
ディスカッションやレポートで、結婚・挙式・披露宴に

ついての現状を理解した上で、自分の意見を述べることができる
その達成度を見るために用いる手法
グループディスカッションやプレゼンテーションで自分の意見を述べる
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
授業計画
1．ガイダンス
2．ブライダルマーケットについて
3．ブライダルコーディネーターについて
4．ブライダルコーディネーターについての振り返りとディスカッション
5．ドレスコーディネーターについて
6．ドレスコーディネーターについての振り返りとディスカッション
7．フラワーコーディネートについて
8．フラワーコーディネートについての振り返りとディスカッション
9．ブライダル業界への就職について
10．ブライダル業界の現代事情
11．挙式・披露宴の現代事情
12．結婚・挙式・披露宴について　インタビューおよび情報収集
13．結婚・挙式・披露宴について　ディスカッションと分析
14．結婚・挙式・披露宴について　発表
15．まとめ
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
講義形式およびグループワーク必要に応じてプリントを配布
授業時間外学修（予習・復習等）について
授業内容について、配布資料などで必ず復習し、疑問点は次回授業時に質問すること。ブライダルに関連する動向やニュースなどを日頃から確認し見聞を広めておくことが望ましい。復習時間に30分から1時間程度かけること。ただし、課題を与えられた場合はこの限りではない。
定期試験の実施の有無
実施有り
定期試験方法
筆記試験
試験時間
90分
試験持込み内容
不可
成績評価方法
授業への参加度（30%）課題（30%）小テスト・定期試験（40%）
成績評価基準
・授業への参加度…授業中の積極的な発言や意見、チーム活動への貢献、プレゼンテーションの技量等により評価する。
・小テスト、定期試験…ブライダルに関する用語について理解できているかを評価する。「ブライダル」について授業で学んだ知識・理解度を問う問題を論述式で出題する。
※授業には出席することが前提のため、出席に対しての加点および評価はおこなわない。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
ブライダルコーディネーターなどブライダル業界の第一線で活躍しているプロフェッショナル人材をゲストスピーカーからの講義を予定している。受講時のマナーを順守すること。
フラワーコーディネートの実習のための材料費（500円程度）が必要。
オフィスアワー
木曜日 12：00-12：50
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

ブライダル検定ベーシック（1年）

小山　理子

授業テーマ
ブライダル業界で働くために求められる基本的な実務知識を習得し、日本ブライダル文化振興協会（BIA）認定の「アソシエイトブライダルコーディネーター」資格取得を目指す。
授業の概要
「アソシエイトブライダルコーディネーター」資格取得を目指すための授業である。そのために、まず、「ブライダルコーディネーターテキスト　スタンダード」を使用し、ブライダルの一般常識、最新の業界事情を学ぶ。そして、ブライダル業界で求められる人材像について考え、そのような人材になるために必要となる知識や態度を習得する。
到達目標1
ブライダル実務に必要となる一般常識を理解する
その達成度を見る観点
正しい回答を答えることができる
その達成度を見るために用いる手法
小テストおよび定期試験の一般常識に関して問う
到達目標2
ブライダルに関する最新の業界事情を理解する
その達成度を見る観点
授業内容を理解した上で、適切な情報源から情報収集と分析を行った上で、発表ができる
その達成度を見るために用いる手法
ディスカッションおよびレポートでブライダルに関する最新の業界事情を発表する
到達目標3
ブライダル業界で求められる人材像について述べることができる
その達成度を見る観点
レポートで、ブライダル業界の現状を理解し、根拠を示し上で、自分の意見を述べることができる
その達成度を見るために用いる手法
レポートで自分の意見を述べる
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
授業計画
1．ガイダンス
2．結婚の定義
3．結婚の歴史と文化（日本）
4．結婚の歴史と文化（欧米）
5．ブライダルビジネス
6．ブライダル業種

7．ブライダルのエリア特性
8．ブライダルの基礎（見合い）
9．ブライダルの基礎（結納）
10. キリスト教式の挙式
11. 神前式の挙式
12. その他の挙式
13. ブライダル業界で求められる人材像
14. ブライダル業界で求められる人材像について　発表
15. まとめ

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
テキストを使用した講義形式およびグループワークで行う。毎回、必ずテキストを持参すること。テキストを忘れた場合は授業への参加を認めない。

授業時間外学修（予習・復習等）について
授業内容について、テキストで予習・復習し、疑問点は次回授業時に質問すること。ブライダルに関連する動向やニュースなどを日頃から確認し見聞を広めておくことが望ましい。復習時間に30分から1時間程度かけること。ただし、課題を与えられた場合はこの限りではない。

定期試験の実施の有無
実施有り

定期試験方法
筆記試験、レポート

試験時間
90分

試験持込み内容
不可

成績評価方法
授業への参加度（30%）
課題（30%）
小テスト・定期試験（40%）

成績評価基準
・授業への参加度…授業中の積極的な発言、ディスカッションの取り組み状況により評価する。
・小テスト、定期試験…ブライダルに関する一般常識について理解できているかを評価する。
・レポート…「ブライダル」について授業で学んだ知識・理解度を問う問題を論述式で出題する。
※授業には出席することが前提のため、出席に対しての加点および評価はおこなわない。

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
「ブライダル総論」（1年前期）および「ブライダル実務」（1年前期）を必ず受講し単位を取得しておくこと。「アソシエイトブライダルコーディネーター」検定の取得を目指すために、毎回、予習・復習が前提となる。覚悟の上、履修すること。

オフィスアワー
木曜日 12：00-12：50

教科書【学内販売：有】
なし

教科書【学内販売：無】
日本ブライダル文化振興協会「ブライダルコーディネーターテキスト　スタンダード」※授業で一括で購入のため、申込み方法などの詳細は1回目の授業で説明

参考書【学内販売：有】
なし

参考書【学内販売：無】
なし

ブライダル演習（2年）

小山　理子

授業テーマ
ブライダルの知識を活用し模擬挙式をプロデュースする

授業の概要
模擬挙式の開催に向けて企画立案を通じて、ブライダルの知識や演出の知識だけでなく、社会人基礎力の育成を行う。さらに、結婚のあり方や新郎・新婦の結婚式に対するニーズが多様化するなか、結婚や結婚式について多面的に情報収集と分析を行った上で、これからの結婚について考えていく。

到達目標1
結婚式の企画立案に必要となる基礎知識を習得する。

その達成度を見る観点
結婚式の企画立案に必要となる知識を理解し、プランニングをしているか

その達成度を見るために用いる手法
小テストおよび定期試験での用語を意味を説明する

到達目標2
結婚について自分のオリジナルな意見を述べることができる。

その達成度を見る観点
結婚についての歴史や現状を踏まえて上で、自分の意見を述べているか

その達成度を見るために用いる手法
ディスカッションとプレゼンテーションで自分の意見を述べる

到達目標3
模擬挙式開催に向け与えられた役割を果たすことができる。

その達成度を見る観点
チームのなかでの自分の役割を認識し、役割の遂行状況と課題について認識できているか

その達成度を見るために用いる手法
毎回の授業でのパフォーマンスとリフレクションシートでの振り返りの内容で役割遂行状況を確認する

担当形態
単独

授業計画及び授業内容
1．ガイダンス
2．挙式・披露宴におけるコンセプトとテーマの理解
3．コンセプトとテーマの決定、演出における音、色、香の効果の理解
4．模擬挙式の進行の検討
5．模擬挙式の進行の決定とシナリオ作成
6．模擬挙式の進行について発表
7．コーディネート（テーブルコーディネート、ペーパーアイテム、ウエルカムボード）の理解と検討
8．コーディネート（テーブルコーディネート、ペーパーアイテム、ウエルカムボード）の発表
9．コーディネート（テーブルコーディネート、ペーパーアイテム、ウエルカムボード）のフィードバック
10. 演出内容とBGMの理解と検討
11. 演出内容とBGMの発表
12. 演出内容とBGMのフィードバック
13. 演出物の作成（ウエルカムボード、装飾品）
14. 役割の決定とリハーサル
15. まとめ

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
グループワークによる実習

授業時間外学修（予習・復習等）について
グループワークが前提の授業であり、授業時間外でもグループで課題を行うことが求められる。また模擬挙式の本番前は、その準備のために授業外での活動への参加が必須である。それを覚悟の上、履修すること。個人の自主学習としては、ブライダルに関連する動向やニュースなどを日頃から確認し見聞を広めておくことが望ましい。予習時間に1時間程度かけること。ただし、課題を与えられた場合はこの限りではない。
定期試験の実施の有無
実施有り
定期試験方法
筆記試験
試験時間
90分
試験持込み内容
不可
成績評価方法
授業への参加度（30%）
課題（30%）
小テスト・定期試験（40%）
成績評価基準
・授業への参加度…授業中の積極的な発言や意見、チーム活動への貢献、プレゼンテーションの技量等により評価する。
・小テスト、定期試験…ブライダルに関する知識について理解できているかを評価する。ブライダルを演出することについて授業で学んだ知識・理解度を問う問題を論述式で出題する。
※授業には出席することが前提のため、出席に対しての加点および評価はおこなわない。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
グループワークを中心とした演習形式の授業のため、授業での積極的な活動が求められる。遅刻欠席は他のメンバーへの迷惑行為となるため一切、認めない。覚悟の上、履修すること。模擬挙式をメンバー全員でやり遂げたいという熱意が必要である。
オフィスアワー
木曜日 12：00-12：50
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

ブライダル検定アドバンス（2年）

小山　理子

授業テーマ
ブライダル業界で働くために求められる基本的な実務知識を習得し、ブライダルコーディネート技能検定（3級）の合格を目指す。
授業の概要
「ブライダルコーディネート技能検定（3級）」合格を目指すための授業である。「ブライダルコーディネーターテキスト　スタンダード」を使用し、ブライダルの一般常識、最新の業界事情を学ぶ。そして、顧客のブライダルに対するニーズの聞き取り、既存サービス・商品等を組み合わせたブライダルの提案能力、ブライダルコーディネートに必要な知識・技能・実践力を理解する。
到達目標1
ブライダル実務に必要となる一般常識を理解する
その達成度を見る観点
正しい回答を答えることができる
その達成度を見るために用いる手法
小テストおよび定期試験の一般常識に関して問う
到達目標2
ブライダルコーディネーターに必要となる提案能力について説明できる
その達成度を見る観点
ブライダルコーディネーターに求められる知識・技能を理解した上で、オリジナルなブライダルコーディネートの提案を行うことができる
その達成度を見るために用いる手法
ディスカッションおよびプレゼンテーションで、オリジナルなブライダルコーディネートについての意見を述べる
到達目標3
ブライダルコーディネートに必要な知識・技能について説明できる
その達成度を見る観点
ブライダルコーディネートの基本を理解した上で、これから求められるコーディネートについて自分の意見を述べることができる
その達成度を見るために用いる手法
レポートで自分の意見を述べる
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
授業計画
1．ガイダンス
2．ブライダルコーディネーターの役割
3．ブライダルコーディネート業務
4．見合い、結納
5．衣装
6．ヘアメイク、フラワーアイテム
7．会場コーディネート
8．ブライダル市場
9．ブライダルの経営管理
10．ブライダルコーディネート（ヒアリング）
11．ブライダルコーディネート（プランニング）
12．ブライダルコーディネート（プレゼンテーション）
13．筆記試験対策
14．実技試験対策
15．まとめ
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
テキストを使用した講義形式およびグループワークで行う。毎回、必ずテキストを持参すること。テキストを忘れた場合は授業への参加を認めない。
授業時間外学修（予習・復習等）について
「ブライダルコーディネート技能検定（3級）」に合格するためには、授業外での自習が欠かせない。テキストで予習・復習し、疑問点は次回授業時に質問すること。ブライダルに関連する動向やニュースなどを日頃から確認し見聞を広めておくことが望ましい。復習時間に30分から1時間程度かけること。ただし、課題を与えられた場合はこの限りではない。
定期試験の実施の有無
実施有り
定期試験方法
筆記試験、レポート

試験時間
90 分
試験持込み内容
不可
成績評価方法
授業への参加度（30%）
課題（30%）
小テスト・定期試験（40%）
成績評価基準
・授業への参加度…授業中の積極的な発言、ディスカッションの取り組み状況により評価する。
・小テスト、定期試験…ブライダルに関する一般常識について理解できているかを評価する。
・レポート…「ブライダル」について授業で学んだ知識・理解度を問う問題を論述式で出題する。
※授業には出席することが前提のため、出席に対しての加点および評価はおこなわない。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
「ブライダル総論」（1 年前期）、「ブライダル実務」（1 年前期）、「ブライダル演習」（2 年前期）を必ず受講し単位を取得しておくこと。また、「ブライダルプロデュース」（2 年後期）も履修すること。「ブライダルコーディネート技能検定（3 級）」合格を目指すために、毎回、予習・復習が前提となる。覚悟の上、履修すること。
オフィスアワー
木曜日 12：00-12：50
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
日本ブライダル文化振興協会「ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード」※授業で一括で購入のため、申込み方法などの詳細は 1 回目の授業で説明
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

ブライダル実務（1 年）

一岡　里栄

授業テーマ
婚礼ビジネス全般の基礎知識の習得
授業の概要
ブライダルにおける商品アイテム、慣習・しきたり、マーケットの特性などの基礎知識を踏まえたうえで、1 件の婚礼をひとつの商品ととらえ、ブライダルビジネスの仕組みを学ぶ。ブライダルマーケットの現状や課題、業界が辿ってきた歴史を学ぶことによって、今後の動向を考察する力を習得する。
到達目標 1
ブライダルマーケットの概要を理解する
その達成度を見る観点
知識を暗記ではなく意味の理解として習得出来ているか
その達成度を見るために用いる手法
授業内での質疑応答及びディスカッション。
到達目標 2
1 組の結婚式を構成する各アイテムの知識を習得する
その達成度を見る観点
知識を暗記ではなく意味の理解として習得出来ているか
その達成度を見るために用いる手法
授業内での質疑応答及びディスカッション。
到達目標 3
婚礼全般の基礎知識を習得する
その達成度を見る観点
知識を暗記ではなく意味の理解として習得出来ているか
その達成度を見るために用いる手法
授業内での質疑応答及びディスカッション。
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．ブライダルマーケットの概要
2．ブライダルマーケットの特性
3．近年のマーケット動向
4．婚礼ビジネスと業界の仕組み
5．新規接客業務
6．打合せ業務
7．当日のディレクション業務
8．婚礼アイテムの基礎知識
9．主体商品（料飲）
10．付帯商品（衣装・花）
11．付帯商品（映像・演出・その他）
12．婚礼実務の知識（オーダーシート・見積書）
13．婚礼業務の知識（進行表・席次表）
14．接客に求められるスキル
15．顧客とのコミュニケーションスキルとその重要性
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
講義形式で行う。
授業時間外学修（予習・復習等）について
講義内容については必ず復習し、疑問があれば次回講義の冒頭に質問すること。復習時間は 30 ～ 60 分が望ましい。
定期試験の実施の有無
実施有り
定期試験方法
筆記試験
試験時間
60 分
試験持込み内容
持込不可
成績評価方法
授業態度 30%、課題 30%、定期試験 40%
成績評価基準
・授業態度…積極的な発言、授業への取り組み姿勢を評価する。
・課題…与えられたテーマについて、的確に回答出来るか、また自身の見解が反映されているかを評価する。
・定期試験…授業に出席することが前提のため、出席に対しての加点及び評価はしない。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
ウエディング関連の画像や動画の情報を収集するなど、授業をきっかけに自主的な取り組むこと。
オフィスアワー
質問等は基本的には授業内で行うようにしてください。それ以外の対応方法は別途授業内で説明します。
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

ブライダルプロデュース（2年）

一岡　里栄

授業テーマ
結婚式を具現化するために必要な知識とスキルを習得する
授業の概要
人生の2大イベントのひとつと言われる結婚式において、心に残るシーンを創り出すことを様々な角度から学ぶ。また、ブライダル業務を企画・演出・施行するために必要な実務の知識を理解する。それらを踏まえ、マーケティングから企画立案・プレゼンテーションまで、ウエディングプロデュース全体について習得する。
到達目標1
ブライダルマーケットと各アイテムの基礎知識を理解する
その達成度を見る観点
知識を暗記ではなく、意味の理解として習得出来ているか。
その達成度を見るために用いる手法
授業内での質疑応答及びディスカッション。
到達目標2
作成した結婚式のコンセプトに沿って、様々なアイテムを駆使し結婚式をプランニングする
その達成度を見る観点
知識を暗記ではなく、意味の理解として習得出来ているか。
その達成度を見るために用いる手法
授業内での質疑応答及びディスカッション。
到達目標3
1件の結婚式をプレゼンテーションする能力を身に付ける
その達成度を見る観点
知識を暗記ではなく、意味の理解として習得出来ているか。
その達成度を見るために用いる手法
授業内での質疑応答及びディスカッション。
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．ブライダルマーケットについての理解
2．ブライダルの基礎知識1（国内主要4会場と4つの挙式スタイル）
3．ブライダルの基礎知識2（商品・アイテム）
4．プランニングの概要
5．プランニング／企画立案のフロー
6．プランニング演習（ターゲット設定）
7．プランニング演習（コンセプト、イメージ＆カラーの設定）
8．プランニング演習（商品アイテムの決定）
9．ヴィジュアルボードの制作(デザイン構築・情報収集)
10．ヴィジュアルボードの制作（レイアウト構成）
11．資料の作成（アンケート・ヒアリングシート）
12．資料の作成（コーディネートシート）
13．資料の作成（オーダーシート・進行表・見積書）
14．プレゼンテーションのポイント
15．プレゼンテーション（課題の発表）
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
設定したコンセプトに基づき、演習形式で企画立案に取り組む。
授業時間外学修（予習・復習等）について
SNSを中心に、ウエディング各アイテムの情報収集を行う。
定期試験の実施の有無
実施有り
定期試験方法
実技
試験時間
60分
試験持込み内容
制作した企画書・ヴィジュアルボードをもってプレゼンテーションする。
成績評価方法
定期試験30%、課題40%、授業態度30%
成績評価基準
定期試験…プレゼンテーションの際に、聞き手にウエディングの内容が訴力できたかどうかを評価とする。
課題…企画書、ヴィジュアルボードのクオリティを評価とする。
授業態度…授業に出席することが前提のため、出席に対しての加点及び評価は行わない。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
・自主学習として、ウエディング関連の動画・画像の情報収集をすることが効果的である。
・検定試験を受験希望の場合は、必須の科目となる。
オフィスアワー
質問などは基本的には授業内で行うようにしてください。それ以外の対処方法については、別途授業内で説明します。
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

食品と調理（1年）

濵田　明美

授業テーマ
食品の特性と調理の基本を理解する
授業の概要
各食品の基本的な特性、食品と加工食品の関係などについて学ぶ。また、食品の特性を活かした調理方法について理解する。また、伝統的な食品や調理方法を理解することによって、食生活を豊かにする知識を学ぶ。
到達目標1
食品の特性（成分・機能・調理による変化）を説明できる
その達成度を見る観点
食品の特性（成分・機能・調理による変化）を理解している
その達成度を見るために用いる手法
定期試験において食品の特性を記述する
到達目標2
食品の加工・調理方法（切る・加熱する・混ぜるなど）の基本を説明できる
その達成度を見る観点
食品の加工・調理方法（切る・加熱する・混ぜるなど）の基本を理解している
その達成度を見るために用いる手法
定期試験において食品の加工・調理方法を記述する

到達目標 3
我が家の自慢料理についてまとめ発表できる
その達成度を見る観点
我が家の自慢料理について、独自性と作り方を理解している
その達成度を見るために用いる手法
発表とレポート
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．オリエンテーション　シラバスの説明・食品成分表の使い方
2．食品の知識と調理（1）穀類
3．食品の知識と調理（2）イモ類、豆類
4．食品の知識と調理（3）野菜類
5．食品の知識と調理（4）果物類
6．食品の知識と調理（5）肉類
7．食品の知識と調理（6）魚介類
8．食品の知識と調理（7）卵類、乳類
9．食品の知識と調理（8）きのこ類、藻類
10. 食品の知識と調理（9）種実類、砂糖類
11. 食品の知識と調理（10）菓子類、し好飲料類
12. 食品の知識と調理（11）調味料類、香辛料類
13. 食品の知識と調理（12）調理加工食品
14. 我が家の自慢料理の発表
15. 全体のまとめと試験の説明
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
授業方法　講義を中心に行う。講義内容を配布資料中にまとめながら授業をすすめる。食品に関する最新情報や、講義内容に関連する DVD 教材も使用する。我が家の自慢料理の発表とレポート提出を求める。
授業時間外学修（予習・復習等）について
前回までの講義内容について、教科書や配布資料をもとに復習し、疑問があれば、次回授業時に質問をすること。復習時間については、おおよそ 30 分から 1 時間程度が望ましい。
定期試験の実施の有無
実施有り
定期試験方法
筆記試験
試験時間
60 分
試験持込み内容
なし
成績評価方法
授業への取組状況：日々の授業への取組状況を総合的に評価する（小テストを含む）。試験期間中の筆記試験を実施する。我が家の自慢料理について、発表とレポートを課する。
成績評価基準
配点：授業への取組状況 20％、発表と小レポート 20％、定期試験 60％
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
食品成分表に分類されている食品群ごとにその特徴をとらえ、さらに個々の食品の特性、調理特性について学びます。授業で得た知識を、食品選びや調理・加工・保存といった毎日の食生活の中に活かしていただきたい。
オフィスアワー
研究室番号：6 号館 211 オフィスアワー：木曜昼休み
教科書【学内販売：有】
2020　オールガイド食品成分表 / 実教出版
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
調理学実習第 2 版（栄養科学シリーズ NEXT）/ 大谷貴美子・饗庭照美編著　/ 講談社サイエンティフィク

栄養と健康（1 年）

両角　美幸

授業テーマ
健康と栄養の関りを理解する。
授業の概要
栄養と健康の関り、栄養素の働き、欠乏症、過剰症について理解する。栄養素が体内でどのように消化吸収されているのかを理解し、健康の保持増進、疾病予防のために必要な知識を習得する。さらに自分自身の食生活、健康に関心を持ち、正しい知識と習慣を身に着けることを目標とする。
到達目標 1
栄養素の基礎知識を理解する
その達成度を見る観点
栄養素の基礎知識を説明することが出来る。
その達成度を見るために用いる手法
小テスト
到達目標 2
栄養素の基礎知識をもとに、健康との関連を説明できる
その達成度を見る観点
栄養素と疾病の関連を説明することが出来る。
その達成度を見るために用いる手法
小テスト
到達目標 3
食生活を通しての「健康づくり」ができる
その達成度を見る観点
ライフステージごとに特徴的な食生活の説明が出来る。自分の食生活を判断することが。出来る。
その達成度を見るために用いる手法
小テスト
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．ガイダンス　授業の進め方、何を学ぶのか
2．栄養とは
3．栄養素の基礎知識（1）主食となる栄養素
4．栄養素の基礎知識（2）主菜となる栄養素　たんぱく質
5．栄養素の基礎知識（3）主菜となる栄養素　脂質
6．栄養素の基礎知識（4）副菜となる栄養素　ミネラル
7．栄養素の基礎知識（5）副菜となる栄養素　ビタミン
8．機能性栄養成分
9．栄養素の消化
10. 栄養素の吸収、排泄
11. おいしいとは何だろう　おいしいの仕組み
12. ライフステージの栄養のと健康管理
13. 正しいダイエットを考える
14. 正しいダイエット、体に良い食品とは何だろう
15. まとめ
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
プリントを中心にスライド、DVD を用いた講義形式。
授業時間外学修（予習・復習等）について
授業時間外学習については、授業開始時に前回の授業の復習小テストを行うので、必ず授業の復習をしておくこと。

定期試験の実施の有無
実施有り
定期試験方法
筆記試験
試験時間
50 分
試験持込み内容
持ち込みなし
成績評価方法
試験（60%）、小テスト、出席、授業態度（40%）による総合評価。
成績評価基準
試験：授業で学んだ知識・理解度を問う問題を出題する。
授業態度：授業への積極的な参加、復習テストの点数、課題提出、出席回数により評価する。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
普段の生活の中で学習したことが実践できるよう、自分の食生活に関心、興味を持ち、自分の生活習慣の課題を持つこと。授業開始時の復習小テストに遅刻しないこと。
オフィスアワー
質問がある場合は、授業前後に対応します。
教科書【学内販売：有】
オールガイド食品成分表　2020　実況出版　978-4-407-34850-7
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

調理実習（1 年）

濵田　明美

授業テーマ
調理の基礎を身につける
授業の概要
基本的な調理操作を実習することにより、安全で栄養と嗜好を考えた調理技術を習得し、日常の食生活を健康で豊かに創造できる能力を養う。
到達目標 1
調理の基本技術（切る・加熱する・混ぜるなど）を実践できる
その達成度を見る観点
調理の基本技術を身につけている
その達成度を見るために用いる手法
毎回の実習授業の中で確認する
到達目標 2
食品の特徴を理解し、食品に適した調理をすることができる
その達成度を見る観点
食品の特徴とその食品に適した調理方法を理解している
その達成度を見るために用いる手法
実習後に課する毎回のレポートにおいて具体的に説明する
到達目標 3
主食・主菜・副菜がそろった献立を作成し、調理することができる
その達成度を見る観点
オリジナル献立のメニュー構成、実際の調理実習、料理の仕上がり
その達成度を見るために用いる手法
オリジナル献立のメニュー構成、実際の調理実習、料理の仕上がりなどを評価
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．オリエンテーション　調理の基本操作、桜餅
2．日本料理の基礎（1）　親子丼、みそ汁、ほうれんそうのごまあえ　（炊飯、だしのとり方）
3．日本料理の基礎（2）　春の献立　（豆ご飯、若竹汁、肉じゃが、たけのこの木の芽あえ）
4．日本料理の基礎（3）　なつかしの家庭料理　（たきこみご飯、鶏のくずうち汁、さばのみそ煮、酢の物）
5．日本料理の基礎（4）　雛の宴　（ちらしずし、うしお汁、牛乳かん）
6．西洋料理の基礎（1）　スープでおしゃれに　（サーモンムニエル、コンソメジュリエンヌ、サラダ、スコーン）
7．中国料理の基礎（1）　はじめての中国料理パーティー（えびの卵白揚げ、青菜と豆腐のスープ、五目焼き飯杏仁豆腐）
8．日本茶に関する研修
9．日本料理の基礎（5）　薄味でおいしい食事　（沢煮椀、あじの風味あげ、ひじきと豆腐の炒め煮）
10. 日本料理の基礎（6）　食物繊維をしっかりとる食事（大豆ごはん、きのこ汁、筑前煮、切り干しだいこんのごま酢和え）
11. お弁当　ぶりの照り焼き（蛇腹きゅうり）、煮物、白和え、水無月
12. 西洋料理の基礎（2）　パスタでランチ（たこのマリネ、スパゲッティトマトソース、メープルクッキー）
13. 西洋料理の基礎(3)　夏には冷たいスープ(ビシソワーズ、ハンバーグ、サラダ)
14. オリジナル献立　班ごとに献立を作成（買い物から調理計画、実習まで班ごとに行う）
15. 平常試験と調理室の衛生管理
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
実習メニューや調理のポイントについての説明と実演ののち、1 班 3 ～ 4 名で実習を行う。実習後にレポートと感想を提出する。
実習に関する平常試験を行う。
授業時間外学修（予習・復習等）について
実習までに作り方の概略を頭に入れてくること。実習で疑問に感じたこと等は復習し , レポートにまとめる。
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
授業への取組状況：日々の授業への取組状況を総合的に評価する。最終回に、実習した内容についての平常試験を行う。
配点：授業への取組状況 50%、レポートの提出 30%、平常試験 20%として評価する。
成績評価基準
授業への取組状況…積極的で丁寧な実習態度
レポート…実習内容のポイントについて的確にまとめている
平常試験…実習全体で重要な項目について理解している
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
この科目を履修する学生は、「食品と調理」を履修することが望ましい。実習に際しては、材料費（7000 円）を必要とする。メニューは変更する場合もある。実習では、指定のエプロンと三角巾（約 2000 円）を購入して着用すること。身だしなみは、爪は切り、マニキュアは除く、髪の毛はまとめる、時計やアクセサリー類ははずすこと。

設備の都合で、受講者数を制限をすることがある。
オフィスアワー
木曜昼休み　6号館211
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
2020オールガイド食品成分表／実教出版調理学実習第2版（栄養科学シリーズNEXT）／大谷貴美子・饗庭照美編著　／講談社サイエンティフィク

食文化演習（2年）

濵田　明美、藤本　喜寛

授業テーマ
世界の料理
授業の概要
西洋料理、中国料理、エスニック料理、日本料理など、世界の食文化について学び、調理実習を行う。このことにより、知識を得るだけでなく、実際の食材にふれ調理方法を体験することで世界の食文化をより深く理解する。さらに日常の食生活を健康で豊かに創造できる応用能力を養う。
到達目標1
日本料理・西洋料理・中国料理・エスニック料理の特徴を説明できる
その達成度を見る観点
日本料理・西洋料理・中国料理・エスニック料理の特徴を理解している
その達成度を見るために用いる手法
実習後に課する毎回のレポートにより確認する
到達目標2
世界の料理に関する知識をもとに、料理をつくることができる
その達成度を見る観点
世界の料理の知識をもとにした調理方法を理解している。
その達成度を見るために用いる手法
毎回の実習授業の中で確認する
到達目標3
目的にふさわしいオリジナルメニューを提案し、調理・演出することができる
その達成度を見る観点
目的にふさわしい献立、実際の調理実習、料理の仕上がり、演出になっている
その達成度を見るために用いる手法
目的にふさわしい献立、実際の調理実習、料理の仕上がり、演出を相互評価
担当形態
複数
授業計画及び授業内容
1．オリエンテーション　ぶどう飴（濵田）
2．日本料理 「精進料理」（濵田）　しめじご飯　白みそ汁　ひりょうずの煮物　ごま豆腐　菊の酢の物
3．日本料理 「伝えていきたい和食のおかず」（藤本）　焼きしめじのみぞれ和え　茄子の挟み揚げ　鶏肉のくわ焼き　のっぺい汁
4．西洋料理 「人気のスペイン料理」（藤本）　ソパ・デ・アホ（にんにくスープ）　フィディウア（パスタパエリア）　ガスパチョ（飲む健康サラダ）
5．西洋料理 「おしゃれなカジュアルフレンチ」（藤本）　グラタン・ドフィノアーズ（じゃがいものクリームグラタン）　かぼちゃのポタージュ　豚ロース肉のシャリキティエール
6．日本茶に関する研修（濵田）
7. 西洋料理 「秋のプリモピアット」（藤本）　スパゲッティ・アッラ・ボスカイオーラ（森の番人風）　魚介類のリゾット
8. 中国料理 「知っておきたい伝統の中国料理」（藤本）　辣黄瓜（きゅうりのラー油漬け）　回鍋肉片（ホイコウロウ）　紅焼茄子（なすと挽肉の炒め煮）
9. 日本料理 「おすし」（濵田）　巻きずし、いなりずし、白身魚のかぶら蒸し、すまし汁
10. オリジナルメニュー　テーマ：マイクリスマス（大切な人へ…）（藤本・濵田）　テーマを設定して班ごとにメニュー作成～調理・演出
11. 西洋料理 「おしゃれなパーティーメニュー」（藤本）　さつまいものクリームスープ　若鶏の生ハムチーズ焼き・温野菜添え　ドーナツサヴァラン
12. 日本料理 「京風雑煮とおせち料理」（濵田）　京風雑煮　黒豆　田作り　数の子　松枝卵　笹葉えんどう　梅花にんじん　鶏の松風焼き　えびの養老煮　栗きんとん
13. エスニック料理 「アジアンフードを知ろう…」（藤本）　トム・ヤム・クン（タイ風スープ）チヂミ（韓国風お好み焼き）　キーマカレー（インド風ひき肉カレー）
14. 中国料理 「野菜がたっぷり人気の中国料理」（藤本）　腰果肉丁（カシューナッツと豚肉の炒め物）　乳汁白菜（貝柱と白菜のクリーム煮）　酸辣湯（サンラータン）
15. 平常試験　調理室の衛生管理（濵田）
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
実習メニューや調理のポイントについての説明と実演ののち、1班3～4名で実習を行う。実習後にレポートと感想を提出する。　実習に関する平常試験を行う。
授業時間外学修（予習・復習等）について
実習までに作り方の概略を頭に入れてくること。実習で疑問に感じたこと等は復習し，レポートにまとめる。
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
授業への取組状況：日々の授業への取組状況を総合的に評価する。最終回に、実習した内容についての平常試験を行う。配点:授業への取組状況40%、オリジナルメニューの評価10%、レポートの提出30%、平常試験20%として評価する。
成績評価基準
授業への取組状況…積極的で丁寧な実習態度オリジナルメニュー…献立・料理の仕上がり・演出レポート…実習内容のポイントについて的確にまとめている平常試験…実習全体で重要な項目について理解している
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
この科目を履修する学生は、「食品と調理」を履修することが望ましい。実習に際しては、材料費を必要とする。メニューは変更する場合がある。実習では、指定のエプロンと三角巾を購入して着用すること。異物混入をふせぐため、爪は切り、マニキュアは除く、髪の毛はまとめる、アクセサリー類・時計などははずすこと。設備の都合で、受講者数を制限することがある。
オフィスアワー
木曜昼休み
教科書【学内販売：有】
なし

教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
2020 オールガイド食品成分表 / 実教出版調理学実習第 2 版（栄養科学シリーズ NEXT）/ 大谷貴美子・饗庭照美編著　/ 講談社サイエンティフィク

製菓実習Ⅰ（1 年）

濵田　明美

授業テーマ
製菓・製パンの基礎技術を身につける
授業の概要
和菓子作り、洋菓子作り、パン作りの基礎技術を実習を通して習得し、日常の食生活を豊かに創造できる能力を養う。
到達目標 1
製菓・製パンの基本となる材料の特徴を説明することができる
その達成度を見る観点
製菓・製パンの基本となる材料の特徴を理解している
その達成度を見るために用いる手法
実習後に課する毎回のレポートにおいて具体的に説明する
到達目標 2
製菓・製パンの基本技術を実践できる
その達成度を見る観点
製菓・製パンの基本技術を身につけている
その達成度を見るために用いる手法
毎回の実習授業の中で確認する
到達目標 3
菓子やパンの食文化や歴史を説明できる
その達成度を見る観点
菓子やパンの食文化や歴史を理解している
その達成度を見るために用いる手法
平常試験において菓子やパンの食文化や歴史について説明する
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．オリエンテーション　和菓子の基礎知識　いが栗（きんとん）
2．和菓子　栗饅頭　えびせんべい
3．洋菓子　洋菓子の基礎知識　絞りクッキー　アイスボックスクッキー
4．和菓子　特別講師による和菓子講習
5．洋菓子　ロールケーキ　フランボワーズムース
6．製パン　製パンの基礎知識　ピザ　洋なしのコンポート
7．洋菓子　パウンドケーキ　スイートポテト
8．製パン　ロールパン　ハムロール
9．洋菓子　シフォンケーキ　チュイール
10. 洋菓子　マドレーヌ　レアチーズケーキ
11. 洋菓子　ガトーショコラ　グレープフルーツゼリー
12. 細工菓子　特別講師によるフラワーゼリー講習
13. 洋菓子　クリスマスケーキ　ムーンホワイト
14. 洋菓子　アップルパイ
15. 平常試験と総まとめ　調理器具の衛生管理
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
実習メニューや調理のポイントについての説明と実演のち、1 班 3 ～ 4 名で実習を行う。実習後にレポートと感想を提出する。　実習に関する平常試験を行う。
授業時間外学修（予習・復習等）について
実習までに作り方の概略を頭に入れてくること。実習で疑問に感じたこと等は復習し , レポートにまとめる。
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
授業への取組状況：日々の授業への取組状況を総合的に評価する。最終回に、実習した内容についての平常試験を行う。
配点：授業への取組状況 50%、レポートの提出 30%、平常試験 20%として評価する。
成績評価基準
授業への取組状況…積極的で丁寧な実習態度
レポート…実習内容のポイントについて的確にまとめている
平常試験…実習全体で重要な項目について理解している
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
この科目を履修する学生は、「食品と調理」を履修することが望ましい。実習に際しては、材料費（5000 円）を必要とする。メニューは変更する場合がある。実習では、指定のエプロンと三角巾（約 2000 円）を購入して着用すること。異物混入をふせぐため、爪は切り、マニキュアは除く、髪の毛はまとめる、アクセサリー類・時計などははずすこと。設備の都合で、受講者数を制限することがある。
オフィスアワー
木曜昼休み　6 号館 211
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
2020 オールガイド食品成分表 / 実教出版調理学実習第 2 版（栄養科学シリーズ NEXT）/ 大谷貴美子・饗庭照美編著　/ 講談社サイエンティフィク

製菓実習Ⅱ（2 年）

濵田　明美

授業テーマ
製菓・製パンの応用技術を身につける。
授業の概要
和菓子作り、洋菓子作り、パン作りのさまざまな応用技術を実習を通して習得し、日常の食生活を豊かに創造できる能力を養う。
到達目標 1
製菓・製パンに広く用いられる材料の特徴を説明することができる
その達成度を見る観点
製菓・製パンに広く用いられる材料の特徴を理解している
その達成度を見るために用いる手法
実習後に課する毎回のレポートにおいて具体的に説明する
到達目標 2
製菓・製パンの応用技術を実践できる
その達成度を見る観点
製菓・製パンの応用技術を身につけている

その達成度を見るために用いる手法
毎回の実習授業の中で確認する
到達目標 3
テーマに沿ったオリジナル和菓子を創ることができる
その達成度を見る観点
オリジナル和菓子のデザイン、実際の製菓実習、和菓子の仕上がり
その達成度を見るために用いる手法
オリジナル和菓子のデザイン、実際の製菓実習、和菓子の仕上がり , 菓銘などを評価
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．オリエンテーション　和菓子　苺っ娘
2．和菓子　花見団子　うぐいす餅
3．和菓子　蝶々　小桜　青楓　（こなし）
4．洋菓子　マフィン　いちごジャム
5．洋菓子　キャロットケーキ　カスタードプリン
6．洋菓子　シュークリーム　コーヒーゼリー
7．製パン　チョコマロンパン　はちみつレモンボール
8．和菓子　若鮎　浮島
9．中華菓子　鶏蛋糕（チイタンカオ）　杏仁酥（シンレンスー）
10. 製パン　ベーグル（サンド）　サイダーゼリー
11. 和菓子　創作和菓子 1（特別講師）
12. 洋菓子　キッシュロレーヌ　アイスティー
13. 和菓子　創作和菓子 2（特別講師）
14. 洋菓子　フルーツタルトレット
15. 平常試験と総まとめ　調理器具の衛生管理
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
実習メニューや調理のポイントについての説明と実演ののち、1 班 3 ～ 4 名で実習を行う。実習後にレポートと感想を提出する。　実習に関する平常試験を行う。
授業時間外学修（予習・復習等）について
実習までに作り方の概略を頭に入れてくること。実習で疑問に感じたこと等は復習し , レポートにまとめる。
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
授業への取組状況：日々の授業への取組状況を総合的に評価する。最終回に、実習した内容についての平常試験を行う。
配点：授業への取組状況 50%、レポートの提出 30%、平常試験 20%として評価する。
成績評価基準
授業への取組状況…積極的で丁寧な実習態度
レポート…実習内容のポイントについて的確にまとめている
平常試験…実習全体で重要な項目について理解している
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
この科目を履修する学生は、「食品と調理」を履修することが望ましい。実習に際しては、材料費（5000 円）を必要とする。メニューは変更する場合もある。実習では、指定のエプロンと三角巾（約 2000 円）を購入して着用すること。身だしなみは、爪は切り、マニキュアは除く、髪の毛はまとめる、時計やアクセサリー類ははずすこと。設備の都合で、受講者数を制限をすることがある。
オフィスアワー
木曜昼休み　6 号館 211
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
2020 オールガイド食品成分表 / 実教出版調理学実習第 2 版（栄養科学シリーズ NEXT）/ 大谷貴美子・饗庭照美編著 / 講談社サイエンティフィク

食生活概論（1 年）

千田　眞喜子

授業テーマ
食を通じて生活そのものを提案し、適切な指導や助言ができる食生活アドバイザー合格に必要な知識を得る。
授業の概要
ライフスタイルの多様化や社会環境の変化によって、私たちの「食」を取り巻く環境は大きく変化している。また、ストレス社会がもたらす「体と心」の健康に対する影響も多く指摘されている。そのため、栄養や健康情報から食材情報などたくさんの情報があふれているが、食に関する幅広い見識と正確な知識を得ることを目標とする。
到達目標 1
日々の食生活の大切さを知る
その達成度を見る観点
日々の食生活が健康に深く関与していることを理解している。
その達成度を見るために用いる手法
レポート、定期試験において、食生活の大切さについて記述する。
到達目標 2
食生活全般の幅広い知識を習得する
その達成度を見る観点
食生活全般に関係する栄養、食品、食品衛生、消費者経済等の幅広い知識を理解している。
その達成度を見るために用いる手法
レポート、定期試験において、食生活全般の幅広い知識について記述する。
到達目標 3
食生活アドバイザー 3 級試験合格に必要な知識を得る
その達成度を見る観点
食生活アドバイザー 3 級合格に必要な栄養と健康、食文化と食習慣、食品学、衛生管理、食マーケット、社会生活に関する基礎知識を得る。
その達成度を見るために用いる手法
過去問題集に取り組み、到達度を見る。
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．現代の食環境、栄養の基礎知識（P.1-35）
2．ビタミンとミネラルの役割、健康に関する基礎知識（P.36-54）
3．行事と料理、おいしさの条件など（P.55-71）
4．世界の料理と日本の料理、調理器具など（P.72-83）
5．食事のマナー、料理の盛り付け方など（P.84-96）
6．食品学に関する基礎知識（P.97-116）
7．衛生管理に関する基礎知識（P.117-142）
8．食マーケットに関する基礎知識（P.143-162）
9．社会生活に関する基礎知識（P.163-190）
10. 食生活アドバイザー3 級試験にむけて要点チェック
11. 食生活アドバイザー3 級試験演習問題
12. 食生活アドバイザー3 級試験模擬テスト
13. 食生活アドバイザー3 級試験模擬テストの解説
14. 健康的な食生活

15. まとめと確認、課題レポート提出、プレゼンテーション課題レポート…「ダイエットについて」「お祝い料理」のうち興味がある課題を一つ選ぶ。手書きで A4 サイズのレポート用紙で 2 枚以上。参考文献が web だけのものは不可。第 15 回目に表紙を付けて授業開始時に提出。

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック

・食生活アドバイザー3 級試験合格に向けて、毎回対策問題に取り組む。
・教科書、配布プリントにより、講義を行う。必要に応じて、写真・ビデオを見せたりしながら授業を行う。
・課題レポートは、第 15 回で提出し、プレゼンテーション・ディスカッションを行う。

授業時間外学修（予習・復習等）について

1）シラバスを参照して、教科書を読み、予習しておくこと。
2）前回までの講義内容について、教科書やプリントを元に必ず復習しておくこと。復習時間は、90 分程度が望ましい。
3）課題レポート作成のために、「ダイエットについて」「お祝い料理」のうち興味がある課題を一つ選び、図書館で調べる。課題レポートの授業時間外の学習時間は、トータルで 6 時間以上が望ましい。

定期試験の実施の有無

実施有り

定期試験方法

筆記試験

試験時間

60 分

試験持込み内容

持ち込みなし

成績評価方法

・定期試験 40%
・授業への取り組み 30%
・レポート 30%

成績評価基準

・授業への取り組み：授業に対する積極性・態度を評価。
・レポート：毎回のビデオレポートと、課題レポートをあわせて評価。
・定期試験：「食生活」について学んだ知識について選択問題と記述式の筆記試験の予定。

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）

課題レポートは必ず期日までに提出すること。

オフィスアワー

質問等がある場合は、基本的には授業内に質問等行うようにしてください（授業開始前、授業終了後も可）。それ以外の質問等の対応方法については、授業中に別途指示します。

教科書【学内販売：有】

食生活アドバイザー(R)3 級公式テキスト / 一般社団法人 FLA ネットワーク(R)協会 編 / 日本能率協会 /2018 年

教科書【学内販売：無】

なし

参考書【学内販売：有】

なし

参考書【学内販売：無】

大学で学ぶ食生活と健康のきほん / 吉澤　みな子・武智多与理・百木　和著 / 化学同人 /2017 年

フードビジネス論（2 年）

藤本　喜寛

授業テーマ

料理概論を広く理解し、調理の基本知識、食材の知識を理解する。

授業の概要

本講義をもって、幅広い「食の理論」「現代食事情」を理解し、食への関心、料理への理解、食材料への関心を高め、家庭料理･商業料理の大切さを学ぶ。料理を作る喜び、楽しさを感じていただきたい。ものづくりの大切さを理解し、その中でも最も生活に密着した”料理”というものの大切さを学んでいただきたい。料理は実意・親切・丁寧をもっと一にして作ると、必ずや人を笑顔にし、感動を与える。女性特有の優しさをもって「料理を作る楽しさ」を学んでいただきたい。大人の女性として必要な食知識を学び、食育の大切さを感じていただきたい。家庭料理の本質を理解し、心豊かな食生活が送れ、心身ともに健康である身体を形成するための知識を吸収していただきたい。本科目では、とにかく楽しい、為になる講義（授業）を実施し、感性豊かな女性の育成を目的とする。

到達目標 1

料理を作る楽しさ、喜びを感じることができる

その達成度を見る観点

料理の基本的知識を身に付け、概要を理解している。

その達成度を見るために用いる手法

小レポート、小テスト、定期試験において料理概論の全体像を記述。

到達目標 2

現代食事情を理解する

その達成度を見る観点

現代食事情を流行も含めて理解し、具体的に説明出来るかどうか。

その達成度を見るために用いる手法

講師の経験談を含め、時代の食について具体例を上げて説明する。

到達目標 3

女性がフードビジネス分野へ進出するための全般的な知識を身につける

その達成度を見る観点

女性が現在進出している分野を的確に把握し、今後可能性を含む分野の具体例について説明出来るか。

その達成度を見るために用いる手法

小レポート、小テスト、定期試験において具体的な事例を説明する。

担当形態

単独

授業計画及び授業内容

（1）ガイダンス / この科目で扱う授業概要、進め方について説明　料理を学ぶにあたって「料理概論」「現代食事情」＜アンケート＞
（2）日本料理概論「和食の大切な料理」「日本の郷土料理」「京料理」
（3）西洋料理概論「世界の名物料理」「日本における洋食」「京都における西洋料理」＜小テスト＞
(4) 中国料理概論「中国四大系統と中国、台湾、香港の料理」「医食同源」＜小テスト＞
（5）洋和菓子概論「欧米の伝統的なお菓子」「日本における洋菓子の流行」「京都の和菓子」＜小テスト＞（6）ファストフードとスローフード
（7）食材料学 1「野菜編 1」
（8）食材料学 2「野菜編 2 とフルーツ」

（9）食材料学3「魚介類編」
（10）食材料学4「肉類編」
（11）食材料学5「調味料・その他」＜小テスト＞
（12）フードコーディネーターとは？料理関係の資格について
（13）家庭料理と商業料理の相違
（14）飲食業のマーケティングリサーチ及び外食流通について
（15）世界三大○○、日本三大△△　全体のまとめ及び振り返り

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
主として配布プリント（資料）と投影機（スライド）を中心とした講義形式で行う。アンケート他小作文を実施し、書く事の大切さを指導させていただく。前期期間中に4～5回の小テストを実施し、理解度の確認を行う。小テストについては授業内または次回の授業時に振り返りと共にフィードバックする。学生さんとのディスカッション形式も交ぜながら行う。

授業時間外学修（予習・復習等）について
前回までの講義内容について、必ず復習を行うこと。インターネットや新聞、テレビユース、雑誌で取り上げられている「料理・飲食・飲食店・流行」に関連するものに興味、好奇心を持ち、特に気になった話題は授業内で講師に問うようにすすめる。授業で学んだ内容についてはパソコン、タブレット、スマホを活用し、より深く理解できるよう情報を掴んでもらうよう指導させていただく。疑問点があれば、次回授業冒頭時に質問すること。授業終了後15分間はコモンズにて質問などに対応させていただく。とにかく食に興味をもって、毎週2時間程度はこの科目の復習に時間をかけていただきたい。食材料学の復習についてはスーパー、デパ地下、市場などに出向き、現物の食材を見学いただきたい。

定期試験の実施の有無
実施有り

定期試験方法
筆記試験

試験時間
60分

試験持込み内容
可（自筆ノート、授業時配布プリント・資料）

成績評価方法
・定期試験60%・小テスト・小レポート等の評価30%・授業への参加度10%

成績評価基準
定期試験…授業で学んだ知識・理解度を問う問題を記述式で出題する。小テスト…授業で学んだ知識・理解度の復習テストとして実施する。小レポート…的確に適正に書けているか等をチェックし、社会人として通用するかなどを評価させていただく。授業への参加度…授業中の積極的な発言や意見などにより評価させていただく。※出席率による評価はおこなわない。

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
「食」に、料理に興味のある方の受講を強く望む。他人に迷惑をかけない姿勢をもって受講いただきたい。インターネット、テレビ、雑誌、新聞等を通じて「食」に興味をもっていただきたい。授業には休まず、前向きに積極的な姿勢で臨んでいただきたい。とにかく楽しく、為になる授業をお約束する。「先週授業受けてましたが、カードリーダーするの忘れてました…」と言ってくる学生さん。本年度は受け付けませんので悪しからず…

オフィスアワー
＜非常勤パターン＞質問等がある場合は、基本的に授業内で質問してください。授業終了後はライフデザイン学科コモンズにて15分程度、質問、意見等を受け付けます。それ以外の質問等の対応方法については授業中に別途指示させていただきます。

教科書【学内販売：有】
なし

教科書【学内販売：無】
なし

参考書【学内販売：有】
なし

参考書【学内販売：無】
なし

食空間コーディネートⅠ（2年）

横井　智恵子

光華Navi参照

食空間コーディネートⅡ（2年）

横井　智恵子

光華Navi参照

インテリアデザイン論（1年）

郭　雅雯

授業テーマ
インテリアデザインの基礎知識を習得する。

授業の概要
インテリアは日常の生活空間そのものであり、インテリアデザインに興味を持つと生活が豊かになり、人生を楽しく過ごすことが出来る。本講座は、インテリアの考え方（コンセプト）、内装材料（インテリアエレメント）等の知識を学び、インテリアの素養を身につけることをテーマとする。授業では、まずインテリアの歴史や過去の作品等から普遍的な要素やインテリアの考え方を理解し、具体的な内装材料や什器、設備等の基礎知識を習得する。すばらしいインテリアデザインを体感するため、積極的に学外見学に出かける。

到達目標1
インテリアデザインの考え方と基礎知識を習得する

その達成度を見る観点
インテリアの基礎知識を身につけ、概要を理解している。

その達成度を見るために用いる手法
授業中のレポートにおいて、授業で学んだポイントを100字程度で記述する。

到達目標2
インテリアデザインに興味を持ち、更に自力で探求できる契機をつかむ

その達成度を見る観点
自分が興味を持ったインテリアに関する事象やものを他の人に説明出来る。

その達成度を見るために用いる手法
授業中のレポートにおいて、自分が興味を持ったインテリアに関する事象やものを他の人に100字程度で紹介する。

到達目標3
インテリア関係の実務資格（インテリア設計士等）を取得できる実力を身につける

その達成度を見る観点
インテリア設計士試験に出題される内容をある程度理解

出来る。
その達成度を見るために用いる手法
授業中、インテリア設計士試験より抜粋した簡便な問題を解いてみる。
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．インテリアデザインとは何か
2．インテリア空間の構成
3．住宅とインテリア
4．西洋のインテリアと家具の歴史
5．日本の住宅と家具の歴史
6．インテリアデザイン基礎１かたちと空間
7．インテリアデザイン基礎２色彩
8．インテリア材料１木・石・金属・プラスチック
9．インテリア材料２塗料・防水材料・タイル・自然材料
10. インテリア住宅生産技術
11. インテリアの構法
12. 室内造作と各部の名称
13. 家具の構造
14. 学外見学１エコロジカルな生活をしている家
15. 学外見学２家具を製造販売している店
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
常時は、教科書を中心した講義形式でおこなう。文章表現が得意になれるよう､テーマを絞った短いリポート（100字程度）を授業中に書き上げる。また、理解を深めるために、適宜学外見学に出かける。
授業時間外学修（予習・復習等）について
特に時間外学習を課すことはない。授業中にインテリアに関係する展覧会や見学場所を適宜紹介する。課外活動として自ら足を運び見学し、考えることを実践してほしい。
定期試験の実施の有無
実施無し
定期試験方法
レポート
成績評価方法
期末レポート（50%）、授業中の小リポート（30%）、平常点（20%）を加味した総合的評価とする。
成績評価基準
期末レポートは授業で学んだことを生かし、自分の考えを述べられているか評価する。授業中の小リポートは授業の内容を理解出来ているか評価する。平常点は授業に集中し、授業に参加しているか評価する。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
「インテリア設計士」資格取得は、インテリアに関心ある人が、自身のスキルを高め、センスを磨くための近道である。インテリア関連の仕事は、やり甲斐があるクリエイティブな仕事である。インテリアに興味ある人は、「インテリアがわかる人」を目指し、是非インテリアデザインを体系的に学べる本講座にチャレンジしてください。
オフィスアワー
未定
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
インテリア設計士テキスト学科編　発行：日本インテリア設計士協会
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

住居・インテリア設計製図実習（1年）

大髙　和香

授業テーマ
私室のインテリアデザイン計画
授業の概要
インテリア設計の、基礎的な知識と技術を習得する事を目標とする。製図の方法、家具及びインテリアエレメント（照明、カーテン、カーペットなど）について学び、設計に反映出来るようにする。それにより､空間を創造し、自らの考え（デザイン）を表現できる。在学中に受験可能な「インテリア設計士２級」資格試験受験の為の、設計技術を習得する。
到達目標１
設計製図に必要な線の種類、引き方、縮尺がわかり、設計製図や室内透視図（パース）が描ける
その達成度を見る観点
設計製図の基本的な、知識・技術の取得。
その達成度を見るために用いる手法
実習の作品にて評価。
到達目標２
必要な家具配置と設計提案、造り付け家具計画、照明、空間計画、ウィンドートリートメント計画、内装仕上げ計画など、トータルなインテリアデザイン計画ができる
その達成度を見る観点
家具、照明器具などの、インテリアエレメントについて、理解し、製図に反映できる。
その達成度を見るために用いる手法
実習の作品にて評価。
到達目標３
「インテリア設計士２級」資格検定試験受験のための設計技術力がを身につける
その達成度を見る観点
「インテリア設計士２級」受験の為の、基礎的な知識・技術を身につける。
その達成度を見るために用いる手法
実習の作品にて評価。
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．シラバスと、授業概要の説明。
2．製図の基礎知識の説明と実習。
3．住宅の平面計画、家具計画の基礎の説明と実習。
4．製図の基礎：平面図、天井伏せ図、展開図の書き方説明と実習。
5．製図の基礎：造り付け家具の書き方の説明と実習。
6．製図の基礎：室内パースの書き方の説明と実習。
7．設計課題の概要の説明、コンセプト作成
8．平面図作成(1)
9．平面図作成(2)
10. 平面図完成
11. 展開図作成(1)
12. 展開図完成
13. 室内パース作成
14. プレゼンボード作成
15. 講評会、課題提出
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
前半は、製図道具の説明・使い方・線の練習など、作図の技術の習得に終始し、全員が一様のレベルになるまで指導する。後半は、「インテリア設計士２級」の課題をアレンジした課題に取り組み、課題作成を通して、”自らデザインする楽しさ”と体得する。

授業時間外学修（予習・復習等）について
基本的に、予習は不要。授業時間中に仕上げることの出来る課題の量・難易度を想定しているが、後半になると難易度があがり、授業外での課題制作を必要とされる場合が生じることもある。
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
作品（80%）、受講態度（20%）
成績評価基準
1　実習作品の内容
2　受講態度（欠席・遅刻・取り組む姿勢）ガイダンスにて基準を伝える
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
はじめは、慣れない用具や、製図の決まり事に戸惑うかもしれませんが、根気強く取り組めば、見違えるほど上達します。評価は、授業で描いた作品で判断するので、できるだけ欠席をせず、課題に取り組んでください。後半の「私室のインテリア計画」では、皆さんのデザインセンス生かせる部分もあり意欲的に取り組めます。日頃から、素敵なインテリア空間や、家具、インテリア雑貨などに注目し、デザインの感性をを磨いて下さい。製図道具、用紙は教室内貸与しますが、製図に使うシャープペンシルは､各自用意のこと｡手持ちの物で良いかどうか､一回目の授業で確認するので､新規購入しなくて良い｡｢インテリア設計士２級｣｢インテリアコーディネーター｣資格試験受験希望者は必ず受講のこと。
教科書【学内販売：無】
インテリア設計士２級テキスト＜実技編＞を、教室にて販売。(1200 円)
参考書【学内販売：無】
なし

リビングデザイン演習　a・b（2 年）

郭　雅雯

授業テーマ
インテリア提案において必要な手法、表現技術を課題制作を通して学ぶ。
授業の概要
ドールハウスの製作を通じて、コンセプト作成、作図、模型作成の技術を習得する。
到達目標 1
インテリアを彩る楽しみ・喜びを説明することができる
その達成度を見る観点
自ら楽しむ姿勢
その達成度を見るために用いる手法
提出課題と講評会での発表
到達目標 2
インテリアにおける独自性のあるコンセプト作成ができる
その達成度を見る観点
独自性
その達成度を見るために用いる手法
提出課題と講評会での発表
到達目標 3
インテリア模型により自らの案を説明できる
その達成度を見る観点
作品の完成度
その達成度を見るために用いる手法
提出課題と講評会での発表
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．ガイダンス：
2．ドールハウス制作課題の説明　アイデア検討
3．アイデアスケッチ作成
4．アイデアスケッチ発表
5．部屋の枠組みの組み立て（1）
6．部屋の枠組みの組み立て（2）
7．家具の制作（1）
8．家具の制作（2）
9．装飾小物の制作（1）
10. 装飾小物の制作（2）
11. 壁材、床材の制作（1）
12. 壁材、床材の制作（2）
13. 全品取り付けと仕上げ　写真撮影（1）
14. 全品取り付けと仕上げ　写真撮影（2）
15. 作品発表と講評
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
演習時間は、個別指導と課題作成を行う。制作課題はいずれも各自の創意を表現するものであり、アイデアの開発と材料集め、表現上の工夫を要する。各自の積極的な準備を期待する。
授業時間外学修（予習・復習等）について
課題の完成度を高めるために、必要に応じて演習時間外においても作品のブラッシュアップすることが望ましい。
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
1．独創性
2．完成度の２点から採点する（80%）。
平常の授業態度（20%）を加味する。
成績評価基準
到達目標１～３に示した目標に到達しているかどうか
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
課題作成においては､模型材料や画材等の教材費(1000 円)を徴収します。
オフィスアワー
未定
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

インテリアパース演習（1 年）

郭　雅雯

授業テーマ
インテリアパースを描く
授業の概要
インテリアの提案に必要なインテリアパースを描けるようになることを目的としている。パースの仕組みを理解した上で、実務に役立つ簡単なスケッチパースの練習を行う。次にインテリア設計士の実技に求められる一点透視図法による精緻なパースの作成を行う。作成にあたっては、自ら提案するインテリア（家具・窓装飾・小物等）を考えた上で、これをパースとして書き上げる。色鉛筆、水彩絵の具等による彩色を行い完成させる。

到達目標 1
グリット法により平面図からインテリアパースを立ち上げることができる
その達成度を見る観点
グリット法の理解
その達成度を見るために用いる手法
提出作品とその作成プロセス
到達目標 2
家具を立体的に描くことができる
その達成度を見る観点
グリット法の理解と描画力
その達成度を見るために用いる手法
提出作品とその作成プロセス
到達目標 3
色鉛筆を用いてインテリアパースを彩色できる
その達成度を見る観点
着彩技術の習得
その達成度を見るために用いる手法
提出作品とその作成プロセス
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．ガイダンス　パースの仕組み　いろいろな表現
2．手描きパース　直方体　点景
3．手書きパース　椅子
4．簡単スケッチパース（1）
5．簡単スケッチパース（2）
6．手書きパース　パースガイドをつくる［宿題］ 家具の資料を集める
7．平面図を描く（1）［宿題］ インテリア小物の資料を集める
8．平面図を描く（2）
9．展開図を描く
10. インテリアパースの作成（1）
11. インテリアパースの作成（2）
12. インテリアパースの作成（3）
13. インテリアパースの作成（4）
14. 彩色（1）
15. 彩色（2）
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
プリント、映像を用いて、描き方を説明し、これに習いながら、描き方を習得する。
授業時間外学修（予習・復習等）について
演習については各回到達点を示す。授業内に完成させることが望ましいが、困難な場合は次回授業までに宿題として進めておくこと。また課題の完成度を高めるために、必要に応じて演習時間外においても作品のブラッシュアップすることが望ましい。
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
各課題の評価（80%）、受講態度（20%）により評価する
成績評価基準
各課題の評価（80%）…パースの仕組みの理解（40%）作図彩色の技巧熟達程度（40%）を評価する。
平常の授業態度（20%）…授業中の質問などの受講態度、作品をつくるプロセスを評価する。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
インテリア設計士、インテリアコーディネーター受験志望者は必ず受講すること。製図用シャープペンシル（0.3mm H、0.5mm HB）、プラスティック消しゴムが必要です。
オフィスアワー
未定
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

インテリア計画（2 年）

郭　雅雯

授業テーマ
インテリアの感性を磨き、提案する力をつける
授業の概要
インテリアに関する基本知識を学び、オリジナリティのある提案を行い、プレゼンテーションできるようになる。
到達目標 1
インテリアの基礎知識を習得する
その達成度を見る観点
知識習得度
その達成度を見るために用いる手法
ミニテスト
到達目標 2
平面計画と家具、照明、環境、人間工学、寸法、材料などの知識を身につける
その達成度を見る観点
課題充実度
その達成度を見るために用いる手法
提出課題
到達目標 3
自身の考えたインテリアについての提案ができる
その達成度を見る観点
提案能力
その達成度を見るために用いる手法
提出課題
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．ガイダンス　インテリアとは、インテリア計画 1 計画基礎
2．インテリア計画 2 平面計画
3．インテリア計画 3 家具計画
4．インテリア計画 4 照明計画
5．インテリア計画 5 室内環境計画
6．インテリア計画 6 人間工学
7．学外見学：インテリアショールーム見学
8．学外見学：インテリアショールーム見学
9．室内装飾 1 カーペット、壁、天井、窓装飾、建具
10. 室内装飾 2 インテリアアクセサリー、エクステリア
11. 世界の名作住宅、名作椅子紹介
12. スタイル、素材、カラーコーディネーション
13. 各種寸法、図面表現、素材、様式等
14. インテリア提案の発表 1
15. インテリア提案の発表 2
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
各回　講義 20 分　演習 40 分　および　個人発表　30 分により構成する。個人発表は、世界の名作住宅、名作椅子について調べてきたことを発表する。理解を深めるために、学外見学に出かけ、レポート課題を課す。

授業時間外学修（予習・復習等）について
名作住宅、名作椅子についての発表回前には、その発表を作成する。インテリア提案を作成するのに必要な資料収集（ショールーム見学等）を行うこと。授業時間内に演習時間を設けるが、不足の場合は授業外学修にて行うこと。
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
演習課題（60%）レポート（10%）　ミニテスト（10%）
受講態度（20%）を加味した総合的評価とする
成績評価基準
演習課題（60%）レポート（10%）ミニテスト（10%）…積極的にとりくんできたかを評価する。
受講態度（20%）…各課題への取り組み、授業中の発言などを評価する
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
住宅を題材にインテリアの感性を磨きます。観察力を高めるための方法としてスケッチを用います。インテリア設計士試験に向けた講義を行うが、合格のためには自己学習が不可欠である。
オフィスアワー
未定
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

インテリア設計特講（1 年）

今井　俊夫

授業テーマ
「2 級インテリア設計士」を目指そう
授業の概要
本講座は「2 級インテリア設計士」資格取得を主目的に開講する。インテリア設計士は、在学中に受験できるインテリア関連の資格の中では比較的取りやすく、合格を目標にインテリア・建築関係のスキルを身に付ける近道である。
インテリアに関する設計技術を習得し、インテリアの道に進み、快適で安全、豊かで魅力的な生活空間の創造に貢献できるのは素晴らしいことと思う。実務資格を一つでも持っていると就活の際に自信となり、人との繋がりが自ずと出来て上を目指すことが出来る。過去、先輩の合格率は 8 割を超える。受験する以上はます何よりも合格を目指す。本講座は資格取得に特化し、短期間でインテリアの実力（知識と製図）をつけることを目的とする。
到達目標 1
インテリア製図の基礎を習得し、個人の居室の平面図、断面図、展開図、パース等を描けるようになる。
その達成度を見る観点
実技（製図）課題は事前発表されることから、授業中に課題下書き図面を作成する。制作途中、毎時間チェックしその都度アドバイスを加える。
その達成度を見るために用いる手法
完成図面が合格レベルに達しているかどうかの評価（下書き図面は最低限度、完成させる必要がある）
到達目標 2
インテリアに関する設計論、造形基礎、歴史、計画、材料、構法・生産、エレメント、設備などの知識を得る。
その達成度を見る観点
ゼミ形式により、インテリア設計士テキスト及び問題集を用いて講義と演習を行う。その際の質疑等のやり取りで達成度を確認する。
その達成度を見るために用いる手法
インテリア設計士過去問題等の模試（自己採点）による達成度を確認する。
到達目標 3
インテリア設計士 2 級試験合格レベルの知識を効率よく習得する。
その達成度を見る観点
自習することで得られた学習成果、製図の完成度等を個別にチェックする。
その達成度を見るために用いる手法
製図と学科の双方が合格ラインに立つ必要があることから、個別チェックを行い、不得意なところを補習する。
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．学科　インテリアデザイン論、インテリアデザイン史
2．学科　インテリアデザイン基礎、インテリア計画
3．学科　インテリア建築材料、建築構造・生産
4．学科　室内装飾・装備、インテリア関連法規・法令製図
5．製図　平面計画図（1）
6．製図　平面計画図（2）
7．製図　展開図・断面図（1）
8．製図　展開図・断面図（2）
9．製図　展開図・断面図（3）
10. 製図　室内パース（1）
11. 製図　室内パース（2）
12. 製図　家具スケッチ
13. 製図　インテリアデザイン計画のコンセプト、家具・装備一覧表
14. 学科　模擬試験 1
15. 学科　模擬試験 2
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
本年度の試験日が 7 月 11 日、12 日に決まっていることから、それまでに空き時間等を調整し集中して授業を行う。授業時間以外もできる限りきめ細かい指導を心掛ける。
授業時間外学修（予習・復習等）について
試験日までに自分が満足できる合格レベルに達する必要があるが、そのためには本授業時間だけでなく、他授業の空き時間等を利用して、自習することが望まれる。
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
実技製図成果物及び学科模試
成績評価基準
実技製図成果物は完成度で評価学科模試は不正解部分の復習を行ったかどうかで評価（正解率は評価対象外とする）
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
インテリアの道に進みたいが現時点でインテリア設計士受験を迷っている人も是非受講登録してほしい。インテリア・建築を仕事として続けて行こうとすると、まずは歴史，造形理論、実務知識を学び、一通りの基本的な設計スキルを身に付ける必要がある。本資格への取り組みはそれらをバランスよく短期間で習得できる。たとえ試

験を受けなくとも本カリキュラムを履修することで、インテリアの道に進む契機になると期待される。
オフィスアワー
基本は授業該当曜日・時間のみの在校になるが、適宜補講等の時間を設け登校する。
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
インテリア設計士テキスト学科編（日本インテリア設計士協会発行）インテリア設計士試験問題集（日本インテリア設計士協会発行）
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

住生活概論（1 年）

郭　雅雯

授業テーマ
日本と世界の住まいとまちの成り立ちについて学び、これからの住まいとまちのあり方を考える
授業の概要
住まいとまちは、私たちの毎日のくらしに密着した空間である。住生活概論では、建物としての住まいだけでなく、そのなかで繰り広げられる日々のくらしについても関心を高め、生活する居住者の立場に立って住まいとまちを見直し、考えていくことを大切にしたい。住まいとまちは、地域の自然や歴史、生活様式、慣習などを色濃く反映したものである。生活する時代や社会、また個人の価値観や生活スタイルの影響も受ける。現代のあふれる情報のなかで、また多様な生活様式があるなかで、様々な要求に柔軟に対応し得る住まいとまちが求められている。こうした観点から、この授業では、「くらしを入れる器」、「地域社会を構成する単位」としての住まいの本質について学んでいく。生活者の視点から、現代における快適で豊かな住まいとは何かを考えてもらいたい。
到達目標 1
生活者の立場に立った住まいとまちのありかたについて説明できる
その達成度を見る観点
自らの言葉で説明できる
その達成度を見るために用いる手法
定期試験、ミニテスト、レポート
到達目標 2
住まいとまちの成り立ちを説明できる
その達成度を見る観点
自らの言葉で説明できる
その達成度を見るために用いる手法
定期試験、ミニテスト、レポート
到達目標 3
住まいにおける地域の自然環境や生活文化の影響について説明できる
その達成度を見る観点
自らの言葉で説明できる
その達成度を見るために用いる手法
定期試験、ミニテスト、レポート
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．住生活とはなにか　世界のいろいろな住まい
2．住まいの変遷（1）：オモテとオク、中廊下型住宅、和洋折衷住宅、生活改善運動、イス座とユカ座
3．住まいの変遷（2）：食寝分離論、モダンリビング、ダイニングキッチンの登場、標準設計
4．住まいの変遷（3）：学外見学：大阪くらしの今昔館
5．住まいの変遷（4）：学外見学大阪くらしの今昔館
6．住まいの変遷（5）：nLDK 型住宅、ライフステージと住要求、住まいの工法と商品化
7．戦後の住宅政策：住宅政策、住宅階層論、持ち家と借家、居住水準、住居費、居住権
8．現代の住生活（1）：家族の変容：標準家族とその変化、単身世帯、ひとり親世帯、少子高齢化、シェアハウス、コレクティブ
9．現代の住生活（2）：高齢者の住生活：同居と別居、生活拠点移動、高齢者施設と住宅、生活支援
10. 現代の住生活（3）：集合住宅：町家，同潤会，団地，中高層住宅，スケルトンインフィル，コーポラティブ，リノベーション
11. 現代の住生活（4）：学外見学：生きてる建築フェスティバル
12. 現代の住生活（5）：学外見学：住ムフムラボ
13. 現代の住生活（6）：学外見学：住ムフムラボ
14. まちの変遷：中世，近代、沿線開発、大規模団地、ニュータウン、都心回帰、二拠点居住
15. 地域性・公共性・社会性：風土、場所の力、領域論、コモンズ、参加、住みこなし
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
プリントと映像の内容を中心に講義を行う。毎回、授業内容の理解を確認するためミニテストを実施する。また、住まいと生活の歴史を身近に捉えるために、各回順番に個人発表を行う。
授業時間外学修（予習・復習等）について
個人発表の課題は、担当回発表前に必ず作成すること。これにあたっては、保護者の方等より聞き取り調査を実施し、様式に従いまとめる。
定期試験の実施の有無
実施有り
定期試験方法
筆記試験
試験時間
60 分
試験持込み内容
なし
成績評価方法
定期試験（60%）、授業内課題（30%）、平常点（10%）を加味した総合評価とする。
成績評価基準
定期試験（60%）…授業で配布したプリントを中心に出題する。
授業内課題（30%）…授業中に実施する課題および発表の内容を評価する。
平常点（10%）…授業中の質問などの受講態度
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
住まいの専門性を高めるために、基礎的な知識を網羅する。インテリアを専門にする人は極力受講してほしい。
オフィスアワー
未定
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし

参考書【学内販売：無】
なし

住居プランニング（1 年）

郭　雅雯

授業テーマ
住宅計画に必要な基本的事項を学び、住宅のプランニング能力を養う
授業の概要
住宅のプランニングを行うためには、構造、環境、設備、法律、色彩、人間工学、計画の知識とともに、これらを統合してまとめ上げ、図面に表現する能力が必要である。前半の授業では、これらの知識を講義形式で学び、図面模写の演習を行い、作図能力を養う。後半の授業では、設計与条件が設定された住宅を設計する演習を行う。
到達目標 1
プランニングに必要不可欠な住宅の機能について説明できる
その達成度を見る観点
自らの言葉で説明できる
その達成度を見るために用いる手法
講評会での発表
到達目標 2
住宅設計のプロセスと設計方法が説明できる
その達成度を見る観点
自らの言葉で説明できる
その達成度を見るために用いる手法
講評会での発表
到達目標 3
住宅に求める自分のイメージを図面に表現できる
その達成度を見る観点
課題における表現力
その達成度を見るために用いる手法
提出課題
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．ガイダンス　住まいに関わる専門職種
2．単位空間の設計 1：ベットルーム
3．単位空間の設計 2：ダイニングルーム
4．単位空間の設計 3：キッチン
5．単位空間の設計 4：水回り空間
6．住宅の提案：切り貼り平面図
7．プランニング図面を描く 1：敷地境界線、基準線、柱
8．プランニング図面を描く 2：開口部、柱、見えかかり
9．プランニング図面を描く 3：寸法線、家具、外構
10. インテリア提案：プレゼンボード作成
11. インテリア提案：プレゼンボード作成
12. インテリア提案：プレゼンボード作成
13. インテリア提案：プレゼンボード作成
14. 講評会
15. 作品展
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
講義と演習によって構成する。講義はプリントと映像資料を使用する。また、ミニテストを実施し、理解度を確認しながら進める。演習では、図面模写と住宅設計の 2 課題を行う。
授業時間外学修（予習・復習等）について
演習については各回、到達点を示す。授業時間内に完成させることが望ましいが、困難な場合は、次回授業までに宿題として進めておくこと。
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
課題提出（80%）平常点（20%）を加味した総合評価とする。
成績評価基準
課題提出（80%）…授業時間内に実施する課題の出来栄えを評価する。
平常点（20%）…課題への取り組み姿勢を評価する。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
各回進捗管理を行いながら演習を進めます。極力欠席がないように願います。模写および設計課題は二級建築士の製図試験の課題を用います。住まいの専門職としてステップアップを考える人は受講してください。
オフィスアワー
未定
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

住居管理学（1・2 年）

郭　雅雯

授業テーマ
サスティナブルな住まいとまちのための適切な管理を身につける
授業の概要
住まいを適切に管理することによって、わたしたちは日々安全で快適なくらしを送ることができる。集合住宅やまちについても同じことがいえる。自らが責任ある立場にたち、主体的に動く必要があることを認識し、安全・快適な住まいとまちを維持・継承・発展していくために必要な知識を習得する。住まいとまちは、常にわたしたちが身近に接しているものなので、自分の生活にひきつけて楽しく授業を進めたい。
到達目標 1
住まいを適切に管理することの必要性を説明できる
その達成度を見る観点
具体的な理由を挙げて説明できる
その達成度を見るために用いる手法
提出物、定期試験
到達目標 2
住宅の環境を快適で良好な状態に保つための方法について説明できる
その達成度を見る観点
具体的な方法を示すことができる
その達成度を見るために用いる手法
提出物、定期試験
到達目標 3
住宅地の環境や安全を守るための、まちづくりの手法について説明できる
その達成度を見る観点
具体的な事例を挙げて説明できる
その達成度を見るために用いる手法
提出物、定期試験
担当形態
単独

授業計画及び授業内容
1．［講義］住まいの変化と住生活の管理：住まいを管理するとはどういうことか［宿題］自宅の光熱費を確認してくる
2．［講義］住まいの安全・快適な環境づくり：熱環境 空気環境［宿題］自分の家の建築確認書類を探してみる
3．［講義］住まいの安全・快適な環境づくり：建物の耐震性能［宿題］家の中の生活財を書き出してみる
4．［講義］住まいの安全・快適な環境づくり：生活財の管理　収納［宿題］自分の家の年表づくり
5．［講義］住まいのメンテナンス１　管理計画、具体的な建物のメンテナンスポイント・方法［演習・宿題］住まい評価くんを自分の家でやってみる
6．［発表］住まい評価くんの報告［講義］住まいのメンテナンス２　ライフスタイルとリフォーム［演習］自分の家を評価してみる
7．［講義］リノベーション［宿題］自分が住みたい家を住宅情報から選んでくる
8．［講義］居住費の管理：住居費の範囲と家賃・ローン［演習］ローンを試算してみよう［宿題］自宅の位置をハザードマップで確認してくる
9．［講義］自然災害と住宅：ハザードマップ、地盤、耐震性、ライフライン
10．［宿題］班ごとのテーマに沿って「人と防災未来センター」の展示をまとめる
11．［演習］なまずゲームで防災を学ぶ
12．［発表］自然災害に対応するためにできること：班ごとの発表　ディスカッション
13．［講義］居住地の管理：居住地の範囲と管理すべき対象［演習］京都のエリアマネジメントの取り組みについて調べる
14．［学外見学］人と防災未来センター：自然災害に対して日常的にできることを考える
15．［学外見学］人と防災未来センター：自然災害が起こったときの避難所運営を考える

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
授業は、講義、演習および次回授業のための宿題で構成される。講義はプリントと映像を用いる。演習は個人課題とグループワークがある。各回ごとに発表の機会を設ける。学外見学を予定している。

授業時間外学修（予習・復習等）について
各回、次回授業のための宿題を設定している。自らの生活や住まいを再確認する作業である。これらは重要な教材となる。すぐに用意できないものもあるので、授業初回に説明を行う。計画的に準備をすること。また準備ができない場合には事前に教員に相談すること。

定期試験の実施の有無
実施無し

成績評価方法
定期試験（30%）　各演習課題提出（50%）　に平常の授業態度（20%）を加味する。

成績評価基準
定期試験（30%）…授業中に配布するレジメを中心に出題する記述式の試験を実施する。
各演習課題提出（50%）…授業中および宿題として実施する演習課題の内容をみる
平常の授業態度（20%）…受講態度、学ぶ意欲をみる

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
住まいのメンテナンス、ローン、収納、防災など、普通の人が普通の生活を営む上で必要となる知識をまとめます。専門用語を極力使わず、身近な素材で話し合いながら、楽しく学びましょう。

オフィスアワー
未定

教科書【学内販売：有】
なし

教科書【学内販売：無】
なし

参考書【学内販売：有】
なし

参考書【学内販売：無】
図解住居学編集委員会編「図解住居学　6　住まいの管理」彰国社

住生活史（2 年）

岩波　由佳

授業テーマ
住宅や住まい方の歴史や住文化を学び、現代につながる豊かな住生活とは何かを考える。

授業の概要
古代から現代までの住宅や住み方の歴史的変遷を学習することにより、住まいが人間の生活・文化・社会と深く関わりながら成立し、変化してきたことを理解する。また、京都で学生生活を過ごす意義の一つとして、町家などの伝統的な住文化に目を向けるとともに、豊富で質の高い歴史的建造物についても学習し、地域社会の歴史的財産としての建築の知識を深める。

到達目標 1
住宅様式や住まい方の変遷に関する知識を身に付ける

その達成度を見る観点
授業内容が正しく理解できているか

その達成度を見るために用いる手法
期末試験

到達目標 2
生活の中で現代も残る歴史－住宅、行事、慣習など－に興味をもつ

その達成度を見る観点
知識や経験としての歴史が身についているか

その達成度を見るために用いる手法
授業終了時のコメントカード

到達目標 3
古の社会や生活状況に対する好奇心、想像力を養う

その達成度を見る観点
話題としての歴史を表現できるか

その達成度を見るために用いる手法
コメントカード

担当形態
単独

授業計画及び授業内容
1．はじめに　日本人の自然観と住まい　～無常の世のすまい
2．原始の住まい　住まいのはじまり　竪穴住居　～たてにあなを掘ると…
3．原始の住まい　技術と生産の発達　高床住居　～すごいものがやってきた
4．ムラからマチへ　豪族、貴族の住まい　支配階級の住宅の源泉　～豪邸に住む！
5．平安貴族の住まい　しつらいは貴族の世界観　寝殿造（1）　～教養こそいのち
6．平安貴族の住まい　平安京の都市と住宅　寝殿造（2）　～魑魅魍魎の跋扈するみやこ
7．貴族社会から武家社会へ　寝殿造の変化と新しい住宅の形　～武士って…

8．武士の住まい　室内空間の完成　中世の武家住宅　～質実剛健、謹厳実直
9．武士の住まい　格式と接客　書院造　～上司をもてなす装置
10. 武士の住まい　桃山時代　　権力の表現　書院造の発展と完成　～ゴージャスを極める！
11. 茶室の造形力　工夫と感性の空間　～利休 vs 秀吉、美をめぐる闘い
12. 新しい美意識　数寄屋の出現　～瓜畑のかろき茶屋より
13. 王朝文化の復興　綺麗の空間　～洗練と教養、ふたたび
14. 庶民の住まい　農家と町家　～庶民ってこんなもん
15. 町家の発達と都市の文化　快適な高密居住　～やっぱり京都がいちばん

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
講義形式で行なう。授業内容に沿ったプリントを配布する。理解を深めるために適宜画像、ＤＶＤ等の映像資料を使用する。なお、希望があり時間が合えば、歴史的町並みや文化財建造物、文化財修理現場の学外見学会を行うことがある。

授業時間外学修（予習・復習等）について
日々の生活の中で、歴史に関連するドキュメントやドラマなどに関心を持って見てみる。新聞やインターネットで文化財や遺跡に関する記事に気が付けば読んでおく。

定期試験の実施の有無
実施有り

定期試験方法
筆記試験

試験時間
60 分

試験持込み内容
自筆ノート、配布プリント

成績評価方法
配点：期末試験の成績 80％、授業態度、授業への取組状況および授業への質問内容 20％

成績評価基準
試験では授業内容から用語説明、論述を中心に出題する。自筆ノート、配布プリントの持ち込み可。内容を理解した上で、適切に論述できるかを問う。おもに板書によるノートから出題するので、必ず授業の内容をまとめておくこと。

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
京都という土地で学んでいるので、歴史を感じる建築や町並み、祭や風習、行事、習い事など、伝統的な事柄につねに関心や興味を持って生活してほしいです。

オフィスアワー
なし

教科書【学内販売：有】
なし

教科書【学内販売：無】
なし

参考書【学内販売：有】
なし

参考書【学内販売：無】
藤森照信　ちくまプリマー新書『人類と建築の歴史』　筑摩書房　2005
太田博太郎『図説　日本住宅史』彰国社 1971
玉井哲雄『図説　日本建築の歴史』河出書房新社 2008
小泉和子『図説　日本インテリアの歴史』河出書房新社 2015
学内販売なし・書店にて購入可能

居住福祉論（1・2 年）

今井　俊夫

授業テーマ
安全で暮らしやすい住宅とは？　住環境を福祉の観点から考える。

授業の概要
日本では人口減少、少子高齢化が急速に進み、15 年後は約 3 人に 1 人が 65 歳以上の高齢者になると予測され、高齢者や障がい者が自宅で安全に質の高い生活を送ることが求められる。そのため、福祉や住宅の設計に関わる者は高齢者や障がい者が暮らしやすく、介護者の負担が少なくなるように居住環境の計画や改善を具体的に提案できることが重要である。そのため、本授業では建築のみならず福祉、医療・保健に関する基本知識と実例を広く会得する。その手段として「福祉住環境コーディネーター（3 級）」テキストを参考書として居住福祉の基本を学び、海外の事例や最新の情報等を紹介する。住宅を福祉､医療･保健の領域からも考えられるようになり、高齢者や障がい者が安全・安心に暮らせる居住デザイン手法の習得を目指す。

到達目標 1
居住者が自分らしい生活を送り、幸福と感じられるような住まいとは何かについて説明できる

その達成度を見る観点
自分の意見を具体的に著述できるかどうか

その達成度を見るために用いる手法
超短文リポート

到達目標 2
高齢者や障がい者にもやさしい住宅やまちには具体的にどのような工夫が必要か説明できる

その達成度を見る観点
自分の意見を具体的に著述できるかどうか

その達成度を見るために用いる手法
超短文リポート

到達目標 3
福祉･医療･建築が連携する実務資格「福祉住環境コーディネーター 3 級」の合格ラインに到達する

その達成度を見る観点
テキストの内容を理解できているかどうか

その達成度を見るために用いる手法
授業中の模擬試験（自己評価）希望者は、福祉住環境コーディネーター（3 級）受験

担当形態
単独

授業計画及び授業内容
1．少子高齢社会における社会福祉の現状と課題
2．福祉住環境の基本的考え方
3．高齢者・障がい者の心身の機能と特性、体の変化
4．ケアサービスと在宅生活の持続
5．バリアフリーとユニバーサルデザイン
6．福祉住環境整備の基本技術
7．安全・快適な住まいの整備（1）玄関・階段・開口部
8．安全・快適な住まいの整備（2）トイレ・洗面所・浴室
9．安全・快適な住まいの整備（3）キッチン・寝室
10. 安全・快適な住まいの整備（4）外構、スロープ
11. 安全・快適な住まいの整備（5）福祉設備について
12. 生活を支える様々な用具（1）共用品
13. 生活を支える様々な用具（2）福祉用具・車いす・ベット
14. ライフスタイルの多様化と住まい

15. 学外見学　介護福祉器具体験・展示場
※授業の理解を助けるために、途中で学外見学（実習）をおこなう。

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
基本的には、参考書を基にした講義形式でおこなう。授業中に、超短文（50字程度）のリポートを出題する。各リポートは最後にまとめて返却し、記述内容・文章力の上達度を確認できるように配慮する。

授業時間外学修（予習・復習等）について
授業時間外の学習は求めないが、日常的に福祉住環境（建築）に興味を持ってもらうため、自主見学先を幾つか紹介する。

定期試験の実施の有無
実施無し

成績評価方法
毎授業中の超短文リポート評価（80%）、平常点（20%）を加味した総合的評価とする。

成績評価基準
リポートについては、要求された内容の「正鵠（せいこく）を射る」のは無論、内容を手短に表現することを主眼に評価する

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
住環境福祉コーディネーターは高齢者や障がい者の身体能力により、適切な住環境を提案するアドバイザーである。今後、在宅介護の増加やバリアフリー住宅・建築のニーズの高まりなどにより、住環境福祉コーディネーターの必要性が増すものと思われる。意欲のある人はぜひ住環境福祉コーディネーター３級取得にチャレンジしてほしい。近い将来、必ず役に立つ分野なので、積極的な受講を期待する。

オフィスアワー
授業該当曜日・時間のみ在校

教科書【学内販売：有】
なし

教科書【学内販売：無】
なし

参考書【学内販売：有】
なし

参考書【学内販売：無】
東京商工会議所：福祉住環境コーディネーター検定試験３級公式テキスト＜改訂５版＞

色彩の基礎（1年）

青木　正明

授業テーマ
色彩に関わる基礎知識を学ぶ（色彩検定３級合格程度）

授業の概要
色の性格、働き、配色の方法などに関する色彩理論の基礎を学び、将来進むさまざまな分野において役立つ知識を得る。また、学習効果の指標として、2020年６月28日開催の色彩検定３級に合格できることを目指す。

到達目標１
色彩の基礎知識をもとにした、配色する楽しさを説明できる

その達成度を見る観点
色彩の基礎知識を理解し、知識に基づいた配色ができるか。

その達成度を見るために用いる手法
授業内小テスト、提出課題、期末定期試験

到達目標２
社会における色彩の役割を考え、色彩計画が提案できる

その達成度を見る観点
社会における色彩計画が提案できるか。

その達成度を見るために用いる手法
授業内小テスト、提出課題、期末定期試験

到達目標３
テーマに合わせたファッションやインテリアなどの配色ができる

その達成度を見る観点
ファッションやインテリアなどの配色ができるか。

その達成度を見るために用いる手法
授業内小テスト、提出課題、期末定期試験

担当形態
単独

授業計画及び授業内容
01. 光と色１
02. 光と色２
03. 色の三属性と PCCS1
04. 色の三属性と PCCS2
05. 色彩心理１
06. 配色１
07. 配色２
08. ファッションと色彩
09. インテリアと色彩
10. 慣用色名
11. ３級試験直前対策
12. 光と色～２級相当範囲
13. マンセル表色系
14. 配色～２級相当範囲
15. ファッション・インテリアと色彩～２級相当範囲
※必須ではないですが、本授業を受ける学生には6/28（日）開催の色彩検定３級受験を強く勧めます。受験料：7,000円申込期間：3/16～5/21、インターネット申込延長期間5/22～5/28

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
色彩検定３級過去問題を中心とした授業内小テスト・課題を課し、解らなかった点を解説し、理解する作業を繰り返します。課題解答と理解の反復練習により、知識獲得の確度を上げて行きます。

授業時間外学修（予習・復習等）について
小テスト及び課題で正解できなかった点を理解する作業の繰り返しです。授業外の復習で理解を深めることがどれだけ丁寧にできたか否かが、合格の分かれ道です。しっかり復習に時間をかけてください。

定期試験の実施の有無
実施有り

定期試験方法
筆記試験

試験時間
80分

試験持込み内容
持ち込み無

成績評価方法
30%：提出課題
30%：授業内小テスト
30%：授業への取組
10%：期末定期試験

成績評価基準
提出課題：得点または完成度
授業内小テスト：得点または完成度
授業への取組：授業への取組姿勢に関する評価点
期末定期試験：得点

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
この授業は年に２回開催される色彩検定３級の合格を目

標としており、前期授業期間内6月28日開催の検定試験に向けた実質的な構成にしています。“色彩検定3級対策講座”と考えて頂いても結構です。色彩検定3級は特別な事前知識が無くても効果的かつ十分な学習によって合格可能な検定ですし、得られた知識は色彩に関わる様々な作業に広く応用が可能です。色彩論の入門としてぜひ色彩検定3級合格を一緒に目指しましょう。

オフィスアワー

金曜日昼休み

教科書【学内販売：有】

色彩検定公式テキスト3級編　色彩検定協会監修※2009年度以降2018年度以前発行の版を必ず選ぶこと

教科書【学内販売：無】

なし

参考書【学内販売：有】

日本色研　新配色カード199b

参考書【学内販売：無】

なし

造形基礎演習（1年）

安江　勉

授業テーマ

基礎的な造形力を養う。

授業の概要

造ることは私たちの生活営為に密接に結びついている。ここでは、日常のなかに美を発見、抽出したものを、結合、提示するために必要な造形の基礎演習「デッサン」「色彩構成」「立体構成」を中心に授業を展開する。また、視覚情報の氾濫する現在、映像メディアを読み解き表現する能力、リテラシーを養うことを「鑑賞教育」を通して考察する。

到達目標1

色と形、色の微妙な差、配色、色を使うおもしろさ等を理解し、かつ表現できる

その達成度を見る観点

発想から定着までの経緯と作品評価

その達成度を見るために用いる手法

実技課題と講評会

到達目標2

時代の変化にも応えられる造形の基礎力をもつ

その達成度を見る観点

発想から定着までの経緯と作品評価

その達成度を見るために用いる手法

実技課題と講評会

到達目標3

装飾的な模様を自ら作り出し、作品としての完成度を高める

その達成度を見る観点

発想から定着までの経緯と作品評価

その達成度を見るために用いる手法

実技課題と講評会

担当形態

単独

授業計画及び授業内容

1．ワークショップ「コミュニケーションについて」
2．デッサン（ドローイング）
3．デッサン（思考と感覚）
4．デッサン（形態・質感・色彩）
5．講評会「デッサン」
6．鑑賞教育（映像・カメラワーク）
7．鑑賞教育（映像・モンタージュ）
8．写真撮影
9．講評会「写真」
10．色彩構成（明度・彩度・色相）
11．色彩構成（形態・イメージ）
12．講評会「色彩構成」
13．立体構成（形態・素材・色彩）
14．立体構成（強度・機能）
15．講評会「立体構成」

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック

演習を中心に授業を展開し、講評により感知、及び理解を促す。

授業時間外学修（予習・復習等）について

日常のなかで意識的に美を探究すること。復習時間は1時間程度が望ましい。

定期試験の実施の有無

実施無し

定期試験方法

実技

成績評価方法

発想から定着までの経緯40%、作品評価40%、授業の取り組み20%

成績評価基準

・発想から定着までの経緯＝課題内容の理解度。工夫、試行錯誤の度合い。
・作品評価＝作品の完成度。普遍かつ独創的な表現など、総合的に評価する。
・授業の取り組み＝積極的な発言。プレゼンテーション、真摯な制作態度など。

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）

日本色研事業トーナルカラー93色B5判を購入すること。

オフィスアワー

オフィスアワーなし演習に関する質問は授業時間内、または終了後にすること。

教科書【学内販売：有】

なし

教科書【学内販売：無】

なし

参考書【学内販売：有】

なし

参考書【学内販売：無】

なし

デザイン概論（1年）

羽深　太郎

授業テーマ

デザインの専門領域毎の特性を学びデザインが果たす役割を理解する。

授業の概要

デザイン企画分野に興味がある学生に向け、デザイン領域の概要を幅広く紹介するとともに、様々なデザインの専門領域について最新の事例をもとにデザイナーに求められる知識、理念、技術、社会的役割を学びます。

到達目標1

デザインによって自らの思いを人に伝える楽しさを説明できる。

その達成度を見る観点

デザインを通じて自らの考えや思いを人に伝える楽しさを理解できているか。

その達成度を見るために用いる手法

リアクションペーパー、小テストと定期試験。

到達目標 2
生活の各場面でデザインを活用した貢献を具体的に説明できる。
その達成度を見る観点
生活の各場面でデザインを活用した貢献について理解できているか。
その達成度を見るために用いる手法
リアクションペーパー、小テストと定期試験。
到達目標 3
社会のニーズに即した新しいデザインやコンセプトを提案することができる。
その達成度を見る観点
社会のニーズに即した新しいデザインやコンセプトを考えることができる。
その達成度を見るために用いる手法
リアクションペーパー、小テストと定期試験。
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．ガイダンス／デザインの概要
2．プロダクトデザインについて
3．空間デザインについて
4．グラフィックデザイン・ロゴデザインについて
5．ファッションデザインについて
6．パッケージデザインについて
7．エディトリアルデザインについて
8．POP デザインについて
9．WEB デザインについて
10．情報に関わるデザインについて
11．デザインの可能性について（グッドデザイン賞のデザインから）
12．地域社会を活性化するためのデザインについて
13．福祉領域のデザインについて
14．企業活動におけるデザインの役割について
15．まとめ
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
授業は講義形式で行います。毎回テーマとなるデザイン領域に関する授業資料を配布し、その資料を用いて授業を進めます。授業の進行にはスライドや映像などを活用します。授業では毎回リアクションペーパーを配布し、授業の感想・意見・質問を記入してもらいます。主要な質問は次回の授業で解説します。期末テスト以外にも授業の中で小テストや振り返りを適時行い理解度の確認を行います。
授業時間外学修（予習・復習等）について
各テーマについて、日ごろから身の回りにある製品やサービスのデザインに関心を持ち、必要に応じてメモやスマートフォンで写真に記録し、授業の参考にしてください。疑問や質問があれば授業で質問をしてください。
定期試験の実施の有無
実施有り
定期試験方法
筆記試験
試験時間
60 分
試験持込み内容
ノート（自筆に限る）、リアクションペーパーの持ち込みは可とする。
成績評価方法
授業への取り組み状況（30%）小テスト（20%）定期試験（50%）で評価する。
成績評価基準
「小テスト・定期試験」は授業で取扱った内容に対する知識・理解度を確認する問題を出題します。「授業への取り組み」は授業毎に配布するリアクションペーパーにより評価します。※授業は出席することが前提のため、出席に対しての加点および評価はおこなわない。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
担当教官は、18 年間にわたり日産自動車に在籍し新車開発における感性品質のデザインに従事しました。その知識と経験をもとに、デザインに関する様々な分野や専門領域が社会や企業にどのように貢献するのか、学生の皆様が社会に出て役に立つ知識を具体的な事例をもとに分かりやすく伝えたいと思います。実務家教員としての経歴：日産自動車に 18 年間在籍。グローバルデザイン本部にて感性品質「お客様が見て触って使って感じる質感」のシニアマネージャーを担当。アルティマ・シルフィ・セレナ・キックス・エクストレイルなど幅広い車種について感性品質の新車開発プロジェクトリーダーを就任した。
オフィスアワー
月曜日～金曜日の昼休み。研究室に来てください。
教科書【学内販売：有】
プロダクトデザインの基礎　スマートな生活を実現する 71 の知識 / 株式会社ワークスコーポレーション /JIDA「プロダクトデザインの基礎」編集委員会 /2014/978-4862671738
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
プロダクトデザインのためのスケッチワーク / オーム社 / 増成　和敏 /2013/978-4274069284Design Rule Index 要点で学ぶ、デザインの法則 150/ ビー・エヌ・エヌ新社 / William Lidwell/2015/978-4861009785

商品企画論（1 年）

羽深　太郎

授業テーマ
新しい商品やサービスを企画するアプローチを知る
授業の概要
社会環境の変化や社会からのニーズを捉え、イノベーティブな発想をもって商品へ具現化するための手法として、マーケティングやデザインシンキングの基礎と新しい商品やサービスを提案する手法を学習します。新しいヒット商品・人気サービスが出にくい時代に、どのようにして顧客の支持を得られる商品を企画するか、コンセプトワークを通じて、最終的に商品企画書を作成するための知識の修得を目指します。
到達目標 1
デザインを創るためのコンセプトを導き出す楽しさを説明できる
その達成度を見る観点
デザインや企画を創出するための基本的なプロセスを理解しているか。
その達成度を見るために用いる手法
リアクションペーパー、小テストと定期試験。
到達目標 2
ユーザーや社会が求めているデザインコンセプトを考えることができる。
その達成度を見る観点
社会が求めているニーズを把握し、ニーズ合ったデザインコンセプトを導き出せるか。

その達成度を見るために用いる手法
リアクションペーパー、小テストと定期試験。
到達目標３
新しい視点でアイデアを考え、創造力豊かなデザインができる
その達成度を見る観点
既成概念にとらわれない、新鮮なアイデアを考えられるか。
その達成度を見るために用いる手法
プレゼンテーションの提案と発表。
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
１．ガイダンス／商品企画論とは
２．マーケティングと商品企画
３．マーケティングを知るⅠ　アンケートを用いたデータの収集と分析
４．マーケティングを知るⅡ　顧客の本音に迫るインタビュー調査と分析
５．商品企画のための発想法Ⅰ　ブレーンストーミング、属性列挙法と形態分析法を用いた企画提案の実習
６．商品企画のための発想法Ⅱ　KJ 法を用いた企画提案の実習
７．商品企画のための発想法Ⅲ　欠点列挙法と希望点列挙法を用いた企画提案の実習
８．デザインシンキングを体験するⅠ　（教員が提示したテーマについて）
９．デザインシンキングを体験するⅡ　（学生が選んだテーマについて）
10．商品企画演習Ⅰ　課題テーマの把握
11．商品企画演習Ⅱ　調査・情報分析
12．商品企画演習Ⅲ　現状の問題点の整理
13．商品企画演習Ⅳ　コンセプトの決定
14．商品企画演習Ⅴ　プレゼンテーションの作成
15．発表・講評・まとめ
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
１回～９回は商品企画に関する基本的な知識について実例を示しながら講義形式で進めます。10 回～ 15 回は提示された課題についてグループワークにてコンセプトを検討した結果をまとめプレゼンテーションをしてもらいます。授業では毎回リアクションペーパーを配布し、授業の感想・意見・質問を記入してもらいます。主要な質問は次回の授業で解説します。期末テスト以外にも授業の中で小テストや振り返りを適時行い、理解度の確認を行います。
授業時間外学修（予習・復習等）について
授業中に配布したプリントや資料を用いて講義の内容について復習をすること。
定期試験の実施の有無
実施有り
定期試験方法
筆記試験
試験時間
60 分
試験持込み内容
ノート（自筆に限る）、リアクションペーパーの持ち込みは可とする。
成績評価方法
授業への取り組み状況（20%）プレゼンテーション（30%）小テスト・定期試験（50%）で評価する。
成績評価基準
「小テスト・定期試験」は授業で取扱った内容に対する知識・理解度を確認する問題を出題します。「授業への取り組み」は授業毎に配布するリアクションペーパーにより評価します。「プレゼンテーション」は演習のプレゼンテーションに対して評価する。※授業は出席することが前提のため、出席に対しての加点および評価はおこなわない。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
担当教官は、18 年間にわたり日産自動車に在籍し新車開発における感性品質デザインに従事しました。その知識と経験をもとに、商品やサービスの企画について、学生の皆様が社会に出て役に立つ知識を具体的な事例をもとに分かりやすく伝えたいと思います。実務家教員としての経歴：日産自動車に 19 年間在籍。グローバルデザイン本部にて感性品質「お客様が見て触って使って感じる質感」のシニアマネージャーを担当。アルティマ･シルフィ･セレナ・キックス・エクストレイルなど幅広い車種について感性品質の新車開発プロジェクトリーダーを就任した。
オフィスアワー
月曜日～金曜日の昼休み。研究室に来てください。
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
ジョブ理論 イノベーションを予測可能にする消費のメカニズム / ハーパーコリンズ・ジャパン / クレイトン M クリステンセン /2017/978-4596551221 コンセプトのつくりかた / ダイヤモンド社 / 玉樹　真一郎 /2012/978-4478022399

ユニバーサルデザイン（1 年）

羽深　太郎

授業テーマ
生活環境・製品デザイン・視覚伝達領域を中心にユニバーサルデザインの意義を学習し、ユニバーサルデザインの基礎となる知識・視点を身に付ける。
授業の概要
この授業はユニバーサルデザインの必要性と意義について考察します。言葉、文化、年齢、性別、経験などの違いによらず､あらゆる人が利用できる「やさしいデザイン」を考え、幅広いデザインの領域に関係するユニバーサルデザインの役割を学びます。後半は身近な事例についてユニバーサルデザインの７原則に基づいた考察・演習を通じて、社会におけるユニバーサルデザインの知見を深めます。
到達目標１
すべての人が幸せに暮らせるユニバーサルデザインを考える喜びを説明できる
その達成度を見る観点
すべての人が幸せに暮らす共生社会実現のために、ユニバーサルデザインの必要性を理解できているか。
その達成度を見るために用いる手法
リアクションペーパー、小テストと定期試験。
到達目標２
社会におけるユニバーサルデザインの必要性を説明できる
その達成度を見る観点
社会においてユニバーサルデザインが必要とされる背景やシーンを理解しているか。

その達成度を見るために用いる手法
リアクションペーパー、小テストと定期試験。
到達目標 3
社会での課題を見つけ、それを解決するためのユニバーサルデザインを考案できる
その達成度を見る観点
社会の現状を理解し、ユニバーサルデザインの考え方をもとに改善策を提案できるか。
その達成度を見るために用いる手法
学外調査に関する調査結果の報告・発表。
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．ガイダンス／ユニバーサルデザインとは
2．衣食住とユニバーサルデザインの関わりについて
3．ユニバーサルデザイン 7 原則
4．ユニバーサルデザインにおける機能性とアメニティについて
5．プロダクトデザインにおけるユニバーサルデザイン
6．住宅におけるユニバーサルデザイン
7．視覚伝達のユニバーサルデザイン
8．環境のユニバーサルデザイン
9．京都府　京都市のユニバーサルデザイン振興の取組み
10. 公共交通施設のユニバーサルデザイン
11. ユニバーサルデザイン現地調査 （調査場所は講義の中で決定します）
12. ユニバーサルデザイン現地調査 （調査場所は講義の中で決定します）
13. ユニバーサルデザイン現地調査の分析とまとめ
14. ユニバーサルデザイン現地調査のプレゼンテーション作成
15. 発表・講評・まとめ
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
第 1 回～第 10 回はユニバーサルデザインに関する基本的な知識について実例を示しながら講義形式で進める。11 回～ 15 回は提示された課題についてグループワークにて調査結果を分析・検討しプレゼンテーションにて提案する。授業では毎回リアクションペーパーを配布し、授業の感想・意見・質問を記入してもらいます。主要な質問は次回の授業で解説します。期末テスト以外にも授業の中で小テストや振り返りを適時行い、理解度の確認を行います。現地調査は通常の講義時間に対して曜日時間を変更して実施する予定です。交通費（1000 円程度）を用意してください。
授業時間外学修（予習・復習等）について
授業中に配布したプリントや資料を用いて講義の内容について復習をしてください。後半の現地調査・分析に向けて、日々の生活の中で人にやさしいデザイン、人にやさしくないデザインについて考察してください。気が付いたことはメモに残す、スマートフォンのカメラに記録するなどの行動を取ってください。
定期試験の実施の有無
実施有り
定期試験方法
筆記試験
試験時間
60 分
試験持込み内容
ノート（自筆に限る）、リアクションペーパーの持ち込みは可とする。
成績評価方法
授業への取り組み状況（20%）現地調査レポート（40%）小テスト・定期試験（40%）で評価する。
成績評価基準
「小テスト・定期試験」は授業で取扱った内容に対する知識・理解度を確認する問題を出題します。「授業への取り組み」は授業毎に配布するリアクションペーパーにより評価します。「現地調査レポート」は調査発表のレポートとプレゼンテーション対して評価する。※授業は出席することが前提のため、出席に対しての加点および評価はおこなわない。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
ユニバーサルデザインは高齢化・多様化が進む日本社会に欠かせないキーワードです。人にやさしいデザインとは何かを身近な領域から一緒に考えましょう。成績評価に際しては、第 11 回目以降に行う現地調査、レポート、プレゼンテーションの比率が高いため欠席しないようにしてください。
オフィスアワー
月曜日～金曜日の昼休み。研究室に来てください。
教科書【学内販売：有】
ユニバーサルデザイン実践ガイドライン / 共立出版 / 日本人間工学会 /2003/978-4320071551
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
ユニバーサルデザインの教科書 第 3 版 / 日経 BP/ 中川聰 / 2015/978-4822235017Design Rule Index 要点で学ぶ、デザインの法則 150/ ビー・エヌ・エヌ新社 /William Lidwell/2015/978-4861009785

ユーザー体験価値デザインⅠ（1 年）

羽深　太郎

授業テーマ
ユーザーが商品やサービスを通じて得る体験や経験をデザインするため基礎知識と手法を学ぶ。
授業の概要
ユーザ体験価値デザインは、ユーザーが「うれしい体験」「楽しい体験」「価値のある体験」を得られるデザインやサービスを生み出すために、企画段階からユーザーの体験・経験を目標に折り込むアプローチについて具体的な事例をもとに学びます。
到達目標 1
ユーザーエクスペリエンスを理解することができる。
その達成度を見る観点
ユーザーエクスペリエンス目的と基本的なアプローチを理解しているか。
その達成度を見るために用いる手法
リアクションペーパー、小テストと定期試験。
到達目標 2
ストーリーボードを活用してユーザーの経験を説明できるようになる。
その達成度を見る観点
ストーリーボードを用いてユーザーの経験を時系列に沿って説明できるか。
その達成度を見るために用いる手法
プレゼンテーションの提案と発表。
到達目標 3
ユーザーテストや行動観察の結果を分析し新しい UX を検討することができる。

その達成度を見る観点
ユーザーテストや行動観察を分析して、その結果から新しいUXを提案できるか。
その達成度を見るために用いる手法
プレゼンテーションの提案と発表。
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．ガイダンス／ユーザー体験価値デザインとは
2．ユーザー体験デザインが必要とされる背景について
3．UXデザインの基礎Ⅰ（人間中心デザイン・ユーザビリティ）
4．UXデザインの基礎Ⅱ（認知工学・感性工学の基礎）
5．UXデザインのアプローチ
6．UXデザインの手法（調査手法）
7．UXデザインの手法（アイデア発想法・カスタマージャーニーマップ）
8．UXデザインの手法（ペルソナ・シナリオ法）
9．UXデザインの評価手法（ユーザーテスト　ヒューリスティック調査）
10．UXデザインのアプローチ実習Ⅰ（ストーリーボードの作成）
11．UXデザインのアプローチ実習Ⅱ（ストーリーボードの作成）
12．ストーリーボードのまとめ・発表・講評
13．ユーザーテスト実習　トライアル
14．ユーザーテスト実習　結果分析　まとめ
15．ユーザーテストのまとめ・発表・講評
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
1回～9回はUXデザインの基本的な知識について実例を示しながら講義形式で進めます。10回～15回は提示された課題についてグループワークを行い、分析・検討した結果をプレゼンテーションで提案します。授業は毎回リアクションペーパーを配布し、授業の感想・意見・質問を記入してもらいます。主要な質問は次回の授業で解説します。期末テスト以外にも授業の中で小テストや振り返りを適時行い、理解度の確認を行います。
授業時間外学修（予習・復習等）について
前半の講義に関しては、授業で配布するプリントや資料に目を通して、必要に応じて復習を行ってください。後半の実習に向けては、日々の生活において、様々な製品やサービスを利用する中で、ユーザーにとって良い体験、悪い体験を感じたうえで、気が付いたことはメモに残す、スマートフォンのカメラに記録するなどの行動を取ってください。
定期試験の実施の有無
実施有り
定期試験方法
筆記試験
試験時間
60分
試験持込み内容
ノート（自筆に限る）、リアクションペーパーの持ち込みは可とする。
成績評価方法
授業への取り組み状況（30%）プレゼンテーション（20%）小テスト・定期試験（50%）で評価する。
成績評価基準
「小テスト・定期試験」は授業で取扱った内容に対する知識・理解度を確認する問題を出題します。「授業への取り組み」は授業毎に配布するリアクションペーパーにより評価します。「プレゼンテーション」は演習のプレゼンテーションに対して評価します。※授業は出席することが前提のため、出席に対しての加点および評価はおこなわない。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
この授業は社会人の姿を想定した参加型授業を行います。講義では毎回小グループに分かれたチームディスカッションを実施します。学んだことに対して自分の意見を発言すること、また他人の意見を参考にしながら自らの考えを纏めてアウトプットに繋げる授業を目指します。授業は受け身ではなく積極的な姿勢で参加してください。
オフィスアワー
月曜日～金曜日の昼休み。研究室に来てください。
教科書【学内販売：有】
UXデザインの教科書 / 丸善出版 / 安藤昌也 /2016/978-4621300374
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
ユーザビリティエンジニアリング（第2版）―ユーザエクスペリエンスのための調査、設計、評価手法―/ オーム社 / 樽本　徹也 /2014/978-4274214837

ブランドデザイニング（2年）

羽深　太郎

授業テーマ
ブランドデザインの基礎を学び、ブランドデザインを実践する。
授業の概要
普段の生活の中で、コーヒーショップを選ぶとき、洋服や靴、家具や家電製品を選ぶときに、何気に企業や商品のブランドで決めていませんか？
ブランドとは何か、企業にとってブランド価値とは何かを、実生活における行動や考え方の分析から学びます。
到達目標1
人々に幸せと喜びを与えるブランドデザインを説明できる。
その達成度を見る観点
ブランドデザインが人々に与える効果を理解しているか。
その達成度を見るために用いる手法
リアクションペーパー、小テストと定期試験。
到達目標2
企業・社会におけるブランドの役割を説明することができる。
その達成度を見る観点
ブランドの変遷などの基礎知識を習得しているか。
その達成度を見るために用いる手法
リアクションペーパー、小テストと定期試験。
到達目標3
課題発見力と想像力を発揮し、新しいブランドを提案することができる。
その達成度を見る観点
自分なりのブランドデザインを提案できるか。
その達成度を見るために用いる手法
プレゼンテーションの提案と発表。
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．ガイダンス／ブランドデザイニングとは
2．日本・海外のブランド
3．地域創生とブランド

4．ブランドの機能と価値
5．ブランドとマーケティング
6．プランドと広告宣伝戦略
7．五感ブランディング（人間の本能に訴える）
8．ブランドの価値分析
9．ブランド分析演習Ⅰ　SWOT 分析によるブランド比較
10．ブランド分析演習Ⅱ　SWOT 分析によるブランド比較
11．発表・講評・まとめ
12．ブランドデザイニングⅠ（コンセプト提案）
13．ブランドデザイニングⅡ（デザイン展開）
14．ブランドデザイニングⅢ（プレゼンボード制作）
15．発表・講評・まとめ

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
第１回～第８回はブランドデザイニングに関する基本的な知識について実例を示しながら講義形式で進めます。第９回～第 15 回は提示された課題についてグループワークを行い分析・検討した結果をプレゼンテーションにて提案してもらいます。授業では毎回リアクションペーパーを配布し、授業の感想･意見･質問を記入してもらいます。主要な質問は次回の授業で解説します。期末テスト以外にも授業の中で小テストや振り返りを適時行い、理解度の確認を行います。

授業時間外学修（予習・復習等）について
授業中に配布したプリントや資料を用いて講義の内容について復習してください。後半のブラインドデザイニングの提案に向けて、日々の生活の中で商品を購入する際などブランドに対する影響について考察してください。

定期試験の実施の有無
実施有り

定期試験方法
筆記試験

試験時間
60 分

試験持込み内容
ノート（自筆に限る）、リアクションペーパーの持ち込みは可とする。

成績評価方法
授業への取り組み状況（20%）プレゼンテーション･レポート（40%）小テスト・定期試験（40%）で評価する。

成績評価基準
「小テスト・定期試験」は授業で取扱った内容に対する知識・理解度を確認する問題を出題します。「授業への取り組み」は授業毎に配布するリアクションペーパーにより評価します。「プレゼンテーション・レポート」は第９回目以降のブランドデザイニングの実習について評価する。
※授業は出席することが前提のため、出席に対しての加点および評価はおこなわない。

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
企業活動において「ブランド」は「人・物・金・情報」に次ぐ「第５の経営資源」と言われ、その重要性と有効性は企業経営全般に広く認識されています。この授業は、ブランドの価値とは何か？その価値はどのように形成されるか？について身近な事例をもとに講義とグループワークを通じて行います。授業には積極的な姿勢で参加してください。

オフィスアワー
月曜日～金曜日の昼休み。研究室に来てください。

教科書【学内販売：有】
なし

教科書【学内販売：無】
なし

参考書【学内販売：有】
なし

参考書【学内販売：無】
ブランドをデザインする!/ パイインターナショナル / 西澤明洋 /2011/978-4756240651 なぜみんなスターバックスに行きたがるのか？ / 講談社 / スコット・ベドベリー /2002/978-4062111553 ブランドらしさのつくり方 / ダイヤモンド社 / 博報堂ブランドデザイン /2006/978-4478067154

メディカルクラークⅠ　a・b（1 年）

田中　はるみ、中宮　朋子

授業テーマ
医療事務講座（医科）＝メディカルクラーク（医科）の資格取得を目標とする

授業の概要
医療事務の基礎知識として１．日本の医療保険制度の根幹となる健康保険法をはじめとし、国民健康保険法等を学習し、保険診療の規則や仕組みを理解していく。２．医療現場での患者接遇の学習と共に個人情報、守秘義務についても深める。３．保険診療の根幹である医科診療報酬点数表による注射、検査等の診療行為ごとの算定方法を学習する。また診療報酬明細書の記載要領を習得し、点検、訂正する技能を習得する。以上を通し、日本医療教育財団が実施する医療事務技能審査試験（医科）の受験対策の講座であり、メディカルクラーク（医科）の合格を目標とする。

到達目標１
医療保険制度の基礎知識を理解できる

その達成度を見る観点
医療保険制度の概要を理解しているか

その達成度を見るために用いる手法
・授業中の積極的な発言、取り組みの評価・毎回指定された課題について授業内容を理解し、問題が解けているか評価する。
・資格試験を踏まえ、授業の内容（保険制度、接遇、点数算定）から択一式、診療報酬明細書の点検を出題する予定

到達目標２
診療報酬の基礎知識を理解し点数算定できる

その達成度を見る観点
点数算定の基礎を理解し、正しく算定できているか

その達成度を見るために用いる手法
・授業中の積極的な発言、取り組みの評価
・毎回指定された課題について授業内容を理解し、問題が解けているか評価する。
・資格試験を踏まえ、授業の内容（保険制度、接遇、点数算定）から択一式、診療報酬明細書の点検を出題する予定

到達目標３
診療報酬明細書の記載要領を理解できる

その達成度を見る観点
明細書の記載要領を理解し、明細書作成・点検ができるか

その達成度を見るために用いる手法
・授業中の積極的な発言、取り組みの評価・毎回指定された課題について授業内容を理解し、問題が解けているか評価する。
・資格試験を踏まえ、授業の内容（保険制度、接遇、点数算定）から択一式、診療報酬明細書の点検を出題する予定

担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．オリエンテーション、医療保険制度 「課題:インデックス貼付」
2．医療保険制度 「課題：基礎ドリル、受験対策問題集（学科）」
3．患者接遇 「課題：技能審査問題集（実技Ⅰ）」
4．投薬 「課題：基礎ドリル、受験対策問題集（学科）」
5．注射 「課題：基礎ドリル、受験対策問題集（学科）」
6．画像診断 「課題:基礎ドリル、受験対策問題集(学科)」
7．初診料・再診料 「課題：基礎ドリル、受験対策問題集（学科）」
8．医学管理・在宅 「課題：基礎ドリル、受験対策問題集（学科）」
9．処置 「課題：基礎ドリル、受験対策問題集（学科）」
10．手術・麻酔 「課題:基礎ドリル、受験対策問題集（学科）」
11．検査 「課題：基礎ドリル、受験対策問題集（学科）」
12．検査 「課題：基礎ドリル、受験対策問題集（学科）」
13．リハビリ・入院 「課題：基礎ドリル、受験対策問題集（学科）」、技能審査試験案内
14．レセプト作成 「課題：テキスト４レセプト作成練習」
15．レセプト点検 「課題：基礎ドリル・レセプト点検、テキスト４レセプト点検練習」 メディカルクラーク応用ａの出席促し
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
主としてテキストを中心とした講義形式で行う。一方的に講義を聞く形ではなく、質問も行っていく。また、テキスト内の問題を電卓、スタディブック等を活用し授業を進める。課題として、毎回基礎ドリル、受験対策問題集等を課す。課題範囲は毎回指示します。課題提出有無のチェック、添削を行いフィードバックを行う。
授業時間外学修（予習・復習等）について
前回までの講義内容について必ず復習を行うこと。テキストを読み、スタディブック、テキストを参照しながら基礎ドリル、受験対策問題集に取り組む。その問題を各自丸つけをし、疑問等があればチェックをし質問すること。復習に重点を置き、毎週２時間程度かけること、次回の持ち物を確認し、忘れ物のないよう準備すること
定期試験の実施の有無
実施有り
定期試験方法
筆記試験
試験時間
70 分
試験持込み内容
可（教科書、ノート、配布プリント、電卓、問題集）
成績評価方法
・授業への参加度　30%
・課題提出評価　30%
・定期試験　40%　により評価を行う。
※授業には出席することが前提。
成績評価基準
・授業への参加度…授業中の積極的な発言、取り組みの評価
・課題提出…毎回指定された課題について授業内容を理解し、問題が解けているか評価する。
・定期試験…資格試験を踏まえ、授業の内容（保険制度、接遇、点数算定）から択一式、診療報酬明細書の点検を出題する予定。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
本科目は、日本医療教育財団が実施する医療事務技能審査試験（医科）の「メディカルクラーク（医科）」の資格取得をするものであることを強く意識し授業に取り組むことを望む。今後社会人として、医療現場での接遇･マナーを身につけることを目指すものである。※教科書については、第１回目の授業にて販売します（19,960 円）
オフィスアワー
質問等ある場合は、基本的に授業内に質問等を行うようにしてください。（授業開始、終了後も可）それ以外の質問等への対応方法については授業中に別途指示します。
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
「医療事務テキスト１～４」
「スタディブック１・２」
「医療事務ハンドブック」
「Ｍｙベストノート」
「基礎ドリル」（株）ニチイ学館
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

メディカルクラークⅡ　a・b（1 年）

田中　はるみ、中宮　朋子

授業テーマ
医療事務講座（医科）＝メディカルクラーク（医科）の資格取得を目標とする
授業の概要
医療事務の基礎知識として１．日本の医療保険制度の根幹となる健康保険法をはじめとし、国民健康保険法等を学習し、保険診療の規則や仕組みを理解していく。２．医療現場での患者接遇の学習と共に個人情報、守秘義務についても深める。３．保険診療の根幹である医科診療報酬点数表による注射、検査等の診療行為ごとの算定方法を学習する。また診療報酬明細書の記載要領を習得し、点検、訂正する技能を習得する。以上を通し、日本医療教育財団が実施する医療事務技能審査試験（医科）の受験対策の講座であり、メディカルクラーク（医科）の合格を目標とする。
到達目標１
医療機関において、患者接遇・受付の基礎ができる
その達成度を見る観点
医療保険制度の概要を理解しているか
その達成度を見るために用いる手法
・授業中の積極的な発言、取り組みの評価・毎回指定された課題について授業内容を理解し、問題が解けているか評価する。
・資格試験を踏まえ、授業の内容（保険制度、接遇、点数算定）から択一式、診療報酬明細書の点検を出題する予定
到達目標２
診療報酬の基礎知識を理解し点数算定できる
その達成度を見る観点
点数算定の基礎を理解し、正しく算定できているか
その達成度を見るために用いる手法
・授業中の積極的な発言、取り組みの評価
・毎回指定された課題について授業内容を理解し、問題が解けているか評価する。
・資格試験を踏まえ、授業の内容（保険制度、接遇、点数算定）から択一式、診療報酬明細書の点

到達目標 3
診療報酬明細書の記載要領を理解できる
その達成度を見る観点
明細書の記載要領を理解し、明細書作成・点検ができるか
その達成度を見るために用いる手法
・授業中の積極的な発言、取り組みの評価
・毎回指定された課題について授業内容を理解し、問題が解けているか評価する。
・資格試験を踏まえ、授業の内容（保険制度、接遇、点数算定）から択一式、診療報酬明細書の点
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．オリエンテーション、医療保険制度 「課題:インデックス貼付」
2．医療保険制度 「課題：基礎ドリル、受験対策問題集（学科）」
3．患者接遇 「課題：技能審査問題集（実技Ⅰ）」
4．投薬 「課題：基礎ドリル、受験対策問題集（学科）」
5．注射 「課題：基礎ドリル、受験対策問題集（学科）」
6．画像診断 「課題:基礎ドリル、受験対策問題集(学科)」
7．初診料・再診料 「課題：基礎ドリル、受験対策問題集（学科）」
8．医学管理・在宅 「課題：基礎ドリル、受験対策問題集（学科）」
9．処置 「課題：基礎ドリル、受験対策問題集（学科）」
10．手術・麻酔 「課題:基礎ドリル、受験対策問題集（学科）」
11．検査 「課題：基礎ドリル、受験対策問題集（学科）」
12．検査 「課題：基礎ドリル、受験対策問題集（学科）」
13．リハビリ・入院 「課題：基礎ドリル、受験対策問題集（学科）」、技能審査試験案内
14．レセプト作成 「課題:テキスト４レセプト作成練習」
15．レセプト点検 「課題：基礎ドリル・レセプト点検、テキスト４レセプト点検練習」 メディカルクラーク応用ａの出席促し
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
主としてテキストを中心とした講義形式で行う。一方的に講義を聞く形ではなく、質問も行っていく。また、テキスト内の問題を電卓、スタディブック等を活用し授業を進める。課題として、毎回基礎ドリル、受験対策問題集等を課す。課題範囲は毎回指示します。課題提出有無のチェック、添削を行いフィードバックを行う。
授業時間外学修（予習・復習等）について
前回までの講義内容について必ず復習を行うこと。テキストを読み、スタディブック、テキストを参照しながら基礎ドリル、受験対策問題集に取り組む。その問題を各自丸つけをし、疑問等があればチェックをし質問すること。復習に重点を置き、毎週２時間程度かけること、次回の持ち物を確認し、忘れ物のないよう準備すること
定期試験の実施の有無
実施有り
定期試験方法
筆記試験
試験時間
70 分
試験持込み内容
可（教科書、ノート、配布プリント、電卓、問題集）
成績評価方法
・授業への参加度　30%
・課題提出評価　30%
・定期試験　40%　により評価を行う。
※授業には出席することが前提。
成績評価基準
・授業への参加度…授業中の積極的な発言、取り組みの評価
・課題提出…毎回指定された課題について授業内容を理解し、問題が解けているか評価する。
・定期試験…資格試験を踏まえ、授業の内容（保険制度、接遇、点数算定）から択一式、診療報酬明細書の点検を出題する予定。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
本科目は、日本医療教育財団が実施する医療事務技能審査試験（医科）の「メディカルクラーク（医科）」の資格取得をするものであることを強く意識し授業に取り組むことを望む。今後社会人として、医療現場での接遇･マナーを身につけることを目指すものである。
※教科書については、第１回目の授業にて販売します（19,960 円）
オフィスアワー
質問等ある場合は、基本的に授業内に質問等を行うようにしてください。（授業開始、終了後も可）それ以外の質問等への対応方法については授業中に別途指示します。
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
「医療事務テキスト１～４」
「スタディブック１・2」
「医療事務ハンドブック」
「Ｍｙベストノート」
「基礎ドリル」（株）ニチイ学館
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

メディカルクラーク応用　a・b（1 年）

田中　はるみ・中宮　朋子

授業テーマ
医療事務講座（医科）＝メディカルクラーク（医科）の資格取得を目標とする
授業の概要
メディカルクラークⅠａ、Ⅱａ　での保険制度、接遇、医科診療報酬点数の算定方法の学習を踏まえ、日本医療教育財団が実施する「医療事務技能審査試験（医科）」の受験対策の授業であり、「メディカルクラーク（医科）」を合格することを目標とする。主に受験対策問題集に取り組む。
到達目標 1
診療録（カルテ）を正しく読むことができる
その達成度を見る観点
指定された課題について理解し、問題が解けているか評価
その達成度を見るために用いる手法
毎回、課題提出、添削を行う
到達目標 2
診療報酬明細書の誤りを発見できる
その達成度を見る観点
指定された課題について理解し、問題が解けているか評価
その達成度を見るために用いる手法
毎回、課題提出、添削を行う

到達目標３
医療事務技能審査試験に向けての解答ができる
その達成度を見る観点
資格試験を踏まえ、学科・実技Ⅱが解けているか評価
その達成度を見るために用いる手法
毎回、課題提出、添削を行う
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
１．医療事務応用　受験対策問題集レセプト点検Ａ「課題：レセプト点検」
２．医療事務応用　受験対策問題集レセプト点検Ａ「課題：レセプト点検」
３．医療事務応用　受験対策問題集レセプト点検Ｂ「課題：レセプト点検」
４．医療事務応用　受験対策問題集レセプト点検Ｂ「課題：レセプト点検」
５．医療事務応用　受験対策問題集レセプト点検Ｃ「課題：レセプト点検」
６．医療事務応用　受験対策問題集レセプト点検Ｃ「課題：レセプト点検」
７．医療事務応用　受験対策問題集レセプト点検Ｄ「課題：レセプト点検」
８．医療事務応用　受験対策問題集レセプト点検Ｅ　学科、接遇のまとめ、試験までの取り組みスケジュール「課題：試験までに受験対策問題集を繰り返し２回行うこと」
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
主に受験対策問題集を使用し、講義形式で行う。カルテの内容を説明し、レセプトの点検上注意すべきことの説明を行い授業を進める。テキスト、スタディ、点数表を使用し、各自レセプト点検を行い解答例で確認すること。点数算定の基本は理解していることを前提に進める。課題としてレセプト点検の復習を課す。課題提出有無のチェック、添削を行いフィードバックを行う。必要に応じ、小テストによる理解度の確認。
授業時間外学修（予習・復習等）について
医療事務技能審査試験（医科）の受験対策として、メディカルクラークⅠ、Ⅱ、応用を全て履修すること。前回までの講義内容について必ず復習を行うこと。疑問等があれば疑問点にチェックをし質問すること。復習に重点を置き、毎回２時間程度かけること、次回の持ち物を確認し忘れ物のないよう準備すること。
定期試験の実施の有無
実施有り
定期試験方法
筆記試験
試験時間
70 分
試験持込み内容
可（教科書、ノート、配布プリント、電卓、問題集）
成績評価方法
授業中の課題、授業態度での総合評価とする。※授業には出席することが前提。
成績評価基準
・授業への参加度…授業中の積極的な発言、取り組みの評価
・課題提出…毎回指定された課題について授業内容を理解し、問題が解けているか評価する。
・定期試験…資格試験を踏まえ、授業の内容（保険制度、接遇、点数算定）から択一式、診療報酬明細書の点検を出題する予定。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
本科目は、日本医療教育財団が実施する医療事務技能審査試験（医科）の「メディカルクラーク（医科）」の資格取得をするものであることをより強く意識し授業に取り組むことを望む。
オフィスアワー
質問等ある場合は、基本的に授業内に質問等を行うようにしてください。（授業開始、終了後も可）それ以外の質問等への対応方法については授業中に別途指示します。
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
「医療事務テキスト１～４」
「スタディブック１・２」
「医療事務ハンドブック」
「Ｍｙベストノート」
「基礎ドリル」（株）ニチイ学館
参考書【学内販売：有】
質問等ある場合は、基本的に授業内に質問等を行うようにしてください。（授業開始、終了後も可）それ以外の質問等への対応方法については授業中に別途指示します。
参考書【学内販売：無】
なし

ドクターズクラークⅠ（1 年）

田中　はるみ

授業テーマ
医師事務作業補助技能認定試験＝ドクターズクラークの資格取得を目標とする
授業の概要
日本医療教育財団が実施する医師事務作業補助技能認定試験の受験対策の講座であり、「ドクターズクラーク」の合格を目標とする。医師事務作業補助者とは、多忙な勤務医の負担軽減のために、一定の条件の下で医師の指示のもとに医療文書作成などの代行を行い、また、届出保険医療機関で診療報酬に加算ができるものです。医師に代わり担当する業務ですので、すべて医師の責任下において許可されていることを忘れてはならないものです。学習にあたっては、常にこの制度の目的を忘れずに、医療人としての高いモラルと医師の行っている事務作業を円滑にサポートするために必要な、一定の医療知識を確実に身につけることが大切となります。
到達目標１
医療保険制度・医療関連法規を理解できる
その達成度を見る観点
医療保険制度・医療関連法規の概要を理解しているか。
その達成度を見るために用いる手法
授業中の積極的な発言、取り組みの評価。毎回指定された課題について授業内容を理解し、問題が解けているか評価する。資格試験を踏まえ、授業の内容から択一式、医療文書作成を出題する予定。
到達目標２
医学一般・薬学一般を身につける
その達成度を見る観点
医学一般・薬学一般の基礎知識が学べているか。
その達成度を見るために用いる手法
授業中の積極的な発言、取り組みの評価。毎回指定された課題について授業内容を理解し、問題が解けているか評価する。資格試験を踏まえ、授業の内容から択一式、医療文書作成を出題する予定。

到達目標 3
各種医療文書を作成できる
その達成度を見る観点
各種医療文書の特性を理解し、作成できているか。
その達成度を見るために用いる手法
授業中の積極的な発言、取り組みの評価。毎回指定された課題について授業内容を理解し、問題が解けているか評価する。資格試験を踏まえ、授業の内容から択一式、医療文書作成を出題する予定。
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．オリエンテーション・医師事務作業補助業務と診療報酬（テキスト1～4）［課題：インデックス貼付］
2．医療保険制度、医療関連法規（テキスト1 p.27～47）［課題：技能認定問題集　学科］
3．医療保険制度、医療関連法規（テキスト1 p.87～114）［課題：技能認定問題集　学科］
4．医療保険制度、医療関連法規（テキスト1 p.146～169）［課題：技能認定問題集　学科］
5．医学一般・薬学一般（テキスト2 p.2～66）［課題：技能認定問題集　学科］
6．医学一般・薬学一般(テキスト2 p.147～220）［課題:技能認定問題集　学科］
7．診療録の記載事項の基本（テキスト3 p.23～88）［課題：技能認定問題集　学科］
8．個人情報保護（テキスト3 p.101～130）［課題：技能認定問題集　学科］
9．修了テスト1(テキスト1～3､レポート1.2・小テスト）［課題：技能認定問題集　学科］
10. 各種診断書、申請書、証明書（健康診断書・出席停止証明書）［課題：技能認定問題集　学科・実技、テキスト4　文書作成］
11. 各種診断書、申請書、証明書（診療情報提供書・出生証明書）［課題：技能認定問題集　学科・実技、テキスト4　文書作成］
12. 各種診断書､申請書､証明書（傷病手当金支給申請書・休業補償給付支給請求書）［課題：技能認定問題集　学科・実技、テキスト4　文書作成］
13. 各種診断書、申請書、証明書（死亡診断書・医療要否意見書）［課題：技能認定問題集　学科・実技、テキスト4　文書作成］
14. 修了テスト2（テキスト1～4・小テスト）［課題：技能認定問題集　学科・実技、テキスト4　文書作成］
15. ヒューマンスキル・ビジネススキル(テキスト5）［課題：技能認定問題集を受験対策とし、くり返し行う］
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
主としてテキストを中心とした講義形式で行う。一方的に講義を聞く形ではなく､質問も行っていく。課題として、技能認定試験問題集等を課す。課題提出有無のチェック、添削を行いフィードバックを行う。課題範囲は毎回指示します。必要に応じ授業内で小テストを行い、理解度の確認を行っていく。
授業時間外学修（予習・復習等）について
前回までの講義内容について必ず復習を行うこと。テキストを読み、毎回技能認定試験問題集に取り組む。その問題を各自丸付けをし、疑問等があれば疑問点にチェックし質問すること。復習に重点を置き、毎週2時間程度かけること、次回の持ち物を確認し忘れ物のないよう準備すること。
定期試験の実施の有無
実施有り
定期試験方法
筆記試験
試験時間
60分
試験持込み内容
可（教科書、ノート、配布プリント、問題集、電卓）
成績評価方法
・授業への参加度（20%）
・課題提出評価（30%）
・定期試験、小テスト（50%）により評価を行う。
※授業には出席することが前提。
成績評価基準
・授業への参加度…授業中の積極的な発言、取り組みの評価
・課題提出…毎回指定された課題について授業内容を理解し、問題が解けているか評価する。
・定期試験…資格試験を踏まえ、授業の内容から択一式、医療文書作成を出題する予定。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
メディカルクラークⅠ・Ⅱ･応用を全て履修した者に限る。本科目は、日本医療教育財団が実施する医師事務作業補助技能認定試験の「ドクターズクラーク」の資格取得をするものであることを、強く意識し授業に取り組むことを望む。医療人としての高いモラルと医師の行っている事務作業を円滑にサポートするために必要な、一定の医療知識を身につけることを望む。
※教科書については、第1回目の授業にて販売します（12,345円）
オフィスアワー
質問等ある場合は、基本的に授業内に質問等を行うようにしてください。（授業開始、終了後も可）それ以外の質問等への対応方法については、授業中に別途指示します。
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
「メディカルDクラーク講座テキスト1～5」
「メディカルDクラーク講座修了試験問題」（株）ニチイ学館
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

ドクターズクラークⅡ（1年）

田中　はるみ

授業テーマ
医師事務作業補助技能認定試験＝ドクターズクラークの資格取得を目標とする
授業の概要
日本医療教育財団が実施する医師事務作業補助技能認定試験の受験対策の講座であり、「ドクターズクラーク」の合格を目標とする。医師事務作業補助者とは、多忙な勤務医の負担軽減のために、一定の条件の下で医師の指示のもとに医療文書作成などの代行を行い、また、届出保険医療機関で診療報酬に加算ができるものです。医師に代わり担当する業務ですので、すべて医師の責任下において許可されていることを忘れてはならないものです。学習にあたっては、常にこの制度の目的を忘れずに、医療人としての高いモラルと医師の行っている事務作業を円滑にサポートするために必要な、一定の医療知識を確実に身につけることが大切となります。

到達目標 1
医療保険制度・医療関連法規を理解できる
その達成度を見る観点
医療保険制度・医療関連法規の概要を理解しているか。
その達成度を見るために用いる手法
授業中の積極的な発言、取り組みの評価。毎回指定された課題について授業内容を理解し、問題が解けているか評価する。資格試験を踏まえ、授業の内容から択一式、医療文書作成を出題する予定。
到達目標 2
医学一般・薬学一般を身につける
その達成度を見る観点
医学一般・薬学一般の基礎知識が学べているか。
その達成度を見るために用いる手法
授業中の積極的な発言、取り組みの評価。毎回指定された課題について授業内容を理解し、問題が解けているか評価する。資格試験を踏まえ、授業の内容から択一式、医療文書作成を出題する予定。
到達目標 3
ヒューマンスキル・ビジネススキルを身につける
その達成度を見る観点
各種医療文書の特性を理解し、作成できているか。
その達成度を見るために用いる手法
授業中の積極的な発言、取り組みの評価。毎回指定された課題について授業内容を理解し、問題が解けているか評価する。資格試験を踏まえ、授業の内容から択一式、医療文書作成を出題する予定。
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．医療保険制度、医療関連法規（テキスト 1 p.2～26）［課題：技能認定問題集　学科］
2．医療保険制度、医療関連法規（テキスト 1 p.47～86）［課題：技能認定問題集　学科］
3．医療保険制度、医療関連法規（テキスト 1 p.115～145）［課題：技能認定問題集　学科］
4．医療保険制度、医療関連法規（テキスト 1 p.169～198）［課題：技能認定問題集　学科］
5．医学一般、薬学一般（テキスト 2 p.67～146）［課題：技能認定問題集　学科］
6．医学一般、薬学一般（テキスト 2 p.221～294）［課題：技能認定問題集　学科］
7．電子カルテ、カルテ三原則（テキスト 3 p.89～100）［課題：技能認定問題集　学科］
8．院内感染予防、医療安全管理（テキスト 3 p.131～145）［課題：技能認定問題集　学科］
9．医療文書、診断書、証明書　［課題：技能認定問題集　学科］
10．各種診断書、申請書、証明書（自賠責診断書・治療用装具証明書）［課題：技能認定問題集　学科・実技、テキスト 4　文書作成］
11．各種診断書、申請書、証明書（入院手術証明書）［課題：技能認定問題集　学科・実技、テキスト 4　文書作成］
12．各種診断書、申請書、証明書（主治医意見書）［課題：技能認定問題集　学科・実技、テキスト 4　文書作成］
13．各種診断書、申請書、証明書（院外処方せん）［課題：技能認定問題集　学科・実技、テキスト 4　文書作成］
14．受験対策、小テスト解説　［課題：技能認定問題集　学科・実技、テキスト 4　文書作成］
15．ヒューマンスキル・ビジネススキル（テキスト 5）［課題：技能認定問題集を受験対策とし、くり返し行う］
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
主としてテキストを中心とした講義形式で行う。一方的に講義を聞く形ではなく、質問も行っていく。課題として、技能認定試験問題集等を課す。課題提出有無のチェック、添削を行いフィードバックを行う。課題範囲は毎回指示します。必要に応じ授業内で小テストを行い、理解度の確認を行っていく。
授業時間外学修（予習・復習等）について
前回までの講義内容について必ず復習を行うこと。テキストを読み、毎回技能認定試験問題集に取り組む。その問題を各自丸付けをし、疑問等があれば疑問点にチェックをし質問すること。復習に重点を置き、毎週 2 時間程度かけること、次回の持ち物を確認し忘れ物のないよう準備すること。
定期試験の実施の有無
実施有り
定期試験方法
筆記試験
試験時間
60 分
試験持込み内容
可（教科書、ノート、配布プリント、問題集、電卓）
成績評価方法
・授業への参加度（20%）
・課題提出評価（30%）
・定期試験、小テスト（50%）により評価を行う。
※授業には出席することが前提
成績評価基準
・授業への参加度…授業中の積極的な発言、取り組みの評価
・課題提出…毎回指定された課題について授業内容を理解し、問題が解けているか評価する。
・定期試験…資格試験を踏まえ、授業の内容から択一式、医療文書作成を出題する予定。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
メディカルクラークⅠ・Ⅱ・応用を全て履修した者に限る。本科目は、日本医療教育財団が実施する医師事務作業補助技能認定試験の「ドクターズクラーク」の資格取得をするものであることを、強く意識し授業に取り組むことを望む。医療人としての高いモラルと医師の行っている事務作業を円滑にサポートするために必要な、一定の医療知識を身につけることを望む。
※教科書は、第 1 回目の授業にて販売します（12,345 円）
オフィスアワー
質問等がある場合は、基本的に授業内に質問等を行うようにしてください。（授業開始、終了後も可）それ以外の質問等への対応方法については、授業中に別途指示します。
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
「メディカルＤクラーク講座テキスト１～５」
「メディカルＤクラーク講座修了試験問題」（株）ニチイ学館
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

調剤報酬請求事務（1 年）

附　育代

授業テーマ
調剤報酬算定の技能を身につける

授業の概要
調剤薬局事務の基礎知識を習得し、薬局での接遇マナーや調剤報酬明細書（レセプト）の記載要領・点検要領を学ぶ
到達目標 1
医療保険制度を理解できる
その達成度を見る観点
添削の上、完全解答を求めます
その達成度を見るために用いる手法
単元ごとに小テストを行います
到達目標 2
診療報酬明細書の作成、点検ができる
その達成度を見る観点
添削の上、完全解答を求めます
その達成度を見るために用いる手法
課題となる調剤報酬明細書の作成を行います
到達目標 3
患者接遇と受付実務を身につける
その達成度を見る観点
添削の上、完全解答を求めます
その達成度を見るために用いる手法
単元ごとに小テストを行います
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．オリエンテーション（授業概要・進め方について説明）・医療保険制度（テキスト 1 p.8～28）
2．医療保険制度（テキスト 1 p.29～37、テキスト 2 p.120～143）
3．調剤報酬における具体的内容の理解（テキスト 2 p.8～14、p.105～147）［宿題：マイベストノート演習 A］
4. 調剤報酬における具体的内容の理解（テキスト 2 p.8～14、p.105～147）［宿題：マイベストノート演習 A］
5．調剤報酬における具体的内容の理解（テキスト 2 p.15～49）［宿題：マイベストノート演習 B］
6．調剤報酬における具体的内容の理解（テキスト 2 p.15～49）［宿題：マイベストノート演習 B］
7．調剤報酬における具体的内容の理解（テキスト 2 p.15～49）［宿題：マイベストノート演習 B］
8．調剤報酬における具体的内容の理解（テキスト 2 p.50～52、マイベストノート演習 C）
9．演習問題への取り組み（テキスト 2 p.53～78、マイベストノート演習 D・E）
10. 演習問題への取り組み（テキスト 2 p.53～78、マイベストノート演習 D・E）
11. 演習問題への取り組み（テキスト 2 p.53～78、マイベストノート演習 D・E）
12. 演習問題への取り組み（テキスト 2 p.79～、マイベストノート演習 F）
13. 修了試験（マイベストノート） 提出の上、添削して返却（15 回目までに完全解答を目標とします）
14. 患者接遇と受付実務　医療機関、薬局における接遇マナー及び一般的マナー
15. 全体のまとめ
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
講義形式で行う。単元ごとに演習問題を宿題とし、理解度を確認します。「明細書作成」については、各個人で作成できるよう課題に取り組み、最終的に「修了試験」の完全解答を目標とします。
授業時間外学修（予習・復習等）について
毎回復習が必要（宿題あり）
定期試験の実施の有無
実施有り
定期試験方法
筆記試験
試験時間
90 分
試験持込み内容
電子機器以外持込可（テキスト、ノート等）
成績評価方法
・定期試験（40%）
・小テスト
・レポート（各 10%）
・授業への取り組み状況（40%）により評価を行う
成績評価基準
定期試験は、授業で使用するテキスト等の内容から選択方式で出題します。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
教科書については、第 1 回目の授業にて販売します。
3,601 円前回の内容を踏まえて毎回新しい単元へ進むため、欠席のないようにしてください。
オフィスアワー
授業に関する質問は、原則授業終了時に、直接質問してください。
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
「調剤薬局テキスト（医療保険制度と接遇マナー編）」
「調剤薬局テキスト（調剤報酬編）」
「調剤保険薬早見表」
「調剤マイベストノート」（株）ニチイ学館
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

ケアクラーク（1 年）

附　育代

授業テーマ
ケアクラーク技能認定試験＝ケアクラークの資格取得を目標とする
授業の概要
・日本医療教育財団が実施するケアクラーク技能認定試験の受験対策の講座であり、ケアクラークの合格を目標とする。
・介護事務の基礎知識を習得し、介護現場での接遇マナーや介護給付費明細書の記載要領を学ぶ。
到達目標 1
介護保険制度の基礎知識を理解できる
その達成度を見る観点
添削の上、完全解答を求めます
その達成度を見るために用いる手法
単元ごとに小テストを行います
到達目標 2
介護報酬を理解し介護給付費の算定ができる
その達成度を見る観点
添削の上、完全解答を求めます
その達成度を見るために用いる手法
単元ごとに小テストを行います
到達目標 3
介護給付費明細書の記載要領を理解できる
その達成度を見る観点
添削の上、完全解答を求めます

その達成度を見るために用いる手法
課題となる介護給付費明細書の作成を行います
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．オリエンテーション／授業概要、進め方について説明・ケアクラーク技能認定試験について説明
2．介護保険制度全体像について（テキスト1 p.6～52）［課題：レポート］
3．介護保険制度全体像について（テキスト1 p.53～75）［課題：レポート］
4．介護報酬請求の具体的内容について（テキスト1 p.76～130）［課題：レポート］
5．介護報酬請求の具体的内容について(テキスト1 p.131～190）［課題：レポート］
6．介護給付費の請求、明細書記載（テキスト1 p.191～、別冊）　在宅サービスの明細書作成
7．介護給付費の請求、明細書記載（テキスト1 p.191～、別冊）　在宅サービスの明細書作成
8．介護給付費の請求、明細書記載（テキスト1 p.191～、別冊）　施設サービスの明細書作成
9．介護給付費の請求、明細書記載（テキスト1 p.191～、別冊）　施設サービスの明細書作成
10．介護給付費の請求、明細書記載（テキスト1 p.191～、別冊）　在宅サービス、施設サービスの明細書点検
11．社会福祉、老人福祉　理念、意義から制度の内容までの理解　［課題：レポート］
12．人間関係、老人・障害者の心理　老人・障害者の特徴を理解し対応を考える　［課題：レポート］
13．接遇マナー　一般的なマナーから「ケアクラーク」としてのマナーまで身につけていく
14．医学一般、リハビリテーション　［課題：レポート］
15．全体のまとめ　ケアクラーク技能認定試験対策※［課題：レポート］は原則、翌週提出とします
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
講義形式で行う。各単元ごとにレポート（課題問題）にて理解度を確認します。「明細書記載」については、最終的には各個人で作成できるようレポート（課題問題）に取り組むこと。
授業時間外学修（予習・復習等）について
毎回復習（宿題）が1時間程度必要。次回授業時に提出
定期試験の実施の有無
実施有り
定期試験方法
筆記試験
試験時間
90分
試験持込み内容
電子機器以外は持込可（テキスト、ノート等）
成績評価方法
・定期試験（40%）
・小テスト・レポート（各10%）
・授業への取組状況（40%）により評価を行う
成績評価基準
定期試験は、授業で使用するテキストの内容から問題を選択形式で出題します。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
・教科書については、第1回目の授業にて販売します。7,857円
・前回の内容を踏まえて、毎回新しい単元へ進むため、欠席のないようにしてください。
オフィスアワー
授業に関する質問は、原則授業終了時に、直接質問してください。
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
「介護保険請求実務」
「介護請求実務（別冊）」
「社会福祉と人間関係」（株）東京丸の内出版
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

エンターテイメント論Ⅰ（1年）

鹿島　我

授業テーマ
男性アイドル界の歴史と現状の把握
授業の概要
マーケットがほぼ1つのプロダクションによる独占状態にある日本の男性アイドル界。このような状況はどのようにして生まれ、現在に至っているのか。また、そのためにどんな戦術と戦略が用いられ、そこからどんな社会現象が生まれているのか。この授業では、わかりやすく、なじみのある男性アイドル界について様々な角度から学ぶことで、日本のエンターテイメントの世界を深く学んでいくきっかけとする。
到達目標1
男性アイドル界における構造と仕組みを理解する
その達成度を見る観点
男性アイドル界の構造と仕組みを理解している
その達成度を見るために用いる手法
毎回の授業終了時に提出する小レポート、3回のレポート、定期試験の総合的な判断
到達目標2
男性アイドル界における戦術と戦略を理解する
その達成度を見る観点
男性アイドル界の戦術と戦略を理解している
その達成度を見るために用いる手法
毎回の授業終了時に提出する小レポート、3回のレポート、定期試験の総合的な判断
到達目標3
男性アイドル界におけるコンテンツのコンセプトを理解する
その達成度を見る観点
男性アイドル界のコンテンツのコンセプトを理解している
その達成度を見るために用いる手法
毎回の授業終了時に提出する小レポート、3回のレポート、定期試験の総合的な判断
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．ガイダンス＜この科目で扱う授業概要、進め方について説明＞
2．男性アイドル界の概要＜男性アイドル界の概要についての講義＞
3．男性アイドル界の歴史1（20世紀）＜20世紀までの男性アイドル界の歴史についての講義＞
4．男性アイドル界の歴史2（21世紀）＜21世紀以降の男性アイドル界の歴史についての講義＞
5．成功したアイドルユニット1　結成～＜一時代を築いた往年の男性アイドルユニット誕生についての講義＞

6．成功したアイドルユニット1～現在～＜一時代を築いた往年の男性アイドルユニットが現在に至るまでの講義＞
7．男性アイドル界を生き抜く戦術と戦略1「コンサート」＜コンサートについて戦術的、戦略観点からの講義＞
8．男性アイドル界を生き抜く戦術と戦略2「ドラマ」＜ドラマについて戦術的、戦略的観点からの講義＞
9．男性アイドル界を生き抜く戦術と戦略3「バラエティ番組」＜バラエティ番組への出演について戦術的、戦略観点からの講義＞
10. 男性アイドル界を生き抜く戦術と戦略4「育成」＜育成について戦術的、戦略観点からの講義＞
11. 成功したアイドルユニット2　結成～＜一時代を築いた若手男性アイドルユニット誕生についての講義＞
12. 成功したアイドルユニット2　～現在＜一時代を築いた若手男性アイドルユニットが現在に至るまでの講義＞
13. 男性アイドル界を生き抜く戦術と戦略5「マスコミ対策」＜マスコミ対策について戦術的、戦略観点からの講義＞
14. アイドルユニットの解消・解散＜一時代を築いた男性アイドルユニットが何故解散に至ったかについての講義＞
15. 男性アイドル界の問題点と今後＜男性アイドル界の現状と問題点についてのまとめの講義＞

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
教員作成のスライドを用いた講義形式で授業を進める。必要に応じて数回程度DVD等の視聴を行う。レポートは授業内で3回実施する。各自の授業理解度を確認するため、毎回授業終了時に授業内容についての小レポートの提出を義務づけ、次回授業の冒頭で前回の振り返りとともにフィードバックする。

授業時間外学修（予習・復習等）について
授業内で学習した内容に関するDVDや放送中の番組の視聴、関連する書籍を読み進める等、予習・復習に最低1時間程度を必要とする。

定期試験の実施の有無
実施有り

定期試験方法
筆記試験

試験時間
60分

試験持込み内容
自筆ノートと授業内で配布した資料のみ可

成績評価方法
定期試験（40%）
レポート（30%）
平常点（30%）

成績評価基準
「定期試験は記述式解答が中心。「レポート」は授業内で3回実施、それぞれ提出点と内容点合わせて10点満点とする。配点はその都度変更するが公表はしない。レポートテーマとの整合性を特に評価する。なお、ネット等からのコピーは評価なしとする。「平常点」は授業態度、小レポートの記述量、記述内容を総合的に判断する。

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
この授業では、「今、起こっていること」を大切にしたい。アイドルが好きな学生はもちろん、アイドルに全く興味がない学生は「何故、アイドルにそれだけ熱くなれるのか？」を検証するために受講してもらえればと思う。授業なので多角的にアイドルの活動やそれを支える組織についても検証していく。また、授業期間中に放送されているドラマやバラエティ番組の視聴を求めることがある。授業態度については、私語には厳しく対処する。一切の私語は認めない。私語が続くようなら教室からの退出を求め、応じない場合は単位を与えないので、そのつもりで受講してほしい。実務家教員として…大学在学中に放送作家として活動を開始。以後、20年に渡って放送業界で活動を続ける。主な構成番組は「キスした？ SMAP」「アタック25」「たかじんnoばぁ～」「熱闘甲子園」「虎バン」等。主な連載は産経新聞夕刊「キラメキTV塾」日刊ゲンダイ「大阪発テレビ業界まんだら」等。

オフィスアワー
研究室番号　6号館　207号室オフィスアワー　前期・後期とも火曜～金曜の昼休み（12：00～12：50）

教科書【学内販売：有】
なし

教科書【学内販売：無】
なし

参考書【学内販売：有】
なし

参考書【学内販売：無】
なし

エンターテイメント論Ⅱ（1年）

鹿島　我

授業テーマ
日本アニメ映画界の歴史と現状の把握

授業の概要
世界的な映画祭での高い評価や興行成績をみても日本のアニメ映画界は世界のトップレベルにあるといえる。この授業では、アニメ映画界がたどってきた歴史を踏まえたうえで、監督のこだわりと演出法、製作企業としての戦術と戦略を学ぶことで、日本のアニメ映画界の現状と問題点を理解する。

到達目標1
日本のアニメ映画界の現状を理解する

その達成度を見る観点
日本のアニメ映画界の現状を理解している

その達成度を見るために用いる手法
毎回の授業終了時に提出する小レポート、3回のレポート、定期試験の総合的な判断

到達目標2
日本のアニメ映画界の戦術と戦略を理解する

その達成度を見る観点
日本のアニメ映画界の戦術と戦略を理解している

その達成度を見るために用いる手法
毎回の授業終了時に提出する小レポート、3回のレポート、定期試験の総合的な判断

到達目標3
日本のアニメ映画における作品コンセプトを理解する

その達成度を見る観点
日本のアニメ映画界の作品コンセプトを理解している

その達成度を見るために用いる手法
毎回の授業終了時に提出する小レポート、3回のレポート、定期試験の総合的な判断

担当形態
単独

授業計画及び授業内容
1．ガイダンス　＜この科目で扱う授業概要、進め方について説明＞
2．日本のアニメ映画界の現状1（人物を中心に）　＜日本のアニメ界の現状を主要人物に絞って講義＞
3．日本のアニメ映画化の現状2（組織を中心に）　＜日

本のアニメ界の現状を組織に絞って講義＞
4．作品の分析（初期３作品の１）　＜日本のアニメ界の初期の３作品１についての講義＞
5．作品の視聴１（初期３作品の１）　＜日本のアニメ界の初期の３作品１を視聴し、レポート作成１の実施＞
6．作品の分析と視聴１（初期３作品の２　出発）　＜日本のアニメ界の初期の３作品２についての講義と作品視聴＞
7．作品の分析と視聴２（初期３作品の３　低評価）　＜日本のアニメ界の初期の３作品３についての講義と作品視聴＞
8．作品の分析と視聴３（転換期２作品の１　起死回生）　＜日本のアニメ界の転換期の２作品１についての講義と作品視聴＞
9．作品の視聴２（転換期２作品の２）　＜日本のアニメ界の転換期の２作品２を視聴し、レポート作成２の実施＞
10．作品の分析と視聴４（最盛期２作品の１　開花）　＜日本のアニメ界の最盛期の２作品１についての講義と作品視聴＞
11．作品の分析と視聴５（最盛期２作品の２　不動）　＜日本のアニメ界の最盛期の２作品２についての講義と作品視聴＞
12．作品の分析と視聴６（安定期３作品の１　新境地）　＜日本のアニメ界の安定期の３作品１についての講義と作品視聴＞
13．作品の分析と視聴７（安定期３作品の２　酷評）　＜日本のアニメ界の安定期の３作品２についての講義と作品視聴＞
14．作品の分析と視聴８（安定期３作品の３　マンネリ）　＜日本のアニメ界の安定期の３作品３についての講義と作品視聴＞
15．作品の分析と視聴９（最終的作品　引退表明）　＜日本のアニメ界の最終的な作品についての講義と作品視聴、レポート作成３の実施＞

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
教員作成のスライドを用いた講義形式で授業を進める。ほぼ毎回、DVD 等の視聴を行う。レポートは授業内で３回実施する。各自の授業理解度を確認するため、毎回授業終了時に授業内容についての小レポートの提出を義務つけ、次回授業の冒頭で前回の振り返りとともにフィードバックする。

授業時間外学修（予習・復習等）について
授業内での作品視聴は 20 分～ 30 分程度を予定しているので、予習・復習のための全編視聴、また、関連書籍や関連番組の資料に１時間～２時間を必要とする。

定期試験の実施の有無
実施有り

定期試験方法
筆記試験

試験時間
60 分

試験持込み内容
自筆ノート、授業内で配布した資料のみ可能

成績評価方法
定期試験（40%）レポート（30%）平常点（30%）

成績評価基準
「定期試験」は記述式解答が中心。「レポート」は授業内で３回実施、それぞれ提出点と内容点合わせて 10 点満点とする。配点はその都度変更するが公表はしない。レポートテーマとの整合性を特に評価する。なお、ネット等からのコピーは評価なしとする。「平常点」は授業での態度、小レポートの記述量、記述内容を総合的に判断する。

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
受講するにあたって、日本のアニメ映画作品を多数視聴しておく必要は特にない。未視聴作品が多数あっても受講に際して不利益が生じることはないので、安心して受講してほしい。授業態度については、私語には厳しく対処する。一切の私語は認めない。私語が続くようなら教室からの退出を求め、応じない場合は単位を与えないので、そのつもりで受講してほしい。

オフィスアワー
研究室番号　６号館　207 号室オフィスアワー　前期・後期とも火曜～金曜の昼休み（12：00 ～ 12：50）

教科書【学内販売：有】
なし

教科書【学内販売：無】
なし

参考書【学内販売：有】
なし

参考書【学内販売：無】
なし

女性と放送業界（1 年）

鹿島　我

授業テーマ
放送業界において女性に適する職種と仕事内容の理解

授業の概要
まだまだ男性中心の社会といわざるを得ない放送業界。女性はそんな放送業界でどのように進出を果たしてきたのか、また、それを可能にしたのは女性の持つどんな資質か。この授業では、放送業界と関連する様々な職種を女性の立場、視点から学ぶことで、女性の放送業界進出についての認識を深め自らの就職・就業意識を高めることに応用することを目的とする。

到達目標１
放送業界で働く女性の職種と仕事内容を理解する

その達成度を見る観点
放送業界で働く女性の職種と仕事内容を理解している

その達成度を見るために用いる手法
毎回の授業終了時に提出する小レポート､3 回のレポート、定期試験を総合的な判断

到達目標２
女性の働く職場として放送業界の現状と問題点を理解する

その達成度を見る観点
女性の働く職場として放送業界の現状と問題点を理解している

その達成度を見るために用いる手法
毎回の授業終了時に提出する小レポート､3 回のレポート、定期試験を総合的な判断

到達目標３
放送業界で働く女性の職種から自己の適性を考える

その達成度を見る観点
放送業界で働く女性の職種から自己の適正を考えている

その達成度を見るために用いる手法
毎回の授業終了時に提出する小レポート､3 回のレポート、定期試験を総合的な判断

担当形態
単独

授業計画及び授業内容
1．ガイダンス　＜この科目で扱う授業概要、進め方について説明＞
2．テレビ放送の現在　＜テレビ番組が放送される仕組

みについての講義＞
3．番組収録の仕組み　＜テレビ番組の収録が行われるまでについての講義＞
4．番組誕生までの流れ　＜企画の提案から番組として放送が決定までの流れについての講義＞
5．放送局の社員　＜放送局社員の職種と仕事内容についての講義＞
6．制作スタッフ（放送局）　＜放送局勤務の制作スタッフの職種と仕事内容についての講義＞
7．制作スタッフ（放送局以外）　＜外部から講師を招いての特別講義とレポート1の実施＞
8．技術スタッフ（放送局）　＜放送局勤務の技術スタッフの職種と仕事内容についての講義＞
9．技術スタッフ（放送局以外）　＜放送局以外で勤務する技術スタッフの職種と仕事内容についての講義＞
10. 女性率の高い職種（制作）　＜制作現場において女性の割合が高い職種と仕事内容についての講義＞
11. 女性率の低い職種（技術）　＜技術職において女性の割合が低い職種と仕事内容についての講義＞
12. タレントに寄り添う職種　＜タレントに寄り添うことが多い職種と仕事内容についての講義＞
13. テレビ業界で活躍する女性講師による授業　＜自らがテレビ番組に出演する職種と仕事内容についての講義＞
14. テレビ番組の収録現場の見学　＜レギュラー放送中の番組の収録に参加とレポート2の実施＞
15. テレビ業界を取り巻く現状　＜テレビ業界を取り巻く現状についての講義とレポート3の実施＞

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
教員作成のスライドを用いた講義形式で授業を進める。必要に応じて数回程度DVD等の視聴を行う。レポートは授業内で3回実施する。各自の授業理解度を確認するため、毎回授業終了時に授業内容についての小レポートの提出を義務づけ、次回授業の冒頭で前回の振り返りとともにフィードバックする。

授業時間外学修（予習・復習等）について
授業内で学習した内容を意識してのテレビ番組の視聴、関連する書籍を読み進める等、予習・復習に最低1時間程度を必要とする。

定期試験の実施の有無
実施有り

定期試験方法
筆記試験

試験時間
60分

試験持込み内容
全て不可

成績評価方法
定期試験（40%）レポート（30%）平常点（30%）

成績評価基準
「定期試験」は記述式解答が中心。「レポート」は授業内で3回実施、それぞれ提出点と内容点合わせて10点満点とする。配点はその都度変更するが公表はしない。レポートテーマとの整合性を特に評価する。なお、ネット等からのコピーは評価なしとする。「平常点」は授業での態度、小レポートの記述量、記述内容を総合的に判断する。

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
この授業の講師は30年以上、放送作家として活動している教員が務める。それは何故か？放送業界で起こる「今」を題材にするためである。講師自身が目にし、耳にしたものを講師の持つフィルターを通して学生にアウトプットするためである。講義中心の授業ではあるが、テレビ番組の見学とテレビ業界で活躍する女性の特別講義は特に重要であり、この授業を開講する意義でもある。この授業はテレビ業界だけでなく、マスコミ業界や企画系の職業に興味を持つ者に特に受講してほしい。また、就職全般に関する内容にも触れるので、自己の適性を認識することで就職活動にも役立ててほしい。授業態度については、私語には厳しく対処する。一切の私語は認めない。私語が続くようなら教室からの退出を求め、応じない場合は単位を与えないので、そのつもりで受講してほしい。実務家教員として大学在学中に放送作家として活動を開始。以後、20年に渡って放送業界で活動を続ける。主な構成番組は「キスした？ SMAP」「アタック25」「たかじんnoばぁ～」「熱闘甲子園」「虎バン」等。主な連載は産経新聞夕刊「キラメキTV塾」日刊ゲンダイ「大阪発テレビ業界まんだら」等。

オフィスアワー
研究室番号　6号館　207号室オフィスアワー　前期・後期とも火曜～金曜の昼休み（12：00～12：50）

教科書【学内販売：有】
なし

教科書【学内販売：無】
なし

参考書【学内販売：有】
なし

参考書【学内販売：無】
なし

カメラ演習（1年）

森際　孝司

授業テーマ
デジタルカメラの撮影に必要な理論と技法の習得と応用

授業の概要
デジタル一眼レフカメラやミラーレスカメラなどの進化によって、各自が所有できるカメラも高性能なものが増えてきた。またSNS等で写真作品を公開できる機会も増えている。この授業では、カメラの仕組みを理解し、写真での表現力を上達させ、カメラを使った自己表現の幅を広げていくことを目的とする。授業では実際に撮影を行いながら、相互に学ぶアクティブラーニングを積極的に活用していく。

到達目標1
デジタルカメラの絞り・シャッタースピード等を操作してイメージした写真を撮影できる

その達成度を見る観点
一眼レフカメラの知識と技法を効果的に利用し、イメージ通りの写真が撮影できているか。

その達成度を見るために用いる手法
授業で提出する作品を評価する。

到達目標2
デジタルカメラの撮影知識と技法を修得し、それを応用できる

その達成度を見る観点
一眼レフカメラの知識と技法を使って写真作品を制作し、その魅力をプレゼンテーションできるか。

その達成度を見るために用いる手法
課題撮影で作成した作品とそのプレゼンテーションを評価する。

到達目標3
編集ソフトを使った画像編集方法を修得し、それを応用できる

その達成度を見る観点
写真作品をより魅力的にするために、必要な編集技術を

利用できているか。
その達成度を見るために用いる手法
授業で提出する作品を評価する。
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．ガイダンス（光、カメラ、写真について）
2．目的別でみる写真、撮影トレーニング
3．ライティングに関する知識と演習
4．撮影における「絞り優先」モードについて
5．撮影における「シャッタースピード優先」モードについて
6．撮影における「ホワイトバランス」について
7．撮影における「絞り補正」について
8．動きを表現する撮影技術について
9．フラッシュを使用した撮影技術について
10. 人物ポートレートの撮影技術について
11. ロケによる写真撮影1（静物）
12. ロケによる写真撮影2（逆光、光と影の活用）
13. 画像編集について
14. 課題撮影
15. フォトグラファーに学ぶ撮影技術と作品講評、まとめ
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
各時間ごとにテーマに従って撮影した作品についてフィードバックを行う。
授業時間外学修（予習・復習等）について
この授業では授業時間以外に、撮影の練習や作品制作のために約3時間を必要とする。
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
・作品完成度（40%）
・作品プレゼンテーション（30%）
・クラスワーク（30%）
成績評価基準
作品完成度：技術的・芸術的観点から評価する。
作品プレゼンテーション：作品の魅力を伝える技術を評価する。
クラスワーク：授業中に実施される個人ワーク・ペアワーク・グループワークでの積極性を評価する。
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
1　履修上の留意点　この授業のテーマに真剣に取り組み、熱心に学びたいという意思を持って受講すること。履修に不安のある人は、履修前に授業担当者（森際）に相談すること（morigiwa@mail.koka.ac.jp）。
2　受講に必要な知識・スキル　操作説明書を読み理解する能力と、いい作品を作るための妥協しない向上心が必要となる。
オフィスアワー
前期・後期　水曜日・木曜日の昼休み
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

映画を視る・映画を創る（1年）

鹿島　我

授業テーマ
映画を“創る”制作過程の理解とプロフェッショナルな視聴方法の習得
授業の概要
企画書から始まり映画が制作に至るまでの過程を理解し、プロフェッショナルな映画視聴方法を理解した上で映画視聴を行うことで、作品に込められた監督のメッセージや作品のテーマや裏テーマにまで迫ることができるスキルを身につける。
到達目標1
映画を創る方法を理解する
その達成度を見る観点
映画を創る方法を理解できている
その達成度を見るために用いる手法
授業への積極的な参加を評価する
到達目標2
プロフェッショナルな視聴方法で映画を視聴することができる
その達成度を見る観点
プロフェッショナルな方法で映画視聴ができている
その達成度を見るために用いる手法
毎回の授業の感想レポートを評価する
到達目標3
プロフェッショナルな視聴方法を踏まえて作品について議論できる
その達成度を見る観点
プロフェッショナルな視聴方法を踏まえて作品について議論できている
その達成度を見るために用いる手法
議論の中での撮影テクニックについての論調を評価する
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．ガイダンス＜この科目で扱う授業概要、進め方について説明＞
2．映画の基礎1「企画書とは？」「制作と製作の違い」＜企画書の概念・制作と製作の違いに関する講義とグループワーク＞
3．作品鑑賞1「日本の往年の名作映画」＜日本の往年の名作映画作品の視聴＞
4．作品批評1「日本の往年の名作映画」＜視聴した日本の往年の名作映画作品の内容に関するグループワーク＞
5．映画の基礎2「撮影前の準備」＜撮影を始める前に準備しておく内容に関する講義とグループワーク＞
6．作品鑑賞2「世界の往年の名作映画」＜世界の往年の名作映画作品の視聴と内容に関するグループワーク＞
7．作品批評2「世界の往年の名作映画」＜視聴した世界の往年の名作映画作品の内容に関するグループワーク＞
8．映画の基礎3「シナリオ・脚本」＜シナリオ・脚本に関する講義とグループワーク＞
7．作品鑑賞3「原作存在作品」＜原作存在作品の視聴＞
8．作品批評3「原作存在作品」＜視聴した原作存在作品の内容に関するグループワーク＞
9．映画の基礎「撮影テクニックと編集テクニック」＜撮影テクニックと編集テクニックに関する講義とグループワーク＞
10. 作品鑑賞4「ミュージカル映画」＜ミュージカル作品の視聴＞
11. 作品批評4「ミュージカル映画」＜視聴したミュージ

カル作品の内容に関してのグループワーク＞
12. 映画の基礎「監督のメッセージ」＜監督のメッセージに関する講義とグループワーク＞
13. 作品鑑賞「上映中の作品」＜上映中の作品の視聴＞
14. 作品批評「上映中の作品」＜視聴した上映中の作品の内容に関するグループワーク＞
15. まとめ＜受講前と受講後の映画に関する認識の変化に関するグループワーク＞

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
映画の上映時間は2時間程度のものが多いので、授業は1.5回で1作品を鑑賞し、0.5回で相互批評を行うことをベースに2回で1作品を終えることをベースにする。毎回の授業冒頭で前回の授業の感想をフィードバックする。

授業時間外学修（予習・復習等）について
毎回の授業内容の振り返りと内容に関連する作品の視聴のため毎回1時間程度の予習復習が必要となる

定期試験の実施の有無
実施無し

成績評価方法
積極性（40%）グループワーク（40%）レポート（20%）

成績評価基準
「積極性」は毎回の授業に取り組む態度、毎授業後の小レポートを総合的に評価する。「グループワーク」はグループワークでの積極的な発言と行動を評価する。 「レポート」は課題レポートの内容を評価する

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
映画作品とテレビ番組との決定的な違いは直接視聴に関して金銭が必要かどうかである。直接金銭が必要な映画作品では、そのためテレビ番組とは違う努力や工夫がなされている。この授業では、映画を作るためのテクニックを学んだうえで作品視聴を行う。それは、いわゆるプロフェッショナルの視聴である。視聴後には、今までの視聴方法とは全く違う感想を抱き、映画作品に関する概念が180度変わることをぜひ体感してほしい。

オフィスアワー
研究室番号　6号館　207号室オフィスアワー　前期・後期とも火曜～金曜の昼休み（12：00～12：50）

教科書【学内販売：有】
なし

教科書【学内販売：無】
なし

参考書【学内販売：有】
なし

参考書【学内販売：無】
なし

観光概論（1年）

久世　奈欧

授業テーマ
観光の全体像を理解するためにその歴史、現状、将来展望を学ぶ。

授業の概要
主に京都をフィールドとして、観光の歴史・現状への理解を深め、将来展望について考える。

到達目標1
観光の歴史、現状、将来展望が理解できる

その達成度を見る観点
授業の理解度課題への取り組み

その達成度を見るために用いる手法
小テスト実地研修への参加態度授業態度

到達目標2
観光の現状、将来展望について自分の意見を持つことができる

その達成度を見る観点
授業の理解度課題への取り組み

その達成度を見るために用いる手法
小テスト実地研修への参加態度授業態度

到達目標3
観光の将来展望、未来像を自分の意見としてわかりやすく伝えることができる

その達成度を見る観点
授業の理解度課題への取り組み

その達成度を見るために用いる手法
平常試験実地研修への参加態度授業態度

担当形態
単独

授業計画及び授業内容
1．イントロダクション　観光とは何か
2．観光に関連する用語・京都観光の基礎知識
3．観光の歴史（日本）
4．観光の歴史（外国）
5．日本および京都における観光旅行の現状
6．京都の観光対象・観光資源
7．京都の観光における課題
8．京都の観光における課題解決を考えてみよう1
9．京都の観光における課題解決を考えてみよう2
10. ホテル業界のいま（ゲストスピーカー）
11. ホテルスタッフのお仕事1（ゲストスピーカー）
12. ホテルスタッフのお仕事2（ゲストスピーカー）
13. 観光英会話
14. 観光政策と観光の今後
15. まとめ・平常試験

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
主として講義形式で行います。毎回、配布するワークシートを完成させ、ノートをとること。

授業時間外学修（予習・復習等）について
配布されたワークシートを読み返したり、課題に取り組んでくること（約30分）。疑問点や理解できなかった部分については、担当者に質問をするなどして解決しましょう。

定期試験の実施の有無
実施無し

成績評価方法
小テスト（15%）・期末試験（50%）・提出課題（15%）・授業内課題（20%）を総合的に評価します。

成績評価基準
授業の理解度、課題の提出状況授業内課題（実地研修を含む）への積極的な取り組み

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
京都を訪れる観光客の増加に伴い、京都における観光業の経済効果は、近年ますます大きくなっています。また、観光客の受け入れ環境も変化を迫られています。そうした現状を把握し、問題解決への提案を試みます。また、海外からの観光客への対応に必要な、簡単な英語も練習しましょう。

オフィスアワー
研究室番号　6号館204号室毎週木曜　12：00～12：50

教科書【学内販売：有】
なし

教科書【学内販売：無】
なし

参考書【学内販売：有】
観光概論 /JHRS/ ジェイテービー能力開発

参考書【学内販売：無】
なし

京都学（1・2年）

久世　奈欧

授業テーマ
京都の歴史について理解する
授業の概要
長らく政治・経済・文化の中心であった京都では、多様な文化が花開いた。本年度は、文字史料・絵画や文学・芸能などから主に前近代の京都の歴史をたどり、現代につながる京都の文化を理解する。
到達目標１
時代ごとの京都の変遷を理解する
その達成度を見る観点
授業内容の理解度
その達成度を見るために用いる手法
小テスト
到達目標２
歴史的なできごとと京都の文化・景観との関連性を理解する
その達成度を見る観点
授業内容の理解度
その達成度を見るために用いる手法
小テスト・案内書
到達目標３
さまざまな資料から京都の特徴を発見し、自らの言葉で説明できる
その達成度を見る観点
史跡・町などについての調査姿勢とまとめ方
その達成度を見るために用いる手法
案内書
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
１．イントロダクション
２．京都の歴史１　平安時代
３．文学・芸能の中の京都１　平安時代
４．京都の歴史２　鎌倉・室町時代
５．文学・芸能の中の京都２　鎌倉・室町時代
６．京都の歴史３　戦国・江戸時代
７．文学・芸能の中の京都３　戦国・江戸時代
８．京都の歴史４　明治時代
９．文学・芸能の中の京都４　明治時代
10．京都の歴史５　大正・昭和・平成
11．文学・芸能の中の京都５　大正・昭和・平成
12．小テスト／現地見学について
13．現地見学
14．京都案内書を作ろう
15．京都案内書の共有とまとめ
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
小テストで授業内容の理解度を確認します。また、自分が人を案内したい時に使う、京都の案内書を作成します。京都の奥深い歴史を知り、京都での学生生活をより楽しめる様になりましょう。
授業時間外学修（予習・復習等）について
前回までの授業内容について、ノート・レジュメを再読の上、確認しておくこと（30分程度）。不明点・疑問点については次回授業時に質問してください。
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
小テスト（40%）･案内書（40%）･授業への取り組み（20%）を総合的に評価します。
成績評価基準
授業内容の理解度、案内書の完成度、授業への積極的な参加
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
京都で学生生活を送る上で、京都の歴史について知っておくと、何倍も深く楽しむことができます。この授業では京都の歴史を広く学び、自分なりの京都案内書を作ってみましょう。なお、現地見学にかかる交通費・拝観料等は自己負担となります。
オフィスアワー
研究室番号　6号館204号室毎週木曜日　12：00～12：50
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

観光ビジネス実務総論（1年）

石丸　淑子

授業テーマ
旅行商品種別、ツアーパンフの味方、各種割引運賃種別、　関連法規などを知ることにより観光ビジネスの実態を学ぶ
授業の概要
実際に観光関連業界で使用されているツアーパンフレットや時刻表、各種業務用飼料等を用いてツアーパンフレットの見方や、国内外パック旅行の企画方法、広報活動の現状などから観光に関する様々な実態を学ぶので、観光関連産業に興味のある場合は勿論だが、形の無い比較的高額な旅行商品を購入する場合の契約や申し込み、今主流である旅に関するNet販売に関する注意点や問題点など観光関連の法規なども学ぶのでホテルや旅の申し込みの際に正しい判断をすることができるようになるので自身は元より、家族や周りの人たちが観光旅行や出長旅行などする際にも正しい判断や助言することができるようになる
到達目標１
旅行商品の販売体系や各種割引運賃種別、宿泊運輸体系などが分かる
その達成度を見る観点
旅行商品野販売体系、各種割引運賃種別、宿泊運輸体系に関する語句や事項を理解できる
その達成度を見るために用いる手法
実際に販売されている旅行会社のツアーパンフレットを正しく読み取る
到達目標２
観光に関するビジネス実務を理解し、その課題を知ることができる
その達成度を見る観点
観光に関するビジネス実務の実態と課題を理解している
その達成度を見るために用いる手法
業務用関連資料を基に作られた課題演題への解答と理解度

到達目標 3
観光ビジネス実務の課題について自分の意見を持つことができる
その達成度を見る観点
観光ビジネスに関する各種課題について学んだことを整理、精査して自身の観点や意見を持っている
その達成度を見るために用いる手法
半年間の学びに対する理解度や知識力を見る最終筆記試験の解答内容
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．国内企画旅行商品の体系と特徴（旅行会社が実際に使用しているツアーパンフレットを使用して）
2．国内企画旅行商品のメリット（自身で探し手に入れてきたツアーパンフレットを使用して）
3．国内企画旅行商品の広告の見方（各自用意した旅に関する新聞広告を使用して）
4．JR 券の種類と運賃 / 料金（実際の券見本と業務用資料を使用して）
5．私鉄券の種類と運賃 / 料金（実際の券見本と業務用資料を使用して）
6．国内航空券の種類と運賃 / 料金（実際の券見本と業務用資料を使用して）
7．宿泊施設の種類と料金（業務用資料を使用して）
8．主な温泉と交通機関（関連 DVD の視聴）
9．海外企画旅行商品の体系と特徴（旅行会社が実際に使用しているツアーパンフレットを使用して）
10．海外企画旅行商品のメリット（自身で探し手に入れてきたツアーパンフレットを使用して）
11．海外企画旅行商品の広告の見方（各自用意した旅に関する新聞広告を使用して）
12．海外旅行のための知識 1 時差計算（地球儀や地図を使用して演習課題を）
13．海外旅行のための知識 2 渡航手続き（実際の旅券申請用紙を作成）
14．海外旅行のための知識 3 出入国手続き（業務用資料や実際の ED カードや税関申告書を作成）
15．まとめ、最終筆記試験
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
パンフレットや関連資料などを使用しながらの講義形式だが、理解度を深めるために各種手続き申請資料などにも実際に書きこんだり申請をしてみたりと出来るだけ実務に近い形ですすめるので各自にて資料（ツアーパンフレット等）集めにも積極的に参加することが前提である
授業時間外学修（予習・復習等）について
テキストは使用しないので予習という形は出来ないが通学途中や大学内、自宅近辺などにある旅関する広告やツアーパンフレット、新聞や雑誌、TV 等のたびに関する事項にも興味を持つこと、復習に関しては配布されたプリントなどには必ず再度目をとうしておくこと
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
・授業参加度（20%）・演習課題（40%）・最終授業内で実施する確認筆記試験（40%）
成績評価基準
・授業態度、積極的発言や質問・演習課題の提出による完成度や理解度・確認筆記試験の解答内容
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
旅に行ったことがある人はそのこと（探した方法、決定した経緯、申し込み方法、内容、満足したこと、不満だったこと等）を思い出してみておくこと。行ったことがない人は、その事（探し方、決定するための理由、行先、内容、期待する事等）を考えておくこと
オフィスアワー
授業外の質問などは学内メールにて対応、 出講日は講師控室にて対応
教科書【学内販売：有】
なし
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

ツアープランニング（1 年）

石丸　淑子

授業テーマ
自分自身の行きたい旅（国内・海外）を自分自身でプランニングできるようになるために必要な知識を得ることが目標であるが実際にプランを作成するようになることで日本と世界の地理・文化・歴史も学ぶ
授業の概要
国内各都道府県や海外主要国の観光資源と言われる地理（山岳・海岸・湖沼・河川・渓谷・峡谷・等）や文化（グルメ・歴史的建造物・城郭・庭園・美術館・博物館・水族館・動物園・植物園・遊園地・テーマパーク・記念館・映画や小説や TV ドラマの舞台になった地、伝統的建造物、祭りなどの伝統行事や催し等）に関する事項の基礎知識を学んだうえで実際の国内鉄道や航空会社等の各種運輸機関の時刻表や温泉地に関する DVD などの視覚資料、海外用には国際航空時刻表や海外宿泊施設に関する資料、主要国の観光地に関する DVD 等の視覚的資料を駆使して実際に自身の行ってみたい国内、海外の目的地を選びそこへ行くための方法や行先に関する各種情報収集をして自分自身の為のオリジナルな旅をプランニングする同時に今まで知らなかった日本各地の地理や文化を知ることができる　又、今後国際社会であらゆる場面で必要になるであろう海外主要国の地理や文化の情報も得ることができる
到達目標 1
日本国内の地理・歴史・文化の基礎知識を身につける
その達成度を見る観点
日本国内の地理・歴史・文化の基礎知識に関する語句や事項を理解している
その達成度を見るために用いる手法
日本国内の地図帳を使った演習課題の理解度
到達目標 2
海外主要国の地理・歴史・文化の基礎知識を身につける
その達成度を見る観点
海外主要国のちり・歴史・文化の基礎知識に関する語句や事項を理解している
その達成度を見るために用いる手法
海外主要国の各種資料を使った演習課題の理解度
到達目標 3
自身のための国内・海外旅行日程を作成できるようになる
その達成度を見る観点
国内・海外のオリジナル日程を作成するための知識や実務作業ができる
その達成度を見るために用いる手法
自分自身で考えた日本国内・海外へのオリジナルツアー

の内容や完成度
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．国内ツアープランニングの為の基本ガイダンス（行きたい日本国内・海外の場所をイメージしてみる）
2．国内ツアープランニングの為の国内観光資源基礎知識１地理・歴史（日本地図を使用しての演習課題）
3．国内ツアープランニングの為の国内観光資源基礎知識２観光施設・温泉宿泊施設（業務用資料やパンフレット使用）
4．国内ツアープランニングの為の国内観光資源基礎知識３土産・グルメ・行事・祭り等（業務用資料や関連DVD 等視聴）
5．国内時刻表（JR・航空・各種運輸機関）の使い方（実際の各時刻表を使用しての演習課題）
6．国内オリジナルツアー作成（各種業務用資料、各種時刻表、旅行会社用日程表を使用して）
7．同上
8．海外ツアープランニングの為の海外観光基礎知識１地理・歴史（海外地図帳を使用しての演習課題）
9．海外ツアープランニングの為の海外観光資源基礎知識２観光施設・宿泊施設（業務用資料やパンフレット使用）
10．海外ツアープランニングの為の海外観光資源基礎知識３土産・グルメ・行事・祭り等（業務資料や関連DVD 等視聴）
11．海外時刻表（航空・列車・各種運輸機関）の使い方（実際の各種時刻表を使用しての演習課題）
12．海外旅行用各種関連資料の使い方（実際の各種業務用資料を使用して）
13．海外オリジナルツアー作成（各種業務用資料、各種時刻表、旅行会社用日程表を使用して）
14．同上
15．まとめ　最終確認筆記試験
授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
各種時刻表や関連資料を駆使しての実践的内容であるが海外旅行に関連する場合は、英語表記がほとんどであるため英語語句の説明も多くなる
観光地に関しては紙面よりも視覚的に見ることも大切なので数回取り入れる
日本国内・海外主要国の地理的基礎を学ぶことも重要なのでそのために地図帳を見ることが主体になる
授業時間外学修（予習・復習等）について
予習、復習というよりはいかに旅に興味を持つかということであるので、常日頃から自身の行きたい日本国内の地や海外の国等を想定し関連する旅行会社のパンフレットや旅番組等を観ておく
定期試験の実施の有無
実施無し
成績評価方法
・授業参加度（20%）
・演習課題（40%）
・最終授業内で実施する確認筆記試験（40%）
成績評価基準
・授業態度、積極的発言や質問・演習課題特に国内海外のオリジナルツアープランニングの完成度と内容・確認筆記試験の解答内容
担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
国内・海外の地理に関する演習課題も多くなるのでまずは地理に興味を持つことと高校、中学時代に学んだ国内・海外の地理や歴史のテキストも見直しておくこと
オフィスアワー
授業時間外の質問は学内メールにて対応、出講日は講師控室にて対応
教科書【学内販売：有】
帝国書院発行　新 TV のそばに一冊ワールドアトラス最新版
教科書【学内販売：無】
なし
参考書【学内販売：有】
なし
参考書【学内販売：無】
なし

ホテル・航空ビジネス実務（1 年）

石丸　淑子

授業テーマ
ホテル・航空ビジネスの日本における歴史や成り立ち、現状や今後の問題点を理解したうえで、実務の沿った知識を身につける
授業の概要
航空ビジネスの実際を知るために、日本における航空ビジネスの歴史や成り立ち、現状とともに航空産業の実態、関連する仕事のなかみまでを幅広く学ぶ。宿泊関連産業の中のホテルビジネスの日本における歴史や成り立ち、現状とともに具体的ホテルサービスの実務や関連法規まで幅広く学ぶ
到達目標１
日本における航空ビジネスの歴史・成り立ちを理解できる
その達成度を見る観点
航空ビジネスに関する語句や事項を理解している
その達成度を見るために用いる手法
演習課題提出による完成度
到達目標２
日本におけるホテルビジネスの歴史・成り立ちを理解できる
その達成度を見る観点
ホテルビジネスに関する語句や事項を理解している
その達成度を見るために用いる手法
演習課題提出による完成度
到達目標３
航空・ホテル関連ビジネスの実務知識を身につける
その達成度を見る観点
航空・ホテル関連ビジネスに関する実務知識が身についている
その達成度を見るために用いる手法
確認筆記試験の解答内容
担当形態
単独
授業計画及び授業内容
1．航空業界の基礎知識（1）成り立ちと歴史
2．航空業界の基礎知識（2）IATA と ICAO の役割、その他基本用語の理解（演習問題にて）
3．航空業界の基礎知識（3）多様化する運賃と将来展望（関連時事ニュース等を明示）
4．航空業界の基礎知識（4）最新動向（関連業界誌を参照）
5．航空業界のしくみと各社の戦略（演習課題にて）
6．エアーラインのサービスとは？（関連 DVD の視聴にて）
7．航空関連ビジネスの仕事の種類と中身（1）
8．同上　（2）（演習課題にて）

9．ホテルの種類と組織、ホテルの歴史
10. 関連法規（旅館業法と国際ホテル整備法、建築法、消防法、食品衛生法）
11. 環境問題対策、バリアフリー鍼法、ISO4001
12. ホテルマーケティング、聞き管理（新聞記事など時事情報をもとに）
13. ホテル関連ビジネスの実務知識1(ホテルマンの心得)
14 同上　2　国際社交マナー等（関連 DVD 視聴）
15. まとめ、最終確認筆記試験

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
テキストとプリントを使用しての講義形式が中心であるが、随時理解度確認のための演習課題を実施し、特に実際の実務やサービス活動に関しては、現状を取り入れたメディア（DVD,関連情報など、新聞記事、雑誌記事等）を積極的に取り入れそのことに関しての演習課題も多することで関連産業への就活も視野に入れての現実に即した内容とする

授業時間外学修（予習・復習等）について
特に事前予習としての課題は課さないが、常日頃から新聞や TV、雑誌等の航空、ホテル関連記事に興味を持ち、特にホテルなどには実際に出向いてその仕事内容やサービスを体験しておくことがよりよく学ぶことに繋がる。
復習に関してはテキストであれプリントであれ必ず再度自身で確認をしておく

定期試験の実施の有無
実施無し

成績評価方法
・授業参加度（20%）
・演習課題（40%）
・最終授業内で実施する確認筆記試験（40%）

成績評価基準
・授業態度や積極的発言質問等
・演習課題の提出による完成度や理解度
・確認筆記試験の解答内容

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
航空ビジネスに関してはすべてプリント対応ですが、いかなる理由での欠席でもプリントの再配布はしないので授業内での人間関係を構築して、自身の欠席時のプリント代理受け取りや授業内容の聞き取り等をきちんと行ったうえで次回の授業にのぞむこと、むろんテキストのあるホテル関連ビジネスにおいても授業の進み具合や内容等も確認すること

オフィスアワー
授業時外の質問などは学内メールにて対応、出講日には講師控室にて対応

教科書【学内販売：有】
ウイネット発行　ホテル業務関連知識

教科書【学内販売：無】
なし

参考書【学内販売：有】
なし

参考書【学内販売：無】
なし

観光事業論（2 年）

久世　奈欧

授業テーマ
観光に関わる様々な資源、関連施設、観光事業の実態や現状を学ぶ

授業の概要
生活の中にある観光資源を取り上げ、観光ビジネスの特性を理解することを目標とする。実際にテーマパークやその他観光資源を見学することで、観光の現状を学ぶ。

到達目標 1
観光関連資源、施設、事業の実態や現状、今後の課題が理解できる

その達成度を見る観点
授業内容を理解しているか

その達成度を見るために用いる手法
ワークシート平常試験

到達目標 2
観光に関する課題を分析・検討し、自分の意見を持つことができるようになる

その達成度を見る観点
授業への積極的な参加授業内容の理解度

その達成度を見るために用いる手法
授業態度・平常試験

到達目標 3
観光に関する課題を自分の言葉で説明できるようになる

その達成度を見る観点
自分なりの意見を持っているか、自分の意見を述べることが出来るか

その達成度を見るために用いる手法
ワークシート・平常試験

担当形態
単独

授業計画及び授業内容
1．イントロダクション
2．観光の現状
3．観光資源 1 日本と世界の寺院
4．観光資源 2 日本と世界の博物館・文化財
5．観光業におけるサービスについて
6～7．フィールドワーク（曜日・時間を変更して行う可能性があります）
8．フィールドワークの振り返り
9．USJ への現状視察のための事前授業 1
10. USJ への現状視察のための事前授業 2
11. テーマパーク施設ＵＳＪにおいて施設内のこだわりや特色の現状視察
12. テーマパーク施設ＵＳＪにおいて働くスタッフによる顧客対応の現状視察
13. テーマパーク施設視察後の問題提議 1
14. テーマパーク施設視察後の問題提議 2
15. テストとまとめ

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック
主に講義形式ですが、実際に現地見学に訪れたり、学生による調査・発表の機会も設けます。

授業時間外学修（予習・復習等）について
授業前には、授業計画書に書かれているテキスト範囲内の関連語句や難解な言葉などがあれば事前に必ず調べ理解しておきましょう。不明な点は次回に質問するなどして、解決をしましょう。

定期試験の実施の有無
実施無し

成績評価方法
平常試験（50%）、演習・課題（20%）、出席状況含む授業への取り組み姿勢（30%）を総合的に評価します。

成績評価基準
積極的な授業への参加・授業の理解度

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）
フィールドワークは、京都市内を予定しています。交通費は自己負担で、おおむね千円以内の予定です。学外見学としてＵＳＪ実地視察を行います。ＵＳＪへの学外見学は必須であるため、下記費用は個人負担になります。（U

ＳＪへの入園料（2020 年 1 月時点 7,800 円 / 値上がりの可能性あり）と現地にて集合解散のため現地から自宅までの往復交通費。ただしＵＳＪの年間パス保持者は交通費のみの負担。）

オフィスアワー

研究室番号　6 号館 204 教室毎週　木曜　12：10 ～ 12：50

教科書【学内販売：有】

なし

教科書【学内販売：無】

なし

参考書【学内販売：有】

観光学基礎 /JHRS/ ジェイティービー能力開発

参考書【学内販売：無】

なし

世界のテーマパーク論（2 年）

石丸　淑子

授業テーマ

国内・海外の主なテーマーパークの歴史、成り立ちや現状を理解し、サービス業やエンターテイメント業との関連性も学ぶ

授業の概要

国内・海外の主なテーマパークの歴史、成り立ち、経営コンセプトやマーケテイング手法、の現状、今後の展望や問題点を含む動向などの基礎知識を学んだうえで京都市内にある京都得意のテーマパークである東映太秦映画村や環境問題をも学ぶことのできる自然庭園を有する京都梅小路公園の 2 か所へ実際に出かけフィールドワークとして学外見学を実施し、身近にあるテーマパークの実態をより深く検証しながら具体的に学ぶ

到達目標 1

国内・海外の主なテーマパークの歴史、成り立ち、現状が理解できる

その達成度を見る観点

国内・海外の主なテーマーパークの歴史、成り立ち、現状に関する語句や事項を理解できている

その達成度を見るために用いる手法

授業内で随時出される質問に的確に答えられる

到達目標 2

国内・海外の主なテーマパークの経営コンセプト、今後の動向が理解できる

その達成度を見る観点

国内・海外の思うあテーマパークの経営コンセプト、今後の動向を理解している

その達成度を見るために用いる手法

演習課題問題野提出による完成度や理解度

到達目標 3

世界のテーマパークを知る事で観光を通じての余暇生活の過ごし方や地域開発、街づくりの実態や問題点などを理解できる

その達成度を見る観点

航空・ホテルに関するビジネスを学ぶことによって観光を通じての余暇生活の過ごし方や地域開発、街づくりに関する事項が理解できている

その達成度を見るために用いる手法

半年間の学びに対する理解度や知識力を見る最終筆記試験の解答内容

担当形態

単独

授業計画及び授業内容

1．ガイダンス　テーマーパークとは何か（質問形式で）
2．日本のテーマパークの変遷（歴史、成り立ち）
3．日本の主なテーマーパークの経営コンセプト 1（関連 DVD 視聴）
4．同上　2 （演習課題）
5．同上　3 （関連メディア記事を参照して）
6．学外見学　フィールドワーク 1　京都梅小路公園（朱雀の庭）
7．同上　2　京都梅小路公園（いのちの森）
8．日本のテーマパークの今後の動向と課題（演習課題）
9．海外のテーマパークの代表としてのディズニーを取り上げる（関連 DVD 視聴）
10. 海外の主なテーマパークの変遷（歴史、成り立ち）
11. 海外の主なテーマーパークの今後の動向と課題（演習課題）
12. 学外見学　フィールドワーク 2　東映太秦映画村
13. 同上
14. 同上
15. まとめ　最終確認筆記試験

授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック

テキストは使用せず、プリントを使用しての講義形式だが、随時関連 DVD などの視聴も数回取り入れ、関連事項としての理解を深めるための演習課題も実施する

学外見学としてのフィールドワークも 2 回予定

授業時間外学修（予習・復習等）について

各自、予習としては出身地や居住地の近くにあるテーマパークを探し出しその特徴を調べておく　授業後は学んだテーマパークに関連する情報を可能な限りに収集し、可能でなれば実際に入園し、体験してみる　又、実際に入園したことのある人から生の体験談を聞くことも学びにとっての大きな収穫になる

定期試験の実施の有無

実施無し

成績評価方法

・授業参加度（20%）
・演習課題（40%）
・最終授業内で実施する確認筆記試験（40%）

成績評価基準

・授業態度、積極的発言や質問
・演習課題の提出による完成度や理解度
・確認筆記試験の解答内容

担当者からのメッセージ（履修上の留意点等）

授業の一環として実施する 2 回の学外見学フィールドワークへの参加は必須であるため、下記の費用は個人負担になる

1　京都梅小路公園　朱雀の森入園料（200 円）
2　東映太秦映画村　（2,400 円）

＊上記入園料は 2020 年 1 月時点での金額の為、実際入園時には値上がりしている可能性もあります
＊ 2 回とも現地集合解散のため、現地までの往復交通費も各個人の負担になる

オフィスアワー

授業外時間の質問は学内メールにて対応　出講日は講師控室にて対応

教科書【学内販売：有】

なし

教科書【学内販売：無】

なし

参考書【学内販売：有】

なし

参考書【学内販売：無】

なし

索　　引

索引

ア

アクセサリー制作実習 119

イ

衣生活概論 115
インターネット演習 103
インテリアデザイン論 134
インテリアパース演習 136
インテリア計画 137
インテリア設計特講 138

エ

映画を視る・映画を創る 160
英語Ⅰ 109
英語Ⅱ 110
栄養と健康 128
エンターテイメント論Ⅰ 156
エンターテイメント論Ⅱ 157

オ

女将論 72

カ

外国の大学での短期研修 108
外国の大学での短期留学ａ 109
外国の大学での短期留学ｂ 109
カウンセリングスキル 66
カウンセリング理論 65
学生が創る「学び」 83
学生が創る「地域」ａ 86
学生が創る「地域」ｂ 87
学生が創る「地域」ｃ 88
数の理解 94
カメラ演習 159
環境問題 76
観光概論 161
観光事業論 165
観光ビジネス実務総論 162

キ

京都学 162
京都光華の学びⅠａ 41
京都光華の学びⅠｂ 41
京都光華の学びⅠｃ 41
京都光華の学びⅠｄ 41
京都光華の学びⅠｅ 41
京都光華の学びⅠｆ 41
京都光華の学びⅡ 41
京のくらし 85
京の伝統文化を創る 76
居住福祉論 142

ク

くらしに生きるものづくり 77
くらしのなかの経済学 82

ケ

ケアクラーク 155
現代消費生活論 79

コ

声と表現Ⅰ 62
声と表現Ⅱ 63
国際関係論 106
言葉と表現 92
言葉の理解 93
コンピュータ概論 95
コンピュータグラフィックス演習Ⅰ 104
コンピュータグラフィックス演習Ⅱ 105
コンピュータグラフィックス演習Ⅲ 105
コンピュータグラフィックス論 102

サ

サブカルチャー論 80

シ

ジェンダー論 71
色彩とライフデザインａ 54
色彩とライフデザインｂ 54
色彩の基礎 143
時事問題 74

社会学ａ 81
社会を知るａ 72
社会を知るｂ 72
住居・インテリア設計製図実習 135
住居管理学 140
住居プランニング 140
就職のためのベーシックスキル 93
住生活概論 139
住生活史 141
情報社会の未来を知る 96
商品企画論 145
食空間コーディネートⅠ 134
食空間コーディネートⅡ 134
食生活概論 132
食品と調理 127
食文化演習 130
女性と放送業界 158
女性のキャリアデザイン 74
女性の心と身体 70

セ
製菓実習Ⅰ 131
製菓実習Ⅱ 131
世界のテーマパーク論 166
世界の民族と文化 107

ソ
造形基礎演習 144

チ
中国語 113
調剤報酬請求事務 154
調理実習 129

ツ
ツアープランニング 163

テ
デザイン概論 144

ト
ＴＯＥＩＣⅠ 111
ＴＯＥＩＣⅡ 112
ＴＯＥＩＣⅢ 112
ドクターズクラークⅠ 152
ドクターズクラークⅡ 153

ニ
日本語Ⅰ 115
日本語Ⅱ 115
日本事情Ⅰ 115
日本事情Ⅱ 115

ハ
ハングル 114

ヒ
ＰＣ活用プレゼンテーション演習 101
ビジネス実務演習ａ 88
ビジネス実務演習ｂ 88
ビジネス実務総論 90
秘書検定特講ａ 89
秘書検定特講ｂ 89
被服の材料学 117
表計算スキルⅠａ 99
表計算スキルⅠｂ 99
表計算スキルⅡａ 100
表計算スキルⅡｂ 100

フ
ファッションクリエイティブ実習 118
ファッションコーディネート演習 121
ファッションデザイン史 116
ファッションビジネス演習 122
ファッションビジネス論 120
フードビジネス論 133
服作り演習 118
仏教の人間観Ⅰａ 55
仏教の人間観Ⅰｂ 55
仏教の人間観Ⅰｃ 55
仏教の人間観Ⅱｊ 56
仏教の人間観Ⅱｋ 56
ブライダル演習 124
ブライダル検定アドバンス 125

ブライダル検定ベーシック 123
ブライダル実務 126
ブライダル総論 122
ブライダルプロデュース 127
ブランドデザイニング 148
プレゼンテーション演習 a 57
プレゼンテーション演習 b 58
プレゼンテーション演習 c 59
プレゼンテーション・セオリー 60
プレゼンテーション・ベーシック 61

ホ

簿記会計学 91
ホスピタリティ論 68
ホテル・航空ビジネス実務 164
ボランティア論 68

マ

マスメディア論 78

メ

メディカルクラークⅠa 149
メディカルクラークⅠb 149
メディカルクラークⅡa 150
メディカルクラークⅡb 150
メディカルクラーク応用 a 151
メディカルクラーク応用 b 151

ユ

ユニバーサルデザイン 146
ユーザー体験価値デザインⅠ 147

ラ

ライフデザイン特論Ⅰa 42
ライフデザイン特論Ⅰb 43
ライフデザイン特論Ⅰc 43
ライフデザイン特論Ⅰd 44
ライフデザイン特論Ⅰe 45
ライフデザイン特論Ⅰf 46
ライフデザイン特論Ⅰg 46
ライフデザイン特論Ⅰh 47
ライフデザイン特論Ⅱa 48
ライフデザイン特論Ⅱb 49
ライフデザイン特論Ⅱc 49
ライフデザイン特論Ⅱd 50
ライフデザイン特論Ⅱe 51
ライフデザイン特論Ⅱf 52
ライフデザイン特論Ⅱg 52
ライフデザイン特論Ⅱh 53
ライフ創彩 84

リ

リビングデザイン演習 a 136
リビングデザイン演習 b 136
臨床心理学 69

ワ

ワープロスキルⅠa 97
ワープロスキルⅠb 97
ワープロスキルⅡa 98
ワープロスキルⅡb 98
笑いのコミュニケーション演習 64

Ⅵ　学則

京都光華女子大学短期大学部学則
（2020 年度）

京都光華女子大学短期大学部学則

第１章　総則

第１条
本学は、教育基本法及び学校教育法の規定するところに従い、実際的職業に必要な専門の学芸を教授し、大学教育の普及と成人教育の充実に務め、仏教の精神によって人格を陶冶し、もって広く文化に貢献する有為なる女性を育成することを目的とする。

第２条
前条の目的及び社会的使命を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について自己点検･評価を実施し、教育研究水準の向上を図るものとする。
２　前項の点検・評価の項目、実施体制については別に定める。

第２章　学科

第３条
本学に次の学科を置く。
ライフデザイン学科

第４条
本学の学生定員は次のとおりとする。

	入学定員	収容定員
ライフデザイン学科	100名	200名

第５条
本学の人材養成に関する目的その他の教育研究上の目的は以下のとおりである。
ライフデザイン学科
自分の将来を具体的に構想し、その実現のための自覚的な学習を通じ、相手の言葉を相手の立場に立って聴くことができることと、自らの考えを自らの言葉で明確に説明できることを併せ持ったコミュニケーション力を備え、実際の生活において課題設定・情報収集・課題解決を可能とする実践的な社会人としての能力を身につけた人材を育成する。

第３章　教育課程

第６条
授業は、講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかによりまたは、これらの併用により行うものとする。
２　前項の授業は、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

第７条
各授業科目及び単位数は別表1のとおりとする。

第８条
授業科目は必修科目と選択科目とし、第7条に定める授業科目について、64単位以上を履修するものとする。

第９条
各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算する。
⑴講義及び演習については、15時間又は30時間の授業をもって1単位とする（別表1に定める）。
⑵実験・実習・実技については、30時間から45時間の授業をもって1単位とする（別表1に定める）。

第10条
1年間の授業日数は、定期試験の期間を含め、35週にわたるものとする。

第４章　卒業の要件等

第11条
本学の修業年限は2年とする。但し、在学年限は4年を超えることができない。

第12条
履修した授業科目には試験を実施し、合格した科目には単位を認定する。

第13条
試験の方法は筆記試験、口述試験、論文考査、実験・実習・実技試験の4種とする。
２　試験の成績は100点を最高とし、60点以上を合格とする。成績評価は次の評語によるものとする。
合　格　秀（90点以上）
　　優（89点から80点まで）
　　良（79点から70点まで）
　　可（69点から60点まで）
不合格　不可

第14条
やむを得ない事由によって試験に欠席したときは、願出によって追試験を許可することがある。

第15条
本学において教育上有益と認めるときは、本学の定めるところにより、学生が他の短期大学または大学において修得した単位を、30単位を超えない範囲で本学において修得したものとみなすことができる。
２　第1項の規定は、学生が外国の短期大学または大学に留学する場合及び外国の短期大学または大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。

第16条
本学において教育上有益と認めるときは、学生が短期大学または高等専門学校の専攻科において行う学修その他文部科学大臣が別に定める学修を本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単位を与えることができる。
２　第1項により与えることができる単位数は、第15条第1項及び第2項により本学において修得したとみなす単位数と合わせて30単位を超えないものとする。

第17条
本学において教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する以前に短期大学または大学において修得した単位及び第16条第1項に規定する学修を本学入学後に修得した単位とみなすことができる。
２　第1項により修得したとみなすことのできる単位数は、本学において修得した単位以外のものについては、第15条第1項及び第16条第1項の単位数と合わせて30単位を超えないものとする。この場合において、第15条第2項の単位数と合わせるときは45単位を超えないものとする。

第18条
卒業の要件として修得すべき単位数のうち、第6条第2項の授業の方法により修得する単位は、30単位を超えないものとする。

第19条
本学の学生以外の者で本学において開設する授業科目の履修を希望する者があるときは、本学の教育に支障がない場合に限り履修を許可することがある。
２　第１項において、他短期大学または大学に在学する者で本学とその短期大学または大学との協議に基づき受入れる者は単位互換履修生として、その他の者は科目等履修生として、本学が開設する授業科目の履修を認める。単位互

換履修生及び科目等履修生に関する規程は別に定める。
３　単位互換履修生、科目等履修生として履修した科目には、試験のうえ単位を認定することができる。但し、科目等履修生、単位互換履修生としての期間は在学年数として算定しない。
４　科目等履修生選考料及び科目等履修料は別表2のとおりとする。一旦納付した選考料及び履修料は、これを返還しない。
５　単位互換履修生の授業料は、その学生の在学する短期大学または大学との協議に基づき定めるものとする。

第20条
本学の学生以外の者で本学において開設する授業科目の聴講を希望する者があるときは、本学の教育に支障がない場合に限り聴講を許可することがある。
２　第1項において、受入れる者は聴講生として、本学が開設する授業科目の聴講を認める。聴講生に関する規程は別に定める。
３　聴講生として聴講した科目については、単位の認定は行わない。
４　聴講生選考料及び聴講料は別表3のとおりとする。一旦納付した選考料及び聴講料は、これを返還しない。

第21条
本学に2年以上在学して第8条に規定する単位以上を修得した者については、大学運営会議の議を経て卒業を認定し、学長が卒業証書を授与する。
２　本学を卒業した者に次の学位を授与する。
ライフデザイン学科
短期大学士（ライフデザイン学）

第５章　入学・転入学・退学・休学・復学・除籍・再入学・復籍

第22条
入学の時期は学年の初めとする。但し、場合により学期の初めとすることができる。

第23条
本学の第１学年に入学することのできる者は、次の各号の一に該当するものとする。
⑴高等学校または中等教育学校を卒業した者
⑵通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む）
⑶外国において学校教育における12年の課程を修了した者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
⑷文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
⑸文部科学大臣の指定した者
⑹高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む）
⑺本学において⑴と同等以上の学力があると認めた者
⑻別に定める外国人留学生規程に該当する者

第24条
入学志願者に対しては選考試験を行う。その要項は別に定める。

第25条
入学志願者は所定の入学願書・出身学校の調査書に別表4の入学検定料を添えて提出しなければならない。一旦提出した出願書類及び検定料は、これを返還しない。

第26条
第24条に定める選考試験に合格した者は、指定期日までに別表5の入学金、別表6の授業料及び別表7の施設設備費前期分を納付するとともに、所定の保証書を提出しなければならない。
２　第1項の手続を完了した者に入学許可を与える。
３　入学許可を得た者は、指定期日までに所定の健康診断書・住民票記載事項証明書を提出しなければならない。

第27条
保証書には保証人の署名捺印を要する。保証人は入学許可を得た者の保護者とし、その学生の在学中における一切の責に任ずべきものとする。
２　保証人の身分に異動があったとき、または死亡したときは、直ちに届け出なければならない。

第28条
学生が事故もしくは病気によって欠席するときは、その旨届け出なければならない。但し、1週間以上にわたるときは、保証人と連署でなくてはならない。病気のときは、医師の診断書を添えなければならない。

第29条
退学しようとする者は、その事由を具し、保証人連署をもって学長に願出なければならない。また、在学中に死亡した者は、退学とする。

第30条
病気または事故によって引続き3カ月以上修学することができない者は、その事由を具し、保証人連署で休学を願出ることができる。
２　病気のため休学するときは、医師の診断書を提出しなければならない。
３　休学は1年を超えることはできない。但し、特別の事由がある者には、更に1年以内の休学を許可することがある。
４　休学の期間は通算して2年を超えることはできない。
５　復学しようとする者は、保証人の連署をもって学長の許可を得なければならない。但し、病気により休学した者が復学しようとするときは、医師の診断書を添えなければならない。
６　休学期間は在学年数に算入しない。

第31条
次の各号の一に該当する者は、大学運営会議の議を経て学長が除籍する。
⑴第11条に定める在学年限を超えた者
⑵第30条第3項に定める休学の期間を超えてなお修学できない者
⑶正当な理由なく学費の納付を怠る者
⑷長期間にわたり行方不明の者

第32条
第29条によって退学した者及び第31条によって除籍された者が再入学を志願するときは、大学運営会議の議を経てこれを許可することがある。その規程は別に定める。
２　再入学検定料は別表8のとおりとする。一旦納付した検定料は、これを返還しない。

第33条
第31条第1項第3号で除籍された者は学長の許可を得て、復籍することができる。

第34条
他の短期大学または大学に在学する者で、本学に転入学を志願する者がある場合には、選考のうえ、相当年次または期に転入学を許可することがある。
２　転入学に関する必要な事項は別に定める。

第６章　学費

第35条
授業料等は別表6及び別表7のとおりとし、指定の期日までに納付しなければならない。

第36条
授業料等は、出席の有無にかかわらず学籍のある間はこ

れを納付しなければならない。但し、休学期間中は別に定める在籍料を納付しなければならない。

第37条

一旦納付した授業料その他の学費は、事情のいかんにかかわらずこれを返還しない。

第７章　職員

第38条

本学に学長・短期大学部長・教授・准教授・講師及び助教を置く。その他学務の処理、学生の補導福祉等のため、事務職員を置く。

２　本学に前項に定めるもののほか、必要に応じて、副学長を置くことができる。

第８章　大学運営会議

第39条

本学に大学運営会議(以下「運営会議」という)を設置する。

２　運営会議は、学長、専務理事、副学長、研究科長、学部長、学生部長、事務局長、学務企画部長、学生サポートセンター長、及びその他学長が必要と認める者を構成員とする。学長は運営会議を招集し、その議長となる。

３　拡大運営会議は、前項の構成員に学科長、図書館長、入試広報部長を加えて構成する。

４　理事長及び学園長は必要に応じて出席することとする。

５　運営会議は、大学運営に関する重要事項について審議し、学長が決定する。

６　学長は以下に掲げる事項について、所轄する専門委員会の意見を聞いた上、決定することとする。

⑴学位の授与、学生の卒業及び課程の修了、教育課程の編成

⑵学生の入学

⑶教員の資格審査

７　運営会議に専門委員会を設置し、審議事項について諮問することができる。

８　運営会議規程については別に定める。

第９章　全学教授会及び短期大学部教授会

第40条

本学に全学教授会を設置する。

２　全学教授会は学長及び副学長並びに全学の教授、准教授、講師、助教をもって構成する。

３　学長又は学長が指名した者が議長となり、全学教授会を招集する。

４　全学教授会は、大学運営会議の審議結果を報告する。

５　全学教授会は、学長等の求めに応じて、教育研究に関する事項について、審議及び構成員からの意見聴取を行う。

６　全学教授会の規程は別に定める。

第41条

本学に短期大学部教授会を設置する。

２　短期大学部教授会は、教授、准教授、講師、助教をもって構成員とする。学部長は短期大学部教授会を招集し、その議長となる。

３　短期大学部教授会は教育研究に関する事項を審議する。

４　短期大学部教授会の規程は別に定める。

第 10 章　学年・学期及び休業日

第42条

学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第43条

学年を前期、後期の2学期に分ける。なお、期間については、別に定める本学の学年暦による。

第44条

休業日は次のとおりとする。

日曜日

国民の祝日に関する法律に規定する休日

学園創立記念日（9月15日）

春季休業　3月21日より4月4日まで

夏季休業　8月1日より9月20日まで

冬季休業　12月25日より翌年1月10日まで

２　学長は、必要がある場合は前項の休業日を変更、または休業日に授業等を行わせることができる。

３　学長は、第1項に定めるもののほか、臨時の休業日を定めることができる。

第 11 章　附属施設

第45条

本学に図書館・真宗文化研究所・女性キャリア開発研究センター・地域連携推進センター及び研究室を設け、教職員・学生の研究に資する。各規程は別に定める。

第46条

本学に寄宿寮を設ける。その規程は別に定める。

第47条

教職員･学生の保健医療のため、本学に保健室を設ける。

第 12 章　公開講座

第48条

学生ならびに一般市民の教養に資するため、公開講座を実施することができる。

第 13 章　賞罰

第49条

操行・学業ともに優秀で他の規範となる者に対しては、これを表彰することがある。

第50条

学生が本大学の学則及び諸規程に違反し、またその他学生の本分に反する行為があるときは、大学運営会議の議を経て、学長がこれを懲戒する。

２　懲戒は訓戒・停学・退学の3種とする。

３　前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

⑴性行に問題があり、改善の見込みがないと認められる者

⑵学力に問題があり、修学の見込みがないと認められる者

⑶正当な理由なく出席常でない者

⑷本学の秩序を乱し、その他学生の本分に反した者

４　懲戒処分については、懲戒委員会を置く。

５　学生の懲戒に関するガイドライン及び懲戒委員会規程等、懲戒に関する必要な事項は、別に定める。

Ⅶ　教　員

教　員　一　覧

学長	高見　茂
副学長	吉川秀樹
	加藤千恵
	脇田哲志
短期大学部長	脇田哲志
ライフデザイン学科長	小山理子

―― 専任 ――

【ライフデザイン学科】

青木正明
相場浩和
鹿島　我
久世奈欧
郭　雅雯
小山理子
辻野　孝
羽深太郎
濵田明美
森際孝司
脇田哲志

― 兼任（京都光華女子大学） ―

朝比奈英夫
阿部一晴
乾　明紀
澤井律之
高野拓樹
谷本寛文

―― 客員教授 ――

櫻井繁樹
藤田裕之
藤本喜寛
二見恵美子
ブレンナ・ヒロコ
村上圭子

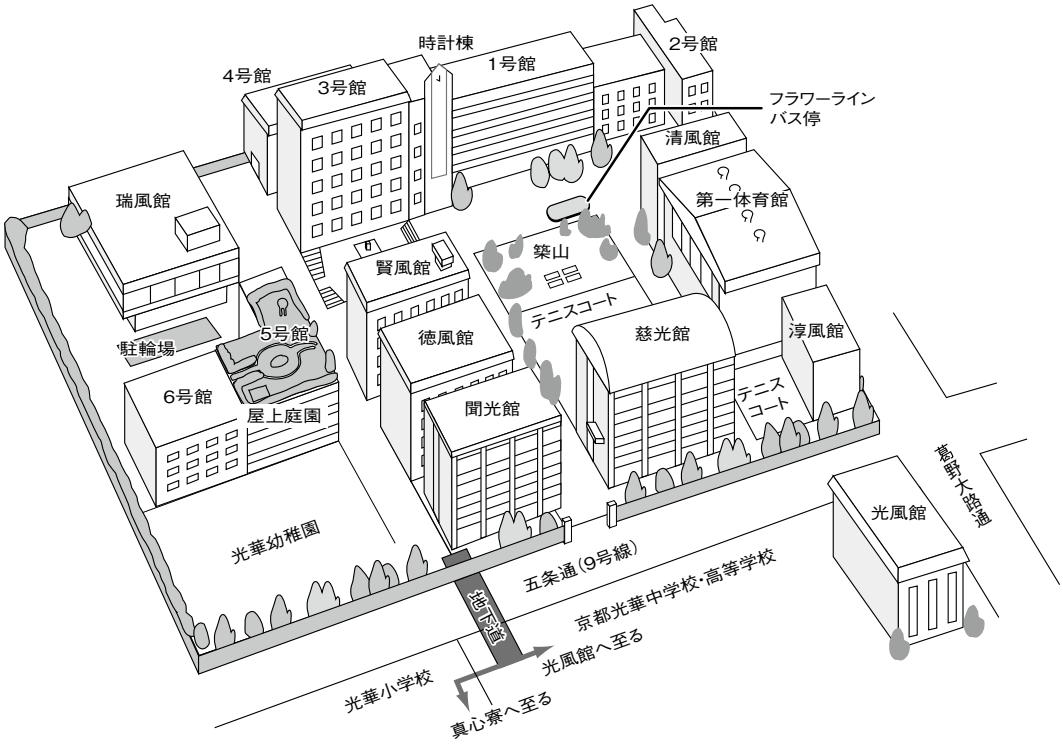
―― 非常勤講師 ――

池　和歌子
猪澤　歩
石丸淑子
一岡里栄
今井俊夫
岩波由佳
上田　香
臼井卓也
梶　哲也
金沢　豊
酒多康嗣
佐々木幸喜
千田眞喜子
高居佐紀
豊岡　司
中宮朋子
中山佳子
附　育代
三浦さやか
三室久枝
両角美幸
安江　勉
横井智恵子
松浦久美子
上　英俊
大矢友里
大髙和香
中谷　聡
田中はるみ
妹尾香織
李　允昊
劉　梅玲

Ⅷ　施　設

校舎建物・教室等配置図

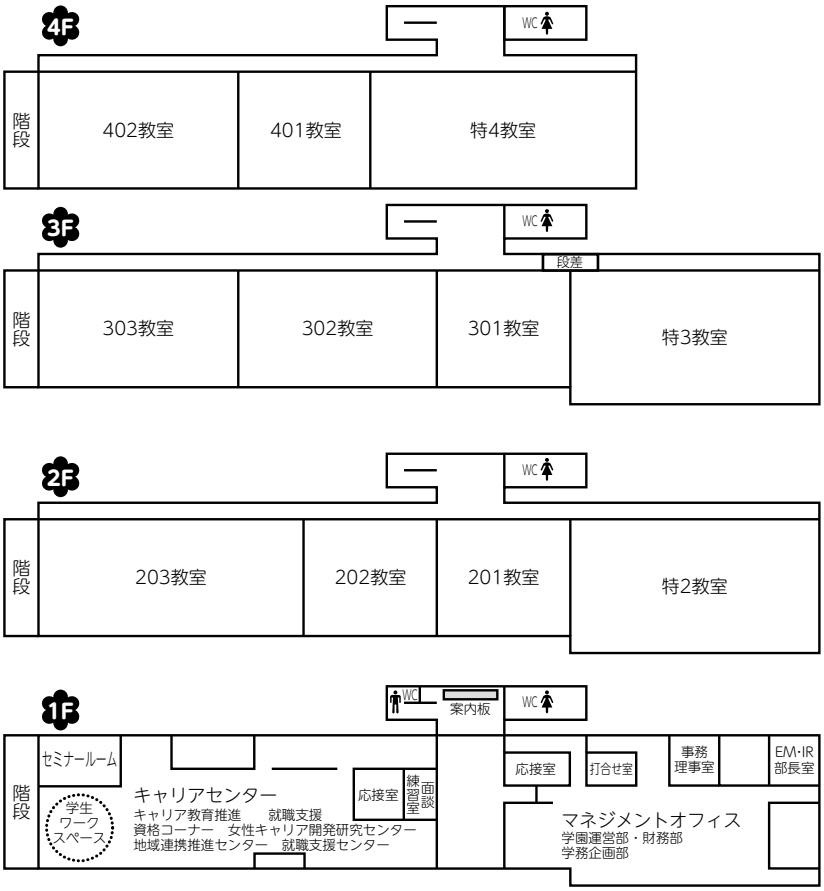
校舎建物配置図



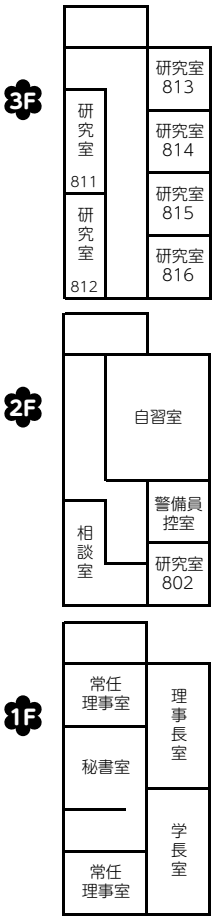
時計棟
1号館
2号館
4号館
3号館
フラワーライン
バス停
清風館
第一体育館
瑞風館
築山
賢風館
テニスコート
駐輪場
5号館
徳風館
慈光館
淳風館
6号館
屋上庭園
聞光館
テニス
コート
葛野大路通
光風館
光華幼稚園
五条通(9号線)
京都光華中学校・高等学校
地下道
光風館へ至る
光華小学校
真心寮へ至る

教室等配置図

1号館

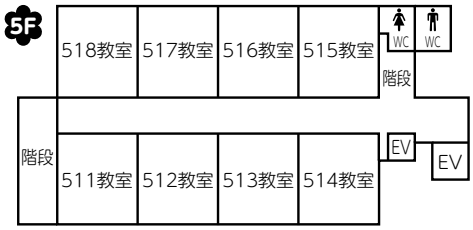


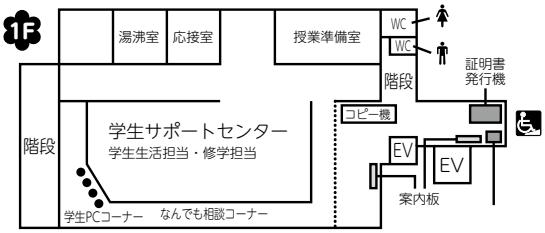
2号館



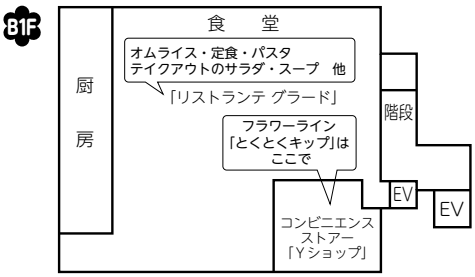
3号館

2F
プレゼン
実習室
WC
階段
階段
211教室
212教室
213教室
EV
EV


5F
518教室
517教室
516教室
515教室
WC
WC
階段
階段
511教室
512教室
513教室
514教室
EV
EV


1F
湯沸室
応接室
授業準備室
WC
WC
証明書
発行機
階段
階段
学生サポートセンター
学生生活担当・修学担当
コピー機
EV
EV
案内板
学生PCコーナー
なんでも相談コーナー

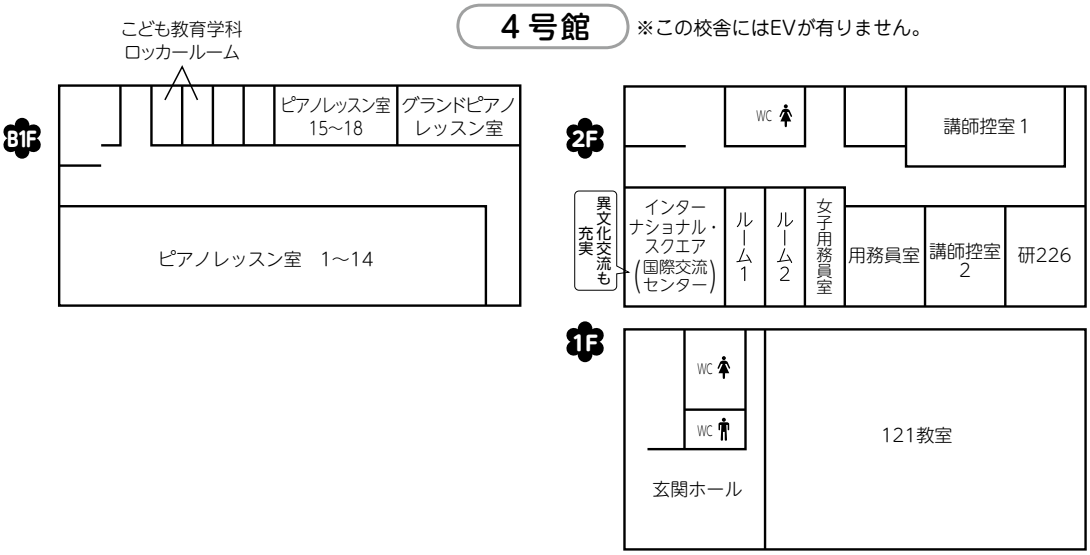
4F
415教室
414教室
WC
階段
階段
411教室
412教室
413教室
EV
EV


B1F
食　堂
厨
房
オムライス・定食・パスタ
テイクアウトのサラダ・スープ　他
「リストランテ グラード」
フラワーライン
「とくとくキップ」は
ここで
コンビニエンス
ストアー
「Yショップ」
階段
EV
EV

3F
314教室
313教室
WC
階段
階段
315
演習室
311教室
312教室
EV
EV

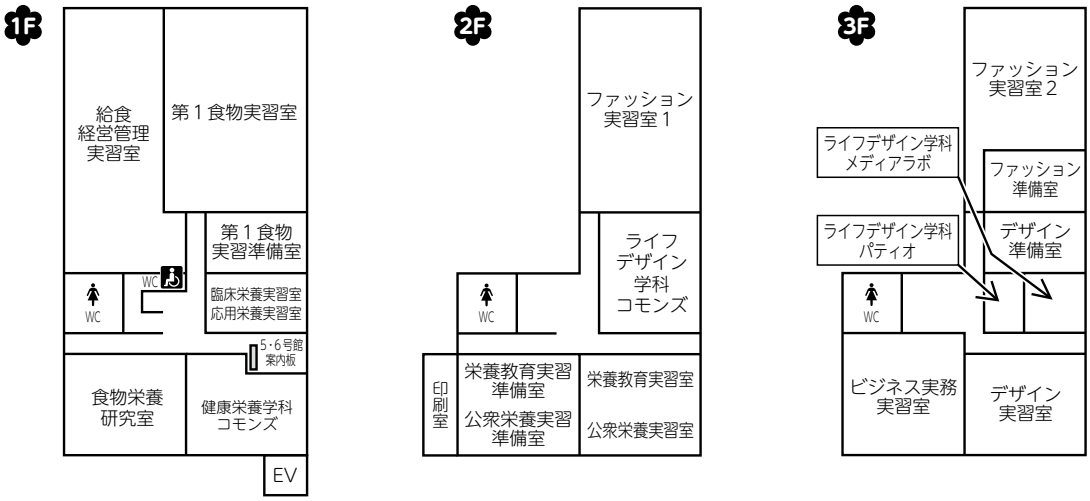
4号館

※この校舎にはEVが有りません。



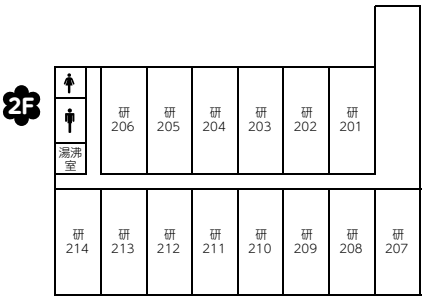
5号館

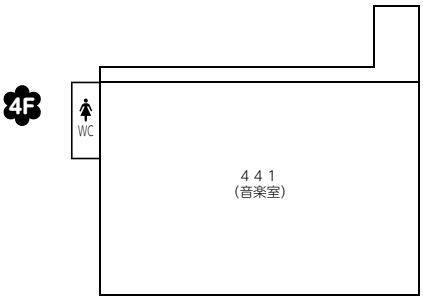
（屋上庭園）「ＨＩＫＡＲＵ　ＣＯＵＲＴ」

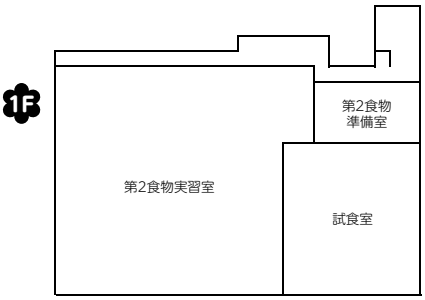


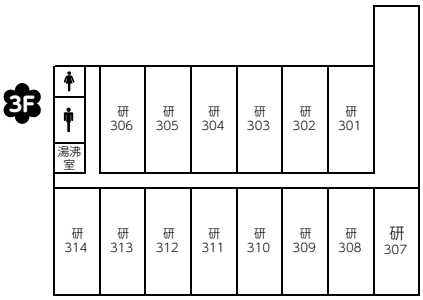
６号館

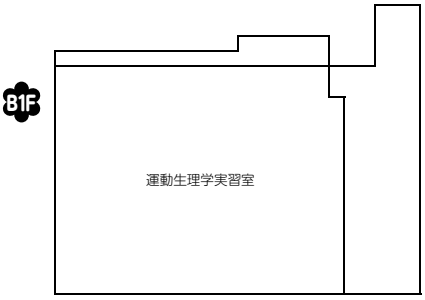
※この校舎にはスロープが有りません。
また、B1F、４ＦへはEVでは行けません。



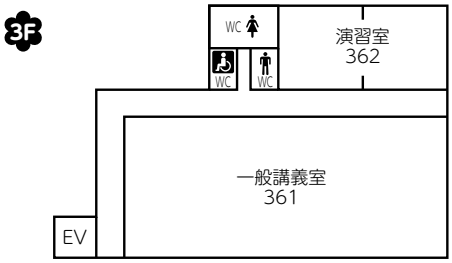


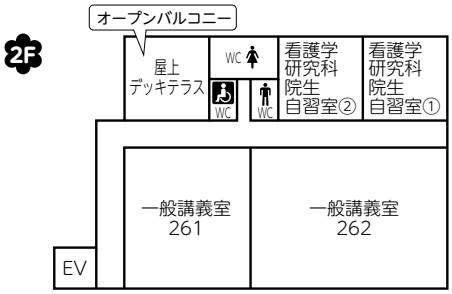


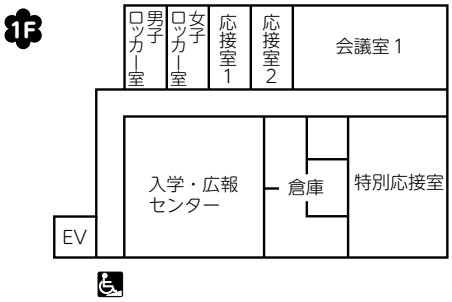




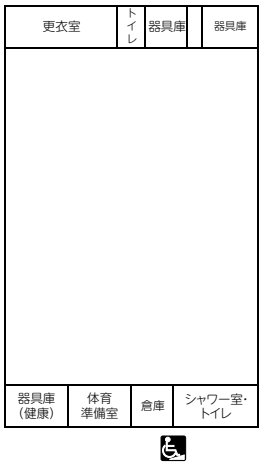
清風館（しょうふうかん）







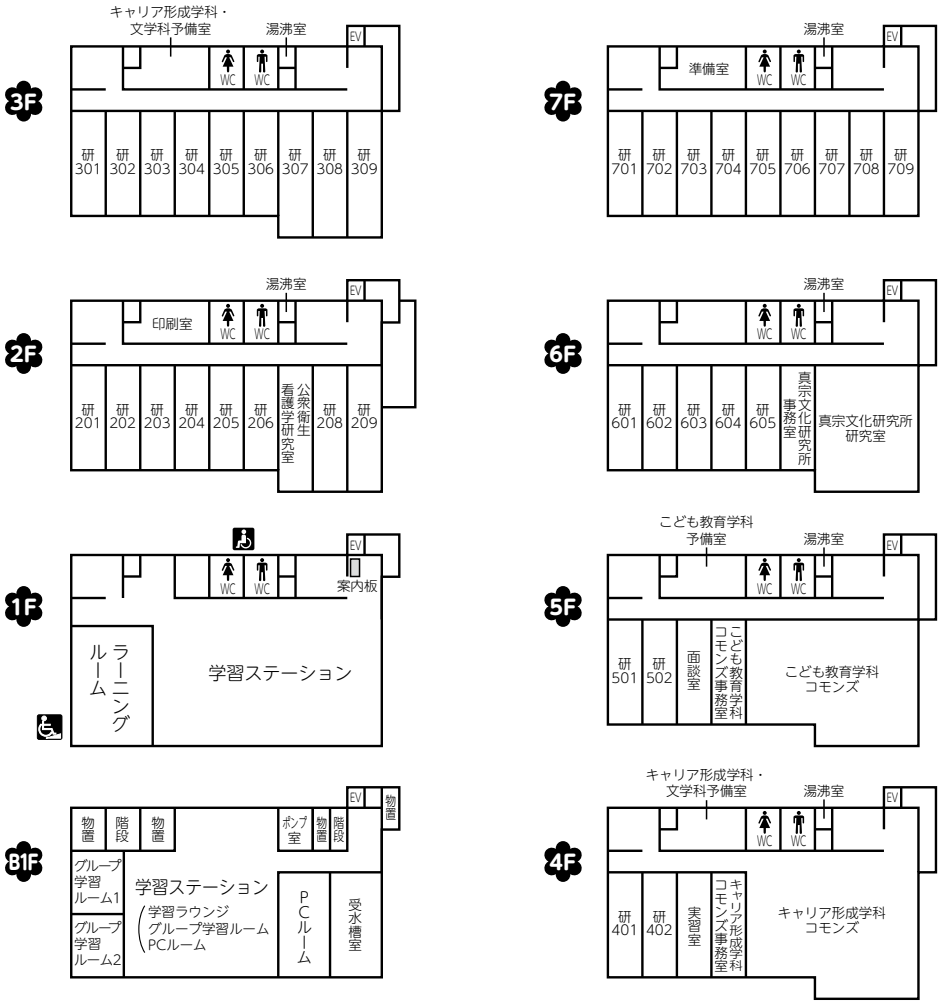
体育館



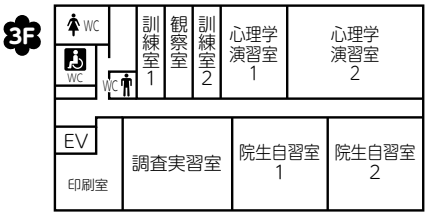
徳風館（とくふうかん）

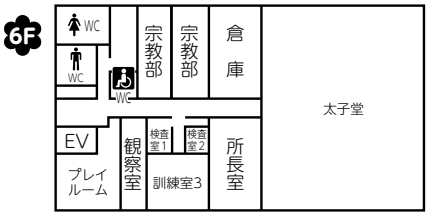
2F
WC
EV
EV
グループ閲覧室
図書館 閲覧室
6F
WC
WC
EV
EV
小講堂
映写室
1F
AV ルーム
WC
WC
EV
EV
案内板
図書館 閲覧室
図書館 事務室
電算室
5F
情報処理準備室
WC
WC
EV
EV
第5 情報処理実習室
第2 情報処理実習室
第3 情報処理実習室
第4 情報処理実習室
B1F
西倉庫
製本 整理室・F書庫
案内板
C 書庫
B 書庫
A 書庫
4F
会議室
WC
WC
EV
EV
PC コーナー
多目的ルーム
情報システム部
教職・保育職支援センター
第1 情報処理実習室
B2F
電気室
案内板
機械室
E 書庫
D 書庫
3F
WC
EV
EV
グループ閲覧室
図書館 閲覧室

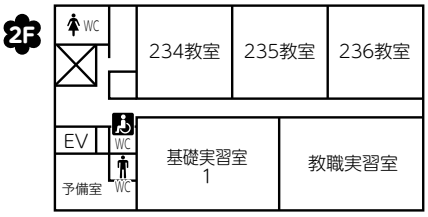
賢風館（げんぷうかん）

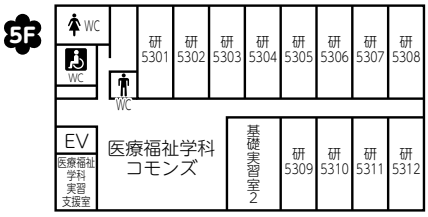

3F
キャリア形成学科・文学科予備室
湯沸室
EV
WC
WC
研301
研302
研303
研304
研305
研306
研307
研308
研309
7F
湯沸室
EV
準備室
WC
WC
研701
研702
研703
研704
研705
研706
研707
研708
研709
2F
湯沸室
EV
印刷室
WC
WC
研201
研202
研203
研204
研205
研206
公衆衛生看護学研究室
研208
研209
6F
湯沸室
EV
WC
WC
研601
研602
研603
研604
研605
真宗文化研究所事務室
真宗文化研究所研究室
1F
EV
WC
WC
案内板
ラーニングルーム
学習ステーション
5F
こども教育学科予備室
湯沸室
EV
WC
WC
研501
研502
面談室
こども教育学科コモンズ事務室
こども教育学科コモンズ
B1F
EV
物置
物置
階段
物置
ポンプ室
物置
階段
グループ学習ルーム1
グループ学習ルーム2
学習ステーション
（学習ラウンジ
グループ学習ルーム
PCルーム）
PCルーム
受水槽室
4F
キャリア形成学科・文学科予備室
湯沸室
EV
WC
WC
研401
研402
実習室
キャリア形成学科コモンズ事務室
キャリア形成学科コモンズ

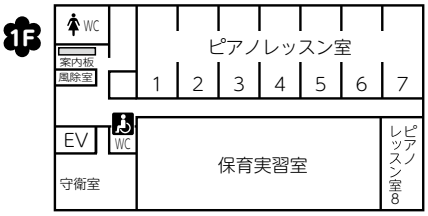
慈光館（じこうかん）

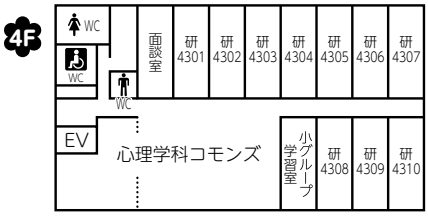

3F
WC
WC
WC
訓練室1
観察室
訓練室2
心理学演習室1
心理学演習室2
EV
印刷室
調査実習室
院生自習室1
院生自習室2

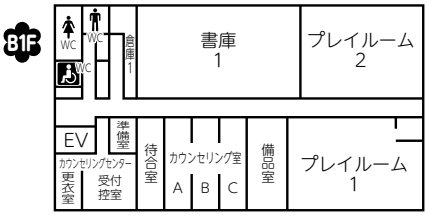

6F
WC
WC
WC
宗教部
宗教部
倉庫
太子堂
EV
プレイルーム
観察室
検査室1
検査室2
訓練室3
所長室


2F
WC
234教室
235教室
236教室
EV
予備室
WC
WC
基礎実習室1
教職実習室


5F
WC
WC
WC
研5301
研5302
研5303
研5304
研5305
研5306
研5307
研5308
EV
医療福祉学科実習支援室
医療福祉学科コモンズ
基礎実習室2
研5309
研5310
研5311
研5312

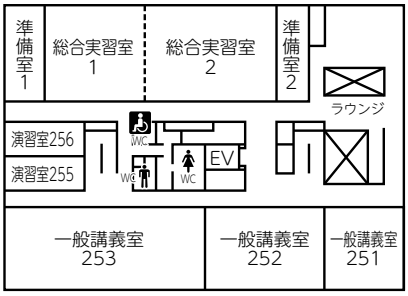

1F
WC
案内板
風除室
ピアノレッスン室
1
2
3
4
5
6
7
EV
守衛室
WC
保育実習室
ピアノレッスン室8


4F
WC
WC
WC
面談室
研4301
研4302
研4303
研4304
研4305
研4306
研4307
EV
心理学科コモンズ
小グループ学習室
研4308
研4309
研4310

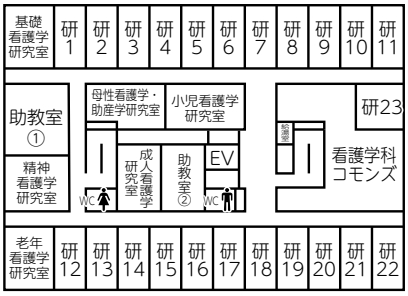

B1F
WC
WC
WC
WC
倉庫1
書庫1
プレイルーム2
EV
カウンセリングセンター
更衣室
受付控室
準備室
待合室
カウンセリング室
A
B
C
備品室
プレイルーム1

聞光館（もんこうかん）

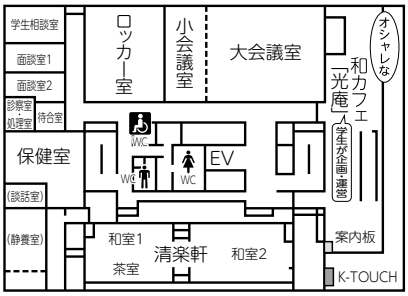
2F



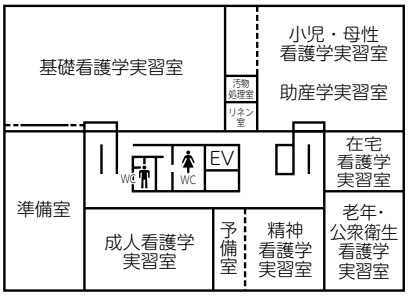
5F



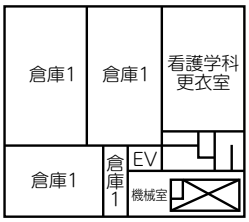
1F



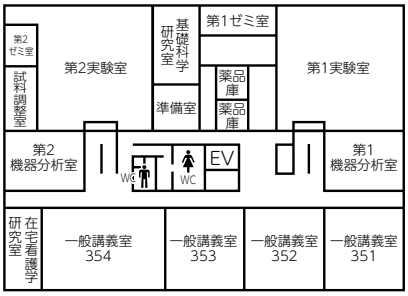
4F



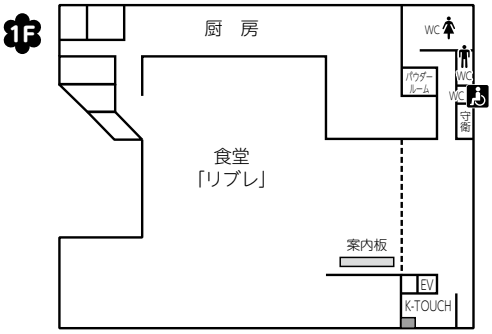
B1F

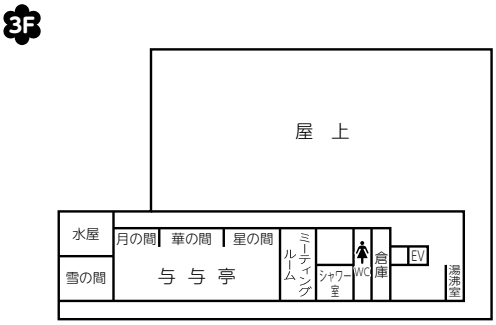


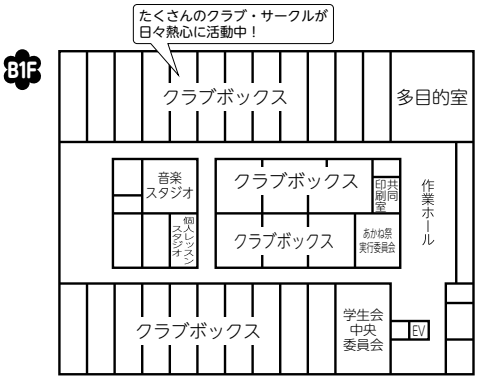
3F

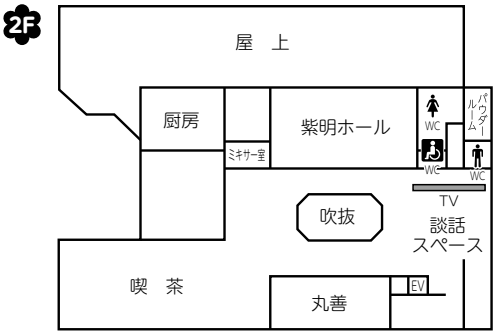


瑞風館（ずいふうかん）


1F
厨　房
WC
パウダールーム
WC
WC
守衛
食堂
「リブレ」
案内板
EV
K-TOUCH

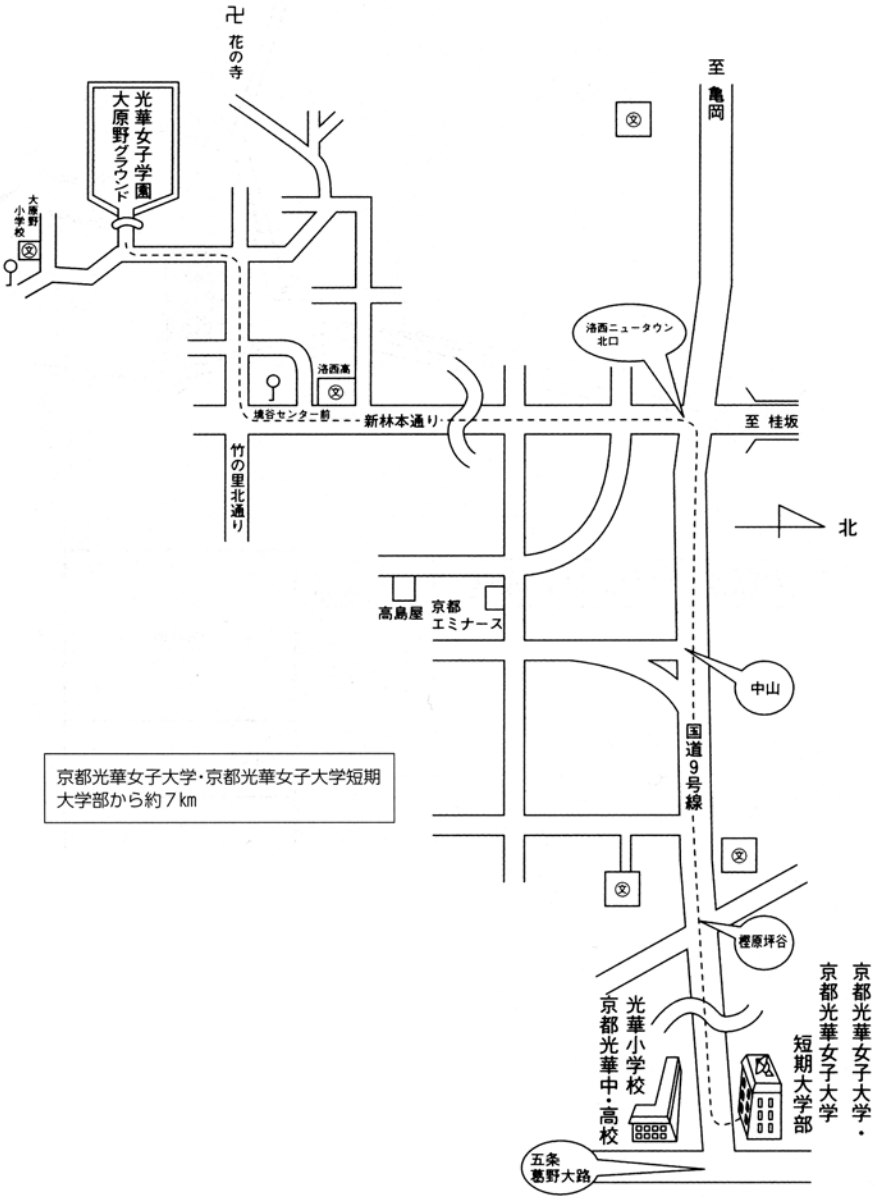

3F
屋　上
水屋
雪の間
月の間
華の間
星の間
与 与 亭
ミーティングルーム
シャワー室
WC
倉庫
EV
湯沸室


たくさんのクラブ・サークルが
日々熱心に活動中！
B1F
クラブボックス
多目的室
音楽スタジオ
個人レッスンスタジオ
クラブボックス
印刷室
共同
クラブボックス
あかね祭実行委員会
作業ホール
クラブボックス
学生会中央委員会
EV

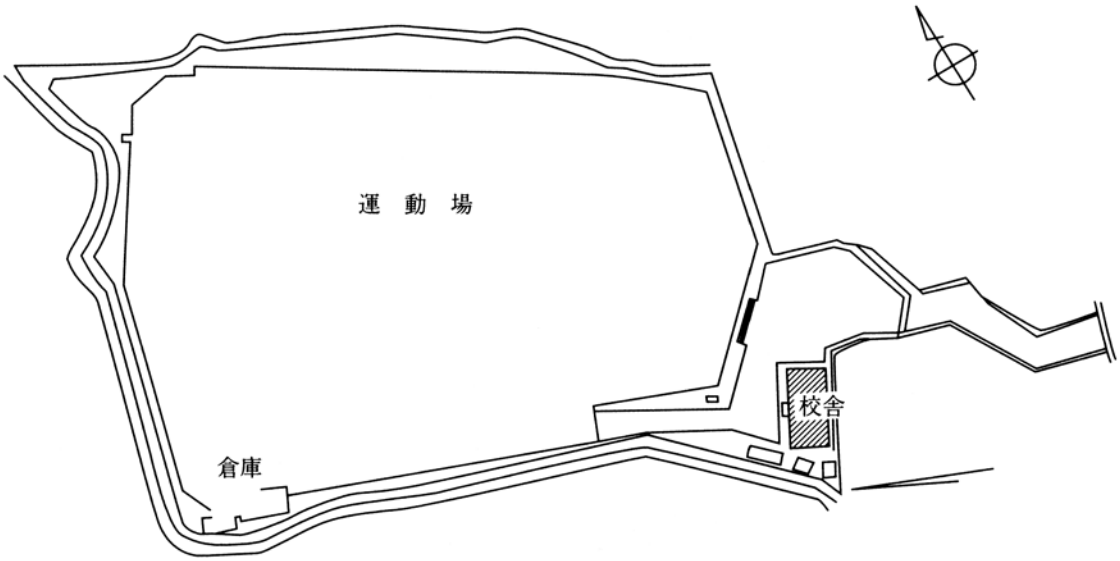

2F
屋　上
厨房
紫明ホール
WC
パウダールーム
ミキサー室
WC
WC
TV
吹抜
談話スペース
喫　茶
丸善
EV

光華女子学園　大原野グラウンド

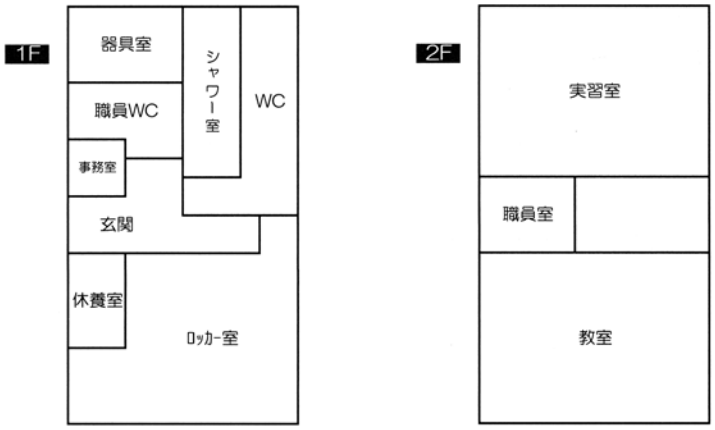
京都市西京区大原野南春日町134番地
TEL　075－332－8883



大原野グラウンド施設配置図



大原野グラウンド校舎



前 期 授 業 時 間 割 表

時間 曜日		第 1 講時 (8:50～10:20)	第 2 講時 (10:30～12:00)	第 3 講時 (12:50～14:20)	第 4 講時 (14:30～16:00)	第 5 講時 (16:10～17:40)
月	授業科目					
	教室					
火	授業科目					
	教室					
水	授業科目					
	教室					
木	授業科目					
	教室					
金	授業科目					
	教室					
土	授業科目					
	教室					

後 期 授 業 時 間 割 表

曜日＼時間		第１講時 (8:50～10:20)	第２講時 (10:30～12:00)	第３講時 (12:50～14:20)	第４講時 (14:30～16:00)	第５講時 (16:10～17:40)
月	授業科目					
	教室					
火	授業科目					
	教室					
水	授業科目					
	教室					
木	授業科目					
	教室					
金	授業科目					
	教室					
土	授業科目					
	教室					

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

京都光華女子大学短期大学部

履修のてびき（2020年度版）

2020年４月１日　発行

〒615−0882
京都市右京区西京極葛野町38

連絡先
【事務局】
学生サポートセンター
修　学　担　当　075-325-5308
学生生活担当　075-325-5321